

令和4年度版（令和3年度実績）

# 大牟田の教育

～ 教育委員会の権限に属する事務の管理  
及び執行状況についての点検及び評価 ～

大牟田市教育委員会  
大牟田市



# 目 次

はじめに	1
点検及び評価の概要	1
<b>教育委員会の活動状況</b>	
教育委員会の概要	3
教育委員会の主な活動実績	4
活動の評価	6
<b>教育施策の推進状況</b>	
<b>(教育委員会関係分)</b>	
<b>令和3年度大牟田市学校教育振興事業計画</b>	
趣旨	8
令和3年度の教育委員会の方針	9
成果指標の令和3年度実績値	10
基本方針に係る成果指標の令和3年度達成状況	11
令和3年度重点事業	13
<b>基本施策Ⅰ 未来を創る児童生徒を育成する特色ある学校教育の展開</b>	
主要施策1 ESDの推進	24
主要施策2 郷土を愛する心の育成	25
主要施策3 英語教育の充実	26
主要施策4 各学校における特色ある教育活動の推進	28
<b>基本施策Ⅱ 子どもの個性や能力を伸ばし、可能性を広げる</b>	
主要施策1 確かな学力の育成	31
主要施策2 豊かな心の育成	35
主要施策3 健やかな体の育成	37
主要施策4 特別支援教育の推進	40
<b>基本施策Ⅲ 学校教育環境の充実</b>	
主要施策1 学校再編整備の推進	43
主要施策2 安全で快適な学校施設の整備	45
<b>基本施策Ⅳ 安心して学べ、地域とともにある学校づくり</b>	
主要施策1 安心して学べる学校づくり	49
主要施策2 学校・家庭・地域の連携	55
<b>基本施策Ⅴ 人権に関する教育・啓発の推進</b>	
主要施策1 人権・同和教育の推進	58

## (市長部局関係分)

「大牟田市まちづくり総合プラン」より	6 2
成果指標の令和3年度実績値	6 3
令和3年度重点事業	6 4
<b>第1編第4章 未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち</b>	
視点1 次世代を担う子どもをはぐくむ	6 7
視点2 ESDを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり	7 6
視点3 学習環境の整備・充実	7 9
視点4 青少年の問題行動や悩みへの対応	8 3
その他 社会教育委員の会議	8 6
<b>第1編第5章 スポーツを通して生きがいに満ち、活気にあふれるまち</b>	
視点1 気軽に楽しめるスポーツ活動の機会づくり	8 9
視点2 スポーツ活動を支える仕組みづくり	9 3
視点3 スポーツがしやすい環境づくり	9 9
<b>第1編第6章 文化芸術に親しみ、心豊かに生活できるまち</b>	
視点1 まちの歴史や文化を知る・学ぶ	1 0 2
視点2 文化芸術事業の充実	1 0 6
視点3 文化芸術の環境づくり	1 0 9

学識経験者意見	1 1 2
---------	-------

## 資料編

歴代教育委員等	1 1 8
機構と職員数	1 2 0
教育財政	
令和4年度当初予算	1 2 2
令和3年度決算	1 2 3
教育費の当初予算・決算推移	1 2 4
各種委員会等	1 2 5
市立学校一覧	1 2 7
市立学校の通学区域	1 2 8
児童生徒数の推移	1 3 1
卒業後の状況	1 3 1
学校別児童生徒・教職員数	1 3 0
学校施設一覧	1 3 4
教育施設一覧	1 3 5

社会教育施設等の状況

地区公民館	1 3 6
多目的活動施設リフレスおおむた	1 5 5
大牟田文化会館	1 5 8
三池カルタ・歴史資料館	1 6 2
図書館	1 6 6
スポーツ施設	1 7 5
指定・登録文化財一覧	1 7 7

## はじめに

このたび、大牟田市教育委員会と大牟田市（市長の関係事務部局）は、令和3年度の本市教育行政の実績を報告書「大牟田の教育」にまとめ、この中で教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に定めるところにより、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行いました。

この点検及び評価は、令和3年度における「教育委員会の活動状況」及び「教育施策の推進状況」について実施したものであり、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすことを目的としています。教育委員会は、この報告書を議会に提出するとともに、市民に公表することとしています。

この点検及び評価の結果を今後の教育委員会の活動や教育施策の推進に生かすとともに、本市の教育行政が、市民の皆様の御理解のもとで効果的に推進できるよう、取組の充実を目指していきます。

## 点検及び評価の概要

### 1 点検及び評価の対象並びに実施方法

(1) 「教育委員会の活動状況」の評価は、教育委員会会議の実施状況や、学校訪問、各種行事、研修会等への参加状況などの教育委員会の活動とその情報発信について実施しました。

(2) 「教育施策の推進状況」の評価は、以下の方法で実施しました。

#### ① 教育委員会関係分

ア 「令和3年度大牟田市学校教育振興事業計画」に掲げる基本方針について、「成果指標の達成状況」・「指標達成度に対する要因分析」・「今後の方向性」の項目を設定して記述しました。

イ 「令和3年度大牟田市学校教育振興事業計画」に掲げる各主要施策について、「主な事業」・「成果指標の達成状況」・「指標達成度に対する要因分析」・「今後の方向性」の項目を設定して記述しました。

#### ② 市長部局関係分

大牟田市総合計画「まちづくり総合プラン」に掲げる社会教育、スポーツ及び文化の関係施策について、「主な事業」・「成果指標の達成状況」・「指標達成度に対する要因分析」・「今後の方向性」の項目を設定して記述しました。

なお、市長部局関係分のうち、点検及び評価の対象となるのは、スポーツ及び文化芸術に関する事務などの市長が管理・執行する事務を除いた部分です。具体的には、61～82ページ、99ページの学校体育施設開放事業及び102～1

05 ページが対象となります。

③ 教育委員会関係分・市長部局関係分共通

令和3年度に重点的に取り組んだ事業については、個票を作成し、内容の充実を図りました。

**2 教育に関して学識経験を有する者の知見の活用について**

点検及び評価の客観性の確保の観点から地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項が規定する「教育に関して学識経験を有する者の知見の活用」については、教育学を専門とする大学教授に外部評価を依頼し、意見書を作成していただきました。

## 2 [教育委員会の活動状況]

### 1 教育委員会の概要

#### (1) 教育委員会の位置付け

大牟田市教育委員会は、地方自治法に基づく行政委員会であり、市長から独立した執行機関として設置されています。市長が市議会の同意を得て任命した教育長及び4人の委員で構成され、本市の教育行政における重要事項や基本方針について審議決定を行っています。

#### (2) 教育委員会の所管事務

大牟田市教育委員会は、学校教育、社会教育、人権・同和教育等に関する事務を所管しています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づきH24年12月に制定した大牟田市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例により、次の事務については、H25年4月から、市長が管理し、及び執行しています。

- ・スポーツに関すること（学校における体育に関することを除きます。）
- ・文化に関すること（文化財の保護に関することを除きます。）

また、大牟田市教育委員会補助執行規程（H25年3月制定）に基づき、次の事務については、H25年4月から、市長の事務部局の職員が補助執行しています。

- ・文化財の保護及び活用に関すること
- ・社会教育の振興に関すること
- ・地区公民館、リフレスおおむた、図書館、三池カルタ・歴史資料館に関すること など

#### (3) 教育長の職務

教育長は、教育委員会の会議を主宰し、教育委員会の権限に属するすべての事務をつかさどるとともに、事務を統括し、事務局の指揮監督を行います。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正（H27年4月1日施行。以下「法改正」といいます。）により、従前の教育委員会を代表する委員長と事務局を統括する教育長が一本化された新たな教育長を置くこととなり、本市では、法改正をふまえ、H27年4月1日から新たな教育長が任命されています。

#### (4) 委員の職務

委員は、教育委員会会議に出席し教育行政に関する重要事項等についての審議を行っています。また、教育現場の視察、意見・要望等の聴取を行うほか、教育関係の各種行事に出席しています。このような活動を通して、教育における政治的中立性及び継続性・安定性を確保するとともに、広く市民の意向を反映した責任ある教育行政の実現を図っています。

#### (5) 令和3年度における教育委員会の構成（歴代委員等は『資料編』に掲載）

大牟田市教育委員会は、教育長及び4人の委員で構成しています。教育長の任期は3年、委員の任期は4年です（再任可）。教育長職務代理者は、教育長に事故があるとき、又は教育長が欠けたときは、その職務を行います。

氏名（職名）	任期
谷本 理佐（教育長）	R3年4月1日～R6年3月31日
山本 和夫（委員・教育長職務代理者）	H31年3月13日～R5年3月12日
嶋田 桂子（委員）	H29年6月1日～R3年5月31日 R3年6月1日～R7年5月31日
東 秀樹（委員）	R2年3月22日～R6年3月21日
笹井 葉子（委員）	H30年6月1日～R4年5月31日

## 2 教育委員会の主な活動実績

### (1) 教育委員会会議の実施

原則として、定例会は毎月1回、臨時会は必要に応じて開催し、教育行政に関する重要事項等を適切に審議しました。

R3年度は、定例会を12回、臨時会を4回開催しました。なお、傍聴者は2人でした。

開催日	会議	議案番号	議案名等
4月15日	4月定例	—	報告事項7件（令和2年度末教職員異動状況について 等）
5月13日	5月定例	1	大牟田市教育委員会事務局事務分掌規則の一部改正について
		2	大牟田市就学支援委員会委員の任命について
		3	大牟田市立学校結核対策委員会委員の任命について
		—	報告事項5件（令和3年度児童生徒数及び学級数について 等）
6月7日	6月定例	4	大牟田市社会教育委員の委嘱について
		5	大牟田市就学支援委員会委員の任命について
		—	報告事項3件（令和2年度大牟田市一般会計予算繰越明許費に係る繰越しについて 等） 協議事項3件（令和3年度大牟田市一般会計補正予算（案）について 等）
7月12日	7月定例	—	報告事項4件（令和3年度学校施設の営繕要望について 等）
8月5日	8月定例	6	令和2年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価（令和3年度版「大牟田の教育」）について
		—	報告事項1件（令和3年度大牟田市立小・中・特別支援学校PTA連合会「対市陳情」について） 協議事項1件（令和3年度全国学力・学習状況調査の市町村別結果の公表に対する同意について）
8月27日	第1回臨時	—	報告事項1件（大牟田市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価についての意見書について） 協議事項1件（令和3年度大牟田市一般会計補正予算（案）について）
9月27日	9月定例	—	報告事項1件（令和3年度（後期）大牟田市就学支援委員会報告書について） 協議事項1件（令和3年度大牟田市一般会計補正予算（案）について）
10月13日	10月定例	7	大牟田市立小学校給食調理業務委託者選定委員会の委員の任命について
		—	報告事項1件（第74回成人式について）
11月17日	11月定例	8	大牟田市立三池カルタ・歴史資料館及び大牟田市立図書館の指定管理者の指定に係る議案の作成について
		9	大牟田市立多目的活動施設リフレスおおむたの指定管理者の指定に係る議案の作成について
		—	報告事項6件（令和4年度児童生徒数及び学級数（推計）について 等）

開催日	会議	議案番号	議案名等
12月2日	第2回臨時	10	令和4年度大牟田市教職員人事異動方針について
		—	協議事項3件(令和3年度大牟田市一般会計補正予算(案)について)
12月24日	12月定例	—	報告事項1件(学校給食週間の実施について)
R4年1月18日	1月定例	—	報告事項5件(令和3年度全国学力・学習状況調査結果の報告について等)
R4年2月1日	第3回臨時	11	令和4年度教職員の人事について
		12	令和4年度市職員の人事について
		—	協議事項1件(「教育委員会だより」第20号の紙面について)
R4年2月15日	2月定例	—	報告事項2件(令和3年度大牟田市立小・中・特別支援学校PTA連合会「対市陳情」に対する回答案について等) 協議事項3件(令和4年度大牟田市学校教育振興事業計画(案)について)
R4年3月11日	3月定例	13	大牟田市小中一貫教育基本方針の策定について
		—	報告事項2件(夜間中学に関するアンケート調査結果について等)
R4年3月24日	第4回臨時	14	大牟田市三池カルタ・歴史資料館等複合施設条例施行規則の一部改正について
		15	令和4年度大牟田市学校教育振興事業計画の策定について
		16	大牟田市立学校管理規則の一部改正について
		17	大牟田市立学校共同学校事務室の組織、運営、事務等に関する規程の制定について
		18	独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金の徴収に関する規則の制定について
		19	大牟田市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について
		20	令和4年度市職員の人事について
		—	報告事項1件(令和3年度学校給食週間学校給食アンケート調査結果報告について)

## (2) 総合教育会議への出席

法改正を受けて、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、本市の教育課題や目指す姿を共有しながら、連携して効果的に教育行政を推進していくため、市長及び教育委員会で構成される大牟田市総合教育会議がH27年度に設置されました。

R3年度の会議は、10月28日に開催され、大牟田市小中一貫教育制度の導入についての協議や意見交換等が行われました。

## (3) 学校訪問

学校訪問は、市立学校の学校経営、教育活動及び施設・設備等の現状を視察し、教育施策の改善に資することを目的とするもので、授業参観や学校関係者との協議等を通して、学校の教育活動全般について指導・助言を行っています。R3年度は、小学校9校、中学校3校に対して実施しました。

#### (4) 各種行事への出席

R3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となる行事が多くありましたが、感染状況が比較的落ち着いていた時期に実施された中学校卒業式、成人式、学校給食、スポーツ関連行事等の6行事に出席しました。

#### (5) 研修会等への出席

R3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、福岡県市町村教育委員会連絡協議会、南筑後地区教育委員会連絡協議会等が主催する研修会等は中止されました。

#### (6) 勉強会の開催

教育委員会会議の円滑な運営と議論の活性化に資するよう、本市の教育の主要な課題等について、必要に応じ勉強会を開催しています。R3年度は、学力向上、小中一貫教育制度、夜間中学等の様々なテーマを設定し、延べ19回開催しました。

### 3 活動の評価

#### (1) 教育委員会会議について

大牟田市教育委員会会議規則に基づき、定例会を毎月1回、臨時会を必要に応じ開催しました。事前に送付された会議資料により理解を深めた上で会議に臨み、常に市民の視点に立って議論を行うよう留意し、教育施策の議論等においては、改善点や要望等を示しました。また、必要に応じ勉強会を開催し、事務局に説明を求め、内容の理解に努めました。

今後も、教育委員会として一層責任ある意思決定を行うため、教育施策等の重要な議題について積極的に情報収集を行うとともに、本市の教育の主要な課題について継続的に勉強会を開催していきます。

#### (2) 教育委員会会議以外の活動について

学校訪問や各種行事に出席し、関係者との協議や意見交換、情報交換等を行うことを通して、教育現場の状況の把握を行いました。

今後も、市民の意向を十分に反映した教育行政を展開するため、教育現場の実態把握や関係機関から積極的に情報収集を行うとともに、研修会への出席等を通じた資質の向上に努めていきます。

#### (3) 教育委員会活動の情報発信について

教育委員会会議の開催情報については、大牟田市教育委員会会議規則に基づき、開会の日前3日までに市庁舎掲示場に告示するとともに、教育委員会のウェブサイト上にも掲載し周知に努めました。会議は原則として公開しており、会議資料は市情報公開センターでも閲覧できるようにしています。また、ウェブサイト上で会議録を公開しています。

H27年度からは、教育委員会活動が市民により一層理解され、関心を持ってもらうため、「教育委員会だより」を発行しています。R3年度は7月・1月・3月の3回発行し、情報発信の充実を図りました。

# 教育施策の推進状況

(教育委員会関係分)

# 令和3年度 大牟田市学校教育振興事業計画

## 趣 旨

- 1 本計画は、本市における令和2年度から5年度までの教育の振興に関する基本的な計画である「大牟田市学校教育振興プラン2020～2023」に基づく令和3年度の事業計画として、予算等との整合を図り策定するものです。
- 2 本計画は、令和3年度の教育委員会の方針、成果指標の令和3年度目標値、令和3年度に特に重点的に取り組む事業（以下「重点事業」といいます。）の内容等について掲載しています。

# 令和3年度の教育委員会の方針

## 1 基本理念

「まちづくりは人づくりから」という基本的な考え方に立ち、本市の学校教育は、持続可能な社会の創り手となる子どもたちの育成を目指します。

## 2 基本方針（令和3年度の実施方針）

### 持続可能な社会を創る「おおむたっ子」の育成

児童生徒が持続可能な社会の創り手となれるよう、夢や目標に向かって意欲的に学ぶ力を育成するとともに、自ら課題を発見し、多様な人々と協働しながら主体的に解決する力を育成します。

そのため、持続可能な開発のための教育（E S D）や郷土愛をはぐくむ学習などの特色ある学校教育を展開するとともに、知育・徳育・体育のバランスが取れた教育を推進します。また、各学校が多様な教育活動を展開することができるよう、学校教育環境を充実させます。

#### 目指す児童生徒の姿 「おおむたっ子」

- おお** 大きな夢を抱き未来を創る児童生徒
- む** 難しいことにもねばり強く取り組む児童生徒
- た** たくましい心と体を備えた児童生徒

#### 重点事業

- ・未来を創るE S D推進事業
- ・英語教育のまち・O M U T A推進事業
- ・学校I C T活用推進事業
- ・「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業
- ・子ども大牟田体力検定推進事業
- ・人権・同和問題啓発事業

## 成果指標の令和3年度実績値

### 1 基本方針に係る成果指標

指標名	指標の概要	現状値 (H30年度)	目標値 (R3年度)	実績値 (R3年度)	達成度 (R3年度)
将来に向けて意欲をもって取り組もうとする中学3年生の割合	将来の夢や目標を持って努力していこうという生徒の割合(中学3年生へのアンケート)	78.6%	80.0% (毎年度維持)	82.8%	103.5%

### 2 主要施策の成果指標

基本施策	主要施策	指標名	指標の概要	現状値 (H30年度)	目標値 (R3年度)	実績値 (R3年度)	達成度 (R3年度)
I 未来を創る児童生徒を育成する特色ある教育の展開	1 ESDの推進	ESDを通じた地域や世界への貢献の意識	地域や世界のために頑張りたいという児童生徒の割合(小学5年生・中学2年生へのアンケート)	89.7%	90.0% (毎年度維持)	91.7%	101.9%
	2 郷土を愛する心の育成	郷土大牟田に対する興味・関心	郷土大牟田のことをもっと知りたいと思う児童生徒の割合(小学5年生・中学2年生へのアンケート)	89.0%	90.0% (毎年度維持)	90.8%	100.9%
	3 英語教育の充実	英語の授業の理解度	外国語科(英語科)の授業はよく分かると答えた児童生徒の割合(小学5年生・中学2年生へのアンケート)	84.2%	85.0% (毎年度維持)	85.3%	100.4%
	4 各学校における特色ある教育活動の推進	小中連携・小中一貫教育の取組実績	全小中学校において小中連携・小中一貫教育に関する事業を実施した回数の合計	62回	63回	77回	122.2%
II 子どもの個性や能力を伸ばし、可能性を広げる	1 確かな学力の育成	国語・算数(数学)の授業の理解度	国語・算数(数学)の授業がよく分かると答えた児童生徒の割合(小学5年生・中学2年生へのアンケート)	90.6%	90.0% (毎年度維持)	90.7%	100.8%
	2 豊かな心の育成	児童生徒の規範意識	人の気持ちがわかる人間になりたいと答えた児童生徒の割合(小学5年生・中学2年生へのアンケート)	95.6%	95.0% (毎年度維持)	95.2%	100.2%
	3 健やかな体の育成	児童生徒の体力向上の取組実績	子ども大牟田体力検定で自己の設定目標を達成した児童生徒の割合	—	70.0%	73.3%	104.7%
	4 特別支援教育の推進	特別支援教育支援員の配置効果	保護者・学校へのアンケートで、特別支援教育支援員の配置効果を認める割合	100%	100% (毎年度維持)	100%	100%
III 学校教育環境の充実	1 学校再編整備の推進	学校再編に対する地域の理解と協力	歴木中・白光中・田隈中・橘中・甘木中の5校を3校に再編することを目指し、R5年度に2つの学校再編協議会を設置(なお、もう1つはR7年度に設置)	—	—	—	—
	2 安全で快適な学校施設の整備	校舎トイレの洋式化率	市立学校の校舎トイレを洋式に改修した割合	61.5%	64%	66.4%	103.8%
IV 安心して学べ、地域とともにある学校づくり	1 安心して学べる学校づくり	児童生徒の学校生活への満足度	学校に行くのは楽しいと答えた児童生徒の割合(小学5年生・中学2年生へのアンケート)	89.3%	90.0% (毎年度維持)	90.7%	100.8%
	2 学校・家庭・地域の連携	学校教育活動へのゲストティーチャーの参加数	各学校の教育活動に対し、ゲストティーチャーとして支援をいただいた保護者や地域の方の延べ人数	1,898人 (H28~30年度平均)	1,900人	1,215人	63.9%
V 人権に関する教育・啓発の推進	1 人権・同和教育の推進	人権尊重意識の醸成度	人権・同和教育推進のための諸事業後の参加者アンケートで、開催テーマに対する理解及び認識が「深まった」「概ね深まった」と答えた人の割合	96.5%	100% (毎年度維持)	93.1%	93.1%

## 基本方針に係る成果指標の令和3年度達成状況

### 基本方針

#### 持続可能な社会を創る「おおむたっ子」の育成

児童生徒が持続可能な社会の創り手となれるよう、夢や目標に向かって意欲的に学ぶ力を育成するとともに、自ら課題を発見し、多様な人々と協働しながら主体的に解決する力を育成します。

そのため、持続可能な開発のための教育（E S D）や郷土愛をはぐくむ学習などの特色ある学校教育を展開するとともに、知育・徳育・体育のバランスが取れた教育を推進します。また、各学校が多様な教育活動を展開することができるよう、学校教育環境を充実させます。

### 成果指標の達成状況

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
将来に向けて意欲を持って取り組もうとする中学3年生の割合	目標値 (%)	80.0	80.0	80.0	80.0	現状値を踏まえ80%以上を目指します。 [現状値：78.6% (H30年度実績)]
	実績値 (%)	82.6	82.8			
	達成度 (%)	103.3	103.5			

### 指標達成度に対する要因分析

- ・ 成果指標のR3年度の実績値は82.8%となり、目標を達成することができました。その要因として、次のようなことが考えられます。
- ・ 児童生徒に「確かな学力（知）」、「豊かな心（徳）」、「健やかな体（体）」をバランスよく育むとともに、個性や能力を伸ばすため、各学校は、児童生徒の興味・関心や能力に応じた教育活動を展開し、教育委員会はその支援を行うとともに、様々な全市的事業に取り組みました。その結果、児童生徒それぞれが自己のよさを様々な場面で発揮でき、達成感を味わうことができたと考えられます。
- ・ これまでに本市は、国連が定めたSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けたE S D（持続可能な開発のための教育）の深化を図ってきました。各学校は、学校の特色や児童生徒の発達段階に応じ、E S Dで重視する「自ら考え行動する」児童生徒の育成を目指した教育活動を展開しました。教育委員会は、各学校の支援を行うとともに、E S Dに関する全市的事業に取り組みました。その結果、児童生徒は、仲間と協力して学ぶことを通して様々なことに挑戦する勇気と価値を体得し、目標に向けて頑張ったことによる達成感を味わうことができたと考えられます。
- ・ 各学校では、児童生徒の発達段階に応じて、系統的なキャリア教育に取り組んでいます。児童生徒が未知の知識や体験に関心を持ち、仲間と協力して学ぶことを通して様々なことに挑戦する勇気と価値を体得することによって、生涯にわたって学び続ける意欲を維持する基盤をつくることができます。地域の方々と連携した「職業調べ」「職業講話」「高校調べ」「オープンキャンパスへの参加」等の啓発的体験を行い、児童生徒が自己実現のための意欲を持つことができるようにしています。

## 今後の方向性

- ・これまでの継続的な取組の結果がR3年度目標の達成につながったと考えられることから、今後も、知・徳・体のバランスが取れた教育を推進するとともに、本市の特色ある教育の充実を図ることにより、児童生徒が達成感を味わい、新たな目標と将来に向けた意欲を持つことができるようにします。また、児童生徒の発達段階に応じて、系統的なキャリア教育に取り組みます。
- ・自ら課題を発見し、多様な人々と協働しながら主体的に解決する力を育成するために、各学校が特色ある教育活動を展開することによって、児童生徒一人ひとりが自己のよさを発揮し、目標を持って主体的に学ぶことができるよう支援します。
- ・児童生徒が、夢や目標に向かって意欲的に学ぶ力を育成するために、地域の方々と連携した「職業調べ」「職業講話」「高校調べ」「オープンキャンパスへの参加」等の啓発的体験を継続して推進し、児童生徒が自己実現のための意欲を持つことができるようにしていきます。
- ・本施策を構成する事業の重点化を図り、効果的・効率的に取り組めます。

## 令和3年度重点事業

施策体系		事業名	ページ
基本施策	主要施策		
I	1	未来を創るE S D推進事業	14
I	3	英語教育のまち・OMUTA推進事業	16
I	4	学校ICT活用推進事業	18
II	2	「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業	19
IV	1		
II	3	子ども大牟田体力検定推進事業	21
V	1	人権・同和問題啓発事業	22

# 令和3年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：学校教育課指導室)

事業名	未来を創るESD推進事業（23ページを参照）	
	基本施策：I 未来を創る児童生徒を育成する特色ある教育の展開	
	主要施策：1 ESDの推進	

**目的**  
本市の特色あるSDGs（持続可能な開発目標）／ESD（持続可能な開発のための教育）の取組をさらに発展・拡充させ、持続可能な社会の創り手としての児童生徒の育成を目指します。また、ESDの先進都市・交流拠点都市として、SDGs／ESDを市全体に広めるとともに、「SDGs／ESDのまち・おおむた」を全国や世界に発信します。

**事業内容**

- 「大牟田市ユネスコスクールの日」（1月17日）の制定と「ユネスコスクール・ESDのまち おおむた宣言」を記念する「ユネスコスクールSDGs／ESD子どもサミット」を開催し、児童生徒による学習成果の発表や他地域の学校との交流を行います。また、「大牟田市ユネスコスクール週間」の期間中に各学校が行うESDの学習発表会等を支援します。
- 各学校のSDGs／ESDの充実を図るため、次のことに取り組みます。
  - 各学校が行う世界遺産学習、環境学習、福祉学習、国際理解学習等の教育活動、全国や世界のユネスコスクールとの交流活動の充実を支援します。
  - 市立学校の児童生徒を対象に、自然体験などのESD体験講座を開催し、体験を通して主体的に考え行動する態度を育成します。
- 学校教育において、地域のSDGsの達成に貢献しつつ、全国レベルで持続可能なESDの推進体制を構築するため、次のことに取り組みます。
  - 先進的にESDに取り組んでいる全国各地の教育委員会の参画により創設した「SDGs／ESD教育委員会コンソーシアム」と連携し、「ユネスコスクール・SDGs／ESD教育委員会サミット」・「ユネスコスクール・SDGs／ESD全国フォーラム in おおむた」を開催するなど、ESD推進のための政策的支援の枠組み作りを進めます。
- 国際連合大学（以下「国連大学」といいます。）が認定・推進する地域のESDの拠点である「RCE」（Regional Centre of Expertise on ESD）として、次のことに取り組みます。
  - 国連大学と連携し、SDGs／ESD関係者を対象とする研修会を開催します。
  - 国内及び世界のRCEとの交流を進めます。
- 市民を対象とする講演会、各種講座、展示会等を開催し、SDGs／ESDに対する理解を促進します。
- 啓発リーフレットや各学校の実践事例集の作成・配布、ホームページやSNSの活用等を通して、全国や世界に向けて本市のSDGs／ESDの取組を発信します。あわせて、市民向けの啓発（「広報おおむた」へのSDGs／ESD特集記事の掲載等）を行います。

指標名	目標値等	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
ESDを通じた地域や世界への貢献の意識	目標値 (%)	90.0	90.0	90.0	90.0	地域や世界のために頑張りたいと答えた小学5年生と中学2年生の割合（H30年度実績・89.7%）を、毎年度90%以上を維持することを目標とします。
	実績値 (%)	91.0	91.7			
	達成度 (%)	101.1	101.9			

**取組実績**

- 5月の定例校長会で「ユネスコスクール・SDGs／ESD子どもサミット」での学校の発表について周知し、発表校の募集を行ったところ、小学校4校、中学校1校の応募がありました。R4年1月15日（土）の大牟田文化会館での開催に向け準備を進めましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送りました。そこで、児童生徒の発表を学校で収録してDVDを作成し、全学校に配布して情報共有を図るとともにESDの活動に関する理解を深めました。
- 各学校のユネスコスクール・ESDの充実を図るため、次のことに取り組みました。
  - 各学校では、学校の特色に応じたESDのテーマを設定して、特色ある教育活動を展開しました。学校からの要請に応じ、校内研修に指導主事を派遣し、ESDに係る理論研修や実践のポイント等について指導助言を行いました。
  - 5月29日（土）に延命公園においてESD体験講座（環境学習）「ネイチャースクール」（1回目）を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。2回目は11月6日（土）に開催し、22人の児童が参加しました。
- 学校教育において、地域のSDGsの達成に貢献しつつ、全国レベルで持続可能なESDの推進体制を構築するため、次のことに取り組んでいます。
  - 全国各地で先進的にESDに取り組んでいる教育委員会の参加による「ユネスコスクール・SDGs／ESD教育委員会サミット」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。他方、「ユネスコスクール・SDGs／ESD交流会」は、当初の8月の予定を延期し、11月20日（土）に開催しました。

当日は、学校、市役所関係者、企業、各種団体等が、大牟田の未来について語り合うとともに、目指す未来に向けた取組について協議し合い、SDGsの達成を目指したESDの充実について学び合いました。

市内の学校においてESDの中核となる指導的教員の養成を図る「ESDマスターティーチャー講座」を7月29日(木)、R4年3月4日(金)に開催し、17人が受講しました。

- 4 国際連合大学(国連大学)との連携による「ESDの深化と広がり」を通してSDGsの達成への貢献を目指し、次のことに取り組みました。
  - (1)「ユネスコスクール・SDGs/ESD子どもサミット」に国連大学関係者やSDGs/ESD関係者を招き、本市の取組について指導助言を受ける予定でしたが、子どもサミットの開催を見送ったことから、次年度に延期しました。
  - (2)日本国内のRCE団体(本市を含む8団体)との情報交換を随時行いました。また、R4年2月15日(火)に開催された日本国内RCE事務局会議(オンライン会議)に参加しました。
- 5 各種団体の会合等に指導主事が随時出向き、SDGs/ESDについて講話を行いました。また、校区まちづくり協議会の会合等に指導主事が出向いて講話を行いました。
- 6 ホームページやSNS等により、随時、本市のESDの取組を紹介しました。

決 算		国	県	起債	その他	一般財源
決算額	935 千円					935
(次年度への繰越)	千円)					

#### 問題点及び課題

各学校のESDをリードしていく教員を今後も養成するとともに、市民団体や地元企業等との連携を図り、各学校が重点とするSDGsの達成を目指したESDの充実を図っていく必要があります。

#### 今後の方向性(具体策)

「大牟田版SDGs(Ver.2)」を参考に各学校が目指すSDGsを重点化するとともに、学社連携を推進し、その取組を「ユネスコスクール・SDGs/ESD交流会」や「ユネスコスクール・SDGs/ESD子どもサミット」で共有し、学習の充実を図ります。

#### 評 価

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、オンライン等を活用して、事業を展開することができ、成果も上がっています。今後も各学校の特色を踏まえたESDの充実を図るとともに、本市のSDGs/ESDの取組を国内外に発信していきます。

# 令和3年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：学校教育課指導室)

事業名	英語教育のまち・OMUTA推進事業（27ページを参照）	
	基本施策：I	未来を創る児童生徒を育成する特色ある学校教育の展開
	主要施策：3	英語教育の充実

**目的**  
 児童生徒が英語を実践的に使う機会を設けることで、英語が世界中の人々とコミュニケーションをとる有効な手段であることを実感できるようにするとともに、外国の言語や文化について理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成します。また、取組を広く全国に発信し、「英語教育のまち・OMUTA」をPRします。

- 事業内容**
- 各小学校が夏季休業期間中に6年生を対象に実施する「イングリッシュ・サマースクール」に「イングリッシュ・アドバイザー」を派遣し、学習の充実に支援します。
  - 実用英語技能検定（英検）5級の合格を目指す小学生と英検3級の合格を目指す中学生を対象に、「英検チャレンジスクール」を開催し、英語を「聞く」「話す」「読む」「書く」学習を支援します。
  - 英検5級の受験を希望する小学生と英検3級の受験を希望する中学生に検定料の一部を補助します。
  - 各学校の英語教育の発表の場「オオムタ・E1グランプリ」を開催し、小学生コンテスト（スキット（寸劇））と中学生コンテスト（スピーチや暗唱）を行い、優れた発表者を表彰します。
  - R2年度に「スーパー・イングリッシュ・スクール」に指定した小・中学校各1校において、両校の連携のもと、新学習指導要領を踏まえた先進的な英語教育の研究と実践を進めます。
  - 小学校において、大牟田市動物園を活用した特色ある英語教育を実践するとともに、全国に発信します。
  - 児童生徒向けの「イングリッシュ・エクスペリエンス」（英語体験）学習コンテンツを作成し、実践に役立つ「生きた英語」を学ぶことができるようにします。
  - 授業づくりの理論と実践、英会話等に関する教職員研修を実施します。
  - 本市の英語教育の取組を教育委員会ホームページや「広報おおむた」等に掲載するなどにより、保護者や市民等への情報発信の充実に図ります。

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
英語の授業の理解度	目標値 (%)	85.0	85.0	85.0	85.0	外国語（英語）科の授業はよく分かると答えた小学5年生と中学2年生の割合（H30年度実績・84.2%）を、毎年度85%以上を維持することを目標とします。
	実績値 (%)	88.0	85.3			
	達成度 (%)	103.5	100.4			

- 取組実績**
- 夏季休業期間中に各小学校で5日間の「イングリッシュ・サマースクール」を開催しました。英語の指導のサポートを行う「イングリッシュ・アドバイザー」を各小学校に派遣し、5・6年生の外国語科の授業で、英語を「聞く」「話す」「読む」「書く」の学習の充実に図りました。
  - 英検に関心がある児童生徒を対象に、「英検チャレンジスクール」を2回（7月10日（土）・8月5日（木））開催しました。小学校5・6年生58人、中学校2・3年生22人が参加し、イングリッシュ・アドバイザーの指導を受けながら、「聞く」「話す」「読む」「書く」の問題に挑戦しました。
  - 英検検定料の一部補助を行うことについて、5月に学校を通して対象児童生徒に周知を行い、小学5・6年生の英検5級と中学2・3年生の英検3級の受験希望者を募集しました。小学生176人と中学生86人が応募し、10月に各学校を会場に1回目の英検を受験しました。また、1回目に受験しなかった児童生徒を対象に、2回目の英検の受験希望者を11月に募集し、小学生65人、中学生16人が1月に受験しました。
  - 6月に小学校と中学校に対し、「オオムタ・E1グランプリ」への参加を募集し、小学校から9チームの、中学校から5チームの応募がありました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、文化会館を会場に実施を予定していた各学校の発表は行わず、各学校が作成し提出した動画を審査の対象とし、表彰しました。
  - 「スーパー・イングリッシュ・スクール」に指定した明治小学校において、R2年度から教科となった外国語科についての研究を行いました。10月25日（月）には、琉球大学の大城賢名誉教授を講師として招へいし、5年生の授業を公開して、拡大校内授業研修会を実施しました。また、同じく指定した白光中学校では、R3年度から導入したデジタル教科書を活用した公開授業研修会を実施しました。
  - 大牟田市動物園と小学校（明治小学校）が連携し、11月4日（木）に現地で、園内の動物について英語で紹介したり案内したりするなど、子どもの興味関心を活かした英語教育を行いました。
  - 児童生徒向けの「イングリッシュ・エクスペリエンス」（英語体験）学習コンテンツの内容を検討しましたが、検討の過程で、「子供の学び応援サイト～学習支援コンテンツポータルサイト～」（文部科学省）や「NHK for School」等の既存のコンテンツを活用することでも、実生活で活用する英語を身に付ける

ことができると判断し、学習コンテンツの作成はしませんでした。

8 8月23日(月)に、小・中・特別支援学校の教職員を対象とした、新学習指導要領による外国語科・英語科指導と評価、小中連携した取組の推進に関する理論研修会を外国語講師を招へいして実施しました。また、小学校では、夏季休業期間中にイングリッシュ・アドバイザーによる英会話講座を実施した学校もあるなど、英語を使う実践力の向上を図りました。

9 本市の英語教育の取組を教育委員会ホームページやSNS等で随時紹介するなど、保護者や市民への情報発信を行いました。

決 算		国	県	起債	その他	一般財源
決算額	891 千円					891
(次年度への繰越	千円)					

#### 問題点及び課題

学習指導要領の全面実施に合わせた学習活動の充実を図り、英語を使う実践力の向上が必要です。また、英検検定料の一部補助の継続を含め、児童生徒の興味・関心に応じた学習機会を継続的に提供することが必要です。

#### 今後の方向性(具体策)

学習指導要領の全面実施と合わせ、小学校段階での英語を「読む」「書く」の学習が充実するよう、学習展開の充実を図ります。また、ニーズが多かった「英検チャレンジスクール」の開催、英検検定料の一部補助について取組を継続します。

#### 評 価

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、必要に応じて事業内容・方法等を工夫して実施でき、成果も上がっています。今後も、児童生徒の英語を使う実践力の向上に向けて事業の充実を図っていきます。

# 令和3年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：学校教育課指導室)

事業名	学校ICT活用推進事業（29ページを参照）	
	基本施策：I	未来を創る児童生徒を育成する特色ある学校教育の展開
	主要施策：4	各学校における特色ある教育活動の推進

**目的**  
 国の「GIGAスクール構想」に基づいて整備した児童生徒1人1台の端末や高速通信ネットワーク等を効果的に活用し、学習活動の一層の充実と主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を図ることにより、児童生徒の学習への興味・関心を高めるとともに、創造性を育みます。

**事業内容**

- 小・中学校各1校のICT活用推進校を指定（R3年度からR5年度までの3年間の予定）し、各推進校において、小中一貫教育（小・中学校9年間を見通した教育課程の編成）の観点を踏まえながら、1人1台端末等のICTの効果的な活用等に関する先進的な研究を行うとともに、研究の成果と課題を各学校で共有し、各学校の授業改善を図ります。
- 指導者用及び学習者用のデジタル教科書（国語・算数）を小学校全学年に導入するとともに、授業等で効果的に活用されるよう支援します。
- 各学校の教職員を対象に、各教科等の指導における1人1台端末等のICTの効果的な活用に関する研修会を開催し、指導スキルの向上と主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図ります。

指標名	目標値等	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
推進校における研究授業の回数	目標値 (%)	—	4	4	6	小・中各1校の推進校において、ICTを活用した研究授業を、事業進捗に応じて実施するものです（R3・R4年度は各校年2回（合計4回）、R5年度は研究発表会を含めて各校年3回（合計6回）実施）。
	実績値 (%)	—	5			
	達成度 (%)	—	125.0			

**取組実績**

- 大牟田GIGAスクール推進校に指定した銀水小学校、田隈中学校において、タブレット端末を活用した校内研修会を実施し、授業での効果的な活用について教職員が学びを深めました。まず、銀水小学校において、6月17日（木）に講師を招き、授業研修会を実施しました。また、新型コロナウイルス感染症拡大のため臨時休業等が長期化した場合に対応できるよう、9月27日（月）に手鎌小学校において、タブレット端末を活用したオンライン学習等に係る研修会を実施しました。さらに、11月12日（金）に銀水小学校において、講師を招き、ICT機器を活用した研究発表会を実施しました。
- 各学校で、学年の実態に応じて、指導者用及び学習者用のデジタル教科書を効果的に活用して授業の充実を図りました。また、学習者用のデジタル教科書の活用については、情報担当者研修会の中で、教員同士で実際に操作しながら授業での効果的な活用方法について学び合いました。
- 「学校ICT活用推進大牟田モデルの手引き」を年度当初に全教職員に配布し、各学校で活用しました。夏季休業期間中には、教職員ICT研修会として、講師を招き、タブレット端末等の授業での効果的な活用について研修を深めました。各学校では、ICT機器の操作に慣れた若手の教職員が自主的に授業を公開したり、自らが講師となって具体的な操作方法等の研修会を行ったりしました。また、研修内容により、学校からの要望に応じて講師を派遣するなどの支援を行いました。

決算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 （次年度への繰越）	12,563 千円				12,563 千円

**問題点及び課題**  
 教職員の間でICT活用に係るスキルの習熟度に差が見られるため、タブレット端末等の効果的な活用について研鑽を積む必要があります。

**今後の方向性（具体策）**  
 ICTを活用した研修会を実施し、アプリの特性を生かした機器を活用できる教職員を増やすとともに、スキルの向上を図り、個別最適な学びを進めていくツールとしてタブレット端末等が活用されるようになります。また、ICTの活用促進を通して教員の負担軽減を図るための啓発も進めます。

**評価**  
 本事業の実施前より各学校でタブレット端末等を使った学習が進められ、教職員や児童生徒の操作技術等が向上しました。今後も引き続き、学校のニーズが高かったICT機器を活用した授業を行うための研修等を実施していきます。

# 令和3年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：学校教育課指導室)

事業名	「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業（35・50ページを参照）	
	基本施策：Ⅱ	子どもの個性や能力を伸ばし、可能性を広げる
	主要施策：2	豊かな心をはぐくむ
	基本施策：Ⅳ	安心して学べ、地域とともにある学校づくり
	主要施策：1	安心して学べる学校づくり

**目的**  
児童生徒が日常的にいじめや不登校の問題を考えたり仲間づくりを推進したりすることで、「いじめを許さない・いじめのない学校づくり」や「みんなが笑顔で登校する学校づくり」に関する考えを深め、「思いやり・親切」のある楽しい学校生活、豊かな人間関係づくりを推進します。

**事業内容**

- 児童会・生徒会の代表児童生徒が集う「児童会・生徒会リーダーミーティング」を年2回（夏と冬）開催します。夏は中学校区ごとに、冬は全学校が一堂に会して開催し、「思いやり・親切」に係る各学校の取組の交流、良好な活動事例の全学校での共有、共通して実践する内容の採択等を行います。
- 「思いやり・親切」に係る各学校独自の取組や全学校共通の取組に対する支援を行います。
- 6月と10月を「思いやり・親切」に係る重点月間とし、全学校において次のような取組を行います。
  - 5月に各学校の児童会・生徒会において楽しい学校づくりの取組を話し合い、学校の取組を決定するとともに、友だちを大切に作るポスターや標語の募集を開始します。
  - 10月に各学校の児童会・生徒会において楽しい学校づくりの取組の振り返りを行い、友だちへの関わり方の良かった児童生徒を紹介したり、認め合ったりする活動を行います。
  - 各学校で募集が行われた標語とポスターについては、10月に優れた作品を表彰します。また、学校代表の「友だち応援隊」については、1月の「大牟田地域教育力向上推進大会」で取組を紹介します。
- 各学校の児童会・生徒会が中心となって取り組む次のような広報啓発活動に対する支援を行います。
  - 楽しい学校づくりの実践を紹介するチラシやポスターの作成・配布等
  - 保護者や地域住民に向けた情報発信

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
友だちを大切に作る意識	目標値	3.7	3.7	3.7	3.7	学校生活アンケート（1～4の4段階で評価）での「友だち関係」の項目のH30年度の平均値3.7ポイント（小学5年生と中学2年生が対象）を毎年度上回ることを目標とします。
	実績値	3.72	3.74			
	達成度（%）	100.5	101.1			

**取組実績**

- 7月から8月にかけて、中学校区単位で1回目の「児童会・生徒会リーダーミーティング」を開催し、児童会・生徒会の代表児童生徒が、挨拶運動やメルシーアーチに係る取組の交流や「思いやり・親切」についての意見交換を行いました。2回目の「児童会・生徒会リーダーミーティング」も中学校区単位で12月から1月上旬に開催し、各学校の8月以降の児童生徒主体の「思いやり・親切」に係る取組の交流と1月以降の取組について話し合いを行いました。
- 6月に児童会・生徒会担当者会を開催し、「思いやり・親切」に係る各学校の取組について情報の共有を行うなどして、各学校の児童生徒主体の取組の充実を図りました。
- 重点月間（6月と10月）には、次の取組を行いました。
  - 6月には、各学校の児童会・生徒会において「思いやり・親切」のある楽しい学校づくりの取組を決定し、具体的な取組を開始しました。また、各学校に対して「思いやり・親切」に係るポスターと標語の募集を行いました。
  - 10月には、これまでの取組の振り返りを行うとともに、特に友だちへの関わり方の良かった児童生徒（個人やグループ等）を紹介し、お互いに認め合う活動を行いました。
  - 各学校で募集が行われた標語とポスターの審査を9月下旬に行い、10月25日（月）に優れた作品を表彰しました。
- 各学校では、1月から2月にかけて、児童会・生徒会による自校の「思いやり・親切」の取組を紹介するチラシやポスターを作成し配布しました。

決算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 (次年度への繰越)	100 千円 千円)				100

<p><b>問題点及び課題</b></p> <p>コロナ禍でも、市全体の共通実践を採択し、実践の成果と課題を共有する仕組み作りが必要です。</p>
<p><b>今後の方向性（具体策）</b></p> <p>小中連携の枠組みを生かして、地域の実態をふまえ、中学校区ごとの取組を進めるとともに、校区ごとの取組を市全体で共有し、その上で、市全体の共通実践を採択する仕組みを構築します。そして、この共通実践を各学校で更に具体化することで、取組の充実を図っていきます。また、各学校が保護者や地域に向けて積極的に情報発信するよう支援を継続していきます。</p>
<p><b>評 価</b></p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、必要に応じて事業内容・方法を工夫して実施し、かつ、中学校区ごとの取組により、児童生徒の実態をふまえたものとなっており、成果も上がっています。今後も、「思いやり・親切」のある楽しい学校づくりに向けて事業を実施していきます。</p>

# 令和3年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：学校教育課指導室)

事業名	子ども大牟田体力検定推進事業（37ページを参照）				
	基本施策：Ⅱ 子どもの個性や能力を伸ばし、可能性を広げる				
	主要施策：3 健やかな体をはぐくむ				

<b>目的</b>
児童生徒が主体的・日常的に運動に取り組み、体力を向上させるとともに、健康な生活の実践への興味・関心を持つことができるようにします。

<b>事業内容</b>
<ol style="list-style-type: none"> <li>5月に「体力向上チャレンジカード」と「検定カード」を全児童生徒に配布し、日常的に運動に取り組めるようにします。</li> <li>全ての学校において、年間2回（1回目：6月から12月、2回目：1月から2月）の子ども大牟田体力検定を実施します。児童生徒の到達度合いに応じ、体力認定証を配布します。</li> <li>小・中学校体育科研究会と連携して、8月に全小・中学校の児童生徒の体力テストの結果（各学校5月から7月に実施）を分析し、必要に応じて9月以降の体力検定の行い方や内容を見直すとともに、2月に次年度の体力検定の行い方や種目等の検討を行います。</li> </ol>

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
児童生徒の体力向上の取組み実績	目標値 (%)	63.0	63.0	63.0	63.0	運動を大切に思うと答えた小学5年生と中学2年生の割合(H30年度実績:62.2%)を毎年度上回ることを目標とします。
	実績値 (%)	64.8	68.7			
	達成度 (%)	102.9	109.0			

<b>取組実績</b>
<ol style="list-style-type: none"> <li>5月に「体力向上チャレンジカード」と「検定カード」を全児童生徒に配布しました。各学校では、学校の実態に応じて、「体力向上チャレンジカード」を活用し、児童生徒の1日15分以上の運動実施の定着を奨励しました。また、体育の時間や朝の時間、昼休みの時間等に「検定カード」を活用し、個人縄跳びや集団縄跳びに挑戦する場を設け、児童生徒が自己の記録の伸びを実感しながら、敏捷性や全身持久力などの体力の向上を図るようにしました。</li> <li>5月に各学校に対し、学校の実態に応じて年2回の子ども大牟田体力検定を実施するよう周知しました。小学校の検定種目は、全校共通で個人縄跳びと集団縄跳びを取り上げています。中学校の検定種目は、より多くの生徒が参加しやすいよう、学校や生徒の実態に応じて、集団縄跳び、全校リレー、10分間持久走などを検定種目に取り上げ、それぞれ目標値を設定し、実施するようにしました。3月に、各学校からの体力検定に係る児童生徒の到達度合い（体力の認定）の報告に基づき、学校を通して児童生徒に認定証を配布しました。</li> <li>8月に小・中学校体育科研究会と連携し、児童生徒の体力テストの結果を踏まえた体力検定の行い方や内容について確認を行いました。小学校体育科研究会では、10月10日（日）の「スポーツ市民の祭典」で実施された集団縄跳びに合わせて、各小学校での取組を一層奨励していくことを確認しました。中学校体育科研究会との検討では、R2年度の取組を継続し、各中学校の実態に応じて種目の選定を行い、生徒の運動の習慣化を図ることを確認しました。2月にR3年度の取組の検証を行い、次年度の体力検定の行い方や種目等の改善を図りました。</li> </ol>

<b>決算</b>	<b>国</b>	<b>県</b>	<b>起債</b>	<b>その他</b>	<b>一般財源</b>
決算額 (次年度への繰越)	108 千円 千円)				108

<b>問題点及び課題</b>
小・中学校において、子ども体力検定に係る取組を通して、運動の喜びや楽しさを味わわせ、さらなる運動の習慣化を図る必要があります。また、中学校においては、各学校の実態に応じた取組の工夫を継続していく必要があります。

<b>今後の方向性（具体策）</b>
小学校においては、運動の習慣化に取組を重点化し、運動の喜びや楽しさを味わわせるため、「体力検定チャレンジカード」の活用の充実を図ります。中学校においては、各学校の体力に係る実態に応じて、学校独自の取組を重点化し、目標達成に向けた取組を継続していきます。

<b>評価</b>
新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、必要に応じて事業内容・方法等を工夫して実施でき、成果も上がっています。今後も、児童生徒の体力向上に向けて事業を実施していきます。

# 令和3年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：人権・同和教育課)

事業名	人権・同和問題啓発事業（58・59ページを参照）
	基本施策：V 人権に関する教育・啓発の推進
	主要施策：1 人権・同和教育の推進

**目的**  
 人権・同和問題に対する理解と認識は、未だ十分とは言えません。学校、家庭、地域、職場など日常生活のあらゆる場を通して、市民一人ひとりが人権・同和問題を自らの課題として捉え、人権・同和問題に対する理解と認識を深めながら、「差別をしない」から「差別をなくす」取組を進めていくことにより、一人ひとりの人権が尊重される社会の実現を目指します。

**事業内容**  
 「第2次大牟田市人権教育・啓発基本計画」に基づき、市民の人権・同和問題に対する理解と認識を深めるための学習・啓発事業を実施します。  
 1 福岡県同和問題啓発強調月間（7月）の趣旨を踏まえて、「人権・同和教育講演会」を開催します。  
 2 福岡県同和問題啓発強調月間（7月）及び人権週間（12月）の期間中に市内商業施設等において、市・県関係者、人権擁護委員等による人権啓発のための街頭啓発活動を実施します。  
 3 人権意識の向上のため、地区公民館等において「人権学習会」を開催します（4回を予定）。  
 4 職場で行われる研修会等に講師を派遣するほか、ホームページにより各種啓発事業や地域や職場での学習を支援するための啓発資料（DVDや図書等）の案内を行うとともに、「広報おおむた」や「愛情ねっと」等に啓発記事や啓発事業の案内を掲載するなど、情報提供の充実を図ります。

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
人権尊重意識の醸成度	目標値(%)	100	100	100	100	諸事業の参加者アンケートで、開催テーマに対する理解及び認識が「深まった」「概ね深まった」と全ての人に回答していただくことを目指します。 (H30年度に実施した諸事業の参加者アンケートでの回答割合96.5%を踏まえて設定。)
	実績値(%)	93.4	93.1			
	達成度(%)	93.4	93.1			

**取組実績**  
 1 福岡県同和問題啓発強調月間（7月）にあわせて、7月17日（土）に労働福祉会館において、山口県人権啓発センター事務局長の川口泰司さんを講師に招き、「ネット人権侵害と部落差別の現実～コロナ禍で問われていること～」と題して、人権・同和教育講演会を開催したところ、114人の参加があり、人権尊重意識の醸成度は97.4%でした。  
 2 福岡県同和問題啓発強調月間中の7月9日（金）及び人権週間の12月3日（金）に、ゆめタウン大牟田において、市長・教育長はじめ市・県関係者及び人権擁護委員等による人権啓発のための街頭啓発活動を実施しました。  
 3 人権・同和問題に対する正しい認識と理解を深めるため、1月から2月にかけて、地区公民館等の4会場において人権学習会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。  
 4 啓発用DVDについては貸出しを29件行い、地域や職場での研修に活用されました。また、7月の同和問題啓発強調月間の周知及び事業案内については、「広報おおむた」、市ホームページのほか、「愛情ねっと」、フェイスブックを活用し、周知・啓発を図りました。企業等の職場における研修会には、21回講師を派遣し、1,390人の参加がありました。

決算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 (次年度への繰越)	319 千円 千円)		137		182

**問題点及び課題**  
 人権や同和問題等に対する理解と認識を深めるためには、初めて参加する人の割合を増やすことが重要となってきます。講演会等のアンケート結果において、初めて参加した人の割合は、人権・同和教育講演会は13.8%、人権連続講座では8.3%となっており、参加者が固定化している状況が見られます。

**今後の方向性（具体策）**  
 諸事業を開催するには、その趣旨を踏まえ、深く掘り下げた内容とする一方、誰もが気軽に参加でき、分かりやすく身近な問題をテーマとして、広く市民を対象として開催することも重要となってきます。そのためには、周知方法についても、広報おおむたや市ホームページのほか、愛情ねっと、公式LINE等を活用し、民生委員・児童委員協議会等の各種団体に直接働きかけを行うなど、広く周知、啓発していきます。

**評価**  
 R3年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため人権学習会が中止となりましたが、参加者アンケートによる醸成度については、人権・同和教育講演会や人権連続講座ともに、90%を超えており、講演会等の内容については参加者に伝わったものと思われまます。  
 今後も、一人ひとりの人権が尊重される社会の実現を目指して取り組んでいきます。

## 基本施策Ⅰ 未来を創る児童生徒を育成する特色ある学校教育の展開

持続可能な社会の創り手をはぐくむ教育であるE S Dをさらに推進するほか、英語教育の充実、世界遺産学習や海洋教育の推進、I C Tの活用、義務教育9年間を見通した小中一貫教育の一層の充実、学び直す教育の機会の確保などの特色ある学校教育を展開します。

### 主要施策1 E S Dの推進

持続可能な社会の創り手として、自分にできることについて考え、実践できる児童生徒を育成するため、ユネスコスクールである全ての市立学校において、世界遺産学習や、環境、国際理解、福祉などのE S Dを推進するとともに、市内外へのE S Dの普及・啓発に取り組みます。

#### 【主な事業】

##### ●未来を創るE S D推進事業〔指導室〕（14・15ページを参照）

##### ○人と未来と世界をつなぐ海洋教育推進事業〔指導室〕

- (1) 東京大学との連携による全国の海洋教育促進拠点等との交流  
東京大学と連携し、本市の海洋教育推進校（以下「推進校」）と九州・沖縄の海洋教育推進拠点の研究の交流を支援しました。
- (2) 推進校が行うカリキュラム開発等の研究の支援  
推進校の公開授業に指導主事を派遣したり、学習交流会に講師を招へいしたりする等の支援を行いました。
- (3) 推進校が行う公開授業や研究成果の発信、研究紀要の作成の支援  
推進校の公開授業や研究成果の発信・交流の支援や、推進校と九州・沖縄の海洋教育推進拠点の学校の児童生徒との学習成果の発表と交流「海洋教育こどもサミット2022 in おおむた」をR4年1月21日（金）にオンラインで開催しました。
- (4) 推進校と市内外の関係機関との連携の支援  
推進校が行う校外学習にゲストティーチャーを紹介する等、関係機関との連携を支援しました。
- (5) 教職員研修会の開催  
11月20日（土）に開催した「ユネスコスクール・SDGs／E S D交流会」において、「川・海の世界」をテーマの1つに設定し、教職員が市内の企業・団体、学生、市職員等の多様な参加者とワークショップを行い、子どもたちに育みたい力とそのために必要な学びなどについて協議しました。

##### ○ユネスコスクール支援センターを活用したE S Dの推進

「ユネスコスクール支援センター」に専属職員1名を配置し、関係機関等との連携、E S Dに関する資料収集を行うとともに、各学校へユネスコスクールの情報を発信しました。

## 【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
E S Dを通じた地域や世界への貢献の意識	目標値 (%)	90.0	90.0	90.0	90.0	現状値を踏まえ 90%以上を目指します。 [現状値：89.7% (H30 年度実績)]
	実績値 (%)	91.0	91.7			
	達成度 (%)	101.1	101.9			

## 【指標達成度に対する要因分析】

各学校は、SDGsの達成に貢献することを目指し、ESDの実践事例集や指導主事の指導助言、さらに、ユネスコスクール支援センターが提供する情報等をもとに、学校の特色や児童生徒の発達段階に応じてESDを推進しました。1月には、ESDの学習成果の発表の場である「ユネスコスクール・SDGs／ESD子どもサミット」や「大牟田市ユネスコスクールの日」の記念イベントにおいて、児童生徒は、自分たちの取組の意義やよさを実感することができました。

また、R3年度は、市内の教職員を対象に「ESDマスターティーチャープログラム」を実施したことで、ESD推進体制を整えるとともに、指導的立場の教職員の指導力の向上を図ることができました。

これらの取組を通して、児童生徒は、自分たちの取組が地域の人々やこれからの大牟田のまちづくりに役立っていることを実感でき、目標の達成に至ることができたと考えます。

## 【今後の方向性】

今後も、「ユネスコスクール・SDGs／ESD子どもサミット」や教職員研修会等を通して、市内並びに他地域との児童生徒や教職員の交流を推進するとともに、各学校や本市のSDGsの達成に向けたESDの取組に関する情報を市内外に向けて積極的に発信していきます。また、市民対象講座の開催や、企業・団体の会合等に出向いて説明することで、市民のSDGs／ESDに対する理解を促進する取組の充実を図っていきます。

さらに、先進的にSDGs／ESDに取り組んでいる全国の市町の教育委員会や教職員とのネットワークを拡充し、互いに学び合うことで、ESDの一層の充実を図っていきます。

## 主要施策 2 郷土を愛する心の育成

大牟田の歴史や世界遺産をはじめとする文化遺産、地域の伝統や自然についての主体的・協働的な学習を通して、児童生徒に、郷土を愛する心や自ら課題を発見し主体的に解決する力をはぐくむとともに、社会の形成に主体的に関わろうとする心情を醸成していきます。

### 【主な事業】

#### ○おおむた郷土愛育成事業〔指導室〕

(1) 子ども大牟田検定（入門編・基礎編・上級編）の実施

郷土大牟田のよさを児童生徒が知ることができるよう、大牟田の自然や文化、伝統などの「大牟田の宝もの」に関する子ども大牟田検定を2回実施しました。

また、1,927人の一般の市民（高校生を含む）も子ども大牟田検定を受検しました。

学校・学年		検定の種類	受検者数（人）	
			1回目（通算21回目） 9月6日（月）	2回目（通算22回目） R4年1月14日（金）
小学校	1・2年生	入門編	—	1,617
	3～6年生	基礎編	2,384	2,125
	5・6年生の希望する者	上級編	1,057	1,239
	合計		3,441	4,981
中学校	全学年（基礎編・上級編 のどちらかを選択）	基礎編	86	40
		上級編	2,119	2,097
	合計		2,205	2,137

※小学校5・6年生は、基礎編・上級編のどちらか1つだけ受検できる。

#### ○小中学生伝統文化等体験事業〔指導室〕

(1) 伝統文化体験事業

生涯学習課と連携し、音楽や総合的な学習の時間における伝統文化の学習において、学校へボランティア講師を派遣し、児童生徒の体験学習を支援しました。

(2) 各学校の読書活動における郷土出身作家作品の紹介・奨励

各学校が実施する読み聞かせ活動や読書祭り等の中で、本市出身の絵詞作家である内田麟太郎氏の作品を取り上げ、紹介する等の取組を行うよう周知を図りました。

### 【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
郷土大牟田に対する興味・関心	目標値（%）	90.0	90.0	90.0	90.0	現状値を踏まえ 90%以上を目指します。 〔現状値：89.0%（H30年度実績）〕
	実績値（%）	92.8	90.8			
	達成度（%）	103.1	100.9			

### 【指標達成度に対する要因分析】

各学校は、学校の特色に応じた郷土学習を実施しました。その中で、子ども大牟田検定の実施に向けて、「子ども大牟田検定ガイドブック」を授業や家庭学習でも取り上げたり、大牟田検定の過去の問題に取り組んだりするなどして、郷土学習の充実を図りました。教育委員会は、検定受検対象を広げ、小学校低学年を対象とした入門編検定を実施し、発達段階に応じた郷土

学習の充実に努めるとともに、小学校低学年児童には「がんばり賞」を、小学校中学年以上の児童生徒には各検定の結果に対して認定証を発行するなどの評価を行うことで、検定を通じた郷土学習への意欲付けを行いました。

その結果、児童生徒は、郷土大牟田のことをもっと知りたいと思う気持ちが高まり、目標値の達成に至ることができたと考えます。

### **【今後の方向性】**

今後も、子ども大牟田検定をはじめ、発達段階に応じた郷土学習の実施を進めていきます。また、伝統文化や本市出身の絵詞作家の作品に触れる機会の提供などを通して、さらに、郷土を愛し誇りに思う児童生徒の育成を図ります。

### 主要施策 3 英語教育の充実

全国に先駆けて取り組んできた本市の英語活動・外国語活動の成果を踏まえ、グローバル化の進展に対応できる人材の育成に向けて、英語教育のさらなる充実を図るとともに、市内外へ本市の取組を発信します。

#### 【主な事業】

●英語教育のまち・OMUTA推進事業〔指導室〕（16・17ページを参照）

#### ○外国語活動推進事業〔指導室〕

（1）小学校へのALT・LGT、中学校へのALTの派遣

小学校にALT（外国語指導助手）やLGT（外国語講師）を、中学校にALTを派遣し、授業や教職員研修の支援を行いました。また、外国語活動担当者を中心に、小学校外国語活動への対応や、小学校外国語活動から中学校の英語教育への小中連携についての教職員対象の各種研修会等を開催しました。

#### 【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
英語の授業の理解度	目標値（％）	85.0	85.0	85.0	85.0	現状値を踏まえ 85％以上を目指します。 〔現状値：84.2％（H30 年度実績）〕
	実績値（％）	88.0	85.3			
	達成度（％）	103.5	100.4			

#### 【指標達成度に対する要因分析】

重点事業である英語教育のまち・OMUTA推進事業の取組において、全小学校へのイングリッシュ・アドバイザーの派遣や「スーパー・イングリッシュ・スクール」に指定した明治小学校において、講師を招いて実施した拡大校内授業研修会や小中連携の研修会等により、小・中学校の英語教育の充実が図られました。また、「オオムタ・E1グランプリ」や「英語検定チャレンジスクール」の開催、英検受験の支援を行ったことで、児童生徒の英語学習に係る目的意識を高めることができました。

小・中学校の英語教育担当者を中心に、小中連携の各種研修会により担当者の指導力の向上が図られるとともに、小・中学校へのALTやLGTの派遣により児童生徒の英語を使う目的意識を高めることができました。

その結果、児童生徒は、英語を学習する目的意識を持つとともに、英語教育担当者の指導力の向上により授業の充実が図られ、目標値の達成に至ることができたと考えます。

#### 【今後の方向性】

各小学校が実施するサマースクールへの支援を継続するとともに、小学校段階での英語を「読む」「書く」の学習が充実するよう学習展開の充実を図ります。また、「英語検定チャレンジスクール」と「オオムタ・E1グランプリ」の開催（内容や方法の変更）、英検検定料の一部補助についての取組を継続します。

## 主要施策 4 各学校における特色ある教育活動の推進

児童生徒の実態や地域の実情に応じ、小学校と中学校の9年間を見通した教育活動の推進や、幼稚園・保育園と小学校、中学校と高等学校の連携、ICTの活用などを通じた学ぶ力の育成など、各学校における特色ある教育活動の推進を図ります。

### 【主な事業】

#### ○小中一貫校推進事業〔学校教育課ほか〕

##### (1) 小中一貫校（原則併設型）モデル校区における研究〔学校教育課〕

7月に宮原中学校区4校（宮原中、駛馬小、天の原小、玉川小）の校長及び教職員代表による先進校（宗像市立日の里中学校）視察を実施しました。また、8月には、宮原中学校区4校の全職員による拡大校内研修会を実施し、先進校視察の報告と次年度の教育課程編成に向けての研修会を実施しました。その後、宮原中学校区の9年間を見通した教育課程編成や校務分掌編成にも取り組みました。

さらに、「大牟田市小中一貫教育基本方針」案を作成し、パブリックコメントや校区まちづくり協議会等を通して、制度の導入について周知を図ったほか、中学校区ごとに、地域説明会を実施しました。このように、地域からの意見を丁寧に聞きながら「大牟田市小中一貫教育基本方針」の成案化を図りました。

##### (2) 小・中学校の9年間を見通した教育活動の推進〔指導室〕

各中学校区の小・中学校において、9年間を見通した教育活動を推進するため、授業づくりや生徒指導等に係る合同研修会、管理職・担当者ごとの情報交換連絡会などを開催しました。また、各小・中学校の研究担当者による小中合同の研修会として、4月には今後の方向性に関する研修会を、11月には授業公開による研修会を開催し、授業実践に関する情報交換を行うとともに研究を深めました。

さらに、R4年3月17日（木）に、小中合同で「学力向上実践交流会」を開催し、小中学校が連携して学力向上を図る授業づくりについて研修を行いました。

#### ○公立中学校夜間学級推進事業〔学校教育課〕

##### (1) 公立中学校夜間学級（夜間中学）の調査研究

9月（松原中学校区を主な対象とした「夜間中学講演会」）と11月（広く市民を対象とした「全国夜間中学キャラバン in 大牟田」）に学識経験者を招き、夜間中学に関する説明会・講演会を開催し、市民への周知を図りました。

さらに、9月13日（月）から10月29日（金）まで、潜在的入学希望者の把握を行うためのアンケート調査を実施しました（回収数4,016件）。このアンケート調査では、10人から、夜間中学への入学を希望、あるいは前向きに検討する旨の回答がありました。また、「夜間中学を知らせたい人が身近にいる」と答えた人が108人いるなど、潜在的入学希望者は一定程度存在していると考えられるという結果となりました。

その他、県教育委員会と設置に向けた協議を重ねました。

#### ○幼保・小連携の推進〔指導室〕

##### (1) 合同研修会、学校見学、体験授業、出前授業等の実施

小学校の授業を、関係する幼稚園・保育園の職員が参観したり、園児が小学校の授業や行事等に参加したりしました。

3学期に小学校に対して、幼稚園・保育園と小学校の情報の共有についての助言等を行いました。

## ○中学校の部活動の活性化〔指導室〕

### (1) 中学校連合音楽会の開催

10月7日(木)に大牟田文化会館において、各中学校がブラスバンド演奏を行いました。

## ●学校ICT活用推進事業〔指導室〕(18ページを参照)

## ○学校ICT活用運営支援事業〔学校教育課〕

(1) 各学校でのICTの活用が円滑に進むよう、業者委託により、タブレット端末等の操作支援や障害発生時の対応等(ヘルプデスク業務)を行うとともに、タブレット端末等の操作研修を実施しました。

## ○ICTを活用した学習機会の確保〔学校教育課〕

### (1) オンライン学習環境の整備

児童生徒が自宅でオンライン学習ができるようにするため、ウェブ会議システムライセンス、家庭にWi-Fi環境がない児童生徒への貸出用通信機器や健康観察アプリの購入等の学習環境の整備を行いました。

### (2) 特別支援学校高等部タブレット端末等整備

GIGAスクール構想により義務教育課程の児童生徒一人一台のタブレット端末を整備した中、大牟田特別支援学校の小学部・中学部・高等部において一貫した教育を推進するため、高等部の生徒一人一台のタブレット端末や大型提示装置を整備しました。

### (3) 大空間対応可能な機器の整備

各学校の体育館等の大空間において、授業、教職員研修、オンラインでの他校との交流、その他の学校行事等を行えるようにするため、プロジェクター及び大型スクリーンを整備しました。

## ○防災・減災教育推進事業〔指導室〕

### (1) 推進校における地域と連携した教育と研究

みなと小学校を防災・減災教育推進校に指定し、発災への備えに関する学習や避難訓練を実施しました。また、災害の背景にある地球温暖化についても、各教科等の学習を通して学びを深めました。さらに、令和2年7月豪雨が起きた7月6日を「防災の日」とし、地域の方々とともに防災について考える機会を設けました。

### (2) 教職員研修会の開催

6月1日(火)にみなと小学校において第1回防災・減災教育研修会を開催しました。市立学校の教職員47人が参加し、防災・減災教育の基本的な考え方や進め方について学び、理解を深めました。

11月29日(月)に同校において第2回防災・減災教育研修会を開催しました。「みなと校区の未来を考えよう」と題した公開授業などを通して、災害が起きたときに自ら考え、判断し、行動するためにはどうしたらよいか、児童と教職員が学びを深めました。

また、みなと小学校でリーフレットを作成して各学校へ配布し、研修の成果を広めました。

### 【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
小中連携・小中一貫教育の取組実績	目標値(回)	63	63	64	65	現状値を踏まえ 65 回以上を目指します。 [現状値:62回(H30年度実績)]
	実績値(回)	74	77			
	達成度(%)	117.5	122.2			

### 【指標達成度に対する要因分析】

中学校区ごとに、年間計画に基づき小中連携による全員参加の研修会や担当者による研修会が行われました。その結果、教育委員会が主催する小中合同の実践交流会において、小学校と中学校が活発に意見交換を行い、研修会が充実しました。

I C Tの活用については、先進的に研究を進めている銀水小学校において、タブレット端末等の授業での活用の仕方やI C Tを活用する効果など、理論面と実践面から小・中学校それぞれの研修会を実施したことで、研修を深めることができました。

### 【今後の方向性】

今後も、中学校校区ごとの研修会の定期的な実施と内容の充実を図るとともに、教育委員会が主催する各教科担当者会や教育講座等において、小中連携の視点を取り入れていきます。また、特に宮原中学校区においては、9年間を見通した教育課程の検討・作成を行っていきます。

I C Tの活用については、R 3年度から中学校においても推進校を位置付け、実践を進めながら拡大校内研修会等を実施し、情報交換等の機会を設け、研修の充実を図りました。また、必要に応じてヘルプデスクの人材を各学校へ派遣し、授業での活用等について教職員を支援します。

## 基本施策Ⅱ 子どもの個性や能力を伸ばし、可能性を広げる

「確かな学力（知）」、「豊かな心（徳）」、「健やかな体（体）」を児童生徒にバランスよくはぐくむとともに、その個性や能力を伸ばし、可能性を広げます。また、障害のある児童生徒一人ひとりの状態に応じ、具体的できめ細かな支援や指導の充実に努めます。

### 主要施策1 確かな学力の育成

児童生徒が意欲をもって主体的に学び、基礎的・基本的な知識及び技能とそれらを活用する力を確実に身に付けることができるよう、一人ひとりの学力の状況に応じたきめ細かな指導の充実に努めます。

#### 【主な事業】

##### ○教育研究事業〔指導室〕

###### (1) 国、県、市の指定研究

県、市等の研究指定校で学習指導要領の趣旨に沿った指導内容・方法に関する実践的な研究に取り組み、その結果を各学校に広げました。

市研究指定校（研究指定は3年間で、3年次に発表会等を開催）

学 校 名	研 究 主 題	教科・領域等
銀水小学校 （3年次）	自ら働きかけ生き生きと学ぶ児童の育成 ～プログラミング体験を位置付けた活動構成の工夫を通して～	プログラミング 教育
宮原中学校 （3年次）	持続可能な社会を創造する資質・能力の育成 ～ホールスクールアプローチを取り入れた教育活動を通して～	E S D、総合的 な学習の時間
大正小学校 （2年次）	主体的に学び、未来を拓く子どもを育てる小中一貫教育 ～小小・小中をつなぐカリキュラムの工夫を通して～	各教科等
宮原中学校区 （2年次）	小・中9か年を見通した教育課程の創造 ～志をもち自ら考え行動できる児童生徒の育成～	小中一貫教育
吉野小学校 （1年次）	持続可能な社会について自分の考えを持ち行動する児童の育成 ～3つの対話を位置付けた課題解決活動の工夫を通して～	E S D、総合的 な学習の時間
田隈中学校 （1年次）	自ら考え表現できる生徒を育成する学習指導 ～I C Tを効果的に位置付けた授業づくりを通して～	各教科等

###### (2) 教育調査（標準学力検査等）

基礎基本の確実な定着を図る教育課程の編成と実施のため、教育調査を行いました。

- ①全国学力・学習状況調査（調査対象 小6：国語・算数、中3：国語・数学）
- ②全国体力・運動能力、運動習慣等調査（調査対象 小5、中2）※本市は全学年で実施
- ③福岡県学力状況調査（調査対象 小5：国語・算数、中1・2：国語・数学）
- ④大牟田市学力状況調査（調査対象 小3：国語・算数、中1・2：国語・社会・数学・理科・英語）

###### (3) 教職員研修会の開催

- ①市教科研究委員会等の研修として、10月に授業研究会（教育講座）を開催しました。
- ②市内小・中・特別支援学校の校内研修会に指導主事を派遣して、新学習指導要領に基づく学習指導について指導・助言を行いました。
- ③市教育研究所の教育講座は、管理職・教員を対象に以下の研修会を実施しました。

○ESD（持続可能な開発のための教育）の基本的な考え 8月2日（月）＜1日間＞  
○授業力アップ講座（中学校） ＜6日間＞

国語：10月19日（火）、12月15日（水） 数学：11月29日（月）

社会：10月21日（木） 理科：9月24日（金） 英語：6月29日（火）

④教育研究所研究員による研究について、6月に研究構想報告会、11月に中間報告会、2月に研究報告会を開催し、その成果を市内各学校へ広めました。

（4）教育論文の募集と表彰

大牟田市主催教育論文及び福岡県教育論文（教育論文、教育実践）を募集し、個人または共同研究の充実に努めています。

県論文には、11件の応募があり、市論文には、26件の応募がありました。R4年2月10日（木）にオンラインで表彰式を行いました。

（5）実践事例集・研究紀要の作成

学校経営、学校指導等の充実に資するため研究成果をまとめ、以下の教育資料を作成しました。

①英語教育実践事例集 ②教育研究所研究紀要 ③ユネスコスクール実践事例集

（6）科学技術教育振興事業

有明工業高等専門学校との連携事業に取り組み、科学技術教育の振興を図りました。

①小中学校対象事業（出前授業） 5講座実施

②教職員対象研修事業 1講座実施

③その他の連携 3件実施

○少人数学級編制・少人数授業推進事業〔学校教育課〕

（1）小学校全学年の35人以下学級編制

H23年度からの法に基づく小学校1・2年生の35人学級実施に伴う教員配置に加え、小学校3年生から6年生までの全学年において、県からの加配教員14人を学級担任として活用し、8校14学年で35人以下学級編制を行いました。

（2）中学校の学校実態に応じた弾力的な35人以下学級編制

中学校については、学校の実態に応じ、弾力的に35人以下学級編制を行っており、R3年度は1校2学年で35人以下学級編制を行いました。

（3）少人数授業推進のための非常勤講師の派遣

小学校8校、中学校5校に習熟度別や課題別学習などの少人数授業や学校が特に学力向上を必要とする教科に非常勤講師（小学校13人、中学校5人）を派遣し、個に応じた学習指導の充実を行うことにより、学力の向上を図りました。

○「学びに向かう力」育成推進事業〔指導室〕

（1）小・中学校が行う強化学習「サマースクール」や補充学習「アフタースクール」への支援

各小・中学校が夏季休業期間中に5日間程度実施した強化学習「サマースクール」や、放課後等を実施した補充学習「アフタースクール」に学習サポーターを派遣し、児童生徒個々の実態に応じたきめ細かな指導が行えるよう支援しました。

（2）国語・算数（数学）等の難問等への挑戦「チャレンジスクール」の開催

夏季休業期間中に予定していた「チャレンジスクール」と1月に予定していた「学習チャレンジ大会」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施しませんでした。

（3）理科や社会科等の自由研究の発表「学びのグランプリ」の開催

各小・中学校に対し、夏休みの自由研究の作品の中から理科や社会科等の学習に関する作品を募集し、それぞれ多数の応募の中から、理科6点、社会科6点の作品を選出しまし

た。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、児童生徒による発表は行わず、表彰のみ行いました。

(4) 家庭学習習慣の定着の取組への支援

毎月11日(“いい日”)を「家庭学習の日」と定め、各中学校区において小学校と中学校が連携し、家庭学習強化週間の設定などを通して、家庭学習習慣を定着させる取組を支援しました。

(5) 学力向上に関する校内研修への「学力向上アドバイザー」の派遣

各学校の校内研修等に「学力向上アドバイザー」を派遣し、各学校の学力向上について指導助言を行いました。

(6) 授業づくりガイドブックの作成と活用

「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に資するため、「授業づくりガイドブック」を作成し、日々の授業で活用が図られるよう各学校の教職員に配布しました。

(7) 学力向上実践報告会の開催

日々の授業づくりや学力向上プランの充実を図り、学習指導要領が示す「主体的・対話的で深い学び」を各学校が実践できるようにするため、教職員を対象に、学力向上実践報告会をR4年2月24日(木)にオンラインで開催しました。

○学力向上推進事業〔指導室〕

(1) 各学校の学力向上プランの促進

各学校は自校の各種調査結果を分析し学力向上プランを作成しました。各学校へ指導主事を派遣するなどして、学力向上プランの効果的な実施に向け、指導内容・指導方法・指導体制等の在り方について指導助言を行いました。

(2) 自主学習サポート資料と1～4年生用教材集(国語・算数)の有効活用

国語科と算数科の教材集(1年～4年)と関連を図った自主学習用のサポート資料の有効活用を図るために、各学校の学力向上プランへの位置づけや活用方法について、指導主事を派遣し指導助言を行いました。

(3) 研修会の実施等

県の「ふくおか学力向上推進事業」を活用し、南筑後教育事務所と連携し、学力向上に係る理論研修や授業研修において指導助言を行い、教員の学習指導力の向上を図りました。

○学習指導員等配置事業〔学校教育課〕

(1) 学習指導員の各学校への配置(新型コロナウイルス感染症対策)

児童生徒の「学びの保障」のため、各学校に1人、合計28人の学習指導員を配置し、補習授業の実施等、教育活動の支援を行いました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
国語・算数(数学)の授業の理解度	目標値(%)	90.0	90.0	90.0	90.0	現状値を踏まえ90%以上を目指します。 [現状値:90.6%(H30年度実績)]
	実績値(%)	90.5	90.7			
	達成度(%)	100.6	100.8			

【指標達成度に対する要因分析】

児童生徒に確かな学力を身に付けさせ、一人一人の個性や能力を伸ばすために、「学びに向

かう力」育成推進事業を中心に各事業の推進・活用を図り、各種調査による児童生徒の実態に基づく学力向上プランの充実、教職員研修の推進による指導力の向上を推進することができました。また、少人数学級編制としたことで、教師が個々の理解度や興味・関心に応じたきめ細かな指導が可能となったほか、児童生徒の発言や発表の機会が増え、より積極的な授業参加が認められるようになりました。

その結果、各学校において児童生徒の実態に応じたきめ細かな学習指導の充実が図られ、目標値を達成できたものと考えます。

### **【今後の方向性】**

今後も、「学びに向かう力」育成推進事業を中心に各事業の推進・充実を図り、学力向上プランが計画的・組織的・効果的に行われるとともに、児童生徒の課題に応じた指導が行われるよう学校への支援を進めます。また、県の指定事業を積極的に活用し、各学校の指導体制の充実や学力向上に係る研修の充実を進めていきます。さらに、中学校における少人数学級編制の弾力的な運用について検討するとともに、有効な教科の特性に応じた学習集団や習熟度別グループ編成の検証を行い、更なる個に応じた指導の充実を図っていきます。

## 主要施策 2 豊かな心の育成

規範意識や他人を思いやる心情、自然や文化を大切に思う心情や豊かな情操をはぐくむため、道徳教育をはじめ、読書活動や各種体験活動などの充実に取り組みます。

### 【主な事業・取組】

#### ○道徳教育の充実〔指導室〕

学習指導要領の改訂に伴い、中学校では「特別の教科 道徳」の指導を行いました。また、道徳教育は各学校の年間指導計画に基づき、全教育活動を通して行っています。その際、副読本や福岡県の人権教育指導資料「かがやき」、「あおぞら」の活用等の工夫をしながら実施することを指導しました。

#### ●「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業〔指導室〕（19・20ページを参照）

#### ○読書活動推進事業〔指導室・学務課〕

##### （1）読書感想文コンクールの実施〔指導室〕

児童生徒の読書活動を推進する取組の一つとして、読書感想文コンクールを行いました。自由図書部門と併せ、H29年度から引き続き、本市出身の絵詞作家である内田麟太郎氏にちなんで「内田麟太郎部門」を設けました。R3年度の応募の状況は、自由図書部門と内田麟太郎部門を合わせて、小学校580点、中学校59点、合計639点でした。3月に読書感想文の優秀作品を冊子にまとめ、各学校や入選した児童生徒等に配布しました。

##### （2）学校図書館への司書配置の充実〔学務課〕

読書活動の推進をはじめとする学校図書館機能の更なる充実を図るため、専ら学校図書館の職務に従事する職員として、司書の資格又は司書教諭の資格を有する者をH28年度から計画的に各小中学校に配置しています。R3年度は2校（大牟田中央小学校及び宮原中学校）に配置しました。

#### ○児童生徒の作品展〔指導室〕

##### （1）理科展

新型コロナウイルス感染拡大防止のため理科展は中止しましたが、夏休みの自由研究として小・中・特別支援学校から出品された昆虫植物採集・理科作品研究物等の中から優れた作品を表彰しました。小学校422点、中・特別支援学校161点、合計583点の出品がありました。

##### （2）小・中・特別支援学校合同作品展

各小・中学校に対して、絵画・版画・彫塑・工作・デザイン・工芸等の作品の募集を行いました。特別支援学校に対しては、児童生徒が日常の学習で制作した作品や日常生活の写真等の募集を行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、作品展は中止しましたが、作品を制作した児童生徒に各学校を通して賞状を授与しました。

（41・42ページの「合同運動会・合同作品展の実施」の（2）を参照）

#### ○自然体験・社会体験授業の充実〔指導室〕

##### （1）野外活動宿泊体験、職場体験等の実施

野外活動宿泊体験については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施しませんでした。

中学校における職場体験学習については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業所等での職場体験は行わず、学校に来ていただいて講話等を実施しました。

## ○非行防止教室推進事業〔指導室〕

- (1) 万引き防止、薬物乱用防止教室等の全校での実施  
規範意識の醸成のため、各学校において外部指導者を活用し、非行防止教室として、万引き防止教室、シンナー薬物乱用防止教室、情報モラル学習等に取り組むよう指導助言を行いました。
- (2) 携帯電話やスマートフォンの使用に関する指導の充実  
4月と7月の校長会で、H27年11月に策定された大牟田市「児童生徒の携帯電話等の利用に関する指針」について再周知し、学校を通して保護者等への啓発を図りました。  
11月に携帯電話やスマートフォンの使用に関する啓発資料を学校へ配布し、児童生徒並びに保護者等への啓発を行いました。

## ○早期教育相談事業〔指導室〕

- (1) 早期教育相談連絡協議会の開催等  
4月に早期教育相談の啓発チラシを作成・配布し、各機関団体を通して保護者への啓発を行いました。  
学識経験者や関係機関団体で構成する早期教育相談連絡協議会について、6月14日(月)にR3年度1回目の会議を開催し、情報の共有を行いネットワークの強化を図りました。R4年3月22日(火)に2回目の会議を開催し、R3年度の取組の振り返りと次年度の計画について協議を行いました。

## 【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
児童生徒の規範意識	目標値(%)	95.0	95.0	95.0	95.0	現状値を踏まえ 95%以上を目指します。 [現状値：95.6% (H30 年度実績)]
	実績値(%)	95.5	95.2			
	達成度(%)	100.5	100.2			

## 【指標達成度に対する要因分析】

重点事業である「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業により、児童生徒が児童会・生徒会を中心に、主体的に楽しい学校・いじめのない学校づくりのための取組を考え、行動する姿が見られるようになりました。また、道徳教育や各種体験活動など豊かな心の育成に係る各種事業の推進により教師と児童生徒、児童生徒相互の共感的理解が進みました。これらの事業を通して、学校生活における支持的風土が高まりました。その結果、今まで以上に周りの友達やよりよい学校づくりのために何が大切かを考え、人の気持ちが分かる人になりたいと思う児童生徒の割合の目標値の達成ができたものと考えます。

## 【今後の方向性】

今後も、「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業の一つである児童会・生徒会リーダーミーティングの推進・充実を進めるとともに、各学校での「思いやり・親切」に関するキャンペーンや「友だち応援隊」に係る取組の継続を図ります。また、道徳教育や各種体験活動の充実、児童生徒の作品展等の開催、非行防止教室等の実施を通して、児童生徒の規範意識を高める取組の更なる充実を進めていきます。

### 主要施策3 健やかな体の育成

基本的な生活習慣が身に付いた心身ともにたくましい児童生徒を育成するため、学校での教育活動全体を通じて運動習慣の定着化を図るなど、体力向上に向けた取組を進めるとともに、食育、学校給食、学校保健などの取組の充実や家庭との連携を進めます。

#### 【主な事業】

##### ○体力向上推進事業〔指導室〕

###### (1) 体力向上プランの促進

各学校は自校の児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等の実態を分析し体力向上プランを作成しました。校長会や担当者会等を通して各学校の体力向上プランの取組が組織的・効率的に実施できるよう指導助言を行いました。

###### (2) 小学校地区競技会

① 5月に予定していたリレー大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施しませんでした。

② 10月に予定していたソフトバレーボール大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地区ごとの大会は実施せず、各学校で校内大会等を実施しました。

###### (3) 中学校体育連盟の競技会

① 7月2日（金）～5日（月）に中体連夏季市内大会を市内の各会場で開催しました。

② 10月1日（金）～3日（日）に新人大会を市内の各会場で開催しました。

③ 10月20日（水）に駅伝の市内大会を諏訪公園で開催しました。

④ 12月15日（水）に中学校体育連盟による市内駅伝新人大会を開催しました。

##### ●子ども大牟田体力検定推進事業〔指導室〕（21ページを参照）

##### ○健康教育推進事業〔指導室〕

###### (1) エイズ教育・喫煙防止・薬物乱用防止教育等の実施指導

各学校において、性教育・エイズ教育・喫煙防止・薬物乱用防止等を教育課程に位置づけて実施するよう指導しました。

##### ○食育推進事業〔学務課、指導室〕

###### (1) 食育推進校に係る取組〔指導室〕

R3年度は玉川小学校を推進校に指定し、食育に関する理論研究や実践した内容を市内の各学校に啓発・普及することによって、本市の食に関する教育の充実に努めました。同校では、「食と環境の関係を探り、持続可能な食への実践力を育てる食育指導」を目標に掲げ、農業体験や地域の環境を守る取組、地域の食文化体験、家庭・地域の農業従事者との連携の4つの取組を中心に実践し、12月1日（水）の拡大校内研修会において、公開授業を行い、食に関する指導の研究協議を実施しました。また、食に関する取組の啓発用リーフレット等を作成し、R4年3月に市内の各学校に配布しました。

###### (2) 早寝早起き朝ごはん運動推進校に係る取組〔指導室〕

R3年度は松原中学校を推進校に指定し、早寝早起き朝ごはん運動に関する実践した内容を市内の各学校に啓発・普及することによって、本市の食に関する教育の充実に努めました。同校では、生徒を対象とした食育教室、PTA親子で学ぶ食育研修会（YouTube配信）、生徒会による給食残食ゼロ運動、特別活動や教科における指導に取り組みました。R4年3月には1年間の取組の成果をリーフレットにまとめ、市内の各学校に配布しました。

###### (3) 学校給食への地場産物の使用促進と食育の啓発推進〔学務課〕

地場産物の使用促進を図るため、学校給食における地場産青果物の優先活用基準に基づき、大牟田産や南関産の青果物を小学校給食（4校）及び中学校給食に9品目取り入れました。食育の啓発については、小学校の保護者に対し「もぐもぐ通信（食育通信）」と「給食だより」を交互に年11回、中学校では「食育通信」を年11回発行し、朝食の重要性や食生活に関すること、学校給食とSDGsの関わり、給食レシピの紹介などを行いました。

(4) 学校給食週間等の開催〔学務課〕

学校給食週間（R4年1月22日（土）～1月30日（日））では、ゆめタウン大牟田において児童生徒のポスター・標語作品展を開催しました。また、児童生徒を対象とした学校給食レシピコンテストを実施しました。

(5) 中学校給食センターを活用した食育の啓発〔学務課〕

例年、中学校給食センターにおいて、学校給食を通じた食育の啓発を推進するため、市民の方を対象に施設見学と栄養教諭による講話を含めた給食試食会を実施していましたが、R3年度は昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としました。

○中学校給食事業〔学務課〕

(1) 中学校給食センターの管理運営

学校給食法に基づき、生徒の心身の健全な発達に資する安全でおいしく楽しい給食を将来にわたって円滑に実施するため、中学校給食センターの管理運営を行うとともに、献立作成をはじめとする学校給食会の運営業務等を行いました。

○小学校給食事業〔学務課〕

(1) 直営拠点校・民間委託校併用方式の推進

学校給食法に基づき、小学校において、児童の心身の健全な発達に資する安全でおいしく楽しい給食を将来にわたって円滑に実施するため、直営拠点校と民間委託校による併用方式の推進を図りました。

(2) 給食室調理機器等の維持管理

各小学校の給食調理や給食室・調理機器等の管理を行うとともに、献立作成をはじめとする学校給食会の運営業務等を行いました。

○学校給食調理場の環境改善〔学務課〕

新型コロナウイルス感染拡大を防止するため給食調理員の業務が増大する中、給食調理場の作業環境改善及び調理作業の負担軽減を目的として、小学校及び特別支援学校の給食調理場にスチームコンベクションオーブン（焼く、煮る、蒸す、茹でるなどの調理が1台で可能な機器）及び真空冷却機（加熱した食材を急速に冷却する機器）を設置しました。また、調理従事者の感染対策のため、小学校及び特別支援学校の給食室並びに中学校給食センターの手洗い施設に手指用洗剤と消毒アルコールの自動噴射器を設置しました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
児童生徒の体力向上の取組実績	目標値 (%)	—	70.0	70.0	70.0	子ども大牟田体力検定で自己の設定目標を達成した児童生徒の割合
	実績値 (%)	—	73.3			
	達成度 (%)	—	104.7			

### 【指標達成度に対する要因分析】

各学校においては、児童生徒の体力の向上に向けて体力向上プランを作成し、学校の実態や児童生徒の発達段階に応じた様々な取組が実施されました。特に、全校で実施された子ども大牟田体力検定推進事業の体力検定（年2回の実施）については、各学校の体力向上プランに効果的に位置付けて実施されました。また、中学校においては各学校の実態に応じて、重点とする種目を選定するなど、生徒の目的意識が高まる取組がなされました。

その結果、各学校において、体力検定に取り組みやすい状況の中で、児童生徒が自己の体力の向上に係る目標意識を持って主体的に取り組むことができ、体力向上の取組実績の目標値の達成ができたものと考えます。

### 【今後の方向性】

今後も、各学校の体力プランの充実について指導助言を行うとともに、子ども大牟田体力検定推進事業の各取組の啓発と各競技会への支援を行います。また、健康教育に係る各教育の推進や食育の充実に取り組んでいきます。

## 主要施策 4 特別支援教育の推進

障害のある児童生徒の個別の指導計画・支援計画や指導方法などの改善・充実を図るほか、特別支援教育センターとしての特別支援学校の相談機能の充実を図ります。また、特別支援教育支援員の配置など、一人ひとりの障害の状態に応じた具体的な支援を行います。

### 【主な事業】

#### ○特別支援教育支援員活用事業〔学校教育課〕

##### (1) 要支援と判断された児童生徒への支援員の配置

就学支援委員会等により要支援と判断された全ての児童生徒181人に対し、小学校19校に45人、中学校8校に20人、計65人の特別支援教育支援員を派遣しました。きめ細かな支援を受けることで、対象児童生徒本人の精神的な安定が図られ、周囲の児童生徒の理解も進み、学級全体が落ち着き、集中して学習に取り組むことができました。また、保護者の介助等の軽減も図られました。

##### (2) 校内支援体制及び支援内容の充実

全支援員を対象とした研修会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、7月と12月に2回(例年は年3回(5月・10月・2月))実施し、支援員による児童生徒の発達障害等への理解促進と個に応じた具体的な支援内容の充実に努めました。

#### ○教職員等間の情報共有の強化〔学校教育課〕

特別支援教育支援員には、学習中の児童への対応だけでなく、児童生徒の状況の報告等の業務が生じていることから、教職員等間の情報共有の強化のため、特別支援教育支援員用のノートPCを整備しました。

#### ○特別支援学校医療的ケア事業〔学校教育課〕

##### (1) 医療的ケアを行う看護師の配置

大牟田特別支援学校の対象児童生徒6人に対し、2人の看護師を配置しました。校長を中心とした医療的ケア運営委員会を毎学期2回開催し、主治医・指導医の指導のもと、保護者の理解も得ながら医療的ケアを行うことで、児童生徒の症状は安定し、保護者の負担も軽減されました。また、対象児童生徒の年度途中の増加に対しても対応できるよう、看護師の一定の増員も可能としました。

#### ○教育相談事業〔指導室〕

##### (1) 教育相談員による児童生徒の障害に関する相談への対応

教育相談室に寄せられる電話や面接での相談の中から、保護者や児童生徒の問題行動等の背景に障害や発達障害等の特別な配慮を必要とする状況があった場合に、学校や関係機関との連携を図り、教育的なニーズに対応しました。

##### (2) ひきこもり児童生徒訪問員による家庭訪問

不登校や引きこもりになっている児童生徒の背景に、障害や発達障害等の特別な配慮を必要とする状況があった場合に、学校や関係機関、保護者等との連携を図り、家庭訪問を実施するなど不登校等の解消に向けて対応しました。

##### (3) 就学支援委員会の開催

在学中の児童生徒及び令和4年度入学児を対象に、就学支援委員会を6月と9月の2回開催し、医学・心理・教育の面から就学支援における教育相談を行いました。

## 教育相談者数

小学校	中学校	特別支援学校	入学予定児	合計
16人	2人	0人	20人	38人

### ○通級指導教室運営事業〔指導室〕

#### (1) 専門の教職員による指導・支援

生涯学習支援センターに設置している通級指導教室で、言葉や情緒等に課題がある児童生徒に対して、個別や集団での指導を行いました。

「あじさい教室1組」への通級者	9人（小学校：情緒）
「あじさい教室2組」への通級者	9人（小学校：LD <sup>※1</sup> （学習障害）、 ADHD <sup>※2</sup> （注意欠陥／多動性障害））
「こすもす教室」への通級者	11人（中学校：ADHD）
「ことばの教室」への通級者	10人（小学校：言語）

※1：LDとは、基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すもの。

※2：ADHDとは、年齢あるいは発達に釣り合いな注意力、及び／又は衝動性、多動性を特徴とする行動の障害で、社会的な活動や学業の機能に支障をきたすもの。

（※1、※2とも、文部科学省の資料から抜粋）

#### (2) 保護者相談

教育相談室に寄せられる相談の中から、通級指導に関する相談について、通級指導教室担当教員が保護者からの相談に対応しました。

### ○交流教育推進事業〔指導室〕

#### (1) 学校間交流

特別支援学校と小・中学校間の交流、小・中学校の特別支援学級間の交流など、様々な交流を行いました。

#### (2) 市民交流「ふれあい共室」

中央地区公民館等で「ふれあい共室」を年4回開催し、障害のある子どもと障害のない子ども及びボランティア団体、福祉関係団体等の市民との交流を行いました（詳細については、生涯学習課所管「子ども交流体験事業」の「(2) 交流教育地域推進事業ふれあい共室」（67ページ）を参照）。

#### (3) 交流教育の啓発

6月に「ふれあい共室」の参加募集を市内の全学校に配布するとともに、1月に合同作品展の広報を行いました（なお、合同作品展は中止）。

### ○合同運動会・合同作品展の実施〔指導室〕

#### (1) 特別支援学級・特別支援学校合同運動会

合同運動会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施しませんでした。

#### (2) 小・中・特別支援学校合同作品展（再掲）

各小・中学校に対して、絵画・版画・彫塑・工作・デザイン・工芸等の作品の募集を行いました。特別支援学校に対しては、児童生徒が日常の学習で制作した作品や日常生活の写真等の募集を行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、作品展は中止しま

したが、作品を制作した児童生徒に各学校を通して賞状を授与しました（35ページの「児童生徒の作品展」の（2）を参照）。

### 【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
特別支援教育支援員の配置効果	目標値 (%)	100	100	100	100	全ての対象児童生徒について状態の改善が図られることを目指します。 [現状値:100%(H30年度実績)]
	実績値 (%)	100	100			
	達成度 (%)	100	100			

### 【指標達成度に対する要因分析】

特別支援教育支援員活用事業については、支援員の配置によって、対象児童生徒が情緒的に安定し、落ち着いた学習態度や行動へとつながり、学習効果の向上が図られたほか、学校生活での安全性の確保においても効果をあげています。また、児童生徒の人間関係作りにおいて、互いを理解し合うことができるような支援により、周囲の児童生徒も落ち着きます。さらに、担任教師も学級全体に目が行き届くようになることで、学級が落ち着き、そのような児童生徒の姿が保護者に安心感をもたらしたものと考えます。

### 【今後の方向性】

今後も、特別な支援を要する児童生徒の個別の指導計画・支援計画の作成、特別支援学校における相談活動、特別支援教育コーディネーターの育成など、学校と連携した取組を進めていきます。また、関係機関相互や専門家と連携を図り相談体制等の充実を進めるとともに、特別支援教育に関する研修会等を開催し、各学校における児童生徒の教育的ニーズに応じた具体的な支援の実践へつないでいきます。

## 基本施策Ⅲ 学校教育環境の充実

本市の実情に応じた活力ある学校づくりの実現のため、適正規模化と適正配置による学校再編整備を推進するとともに、多様な学習活動に対応でき、児童生徒等が安全で快適に過ごすことができるよう施設整備を図るなど、学校教育環境を充実させます。

### 主要施策 1 学校再編整備の推進

適正規模（適切な学級数）と適正配置（適切な通学距離・時間等）による学校再編整備（大牟田市立学校適正規模・適正配置計画）を進め、児童生徒が集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨（せつさくたくま）することを通じて一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくことができるよう教育環境を整備します。

#### 【主な事業】

##### ○学校再編整備推進事業〔学校再編推進室、学校教育課、学務課〕

###### （1）市立学校適正規模・適正配置計画第2期実施計画の周知〔学校再編推進室〕

市立学校適正規模・適正配置計画第2期実施計画の周知を図るため、小・中学生、幼稚園・保育園児の全保護者へ計画の概要版を配布するとともに、再編に係る14小学校区のまちづくり協議会等の町内公民館や自治会へ、計画概要版の回覧依頼を行いました。

さらに、関係団体に計画の説明を行うとともに、広報おおむた、ホームページ及びFMたんとでの活用など、様々な媒体等を通して周知に取り組みました。

また、小川町の通学区域の見直しについては、天領小学校の入学説明会が新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったことから、後日、保護者に資料を配布し、周知を行いました。

###### （計画の主な内容）

- ・3校同時の再編時期を見直し、2段階に分けて再編。
- ・中学校の再編は、現計画の3校案（白光・歴木・橘中学校）に加えて、松原中学校を活用。（併せて、R9年度から小川町の通学区域を現在の宅峰中学校区から松原中学校区へ、天領小学校区から大正小学校区へ見直す。）
- ・小学校の再編は、次期計画で改めて策定。
- ・小中一貫校については、市内全小中学校を小中一貫校とする（原則「併設型」）方向で検討。
- ・多様な学習機会の提供を行うため、夜間中学を松原中学校に設置することを検討。

###### （2）市立学校適正規模・適正配置計画第2期実施計画に基づく取り組み

###### ①橘・田隈・甘木中学校の再編〔学校再編推進室〕

再編に伴う橘中学校の施設整備について、地域へ説明を行いながら、関係部局等と協議を行い課題等の整理に取り組みました。

###### ②中学校再編に伴う施設整備（再編分）〔学務課〕

R7年度に新校となる歴木中学校（第1期）の設計完了と橘中学校（継続事業）の設計を行いました。

歴木中学校は、校舎管理棟（鉄筋コンクリート造4階建て、延床面積1,638㎡）の内部に係る実施設計を行いました。橘中学校は、R5年度から8年度にかけて整備を行うため、体育館、校舎等の新增築並びに既存校舎改修（鉄筋コンクリート造2階から3階建て）をR4年度までの継続事業として基本実施設計を行いました。

(単位：千円)

内容	事業費
学校建設事業（再編分）	39,608
橘中学校設計（予算額）のうち前払い金を除く額を R4 年度へ通次繰越し	6,500

(3) 上内小学校における小規模特認校制度の運営〔学校教育課〕

H24年度から本制度を導入したことにより、H24・25年度に生じた複式学級編制は、H26年度以降は解消しています。また、R3年度は、全校児童56人中33人の児童が本制度により校区外から通学しており、引き続き複式学級が解消されているとともに特色ある教育活動が展開されています。今後も、次年度入学者の児童募集について周知を図ります。

**【成果指標の達成状況】**

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
学校再編に対する地域の理解と協力	目標値	—	—	—	2	適正規模・適正配置計画に基づく学校再編協議会の設置数
	実績値	—	—	—		
	達成度(%)	—	—	—		

**【指標達成度に対する要因分析】**

次期目標として、「R5年度に2つの学校再編協議会を設置する」ことを成果指標としています。

**【今後の方向性】**

市立学校適正規模・適正配置計画の第2期実施計画について、R3年度に引き続き保護者や地域等に実施計画の内容の周知を行うとともに、R5年度の学校再編協議会の設置に向け、中学校の施設整備等、課題の整理を行っていきます。

学校再編の実施に当たっては、保護者や地域等の理解・協力を得ることが重要であるため、丁寧な説明を行い定期的に計画の周知を行います。

施設整備について、歴木中学校は、R4年度から第1期（管理棟）工事を行いながら、並行し第2期の実施設設計を進めます。橘中学校は、R4年度までに設計を完了させ、R5年度から校舎増築、校舎改修、体育館の新築等を順次進めます。

上内小学校については、小規模特認校制度の導入による複式学級解消の成果が上がっており、検証結果や適正配置の観点などを踏まえ、今後も引き続き小規模特認校制度を継続していきます。小規模特認校制度を運用しても、なお複式学級が生じる状況となった場合は、吉野小学校との再編について改めて検討を進めていくこととします。

また、児童生徒数の推計等から、学校の小規模化の進行等が見込まれるため、小規模校（小学校）の課題解決を目的に、R4年度に検討委員会を設置し検討を行い、方向性を定めます。

## 主要施策 2 安全で快適な学校施設の整備

老朽化した学校施設の長寿命化改修を行うとともに、校舎トイレの洋式化、施設のバリアフリー化などの改修を進めることにより、安全で快適な学校施設の整備を行います。

### 【主な事業】

#### ○空調設備設置事業〔学務課〕

各小・中・特別支援学校の特別教室の空調設備については、R元年度に各学校1室に設置しましたが、児童生徒の健康管理と教育環境の向上の観点から、未設置の特別教室への設置に向けて、R3年度に実施設計を行いました。

(単位：千円)

内容	事業費
小学校特別教室空調設備設置に伴う実施設計	6,961
中学校特別教室空調設備設置に伴う実施設計	3,759
特別支援学校特別教室空調設備設置に伴う実施設計	557

#### ○民間プール活用モデル事業〔学校教育課〕

##### (1) モデル校における民間プールを活用した水泳指導の実施と効果の検証

橘中学校をモデル校として、第3学年の体育科の水泳指導を業者に委託し、各学級8時間実施しました。専門のインストラクターにより、効果的かつ効率的な指導を行うことができました。R4年度は、同校の第1学年から第3学年までの水泳指導を委託することとしており、円滑に実施できるよう、学校と委託業者の間で指導方法・内容等の密な連携を図っていきます。

#### ○GIGAスクール構想整備事業〔学校教育課、学務課〕

##### (1) 特別支援学校等通信設備等設置〔学務課〕

GIGAスクール構想の実現に向けて、特別支援学校高等部、駛馬小学校はやめ分教室及び宅峰中学校たくほう分教室にWi-Fi設備や充電箱等の情報通信、基幹通信設備を整備しました。

(単位：千円)

内容	事業費
情報通信及び基幹通信設備整備(学務課分)	9,103

##### (2) 体育館、特別教室等通信設備設置〔学務課〕

多様な学習活動ができるよう、各小・中・特別支援学校の体育館のアリーナ及びミーティング室並びに中学校理科室(2室)にWi-Fi設備を整備しました。

(単位：千円)

内容	事業費
情報通信整備	42,438

#### ○新型コロナウイルス感染症対策施設整備〔学務課〕

##### (1) 給食室衛生強化、レバー水栓取替、体育館多目的トイレ設置事業

給食室の床・排水の改修や衛生区域及び非衛生区域の明確化(駛馬小学校、天の原小学校、銀水小学校、吉野小学校、倉永小学校、手鎌小学校)、換気のための高効率排風機への更新(高取小学校)を行い、全小学校及び特別支援学校の非衛生区域やトイレに自動化した温水手洗器を設置しました。また、児童、生徒等の衛生面の強化のため、R2年度から

予算を繰り越して、手洗用等ハンドルのレバーハンドルへの更新や、男女共用となっていた中友小学校の体育館トイレを多目的トイレを併設した男女別トイレに改修しました。

(単位：千円)

内容	事業費
小学校（R 2年度から予算繰越し）	55,441
中学校（R 2年度から予算繰越し）	748
特別支援学校（R 2年度から予算繰越し）	374

(2) 体育館及び校舎多目的トイレ設置、トイレ等手洗い水栓の自動水栓化事業

体育館に多目的トイレがない小学校（玉川小学校、三池小学校、銀水小学校）や校舎内にない小学校（上内小学校）に整備することとしていましたが、入札不調により、R 4年度へ予算を繰り越しました。

その他、校舎及び体育館のトイレ等の手動の手洗い水栓を自動水栓等に交換しました。

(単位：千円)

内容	事業費
多目的トイレ整備改修工事（R 4年度へ予算繰越し）	47,580
多目的トイレ整備改修工事に伴う設計	3,850
小学校手洗い等増設	575
小学校自動水栓設置	17,285
中学校自動水栓設置	14,623
特別支援学校自動水栓設置	84

○災害対策事業〔学務課〕

避難所として活用している旧駛馬南小学校及び旧船津中学校の受変電設備の改修工事を行いました。また、ハザードマップに基づいて、冠水想定地区内にある中学校（宅峰中学校、白光中学校）の受変電設備のかさ上げのための設計を行いました。

(単位：千円)

内容	事業費
旧駛馬南小学校及び旧船津中学校の受変電設備の改修	1,188
宅峰中学校及び白光中学校の受変電設備のかさ上げのための設計	660

○災害復旧事業〔学務課〕

(1) 令和2年7月豪雨被害復旧事業〔学務課〕

R 2年7月6日の豪雨により冠水したみなと小学校の受変電設備のかさ上げ及び宮原中学校の法面の本復旧のため、R 2年度からR 3年度へ予算を繰り越して工事を行いました。

(単位：千円)

内容	事業費
みなと小学校受変電設備かさ上げ及び宮原中学校法面復旧工事 (R 2年度から予算繰越し)	22,274

(2) 令和3年8月11日からの大雨被害による被害復旧事業〔学務課〕

8月11日からの大雨による小・中・特別支援学校、中学校給食センター、閉校した3校を含む24施設の大雨による災害復旧工事を行いました。特に、甘木中学校については、体育館西側のブロック擁壁が破損したため、補助金等を活用した災害復旧工事をR 4年3月に契約し、請負金額の一部（前払金）を執行し、残りの請負代金額等については、R 4年度へ

予算を繰り越しました。

(単位：千円)

内容	事業費
小・中・特別支援学校災害復旧	45,927
甘木中学校擁壁ブロック災害復旧（R4年度へ予算繰越し）	23,273

## ○学校施設・設備改修事業〔学務課〕

### (1) トイレ洋式化の計画的推進

校舎トイレの洋式化については、R5年度末に洋式化率66%を目標に、洋式化率の低い学校や特別に要請があった学校を中心に計画的に進めています。

R3年度は、R2年度の有利な財源を繰り越して活用し、再編予定の3校を除く洋式化率が55%未満の学校のうち、小学校14校（30か所）及び中学校3校（10か所）の40か所を改修しました。

校舎トイレの洋式化率は、R2年度の62.9%から3.5ポイント向上し、66.4%となりました。また、校舎、体育館、プール等を含めた全体の洋式化率は66.3%となりました。

(単位：千円)

内容	事業費
小学校（R2年度から予算繰越し）	5,494
中学校（R2年度から予算繰越し）	1,886

### (2) LED電灯への更新

従来型蛍光灯（FL型）やHIDランプ（水銀灯類）を使用していたみなと小学校、天の原小学校、平原小学校、三池小学校、銀水小学校、上内小学校、倉永小学校の教室及びみなと小学校、天の原小学校、平原小学校の体育館アリーナ等の電灯をLED型電灯に更新しました。

(単位：千円)

内容	事業費
LED電灯更新	31,404

### (3) 空調設備更新

管理諸室等の空調設備の老朽化により、みなと小学校（図書室、コンピューター室）、中友小学校（図書室、コンピューター室、職員室、事務室、校長室、保健室）、三池小学校（図書室、コンピューター室）、松原中学校（図書室、コンピューター室、職員室、事務室、校長室、保健室）及び田隈中学校（事務室、校長室、職員室、保健室）の設備を更新し、並びに大牟田中央小学校外2校に空調設備を設置しました。

これらのうち、みなと小学校、中友小学校、三池小学校及び松原中学校の工事については、R2年度からR3年度に予算を繰り越して実施しました。

(単位：千円)

内容	事業費
みなと小学校、中友小学校、三池小学校空調設備更新工事（R2年度から予算繰越し）	12,024
松原中学校空調設備更新工事（R2年度から予算繰越し）	9,253
大牟田中央小学校外2小学校空調設備設置工事	4,363
田隈中学校空調設備更新工事	5,442

#### (4) 学校施設・設備の維持補修

日々の小規模補修は学校現場で対応できるよう、各学校に平均82万円の予算配当を行いました。また、教育委員会事務局では、年次計画により、給食用リフトの更新（玉川小学校・大正小学校）、体育館アリーナ研磨塗装（銀水小学校）、プール水槽塗装（駿馬小学校）など、学校の安全確保と教育環境の整備に努めました。

（単位：千円）

内容	事業費
給食用リフト更新工事（玉川小学校・大正小学校）	5,995
体育館アリーナ研磨塗装等工事（銀水小学校）	4,775
プール水槽塗装（駿馬小学校）	4,458
ガス管の耐震化（大正小学校、中友小学校、平原小学校）	2,211
校舎床シート更新（白川小学校）	2,207
階段室防滑シート貼り（松原中学校）	858

#### (5) 机、椅子等の更新

学校毎に傷み具合などを判断し、小・中・特別支援学校全校で、児童生徒用の机199台、椅子193脚を更新しました。

### 【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
校舎トイレの洋式化率	目標値(%)	63.0	64.0	65.0	66.0	洋式化率が50%に満たない又は特別に要請のある学校を集中的に洋式化します。 [現状値：61.5%（H30年度実績）]
	実績値(%)	62.9	66.4			
	達成度(%)	99.8	103.8			

### 【指標達成度に対する要因分析】

校舎トイレの洋式化を年次計画で行い、洋式化率が55%に満たない学校や洋式化の要請のあった学校17校（40か所）の改修を集中的に行いました。校舎トイレの洋式化率は、66.4%となり、R5年度の目標を前倒しして達成できました。

### 【今後の方向性】

トイレの洋式化の推進については、R5年度の目標を達成したことから、改めて学校再編整備や特別教室の空調設置等との整合を図りながら、文部科学省が示す目標に向かって年次計画で進め、洋式化率が60%に満たない学校等を重点的に進めることとします。また、R4年度は、R3年度同様に、有利な財源で新型コロナウイルス感染症対策の一環として、R4年度予算で、校舎及び体育館トイレ70か所を改修し、学校再編整備事業と合わせて、R7年度末に文部科学省が示す目標（95%）を目指します。

## 基本施策Ⅳ 安心して学べ、地域とともにある学校づくり

いじめ防止対策、不登校へのきめ細かな対応、経済的困難を抱える保護者の支援や、学校・家庭・地域の連携による児童生徒の規範意識の育成、「共に育ち、共に育てる（共育）」と「響き合って、育ち合う（響育）」の風土の醸成など、安心して学べ、地域とともにある学校づくりを進めます。

### 主要施策 1 安心して学べる学校づくり

「大牟田市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの防止等のための対策を総合的に推進します。また、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用など、教育相談体制の充実強化を図り、不登校の未然防止や早期発見・早期対応等に取り組みます。さらには、経済的困難を抱える保護者への支援として、就学援助などを実施し、教育費負担の軽減に取り組みます。

#### 【主な事業】

##### ○いじめ防止対策推進事業〔指導室〕

###### （１）いじめ問題対策連絡協議会、いじめ防止対策委員会の運営等

大牟田地域教育力向上推進協議会を「いじめ問題対策連絡協議会」として位置付けており、連絡協議会の中に実行委員会を組織して、年３回（５月・９月・２月）の会議を開催し、本市のいじめの防止等に関する取組を推進しました。

また、教育委員会の附属機関として設置している「大牟田市いじめ防止対策委員会」の会議を年３回（５月・８月・２月）市のいじめ防止に係る教育委員会や学校の取組等について協議を行い、その充実に努めました。

###### （２）大牟田市いじめ防止基本方針の推進

いじめ防止対策推進法に基づき策定している「大牟田市いじめ防止対策基本方針」について、いじめ問題対策連絡協議会やいじめ防止対策委員会等の関係機関との連携を図り、いじめ防止に関する取組の総合的な推進に努めました。

##### いじめの認知件数等※

区 分	R 元年度			R2 年度			R3 年度		
	認知件数	解消件数	解消に向けて取組中	認知件数	解消件数	解消に向けて取組中	認知件数	解消件数	解消に向けて取組中
小学校	55	50	5	99	88	11	93	78	15
中学校	12	11	1	18	16	2	34	31	3

※各学校では、いじめの防止等に関する文部科学省の通知や「いじめ防止基本方針」の改定（H29年３月）等も踏まえ、いじめの積極的な認知に取り組んでいる。

##### ○不登校対策事業〔指導室〕

###### （１）不登校対応対策会議の開催

教育委員会事務局、少年センター、子ども育成課の職員で構成する不登校対応対策会議を年４回（５月、８月、１２月、R４年２月）開催し、不登校児童生徒の現状や不登校の背景等について情報の共有を図るとともに、不登校の未然防止、早期解消に関する連携の在り方についての協議等を行いました。

## 不登校等の状況

区 分	R 元年度				R2 年度				R3 年度			
	不登校		学校復帰		不登校		学校復帰		不登校		学校復帰	
	件数	出現率	件数	復帰率	件数	出現率	件数	復帰率	件数	出現率	件数	復帰率
小学校	77	1.45%	14	18.2%	84	1.59%	23	27.4%	99	1.95%	45	45.4%
中学校	158	6.51%	22	13.9%	187	7.80%	48	25.7%	230	9.60%	80	34.8%

※不登校児童生徒の定義（文部科学省）：何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況にあるために年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの。

### (2) 教育相談員、ひきこもり児童生徒訪問指導員の配置

生涯学習支援センター内に設置している教育相談室に、教育相談員2人、ひきこもり児童生徒訪問指導員3人を配置しました。また、スクールソーシャルワーカーも含め随時3者で連携を図り、問題の早期解決に取り組みました。

### 教育相談の状況

相談の内容	相 談 件 数 (延べ)		
	R 元年度	R2 年度	R3 年度
学業等	2	2	6
不登校	1,783	1,430	1,762
いじめ	0	0	1
その他の学校生活	0	1	0
性格・行動	32	29	22
その他	10	1	7
合 計	1,827	1,463	1,798

### ひきこもり相談の状況（延件数）

R 元年度	R2 年度	R3 年度
290	350	323

### (3) 適応指導教室の運営

心理的または情緒的理由により登校できない状態にある児童生徒の学校復帰のため、指導員を2名配置し、児童生徒の状況に応じて、適応指導、学習指導、教育相談等を行い、学校復帰に努めました。

### 適応指導教室の入級及び復帰状況

適応指導教室の状況	R 元年度	R2 年度	R3 年度
入級児童生徒数	8人	8人	6人
復帰数	8人	8人	6人
復帰率	100%	100%	100%

※復帰数には高校進学者を含む。

## ●「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業〔指導室〕（再掲）（19・20ページを参照）

## ○スクールソーシャルワーカー活用事業〔指導室〕

### (1) スクールソーシャルワーカー（SSW）複数体制による相談対応と支援

教育相談室にスクールソーシャルワーカー（SSW）を3人配置し、さらに、県から派遣されたSSWを1中学校区に1名配置しました。SSWが有する社会福祉等の専門的な知識・技能を用いて、児童生徒や保護者の相談に応じたり、福祉機関等の関係機関とのネットワークを活用したりして、問題を抱える児童生徒及びその家族の支援を行い、児童生徒の問題行動等の解決に努めました。

相談対応状況（実件数）

R元年度	R2年度	R3年度
481	340	308

(2) 大学等の高度な知見を活用した複雑・困難な事案への対応

複雑化・多様化し、学校だけでは解決困難な相談が増加しているため、児童生徒の心理や家庭環境などの複雑な要因に対応できる社会福祉等の専門的知識や技能を有するスクールソーシャルワーカーの活用や、大学等と連携した取組の充実を図りました。

(3) ケース会議の開催

教育相談室のケース会議や、学校が開催するケース会議、子ども家庭課が所管する「大牟田市子ども支援ネットワーク(大牟田市要保護児童対策地域協議会)」等にも随時参加し、情報や取組の共有を行いました。

(4) 問題行動を抱える児童生徒の在籍する学校へのSSWの派遣

学校や保護者からの相談に対し、教育相談室での面談や電話での対応を行う中で、必要に応じて学校訪問や家庭訪問等を実施し、きめ細かな対応に努めました。

○学習指導員等配置事業〔学校教育課〕

(1) スクール・サポート・スタッフの各学校への配置（新型コロナウイルス感染症対策）

児童生徒の「学びの保障」のため、28人のスクール・サポート・スタッフを各学校に配置し、学校内の消毒の実施をはじめ、教職員の業務支援を行いました。

○就学援助事業〔学務課〕

学校教育法等の関係法令及び大牟田市就学援助要綱に基づき、経済的理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対し、就学援助として学用品費、学校給食費、医療費等を支給しました。R3年度においては、R2年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響により家計が急変した世帯及び令和2年7月豪雨で被災した世帯に対し、就学援助の特例措置を実施しました。

また、心身的な理由により普通教室での就学が困難な児童生徒の保護者に対し、特別支援教育就学奨励費補助を支給しました。

さらに、高等学校及び高等専修学校への進学に必要な入学支度金や学費の一部を貸与する「公益財団法人福岡県教育文化奨学財団」の奨学金制度の周知を図り、奨学金申請事務を行いました。

① 就学援助費

(単位：人、千円)

区 分		R元年度	R2年度	R3年度
支給者数	小・中学生	1,384	1,569	1,554
	未就学児	120	126	132
支給総額		108,701	117,180	129,212
(うち国庫補助金)		(1,754)	(2,185)	(712)
認定率(全児童生徒数に占める支給者の割合)(%)		17.9	20.4	20.3

② R3年度就学援助費の内訳 (単位：人、千円)

区 分	未就学児		小学校		中学校		合 計	
	人員	支給総額	人員	支給総額	人員	支給総額	人員	支給総額
学用品費等	—	—	1,007	14,866	547	13,963	1,554	28,829
校外活動費	—	—	(0)	0	(0)	0	(0)	0
新入学児童生徒学用品費等	—	—	(42)	2,145	(24)	1,500	(66)	3,645
修学旅行費	—	—	(188)	3,916	(170)	7,149	(358)	11,065
学校給食費	—	—	(1,007)	41,769	(544)	25,801	(1,551)	67,570
通学費	—	—	(0)	0	(1)	47	(1)	47
医療費	—	—	(154)	1,130	(41)	166	(195)	1,296
新入学学用品費 (入学前支給)	132	6,740	(167)	10,020	—	—	132 (167)	16,760
合 計	132	6,740	1,007	73,846	547	48,626	1,686	129,212

※人員の ( ) は内数。

③ R3年度就学援助費特例措置(抜粋) (単位：人、千円)

区 分	未就学児		小学校		中学校		合 計	
	人員	支給総額	人員	支給総額	人員	支給総額	人員	支給総額
新型コロナウイルスの影響による家計急変	3	153	12	951	6	600	21	1,704
令和2年7月豪雨による被災	21	1,072	130	8,673	77	6,547	228	16,292

④ 特別支援教育就学奨励費 (単位：人、千円)

区 分	R元年度	R2年度	R3年度
支給者数	78	72	71
支給総額	2,503	2,103	2,649
(うち国庫補助金)	(1,251)	(1,051)	(1,324)

⑤ R3年度特別支援教育就学奨励費の内訳 (単位：人、千円)

区 分	小学校		中学校		合 計	
	人員	支給総額	人員	支給総額	人員	支給総額
学用品費等	46	292	25	184	71	476
校外活動費	(0)	0	(0)	0	(0)	0
新入学児童生徒学用品費等	(9)	230	(7)	203	(16)	433
修学旅行費	(5)	52	(8)	184	(13)	236
学校給食費	(46)	963	(24)	541	(70)	1,504
通学費	(0)	0	(0)	0	(0)	0
医療費	(0)	0	(0)	0	(0)	0
合 計	46	1,537	25	1,112	71	2,649

※人員の ( ) は内数。

⑥ 奨学金制度の活用状況 (単位：人)

区 分	R元年度	R2年度	R3年度
申請者数	146	125	119
内定者数	123	94	94

## ○学校保健事業〔学務課〕

### (1) 各種健康診断事業

学校保健安全法等の関係法令に基づき、学校における教育活動が安全な環境において実施され、児童生徒等の安全の確保が図られるよう、児童生徒及び教職員の健康診断並びに翌年度から就学を予定している幼児を対象に就学時健康診断を実施し、有所見者には、二次検査や治療の勧告を行いました。

各種健康診断受診者数 (単位：人)

区 分	R 元年度	R2 年度	R3 年度
児 童 生 徒 健 康 診 断	7,698	7,669	7,622
教 職 員 健 康 診 断	353	338	345
就 学 時 健 康 診 断	823	805	773

### (2) 災害共済給付事業

独立行政法人日本スポーツ振興センター法に基づき、学校の管理下における児童生徒等の災害（負傷、疾病、障害又は死亡）が発生した場合に災害共済給付（医療費、障害見舞金又は死亡見舞金）を支給するもので、医療機関からの診療報酬請求に基づいて医療費を支給しました。

#### ① 災害共済掛金 (単位：千円)

区 分	R 元年度	R2 年度	R3 年度
個人負担総額	2,698	2,676	2,615
市負担総額	4,442	4,539	4,581
合 計	7,140	7,215	7,196

※ 1人当たり災害共済掛金 9 3 5 円（個人負担 4 2 0 円、市負担金 5 1 5 円）。

#### ② 災害発生件数と給付額 (単位：件、千円)

区 分	R 元年度		R2 年度		R3 年度	
	件 数	給付額	件 数	給付額	件 数	給付額
小学校	365	1,773	296	1,509	321	1,594
中学校	298	3,214	202	1,532	268	2,293
特別支援学校	3	14	5	32	12	83
合 計	666	5,001	503	3,073	601	3,969

## ○修学旅行のキャンセル料発生時の負担軽減〔指導室〕

新型コロナウイルス感染拡大防止のため学校が修学旅行を中止又は延期し、若しくはその旅行先を変更したことで発生するキャンセル料の負担を軽減するため、該当する学校に補助を行いました（補助件数 1 1 件）。

## ○学校における感染症対策の強化〔学務課〕

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各学校にマスク、アルコール消毒液、石けん液等の衛生用品等を配布しました。また、各教室にCO<sub>2</sub>濃度センサーを設置するとともに、各学校に加湿器やスポットクーラー等の備品を設置しました。

学校で新型コロナウイルスの陽性者が確認された場合に、教室等の消毒を行いました。

## ○コロナ禍における学校環境の整備〔学務課〕

児童生徒が在宅で過ごす時間を豊かなものにするため、学校図書を購入しました。また、学校関係者不在時の救命措置に対応できるよう、屋外用AED収納ボックスを整備しました。

### 【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
児童生徒の学校生活への満足度	目標値 (%)	90.0	90.0	90.0	90.0	現状値を踏まえ 90%以上を目指します。 〔現状値：89.3% (H30 年度実績)〕
	実績値 (%)	90.9	90.7			
	達成度 (%)	101.0	100.8			

### 【指標達成度に対する要因分析】

子どもたちが満足した学校生活を送るためには、充実した教育活動を展開することはもとより、安心できる生活環境を整えることが必要です。「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業における年間2回のリーダーミーティングの仕組みが整い、各取組が充実しました。特に、中学校区単位で取組を考えることにより、小中学校の9か年を通した取組となり、児童生徒が日常生活において、地域の実態をふまえた当事者意識を持って「楽しい学校・いじめのない学校」づくりに取り組むことができました。また、「思いやり・親切」に係る標語やポスターの掲示等により、各学校の支持的風土の醸成が進みました。

その結果、児童生徒は自分たちの取組への満足感や自己有用感を体得することによって、児童生徒の良好な人間関係の構築が進み、目標の達成ができたものと考えます。

### 【今後の方向性】

今後も、小中一貫教育を見据えた「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業等における児童生徒主体の取組を推進するとともに、児童生徒の実態把握の徹底によるいじめや不登校の早期発見・早期対応を行っていきます。また、SNSやネット等、スマホに関するいじめが増加する傾向にあるため、「大牟田市児童生徒の携帯電話等の利用に関する指針」の保護者等への啓発を継続して行うとともに、いじめ防止対策推進法に基づくいじめ防止基本方針に係る取組を一層推進していきます。

不登校については、要因が複雑化・多様化し学校だけでは解決困難な相談が増加しており、児童生徒の心理や家庭環境などの複雑な要因に対応できる社会福祉等の専門的知識や技能を有するスクールソーシャルワーカーの活用や大学等と連携した取組の充実を図ります。

就学援助事業については、全児童生徒数に占める支給者数の割合は約20.3%となっており、約5人に1人が対象となっている状況です。子どもの貧困対策の推進に関する法律などの関係法令の趣旨を踏まえ、今後も引き続き、援助が必要な児童生徒等の保護者に対し、「広報おおむた」や学校等を通じて就学援助制度の周知を図るとともに、申請手続面の負担軽減も図りながら、必要な援助を適切な時期に実施できるよう努めていきます。また、実態も考慮しながら、よりよい就学援助制度について検討していきます。さらに奨学金についても、公益財団法人福岡県教育文化奨学財団の奨学金制度のほか、家庭の状況に応じた奨学金制度等についても学校との連携のもとに周知を行うことで就学支援の充実を図っていきます。

学校保健事業については、児童生徒及び教職員等を対象とした各種健康診断事業において、有所見者に対し二次検査や精密検査の受診を勧奨することで、早期発見、早期治療を促し、児童生徒等の健康の保持増進に努めるとともに、災害共済給付事業についても、各学校と連携し災害発生時における適正な医療費等の給付に努めていきます。

## 主要施策 2 学校・家庭・地域の連携

大牟田地域教育力向上推進協議会との連携により、児童生徒の規範意識の育成や「共育」と「響育」の風土の醸成を推進するとともに、保護者や住民の力を学校運営に活かした、地域とともにあるユネスコスクールの体制に関する研究に取り組むなど、学校・家庭・地域の連携を推進します。

### 【主な事業】

#### ○大牟田地域教育力向上推進協議会との連携〔指導室〕

- (1) 大牟田地域教育力向上推進協議会への補助金の交付  
学校教育・家庭教育・地域教育の向上を目指した取組を行っている大牟田地域教育力向上推進協議会に対し、その運営及び活動を助成するため、92.3万円の補助金を交付しました。
- (2) 大牟田地域教育力向上推進大会の共催  
大牟田地域教育力向上推進協議会の中に設置している実行委員会と連携して、R4年1月29日（土）に文化会館において大牟田地域教育力向上推進大会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。
- (3) 教育力向上に関する啓発資料の作成・配布の共同実施  
教育力向上に関する啓発資料を作成し、4月に各学校から保護者に配布しました。  
また、長期休業中の好ましい生活習慣等についてのチラシを作成し、2学期の終業式の日（12月24日（金））に、ゆめタウン大牟田において協議会役員が市民に配布しました。
- (4) 「ありがとうの日」の作文の募集・表彰の共同実施  
毎月10日を「ありがとうの日」とし、各学校でのぼり旗を掲げました。7月の校長会において「ありがとうの日」の作文の募集について周知し、9月から10月まで募集を行い、8,776件の応募がありました。  
12月に審査を行い、各学校において入賞者の表彰を行いました。
- (5) 中学校区教育力向上の促進  
大牟田地域教育力向上推進協議会の地域部会である大牟田市中学校区教育力向上連絡協議会が中心となり、各中学校区において、校区的実態に応じて、マナーアップ3運動「挨拶運動・環境美化運動・交通安全運動」に取り組みました。

#### ○学校評価推進事業〔指導室〕

- (1) 学校の自己評価、結果公表に係る指導助言  
各学校に対し、重点目標や教育活動全般に関する学校評価計画を立て、その評価計画に基づいて、学校の自己評価並びに結果の公表を計画的に行うよう指導しました。  
各学校の評価結果（学校評価報告書）については、各学校のホームページに掲載して公表しました。
- (2) 学校関係者評価委員会の開催に係る指導助言  
各学校では、学校評議員、地域代表、保護者代表、接続する関係学校代表等によって構成される学校関係者評価委員会を設置し、計画的に学校関係者評価委員会を開催しています。学校関係者評価委員会では、学校の重点目標に係る成果指標や取組指標等の設定の説明や客観的資料に基づき達成状況等の報告を行うよう指導助言を行いました。  
各学校では、3学期に自校の教育活動や学校経営について自己評価を行い、学校関係者評価委員会において自己評価の結果について評価が行われました。各学校は、評価結果とそれを踏まえた改善計画を学校評価報告書としてまとめ、教育委員会に報告しました。

## ○学校評議員制推進事業〔学校教育課〕

学校長からの推薦を受け、小・中・特別支援学校に合計87人の学校評議員に委嘱を行いました。学校長が学校評議員から基本的に年3回の意見聴取を行う中で、専門的な識見からの考え方や地域住民・保護者の意向を学校運営に反映し、学校の課題解決に役立てるとともに、学校・家庭・地域が一体となって子どもの教育に関わる地域に開かれた学校づくりを推進しました。

## ○土曜日授業の推進〔指導室〕

### (1) 学校・家庭・地域の連携の視点からの土曜日授業の推進

小学校においては、年間5回、中学校においては年間3回（各学期1回程度）の土曜日授業を計画的に実施し、保護者や地域への学習公開を行ったり、保護者や地域の人材を活用した多様な体験学習等を実施したりするなど、学校の教育活動の充実を推進する予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、回数を減らしたり、保護者や地域への学習公開を中止したりする学校もありました。

## ○大牟田版コミュニティ・スクール推進事業〔指導室〕

### (1) 推進モデル校における学校運営協議会の運営等

保護者や住民の力を学校運営に活かした、地域とともにある「大牟田版コミュニティ・スクール構想」の実現に向けて、全ての市立学校がユネスコスクールとして地域とのつながりを構築しているという本市の特性を踏まえるとともに、他市のコミュニティ・スクールの状況も参考としながら研究を進めました。研究を通して得られた知見に基づき、大牟田市学校運営協議会規則を制定し、R2年10月1日から施行しています。また、R3年度から、大牟田版コミュニティ・スクール推進校として吉野小学校を指定し、同校の学校運営協議会では、地域学校協働活動の一環として、「ボランティア見守り隊」を組織し安心・安全活動に取り組んでいます。今後、学習面での支援を含めて活動を拡充していく予定です。

## 【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
学校教育活動へのゲストティーチャーの参加数	目標値(人)	1,900	1,900	1,900	1,900	現状値を踏まえ1,900人以上を目指します。 〔現状値:1,898人(H28~30年度平均)〕
	実績値(人)	1,092	1,215			
	達成度(%)	57.5	63.9			

## 【指標達成度に対する要因分析】

大牟田地域教育力向上推進協議会の取組の推進により、各学校並びに各中学校区の特色に応じた学校・家庭・地域が一体となった取組が展開されるとともに、各学校において、自校の教育活動に関する情報の発信や、地域や保護者の意向の学校運営への反映など、地域に開かれた学校づくりが推進され、学校教育における学校・家庭・地域の連携が充実しました。

各学校の特色ある教育活動の展開や学習環境の整備等におけるゲストティーチャーの活用については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校教育活動への参加を控えていただいたことから、目標の達成には至りませんでした。

## 【今後の方向性】

今後も、大牟田地域教育力向上推進協議会の取組の推進による学校・家庭・地域が一体となった取組の推進を図るとともに、学校評価推進事業や土曜日授業の充実・推進に取り組み、各学校における開かれた学校づくりへの支援・指導を行っていきます。

学校評議員制推進事業については、学校長が学校評議員から、地域への授業公開の在り方、地域住民の教育活動への参加、学校行事の運営や安全管理の在り方、小中連携の方策など多岐にわたり学校運営を支援する意見をいただいております、これらの意見を参考に検討を進めていきます。

大牟田版コミュニティ・スクール推進事業については、R3年度から、大牟田版コミュニティ・スクール推進校として吉野小学校を指定し、同校の学校運営協議会において、学校運営に関する協議を開催するとともに、地域学校協働本部において、地域学校協働活動推進員を中心に学校支援活動等についての協議・支援活動の実施などに取り組んでいます。また、推進校での取組の成果と課題を市全体で共有し、学校、保護者及び地域住民が相互に信頼関係を深め、地域に開かれた信頼される学校づくりに取り組んでいきます。

## 基本施策Ⅴ 人権に関する教育・啓発の推進

市民一人ひとりが互いの人権を尊重することの重要性を認識し、人権問題に対する正しい理解を深めるため、関係機関と連携しながら人権教育・啓発活動に取り組みます。

### 主要施策 1 人権・同和教育の推進

学校教育活動全体を通じて、人権尊重の視点を取り入れた教育を推進し、児童生徒に偏見や差別意識をなくす意欲と実践力を涵養し、人権が尊重される社会の基礎づくりを進めます。

また、人権・同和教育研究協議会等と連携しながら、広く市民を対象に、人権についての学習活動や啓発活動を推進し、人権が尊重される社会の形成を進めます。

#### 【主な事業】

##### ○人権・同和教育推進事業〔指導室〕

###### (1) 学校教育活動全体を通じた人権・同和教育の推進

各学校において、人権・同和教育の全体計画を作成し、県教育委員会作成の副読本「かがやき」や教材集「あおぞら」を活用しながら、学校の教育活動全体を通して、児童生徒の実態に応じ人権・同和教育を推進するよう指導しました。

###### (2) 教職員研修の開催

教職員研修については、各学校において、授業による校内研修会を計画的に実施するとともに、大牟田市人権・同和教育研究協議会と連携して実践交流会に参加し、学校の人権・同和教育の充実に努めるよう指導しました。

###### (3) 各種研究会への参加

県教育委員会、県人権・同和教育研究協議会等が主催する各種研究会への参加の促進を図りました。

##### ●人権・同和问题啓発事業〔人権・同和教育課〕（22ページを参照）

###### (1) 「人権・同和教育講演会」の開催

と き 7月17日（土）

と ころ 大牟田市労働福祉会館 中ホール

内 容 講演会「ネット人権侵害と部落差別の現実～コロナ禍で問われていること～」

講 師 川口 泰司（山口県人権啓発センター事務局長）

参加者 114人

###### (2) 福岡県同和问题啓発強調月間（7月）及び人権週間（12月）の街頭啓発

と き 7月9日（金）、12月3日（金）

と ころ ゆめタウン大牟田

###### (3) 「人権学習会」の開催

と き 1月19日（水）、1月21日（金）、1月25日（火）、2月2日（水）

と ころ 中央地区公民館、吉野地区公民館、中友小学校、勝立地区公民館

内 容 学習会「炭鉱と人権 ～与論島から来て大牟田の礎を築いた人たち～」

講 師 大牟田市人権・同和教育研究協議会研究員

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

###### (4) 講師派遣と啓発情報提供

企業や団体等が開催する研修会に地域活動指導員を講師として派遣し、人権学習を推進しました。また、ホームページにより各種啓発事業や地域や職場での学習を支援するため

の啓発資料の案内を行うとともに、「広報おおむた」に啓発に関する記事や事業の案内を掲載するなど、情報提供しました。

○大牟田市人権・同和教育研究協議会との連携〔人権・同和教育課〕

(1) 大牟田市人権・同和教育研究実践交流会の共催

第25回人権・同和教育研究実践交流会

と き 8月3日(火)

と ころ 大牟田文化会館等

参加者 570人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、オンラインと対面を併用して開催しました。

全体会 記念講演「過去から未来へとつなぐ人権教育」

講 師 松下 一世(佐賀大学教員)

分科会 「子ども理解・子ども支援」、「自分を語る」、「学級づくり」など6分科会を開催

(2) 課題別委員会「子ども就学支援」の支援

課題別委員会「子ども就学支援」で、「2021(令和3)年度版 おおむた子ども支援ガイドブック～子どもを、家庭をチームワークで支えるために～」を作成し、学校をはじめとして大牟田市人権・同和教育研究協議会加盟団体に配付するとともに、ホームページに掲載し情報提供を行いました。

(3) 人権連続講座の共催

①第1回

と き 10月22日(金)

と ころ 大牟田市労働福祉会館 中ホール

内 容 講演会「ハンセン病と差別」

講 師 林 力(ハンセン病家族訴訟原告団長)

岡口 洋(一般社団法人いのちのライツ ～ハンセン病差別をなくす会ふくおか～ 理事)

参加者 74人

②第2回

と き 11月5日(金)

と ころ 大牟田市労働福祉会館 中ホール

内 容 講演会「水俣病を学ぶ意味」

講 師 永野 三智(一般財団法人水俣病センター相思社常務理事)

参加者 73人

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
人権尊重意識の醸成度	目標値(%)	100	100	100	100	諸事業の参加者アンケートで、開催テーマに対する理解及び認識が「深まった」「概ね深まった」と全ての人に回答していただくことを目指します。 [現状値:96.5%(H30年度実績)]
	実績値(%)	93.4	93.1			
	達成度(%)	93.4	93.1			

### 【指標達成度に対する要因分析】

R3年度においては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人権学習会を中止しましたが、人権・同和教育講演会及び人権連続講座における「人権尊重意識の醸成度」については、目標値には届かなかったものの、ほぼ近い数字となりました。

### 【今後の方向性】

諸事業を開催するには、その趣旨を踏まえ、深く掘り下げた内容とする一方、誰もが気軽に参加でき、分かりやすく身近な問題をテーマとして、広く市民を対象として開催することも重要となってきます。そのためには、周知方法についても、広報おおむたや市ホームページのほか、愛情ねっと、公式LINE等を活用し、民生委員・児童委員協議会等の各種団体に直接働きかけを行うなど、広く周知、啓発していきます。

# 教 育 施 策 の 推 進 状 況

(市 長 部 局 関 係 分)

# 「大牟田市まちづくり総合プラン」より

市長部局関係分においては、総合計画「大牟田市まちづくり総合プラン」第1編に掲げる社会教育、スポーツ及び文化の関係施策に係る実績を掲載しています。

## 「大牟田市まちづくり総合プラン」施策体系（関係分の抜粋）

第1編 はぐくみ 未来を拓く人がはぐくまれています

第4章 未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち

視点1 次世代を担う子どもをはぐくむ

視点2 ESDを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり

視点3 学習環境の整備・充実

視点4 青少年の問題行動や悩みへの対応

第5章 スポーツを通して生きがい満ち、活気にあふれるまち

視点1 気軽に楽しめるスポーツ活動の機会づくり

視点2 スポーツ活動を支える仕組みづくり

視点3 スポーツがしやすい環境づくり

第6章 文化芸術に親しみ、心豊かに生活できるまち

視点1 まちの歴史や文化を知る・学ぶ

視点2 文化芸術事業の充実

視点3 文化芸術の環境づくり

## 成果指標の令和3年度実績値

施策	成果指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R3年度)	実績値 (R3年度)	達成度 (R3年度)
第1編第4章 未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち <b>※点検・評価の対象</b>	将来、大牟田のために役に立ちたいと思う高校生の割合(※1)	—	90.0%	50.0%	55.6%
	地域にある課題解決に向けて、自らが出来ることに取り組みたいと思う市民の割合(※2)	47.5%	50.0%	46.8%	93.6%
同第5章 スポーツを通して生きがいに満ち、活気にあふれるまち <b>※点検・評価の対象外</b>	1年間のうち、週1回以上の運動・スポーツの実施率(※3)	41.6%	50.0%	40.2%	80.4%
同第6章 文化芸術に親しみ、心豊かに生活できるまち <b>※点検・評価の対象外</b>	1年間に、ホールや施設などで文化芸術を直接鑑賞したことがある人の割合(※4)	57.9%	80.0%	38.2%	47.8%

※1:実績値(R3年度)は、事業に参加した高校生等向けのアンケート結果による。

※2~4:実績値(R3年度)は、「まちづくり市民アンケート」集計結果による(18歳以上の市民1,000人を無作為抽出して実施し、532人が回答)。

## 令和3年度重点事業（市長部局）

まちづくり総合 プラン第1編		事業名	ページ
章	視点		
4	1	高校生まちづくり体験事業	65
4	2	学校ESD支援事業	66

# 令和3年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：生涯学習課)

<b>事業名</b>	【まちづくり総合プラン第1編第4章】未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち (視点1) 次世代を担う子どもをはぐくむ <b>高校生まちづくり体験事業 (70ページ参照)</b>
------------	---

**目的**  
高校生等を中心とした概ね18歳までの世代が自ら考え、企画した事業等を実践・運営し、多くの人とひとつのことをやり遂げることで、仲間意識や達成感を得るとともに、まちに貢献する気持ちや郷土をより良いまちに変えていこうとする姿勢を身に付けることを目指します。

**事業内容**  
高校生等が、事業内容を自ら企画し実践するとともに、地域や青少年団体をはじめとする様々な団体が高校生等の活動を支援・助言することで、高校生等が大人に感謝や憧れを持ち、将来のまちづくりに対する意識が芽生えるような事業とします。また、高校生等の活躍を見た小・中学生が、高校生等に憧れを持つことで、地域における支援が継続していくような事業を実施します。

具体的な事業として、次の2事業を実施します。

○ふるさと魅力発見ウォーク

小・中学生と共に長距離を歩き抜くことで、チャレンジ精神を育み、実践力と豊かでたくましい青少年の育成を目指します。さらに、コース等について企画する中でふるさとの魅力を発見する機会とします。

○総合発表会

高校生等が自ら企画・運営を行うことで、達成感や自信とともに、まちに貢献する気持ちや郷土をより良いまちに変えていこうとする姿勢を身に付けます。また、発表会を活用し、地区公民館等のサークルによる小・中・高等学校等への支援や相互の交流等を促す地域づくりを目的とした事業を行います。

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
参画した高校の数	目標値(校)	5	6	7	8	R5年度に市内の高校・高等専門学校全校の参画を目指し、年1校ずつ増加
	実績値(校)	6	4			
	達成度(%)	120	66.7			

**取組実績**

○高校生まちづくり体験事業推進協議会

本事業を支援することを目的として、青少年団体等から組織する協議会を開催しました。

○ふるさと魅力発見ウォーク

コロナ禍の中でしたが、想定していた1泊2日を日帰りに縮小し、「青春(アオハル)Walk」と称して事業を実施しました。ポスターやチラシ等の活用により市内の高校等全校へ事業の周知を図り、事業を企画・運営するスタッフを募集し、10人(市内の高校等に通う生徒4校10人)の参加がありました。

7月から企画会議を実施し、参加した高校生等は企画・立案に真剣に取り組み、大牟田の新たな魅力発見にも力を注いでくれました。企画途中での緊急事態宣言発令により、全体での企画会議の中止や事業を縮小する状況となりましたが、高校生スタッフ等と実施可能なコースやレクリエーションを再協議し、R3年12月12日(日)に高校生等10人と、小・中学生の参加者9人(11人申込みあり当日2人欠席)で実施することができました。

○総合発表会(新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施)

	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 (次年度への繰越)	604千円 千円)	302			302

**問題点及び課題**

高校生等個人の参加は募ることができましたが、コロナ禍の中、学校としての参画が難しい状況が続いています。また、高校生等と地域の方々との交流の機会等の提供も困難な状況となっています。このような状況において、高校生等の達成感やふるさとへの愛着を高めることができるような事業の組み立てが必要となっています。

**今後の方向性(具体策)**

高校等の参画を募るために、各高校等へ本事業の実施により高校生等の達成感やふるさとへの愛着を高め、地域のために自らチャレンジできる人づくりを目指していることの重要性について説明の強化を図ります。

企画スタッフを確保するため、ポスターやチラシ、広報等の活用に加え、青少年団体等にも呼びかけるなど、事業の更なる周知を図ります。

高校生等が参加意義を見つけることができるよう事業の組み立てを支援します。

**評価**

事業に参加した高校生等10人全員から「参加してよかった」とのアンケート回答がっており、今後とも、より多くの高校生等に事業の体験の機会を提供できるよう取り組みます。

# 令和3年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：生涯学習課)

<b>事業名</b>	【まちづくり総合プラン第1編第4章】未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち (視点2) ESDを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり <b>学校ESD支援事業(76ページ参照)</b>
------------	--

<b>目的</b>	地区公民館が、学校教育のESDに対して必要に応じた協力を行うことで、社会教育におけるESDを推進することができます。また、学校教育におけるESDも効果的に実施できることが考えられます。
-----------	--

<b>事業内容</b>	学校が進めているESDの取組みのうち、地域の支援が必要な取組みについて、地区公民館が地域とのコーディネートを行うもの。地区公民館が学校のニーズを把握し、ニーズに応じた地域との調整や必要な支援を行います。
-------------	---

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
支援を行った小・中・特別支援学校の数	目標値(校)	4	6	8	10	R5年度に小学校7校、中学校特別支援学校3校の支援を目指し、年2校ずつ増加
	実績値(校)	7	7			
	達成度(%)	175.0	116.7			

<b>取組実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の大人が子どもたちに絵手紙の素晴らしさを伝えるボランティア講座を実施し、子どもたちが描いた絵手紙を校区内の高齢者に届ける取り組みを実施しました。【天の原小学校、玉川小学校、宮原中学校】</li> <li>○地域、学校が連携し種から花を育てることにより、地域の絆を深めました。【銀水小学校】</li> <li>○地域の史跡や文化財等を知り発表することにより児童の地域への愛着を深めました。【羽山台小学校(学校ESD支援モデル校区)、駿馬小学校(新型コロナウイルスの影響により中止)】</li> <li>○学校職員に公民館や地域のことを紹介し、ESDや総合学習のヒントとなることを目指した研修会を実施しました。【羽山台小学校】</li> <li>○小学校の海洋教育及び野外活動として実施されるカヌー乗船体験学習を支援しました。【駿馬小学校、天領小学校、羽山台小学校】</li> <li>○このほか児童・生徒の学習活動の成果発表の場として、各地区公民館のロビー等を活用した展示発表を実施したほか、みなと小学校児童が作成した「防災マニュアル」を三川地区公民館において配布しました。</li> </ul>
-------------	---

決算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 (次年度への繰越)	17 千円				17 千円

<b>問題点及び課題</b>	<p>地区公民館の機能や役割について、学校への周知が十分ではないため、提供できる支援について周知を図る必要があります。</p> <p>小学校での実施が中心となっており、中学校への取組みが必要です。</p>
----------------	--

<b>今後の方向性(具体策)</b>	<p>学校のニーズを把握するため、学校が取り組むESDについて理解を深めることが必要です。また、学校職員を対象とした事業の説明機会を設け、学校ESDの支援に取り組みます。</p> <p>学校に提供できる支援を明確にするため、地区公民館ができることをメニューにして提示するなど、わかりやすい仕組みを構築します。</p>
--------------------	--

<b>評価</b>	<p>目標を上回る7校(小学校6校、中学校1校)で事業に取り組むことができ、学校と地域をつなぐ役割ができました。また、前年度からの継続した事業のほか、モデル事業(羽山台小学校)の実施など新たな事業にも取り組むことができました。今後も学校・地域との連携をさらに深め、事業を実施していきます。</p>
-----------	--

<b>施策名</b>	<b>【まちづくり総合プラン第1編第4章】</b> <b>未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち</b>
<p>次世代を担う子どもたちを中心に、ともに学び、考え、行動する人がはぐくまれるまちを目指します。</p> <p>そのため、子どもたちの人間性、社会性、郷土愛などを地域や社会全体ではぐくむとともに、全世代にわたり、社会の課題を身近な問題ととらえ、地域での「つながり」や「関係性」を大切にする人をはぐくみ、持続可能な地域づくりを進めます。</p>	

**【視点1】次世代を担う子どもをはぐくむ**

次世代を担う子どもたちが、さまざまな体験や活動を通じて社会を生き抜く力を身に付けるとともに、郷土愛や将来にわたってまちづくりに参画する姿勢をはぐくむ取組みを行います。

また、高齢者や子育て世代をはじめとする地域の大人が、学習活動や地域活動を通じて子どもの成長を支えるとともに、自らも人生100年時代における人づくりへとつながるような取組みを進めます。

**【主な事業】**

**○子ども交流体験事業〔生涯学習課、公民館〕**

**(1) 子ども交流体験活動事業〔公民館〕**

地区公民館において、食や環境等をテーマに、ものづくりや自然体験、公民館での宿泊体験など子どもたちの体験活動講座を17講座開催しました（2事業は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）。

（各講座の詳細は、136～154ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

**(2) 交流教育地域推進事業ふれあい共室**

障害のある子どもと障害のない子どもがボランティアと交流しながら、レクリエーションなどの活動を通して人間性や社会性を育むこと、ボランティアが活動の意義を認識することを目的に実施しました。

**①回数**

- ・事前研修会 1回
- ・保護者との懇談会 1回
- ・活動 4回

**②延べ参加者（人）**

- ・子ども 96人
- ・ボランティア 98人
- ・保護者（懇談会）12人

**(3) 子ども未来デッサン事業**

小学校中・高学年（4～6年生）が、自分の将来のことを考え、夢や目標を見つけるきっかけをつくとともに、未来へ向かって頑張る姿勢を身に付けてもらうための一助となることを目指した講座です。

様々な職業人から、子ども達へ現在の職業に就いたきっかけや、夢を実現させるために努力したこと、仕事のやりがいや様子などの話をしていただき職業体験も実施しました。

H26年度から29年度までの4年間は、生涯学習課で実施しました。H30年度からR2年度までは地区公民館事業として実施し、R3年度から再び生涯学習課で実施しています。

職業	講師	とき	ところ	受講者数
保育士	井上 由加里	8月3日(火)	えるる	8人
海上保安官	山下 純平 石内 奈々恵	9月26日(日)実施予定で参加者も18人決定していましたが、新型コロナウイルス感染症福岡コロナ特別警報及び緊急事態宣言発令のため中止しました。		
モデル	境 慶史	R4年2月20日(日)	えるる	8人

#### (4) 通学合宿や子どもの居場所への支援

##### ①通学合宿支援事業

通学合宿は、子どもたちが家庭を離れ、異年齢集団で地区公民館等に寝泊りしながら学校に通う取組です。買い物、食事作り、掃除等の身の回りの基本的なことは、ボランティアの支援のもと、子どもたちができるだけ自分たちで行います。

##### ア 新規実施校区を対象とした通学合宿モデル事業

行政と校区の実行委員会が連携して通学合宿を実施することにより、今後地域が自主的な取組で通学合宿を実施するための準備期間とするとともに、通学合宿への認知度の向上を図ることを目的としています。R3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施には至りませんでした。

##### イ 県委託を受けて通学合宿を実施する団体への支援

県からの委託を受けて通学合宿に取り組む実行委員会に対し、県との連絡調整、事業実施に当たっての支援を行うものです。R3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施には至りませんでした。

##### ウ 自主的な取組で通学合宿を実施する団体への補助

自主的な取組で通学合宿を実施する団体に対して補助金の交付を行うものですが、R3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施する団体はありませんでした。

##### エ 通学合宿ボランティアの育成

通学合宿の意義と必要性を理解し、生活面での全般的な指導を行うことができるボランティアを養成することを目的として、新規で実施する校区を対象に通学合宿ボランティア養成講座を実施しています(R3年度は実績なし)。

##### ②子どもの居場所づくり支援事業〔生涯学習課〕

##### ア 子どもの居場所づくりに取り組む団体への補助

##### (ア) 子どもの居場所づくり運営費補助金の交付

各地域で自主的に「子どもの居場所」を開設する実行委員会等16団体(定期開設16団体、長期休業期間中開設0団体)に対して運営費の一部を補助しました。

※R3年度8月から、みなと子どもの広場実行委員会に補助金交付。

※定期開設のうち1団体は新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業未実施となったことから、補助金は全額返還。

##### ・市補助金交付団体【定期開設】 16団体

	交付団体名	開催数	経年
1	「なかよし広場」文化サークル実行委員会	月1回	17年目
2	友・遊広場見守り隊	月2回	17年目
3	三池みんなの広場実行委員会	月1回	17年目
4	吉野校区子どもの居場所委員会	月1回	17年目
5	平原小学校父母教師会	月1回	15年目

6	手鎌地区公民館子どもの居場所「わくわく広場」実行委員会	月 1 回	15 年目
7	大牟田視聴覚教育クラブ	月 1 回	15 年目
8	みんなの広場・羽山台世話人会	月 1 回	12 年目
9	プレーパークおおむた遊ばせ隊	月 1 回	11 年目
10	高取校区子どもの居場所実行委員会	月 1 回	11 年目
11	大牟田市護身道連盟スポーツチャンバラ協会	月 4 回	10 年目
12	みんなあつまれ子どもの居場所実行委員会	月 1 回	9 年目
13	ひまわり広場実行委員会	月 4 回	7 年目
14	大正こどもの居場所実行委員会	月 1 回	4 年目
15	げんきいっぱい白川っ子実行委員会	月 1 回	2 年目
16	みなと子どもの広場実行委員会	月 12 回	1 年目

・市補助金交付団体【長期休業期間中開設】 ※R3年度なし

・自主運営等の団体数 5 団体

	居場所（広場）名	開催数
1	駿馬地区アンビシャス広場	週 1 回
2	勝立地区アンビシャス広場	月 1 回
3	カルタンひろば（三池・カルタ歴史資料館）	休館日を除く毎日
4	吉野ぼけっと	月 4 回
5	上官げんきもりもりハウス	月 4 回

※「自主運営等の団体」とは、市の補助金の交付を受けない団体をいいます。

・不定期開設運営等の団体数 2 団体

	居場所（広場）名	開催数
1	明治きらめき広場	年 2 回
2	上内なかよし広場	年 2 回

## イ 啓発活動

(ア) 各居場所の活動予定を示したポスターを毎月発行

(イ) 子どもの居場所通信（第 1～3 号）の発行

(ウ) 子ども会説明会での居場所啓発（4 月 10 日（土））

## ウ 子どもの居場所等連絡協議会における情報交換、研修、体験活動の実施

(ア) 情報交換の開催（7 月、12 月、3 月）

大牟田市子どもの居場所等連絡協議会の情報交換会を年 3 回開催し、延べ 70 人が参加しました。

(イ) 研修会の開催

と き 12 月 13 日（月）

と ころ 三池地区公民館 研修室 B

参加者 29 人

テーマ 新規居場所の紹介

講 師 みなと子どもの広場（R3.8 開始） 城野 國子

上官げんきもりもりハウス（R3.10 開始） 小泉 悦子・田中 千代子

テーマ 駿馬地区アンビシャス広場 20 周年記念事業

講 師 駿馬校区アンビシャス広場 北川 正一

(ウ) 体験活動（「わくわく子どもまつり」）の実施

と き R4 年 3 月 6 日（日）

※12月、2月に開催に向けての会議を行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

●高校生まちづくり体験事業(次世代を担う人づくり事業)[生涯学習課](65ページを参照)

(1) ふるさと魅力発見ウォーク

①高校生等企画スタッフ募集

募集方法 ポスター、チラシ、市公式LINE等

募集期間 6月24日から7月16日まで

応募者数 10人(明光学園高等学校6人、大牟田北高等学校2人、三池高等学校1人、有明工業高等専門学校1人)

②企画会議等開催

第1回 7月24日(土)

8月28日(土)

※新型コロナウイルス感染症福岡コロナ特別警報及び緊急事態宣言発令(9月30日まで)のため中止

第2回 10月16日(土)

第3回 11月6日(土)

第4回 11月20日(土)

第5回 12月4日(土)

第6回 12月18日(土)

第7回 R4年1月11日(火)※報告書作成

第8回 R4年2月1日(火)※報告書作成

③事業実施

青春(アオハル)Walk実施

実施日 12月12日(日)

参加者 高校生10人、小学生9人、推進協議会会員1人

コース 三池地区公民館～熊野神社～えるる～八剣神社～石炭産業科学館～大牟田市動物園

④小学生参加者募集

応募方法 ポスター、チラシ、市公式LINE等

応募期間 11月12日から11月30日まで

応募者数 11人(みなと小1人、天領小2人、白川小1人、平原小1人、三池小2人、吉野小1、倉永小1人、歴木中1人、明光学園中学校1人)

※当日参加は9人

(2) 総合発表会(R3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施なし)

(3) 高校生まちづくり体験事業推進協議会

協議会開催

第1回 R4年3月23日(水)

○子どもの読書推進事業[生涯学習課]

R3年度は、子ども読書推進にかかる広報啓発とともに、「大牟田市子ども読書推進計画」に基づき、次のような取組を行いました。

(1) ブックスタート事業

赤ちゃんと保護者が、絵本をとおして、心ふれあう時間を持つきっかけを届ける取組みとして、新生児に、絵本や布バッグ、お薦めの絵本やおはなし会の情報を紹介したリーフレット(ブックスタートパック)を全ての新生児に配布するブックスタート事業を実施し、

R3年度は641人の新生児に配布しました。

併せて、読み聞かせの実演や赤ちゃんと絵本を通してコミュニケーションを楽しむ体験ができる「絵本による赤ちゃんとのコミュニケーション講座」を読書ボランティア及び図書館の協力により実施しました。

「赤ちゃんとのコミュニケーション講座」実施状況

と き	参加者
10月29日(金)	4組(8人)
11月6日(土)	5組(12人)
11月27日(土)	3組(7人)
12月4日(土)	6組(14人)

(会場は市立図書館)

(2) 子ども読書推進啓発事業

①啓発チラシ作成・配布

子ども読書の大切さを啓発するチラシを市内小中特別支援学校の児童・生徒に配布しました。

②子ども読書の日記念イベント2021(指定管理者)

4月23日の子ども読書の日に合わせて、子ども読書の日記念おはなし会や特設コーナーの設置等のイベントを実施しました。

(内容等の詳細は、169ページの「社会教育施設等の状況 図書館」の「3 事業の実施状況」の「(1) 必須事業」の「②行事」の「ア イベント的事業」の表を参照)

③ホームページへの記事作成・更新

おはなし会の情報や子どもの読書イベントの情報を毎月更新しました。(携帯電話用のページも毎月更新)。

④うちどくノート・うちどくリストの作成

家庭での読書活動(うちどく)を支援として、現在、市立図書館で配布している「うちどくノート」と「うちどくリスト」の活用促進を図るため、デザインや内容の見直し、大牟田市子ども読書推進委員会ワーキング部会で協議しました。

R4年度から配布を開始し、学校等での活用の提案を含め、広く周知していきます。

○子どもの体力向上事業〔スポーツ推進室〕

(1) 親子運動セミナー

子どもにとってスポーツは、生涯にわたって健康や体力を保持・増進するための大切な活動であり、幼少期からスポーツを経験することの重要性を伝え、スポーツの恒常性を図るため、親子で参加でき、子どもが運動・スポーツを好きになる「親子運動セミナー」を実施し、子どもの成長に合わせた運動の必要性の理解のための親を対象としたセミナーや、アビスパ福岡コーチを講師にボールを使用した運動などを行う予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により中止しました。

期日	内容	場所	参加者数
9月26日(日)	子どもの体力測定、保護者セミナー	大正小学校	—
10月31日(日)	親子で運動遊び	大正小学校	—
11月14日(日)	親子で運動遊び	大正小学校	—
12月12日(日)	親子で運動遊び	大正小学校	—
12月19日(日)	子どもの体力測定	大正小学校	—

## ○スポーツ少年団育成委託事業〔スポーツ推進室〕

スポーツ少年団員の体力・健康の現状を把握し、その増進を図るとともに、各少年団相互の親善と友情を深めるための事業（体力テスト）を実施しました。また、機関紙「おおむたしスポーツ少年団ニュース」を発行し、その中で、スポーツ少年団への加入促進を図りました。

期日	内容	場所	参加者	
			団体数	人数
12月11日(土)	体力テスト	市民体育館	21	267
R4年2月13日(日)	交流ドッジボール大会(中止)	市民体育館	—	—

### スポーツ少年団の加入状況

区分	年度	R元年度	R2年度	R3年度
スポーツ少年団数		39	37	35
加入者数		624	543	611

## ○おおむたっ子がんばれ奨励金事業〔生涯学習課、スポーツ推進室〕

18歳以下の市民が地区予選を経て全国レベルの大会又は国際大会に出場する場合に、青少年の育成、スポーツ・文化の振興、選手・出場者の意欲の向上に寄与するため、青少年健全育成基金を活用し、「おおむたっ子がんばれ奨励金」を交付しました。

区 分		R元年度	R2年度	R3年度
スポーツ	全国大会等出場者数	147人	53人	93人
	交付額	461千円	159千円	279千円
文化芸術	全国大会出場者数	25人、3団体	3人、1団体	15人、2団体
	交付額	345千円	159千円	255千円

## ○各世代に応じた学習活動支援事業〔生涯学習課・公民館〕

### (1) 各世代に応じた学習活動支援事業〔公民館〕

高齢者や子育て世代をはじめとする地域の大人が学習活動や地域活動を通じて子どもの成長を支えることで、自らも活躍できるような人生100年時代に向けた人づくりを進めるため、あらゆる層の市民が参加できる学習機会の提供として、33講座を開催しました。

(19講座は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

(各講座の詳細は、136～154ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

### (2) 大牟田市子ども会育成者連絡協議会及びPTA連合会活動等への支援〔生涯学習課〕

#### ①子ども会活動支援事業

##### ア ジュニアリーダー、イン・リーダーの育成

大牟田市子ども会育成者連絡協議会と共催で、市子ども会イン・リーダー養成講座を実施しました。

と き	内 容	と ころ	参加者数
8月1日(日)	仲間づくり・新型コロナウイルス感染予防を考えたゲーム作り・新型コロナウイルス感染予防を考えたゲームの体験	リフレスおおむた	9人
10月31日(日)	仲間づくり・新型コロナウイルス感染予防を考えたゲーム作り・新型コロナウイルス感染予防を考えたゲームの体験	リフレスおおむた	6人
R4年 1月30日(日)	※新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令のため中止	えるる	—

イ 親善交流大会（ドッジビー大会、カルタ大会）

（ア）ドッジビー大会

と き 9月20日（月・祝）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

（イ）新年カルタ大会

と き R4年1月10日（月・祝）

ところ 駿馬地区公民館

参加者 3子ども会 8チーム 26人

（ウ）子ども会（安全共済会）説明会の実施

と き 4月11日（日）

ところ 労働福祉会館

参加者 18団体21人

内 容 子ども会の重要性や育成会の役割等

※資料配布後、子ども会安全共済会の加入受付を生涯学習課で受け付け、32団体が加入しました。

② P T A活動支援事業

ア 広報紙コンクール、広報紙研修会の実施

（ア）P T A広報紙コンクールの実施

第36回P T A広報紙コンクールを、大牟田市、大牟田市教育委員会、大牟田市立小・中・特別支援学校P T A連合会の共催により実施しました。作品は、R2年度発行の新聞を対象としました。

応募校数23校（小学校15校、中学校8校）

表彰 大牟田市長賞：大牟田中央小学校父母教師会、宅峰中学校父母教師会

大牟田市教育委員会賞：大正小学校父母教師会、松原中学校父母教師会

大牟田市立小・中・特別支援学校P T A連合会賞：

明治小学校父母教師会、歴木中学校父母教師会連合会

優秀賞：天領小学校父母教師会、中友小学校父母教師会、

みなと小学校父母教師会、田隈中学校父母教師会

（イ）P T A広報紙研修会の開催

と き 5月18日（火）に予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため紙面研修に変更しました。

（ウ）P T A連合会の研修会の委託

11月13日（土）大牟田市立小・中・特別支援学校P T A連合会研修会を実施しました。

R4年3月15日（火）～3月25日（金）

大牟田地区私立幼稚園P T A研修会をZOOM配信にて開催予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止となりました。

○家庭教育支援事業〔生涯学習課・公民館〕

（1）家庭教育講座〔公民館〕

家庭教育に関する学習機会の充実を図るため、幼児、小学校低学年・高学年、思春期などに区分し、「家庭教育講座」を4講座開催しました（2講座は新型コロナウイルス感染症等の影響により回数を減らして実施。）

（各講座の詳細は、136～154ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

(2) 子育てふれあい広場の開設〔生涯学習課・公民館〕

地域の子育て中の保護者が子どもと一緒に気軽に集える場を提供し、利用者間の交流や子育てについての学びあいを支援するため、三池地区公民館と手鎌地区公民館において子育てふれあい広場を開設しています。

R3年度は、ボランティア養成講座の実施等、公民館事業としての子育てふれあい広場の準備期間のための休止、および新型コロナウイルス感染拡大防止のための開設中止など、大幅に回数を減らしての実施となりました。

① 三池子育てふれあい広場（じゃじゃり子み〜け）・月曜日開設

大人延べ利用者数	68人
子ども延べ利用者数	65人
延べ利用者数	133人
開設日数	12日

② 手鎌子育てふれあい広場（れもんぐらす）・金曜日開設

大人延べ利用者数	111人
子ども延べ利用者数	130人
延べ利用者数	241人
開設日数	16日

③ ボランティア養成講座

子育て中の保護者が、子どもと一緒に安心して過ごせる子育てふれあい広場づくりを目指しつつ、本来の形であるボランティア中心の子育てふれあい広場の運営が難しい現状のなか、令和3年度から公民館事業として取り組むため、三池地区公民館、手鎌地区公民館においてボランティア養成講座を実施しました。

(3) 子育て情報誌「おおむたっ子」の発行〔生涯学習課〕

子どもの様々な体験活動を充実させるとともに、家庭教育や次世代育成を支援するため、子どもの体験活動の機会や子育て支援に関する情報を収集・提供する事業を、市民ボランティアと行政で組織する運営委員会において実施しました。年3回（7月・11月・3月）発行し、発行数は延べ34,500部でした。

(4) 幼児期や就学前など発達段階に応じた子育て講座の実施

① 就学前子育て講座〔生涯学習課・公民館〕

小学校入学前の子どもを持つ保護者を対象に、入学説明会の機会を活用して家庭教育のあり方やしつけについての子育て講座を実施しました。令和3年度より公民館事業として実施しています。新型コロナウイルス感染症の影響により、入学説明会が中止・時間短縮の実施等となったため、19校区中1校区のみの実施となりました。18校区については、資料を配布しています。

1講座（1小学校区）参加者数23人（入学予定者数の92.0%）

② 幼児期子育て講座〔生涯学習課〕

3歳から就学前までの発達段階に応じた子どもとの関わり方や生活習慣づくりの大切さ、子育ての楽しさを伝えることで、保護者自身の心の安らぎや成長を支援することを目的とし、幼児期の子どもを持つ保護者を対象に「幼児期子育て講座」を実施しました。

と き	8月7日（土）
と ころ	えるる
参加者数	17人

〇わくわくシティ基金事業〔スポーツ推進室、生涯学習課〕

スポーツ・文化の振興を通じた青少年の人材育成、地域活性化を目的とし、スポーツ・文化の振興につながる事業を助成するものです。

スポーツ分野は、中友剣道スポーツ少年団による「中友剣道スポーツ少年団創立60周年記念大会」をR3年度に延期後、開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、R4年度に再延期しました。

文化芸術分野は、こども花だんプロジェクトによる「キッズ花フェスタ」と、ダンスによる若者育成事業実行委員会による「ダンスチャレンジおおむた」をR3年度に延期後、開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のためR4年度に再延期しました。

大牟田青少年音楽育成事業実行委員会による「子どものためのオペラ『ヘンゼルとグレーテル』ハイライト公演」はR3年度に開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のためR4年度に延期しました。

一般社団法人 OMUTA BRIDGE による「おおむた子どもまちづくり会社(仮)」は下記のとおり開催しました。

と き	5月～R4年3月
対 象	橘中学校2年生
概 要	①事業に関わる関係者の視点から語られる、それぞれの事業に対する歴史や想い、視点に触れるセミナー ②大牟田の農産物、特産品を通し、大牟田の食文化を学び、商品の企画書を作成 ③販売実践 ④決算発表会（実践報告会）

#### ○文化芸術体験を通した子ども・若者育成事業〔生涯学習課〕（再掲）

（第1編第6章・視点2の107・108ページを参照）

#### ○文化芸術が生み出すまちの魅力アップ事業〔生涯学習課〕（再掲）

（第1編第6章・視点3の109ページを参照）

## 【視点2】ESDを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり

市民の主体的な学びや活動の機会を設けるにあたり、人と人、人と地域、地域と地域の「関わり」・「つながり」をはぐくむといったESDの視点を持った取組みを展開することで、「人づくり」・「つながりづくり」を進めます。それにより、地域が直面する課題を市民自らが発見し共有し解決していく、持続可能な「地域づくり」へとつなげていきます。

### 【主な事業】

#### ○生涯学習ボランティア登録派遣事業〔おおむた生涯学習まちづくり推進協議会・生涯学習課〕

##### (1) 生涯学習ボランティア登録派遣事業

市民の学習を支援するボランティアを登録し、市民からの求めに応じてコーディネートを行い派遣する「生涯学習ボランティア登録派遣事業」を実施しました。R3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため派遣回数は減少しました。

##### ①ボランティア登録・派遣状況

年度	区分	延べ登録件数 (件)	延べ登録者数 (人)	派遣回数 (回)	派遣先の 参加者数 (延人数)	ボランティアの 稼働率(%)
R元	個人	94	94	237	7,829	68.5
	団体	119	1,475	639	49,505	
	計	213	1,569	876	57,334	
R2	個人	93	93	109	2,341	33.6
	団体	118	1,473	244	5,993	
	計	211	1,566	353	8,334	
R3	個人	91	91	125	2,640	36.2
	団体	116	1,464	191	4,370	
	計	207	1,555	316	7,010	

##### ②アンケート結果

###### ○ボランティア登録者の意欲の高まり

(学習の成果を人づくりやまちづくりに役立てたい) …99.5%

(R2年度99.4%)

###### ○依頼者(利用者)の満足度(今後もこの制度を活用したい) …100%

(R2年度100%)

##### ③説明会

事業内容の周知及び利用促進を図ることを目的に、依頼者とボランティア登録者向けの説明会などを行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書類送付による説明に振り替えました。

###### ア 依頼者(利用者)向け

送付内容 おおむた生涯学習メニューブック(利用案内含む)

###### イ ボランティア登録者向け

送付内容 事業概要、ボランティア活動保険について

##### ④新規登録の呼びかけ

地域で活動している人等を対象に、好きなことや得意なこと、学んだ成果を活かして生涯学習ボランティアとして活動してもらうために、以下の取組を行いました。

###### ア 地区公民館で実施するアクティブシニアデビュー塾における事業の紹介とボランティア登録の呼びかけ

###### イ 校区まちづくり交付金における『地域人材発掘メニュー』の設定

#### ⑤周知・PR

- ア ボランティア登録者の募集（「広報おおむた」2月1日号掲載）
- イ 「おおむた生涯学習メニューブック（まなばんかん利用案内掲載）」（2,500部）の配布
- ウ YouTube市公式アカウント「ほっとシティおおむたチャンネル」でボランティア登録者の活動の様子を紹介

#### ○地域ESD推進事業〔生涯学習課・公民館〕

地域課題の解決に結びつくような学習活動や地域の伝統文化を次世代に継承する取組み、地域コミュニティの形成、人材発掘・人材育成に向けた取組みなどを校区まちづくり協議会などの関係団体との協議を行いニーズをとらえて進める事業を10講座実施しました（7事業は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）。

#### ●学校ESD支援事業〔生涯学習課・公民館〕（66ページを参照）

#### ○人材育成・地域活動促進事業〔生涯学習課・公民館〕

- (1) 地区公民館で実施する講座等をきっかけにして、自主グループを発足するとともに、学んだ知識をボランティア活動、地域活動に活かしていく意識の醸成を図ります。

学んだ成果を活かす活動の場や機会を、地区公民館はもとより、校区コミュニティセンターや各学校などの身近な地域で行う事業を実施しました。また、ボランティア団体や地域の団体、サークル等の活動について必要に応じた支援を行う事業など、7事業を実施しました（1事業は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）。

#### ○学習成果活用促進事業〔生涯学習課・公民館〕

- (1) 高齢者生きがいづくり社会参加促進事業（アクティブシニアデビュー塾・ボランティアデビュー編）〔福祉課・生涯学習課・公民館〕

高齢者の学習機会および学習成果を活かしたボランティア活動・地域活動の機会、さらには心と身体の健康づくりの機会を提供することで、高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進を図るとともに、介護予防の取組みを促進するために福祉課および地域包括支援センターと連携し、「アクティブシニアデビュー塾」を実施しました。この事業の一つとして高齢者のボランティアを養成する「ボランティアデビュー編」6講座を開催し、64人が受講しました。（新型コロナウイルス感染拡大防止のため1講座中止）

（各講座の詳細は、136～154ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

- (2) カヌーサポーター養成講座〔公民館〕

諏訪川を活用した環境問題の啓発、青少年の自然体験活動の充実、家族のふれ合いや世代間交流の促進を図る目的で実施しているカヌーふれあい事業の趣旨に賛同し、カヌーを使用した地域活動やカヌー貸出においても支援・協力してもらえるサポーターを養成する講座を実施していますが、R3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

- (3) ボランティア団体支援事業〔公民館〕

7地区公民館等の各種事業で育成された既存のボランティア団体等を支援する事業として「視聴覚ボランティア支援事業」、「子育てふれあい広場」を運営するボランティア団体等への支援を行いました。

（各事業の詳細は、136～154ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

- (4) 地区公民館サークル社会参加促進事業〔公民館〕

各地区公民館サークルの自主的活動を支援し、サークル活動の発展と地域還元を図るこ

とを目指して実施しました。また、子どもサークル体験など、次世代育成の支援も行いました。

(各事業の詳細は、136～154ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

### 【視点3】学習環境の整備・充実

さまざまな手法を用いて学習に関する情報や場を提供するとともに、個人の要望に応える学習をきっかけとして、社会の要請に応える学習・活動へつなげる働きかけや工夫を行います。

さらに、市民が身近な地域で学習活動を行えるよう環境整備を図ることにより、生涯学習、ボランティア活動、地域活動を促進します。

#### 【主な事業】

##### ○学習情報提供事業〔生涯学習課〕

市民がいつでも気軽に学習活動が行えるよう、年間を通して情報誌やリーフレット、インターネット、ラジオなどの多様な媒体を活用し、様々な学習情報を提供しました。

(1) 学習情報誌「まなびのカタログ」の発行（奇数月に年6回発行 2,000部/回）

掲載事案件数85件、メールマガジン登録件数167件

(2) 「おおむた生涯学習メニューブック」の発行（冊子2,500部）

生涯学習ボランティア登録派遣事業「まなばんかん」の利用案内と企業出前講座「がらんの地場企業」及び市役所職員出前講座のメニュー表を1冊にまとめて発行しました。

(3) 「広報おおむた」による学習情報及び生涯学習の啓発（全3回）

(4) その他（年間随時）

ア 市ホームページ、SNS、「愛情ねっと」、「FMたんと」、YouTubeを活用した動画配信等による情報発信

イ 学習相談業務（必要な学習情報の提供、学習会・研修会・講習会等のコーディネート）

##### ○多様な学習機会提供事業〔大牟田市生涯学習まちづくり推進会議・おおむた生涯学習まちづくり推進協議会・生涯学習課〕

(1) 市役所職員出前講座

市民とともに「生涯学習まちづくり」を進めるために、市政のことを知りたい、学びたい市民のもとに市の職員が出向き、説明・実習等を行いました。R3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施回数は減少しました。

年度	出前講座のメニュー数	実施回数（派遣回数）	派遣職員数（市職員）	参加者数（市民）
R元	113	158回	311人	5,242人
R2	118	51回	95人	1,698人
R3	123	65回	117人	2,175人

(2) 生涯学習ボランティア登録派遣事業

（視点2）「ESDを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり」の生涯学習ボランティア登録派遣事業（76・77ページを参照）

(3) 市民大学講座

市民の高度な学習ニーズに応えるために、高等教育機関と連携して専門的な知識・技術等をわかりやすく学ぶことができる講座を開催しました。

講座名	講師	期日	場所	受講者
物語が書かれた時代の視点で読むということ	有明工業高等専門学校 一般教育科 講師 藤崎 祐二	11月10日（水）	えるる	20人

社会医学への誘い～社会の在り ようと健康との関係を探求しま す～	帝京大学福岡医療技術学部 医療技術学科 准教授 須釜 幸男	11月17日(水)	えるる	17人
がんの診断や治療で活躍する放 射線のお話	帝京大学福岡医療技術学部 診療放射線学科 教授 前畑 京介	11月25日(木)	えるる	23人
xRのしくみとVR体験～コロナ禍 で加速している xR 技術～	有明工業高等専門学校 創造工学科 教授 塚本 公秀	12月8日(水)	えるる	24人

#### (4) 企業出前講座「がんばる地場企業」

“生涯学習社会”の実現を図るため、民間企業より協力を得て、企業が持っている専門的な知識・技能を市民が学習することができる講座を実施しました。

年度	企業名	講座メニュー数	実施回数	受講者延人数
R元	①久留米ヤクルト販売(株)、②HMS九州、 ③ジブラルタ生命保険(株)、④(株)白雲社、 ⑤(有)グリーンピース磯浜、⑥海づか、⑦信号電材(株)、 ⑧(株)マルエ産業、⑨ありあけ不動産ネット協同組合、 ⑩大牟田ガス(株)、⑪(株)四郎國光、⑫(有)宮脇商会、 ⑬和菓子処吉蔵、⑭(株)プランツ	31	33回	827人
R2	①久留米ヤクルト販売(株)、②HMS九州、 ③ジブラルタ生命保険(株)、④(株)白雲社、 ⑤(有)グリーンピース磯浜、⑥海づか、⑦信号電材(株)、 ⑧(株)マルエ産業、⑨ありあけ不動産ネット協同組合、 ⑩大牟田ガス(株)、⑪(株)四郎國光、⑫(有)宮脇商会、 ⑬和菓子処吉蔵、⑭(株)プランツ、⑮(株)O.A.S、 ⑯九州電力送配電(株)大牟田配電事業所、 ⑰(株)にしけい有明支社、⑱大牟田柳川信用金庫、 ⑲中国茶・台湾茶専門店華貴、⑳和装処・坪井、 ㉑豊浜製麺	40	13回	306人
R3	①久留米ヤクルト販売(株)、②HMS九州、 ③ジブラルタ生命保険(株)、④(株)白雲社、 ⑤(有)グリーンピース磯浜、⑥海づか、⑦信号電材(株)、 ⑧(株)マルエ産業、⑨ありあけ不動産ネット協同組合、 ⑩大牟田ガス(株)、⑪(株)四郎國光、⑫(有)宮脇商会、 ⑬(株)プランツ、⑭(株)O.A.S、⑮九州電力送配電(株)大牟 田配電事業所、⑯(株)にしけい有明支社、⑰大牟田柳 川信用金庫、⑱つきあかり、⑲和装処・坪井、 ⑳(有)美川漢方堂、㉑(有)山田茶舗、㉒(株)大幸商事、 ㉓(株)エム・ティ・ネット、㉔磯浜葬祭 天翔苑、 ㉕アトリエ 花むすび、㉖しゅがーりいすペーす	46	10回	313人

#### ○社会教育機能向上事業〔生涯学習課・公民館〕

##### (1) 公民館職員研修会（公民館）

地区公民館の職員を対象に、ファシリテーション研修や事業企画の方法など職員のスキルアップを図ることを目的に、9回の研修会を開催しました。（大雨などのため2回中止）

##### (2) 社会教育関係職員研修会

社会教育関係職員を対象に、社会教育の今後の役割の理解を促進するとともに、ファシリテーションスキルの向上を図ることを目的に、公民館職員研修会と同時開催で2回実施しました。

(3) 新任公民館職員研修会

新任の公民館職員を対象に、社会教育公民館の役割についての基礎的な知識の習得のため、研修会を1回開催しました。

(4) 新任社会教育関係職員研修会

新任の社会教育関係職員を対象に、市民協働部各課の取組みを知ることで、部内の連携促進を図ることを目的に、研修会を1回開催しました。

○地区公民館整備事業〔生涯学習課・公民館〕

(1) 各地区公民館の維持補修〔公民館〕

7地区公民館のうち6館は既に建築から20年以上経過し老朽化も進んでいますが、来館者が安心・安全に施設を利用できるように、必要に応じた施設修繕を行いました。

○地域学習機会提供事業〔生涯学習課・公民館〕

(1) 子ども交流体験活動事業〔公民館〕(再掲)

視点1「次世代を担う子供をはぐくむ」の主な事業「子ども交流体験活動事業」の(1)子ども交流体験活動事業(67～70ページ)を参照

(各講座の詳細は、136～154ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(2) 家庭教育講座〔公民館〕(再掲)

視点1「次世代を担う子供をはぐくむ」の主な事業「家庭教育支援事業」の(1)家庭教育講座(73ページ)を参照

(各講座の詳細は、136～154ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(3) 就学前子育て講座〔生涯学習課・公民館〕(再掲)

視点1「次世代を担う子供をはぐくむ」の主な事業「家庭教育支援事業」の(4)幼児期や就学前など発達段階に応じた子育て講座の実施の①就学前子育て講座(74ページ)を参照

(4) 各世代に応じた学習活動支援事業〔公民館〕(再掲)

視点1「次世代を担う子供をはぐくむ」の主な事業「各世代に応じた学習活動支援事業」の(1)各世代に応じた学習活動支援事業(72ページ)を参照

(各講座の詳細は、136～154ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(5) 高齢者生きがいがづくり社会参加促進事業(地域活動デビュー編・健康実践デビュー編)  
〔生涯学習課・公民館・福祉課〕

興味や関心があることをきっかけに、社会や地域で生きがいを見つける「地域活動デビュー編」を7講座開催し、84人が受講、学んだ成果を活かし、健康づくりを実践するアクティブシニアを育む「健康実践デビュー編」を7講座開催し、84人が受講しました。

(各講座の詳細は、136～154ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(6) 公民館だより等の発行〔公民館〕

地域の人が集まりやすい地区公民館づくりを目指して、地域や地区公民館の情報を掲載した地区公民館だよりを発行しました。

(各館の発行の詳細は、136～154ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(7) 読書推進事業〔公民館〕

新刊コーナー、レイアウト変更、図書の広報の工夫等を行い、図書貸出の合計は29,548冊でした。また、地域拠点化の推進及び子どもの読書活動の活性化を図るため、図書だよりの発行やおはなし会を行いました。

(各事業の詳細は、136～154ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(8) 子育てふれあい広場の開設〔生涯学習課・公民館〕(再掲)

視点1「次世代を担う子供をはぐくむ」の主な事業「家庭教育支援事業」の(2)子育てふれあい広場の開設(74ページ)を参照

(9) 地区公民館文化祭〔公民館〕

7地区公民館で活動しているサークル会員の学習成果の発表と、地域の小・中学校、幼稚園・保育園及び地域住民の参加・協力により開催し、交流と連携を深めていますが、R3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期・中止となりました。

(7地区公民館の文化祭の詳細は、136～154ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(10) 展示コーナー活用事業〔公民館〕

地区公民館の展示コーナーやロビーを活用し、サークル会員や地域の人たちの作品展を開催し、成果発表の場とするとともに、サークル会員や地域住民の交流の場としての利用促進を図りました。

(展示コーナー活用事業の詳細は、136～154ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

#### (視点4) 青少年の問題行動や悩みへの対応

街頭指導・相談・環境浄化などの健全育成活動の充実に努め、青少年の非行や犯罪被害を防止します。また、インターネットによるいじめ・依存防止のための適正利用や被害防止の啓発を行うほか、ひきこもりやニートなどの問題に対し、関係機関などと連携強化を図り支援します。

#### 【主な事業】

##### ○青少年健全育成事業〔生活安全推進課〕

##### (1) 街頭指導活動

少年センターの指導員が関係団体と共に「OMUTA少年よくし隊」として、大型店舗や繁華街、公園、コンビニエンスストア、ゲームセンターなど、少年がたむろしそうな場所を定期的に巡回し、問題行動の早期発見と非行の未然防止に取り組むとともに、青色パトカー（青色回転灯装備車）による昼夜間のパトロールや児童生徒の下校時間帯での見守り活動を実施しました。

##### ①街頭指導活動概況 (延べ数)

年度 \ 区分	実施回数	従事者数
R元	482回	2,431人
R2	390回	2,030人
R3	281回	1,238人

(※夜の青色パトカーによる街頭活動を含む)

##### ②青色パトカー巡回活動概況(昼間のみ) (延べ数)

年度 \ 区分	実施回数	従事者数
R元	453回	839人
R2	420回	836人
R3	238回	465人

※R3年度は、少年センター専任指導員のみの実施

##### ③指導概況(性別、学職別) (単位：人)

年度 \ 区分	性別			学職別							合計
	男	女	合計	小学生	中学生	高校生	その他の学生	有職少年	無職少年	不明	
R元	196	157	353	51	65	235	2	0	0	0	353
R2	165	95	260	67	40	153	0	0	0	0	260
R3	50	30	80	0	24	50	0	0	0	6	80

##### ④行為別指導実数 (単位：人(上段)・%(下段))

年度 \ 区分	喫煙	夜間外出	夜遊び	深夜徘徊	交通マナー	不良交友	シンナー遊び	怠学	飲酒	その他	合計
	R元	1 0.3	128 36.3	78 22.1	5 1.4	99 28.0	0	0	0	0	42 11.9
R2	0 0	93 35.8	50 19.2	8 3.1	53 20.4	0	0	0	0	56 21.5	260 100
R3	8 10	23 28.8	37 46.2	0 0	10 12.5	0	0	0	0	2 2.5	80 100

※少年センターとしての時間の捉え方

夜間外出：～20時 夜遊び：20時～22時 深夜徘徊：22時以降

## ⑤指導した場所

(単位:人)

年度	区分	ター ゲーム セン	等 カラ オケ 店	大 型 店 等	コ ン ス ト ア	コ ン ビ ニ エ	駅	路 上	自 宅 等	寺 院 ・ 神 社	公 園	海 岸 ・ 河 川	そ の 他	合計	
														男子	女子
R元	男子	0	0	16	0	0	0	131	0	5	21	6	17	196	353
	女子	2	0	43	0	0	0	101	0	0	9	2	0	157	
R2	男子	13	1	3	0	4	72	0	1	26	17	17	28	165	260
	女子	5	5	35	0	0	35	0	3	2	5	5	5	95	
R3	男子	0	0	16	0	0	9	0	0	25	0	0	0	50	80
	女子	0	0	21	0	0	1	0	0	8	0	0	0	30	

## (2) 有害環境浄化活動

さまざまなメディアを通じてもたらされる有害情報から青少年を守るため、福岡県青少年健全育成条例に基づき、店舗等の巡回、立入調査、要望書配布・指導など青少年の健全育成上、好ましくない有害環境の浄化活動を行いました。

## (3) ヤングテレホン等相談事業

悩みを持つ青少年自身のみならず保護者等からも相談を受け指導助言を行っています。

相談については、「ヤングテレホンおおむた」による電話相談をはじめ、来所による相談も受け付けています。相談内容によっては、専門機関に紹介するケースもありました。

なお、電話相談については、より相談しやすい体制を確保するため、R4年1月から福岡県教育委員会が24時間365日実施する「子どもホットライン24」に一本化し、周知啓発を図ることとしました。

## ①相談件数

(単位:件)

区 分	年 度	家 族	本 人	そ の 他	合 計
来 所 相 談	R元	2	0	0	2 (2)
	R2	0	0	0	0 (0)
	R3	1	0	0	1 (1)
電 話 相 談 (ヤングテレホン)	R元	3	3	40	46 (5)
	R2	2	4	56	62 (5)
	R3	0	4	43	47 (6)
メー ル 相 談	R元	0	2	0	2 (1)
	R2	0	0	0	0 (0)
	R3	0	1	0	1 (1)

※ ( ) 内は実際に相談された人数

## ②相談内容内訳

(単位:件)

年度	区分	健康	学業	交友 交際	家庭	性	いじめ	非行	不登校	その他	合計
R元		0	0	1(1)	2(1)	0	0	0	4(4)	43(2)	50(8)
R2		0	1(1)	0	4(2)	0	0	0	1(1)	56(1)	62(5)
R3		1(1)	0	2(2)	0	2(2)	0	0	0	44(3)	49(8)

※ ( ) 内は実際に相談された人数

#### (4) 関係機関・団体等との連携活動

##### ①啓発活動

「青少年の非行・被害防止全国強調月間」及び「社会を明るくする運動強調月間」にあたる7月と「子ども・若者育成支援強調月間」の11月を中心に次の行事を行いました。

##### ア 第71回‘社会を明るくする運動’街頭キャンペーン

市庁舎前からゆめタウン大牟田まで行進し、チラシを市民に配るなどの街頭啓発活動を行う街頭キャンペーンを実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、首相・知事メッセージ伝達のみ実施しました。

と き 6月30日(水)

ところ 市長応接室

##### イ 第69回青少年健全育成弁論大会

市内の小、中、高校生による弁論大会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

と き 6月30日(水)

ところ 文化会館 小ホール

##### ウ 児童虐待防止推進キャンペーン

児童虐待事案を認知した際の情報提供を促すための啓発チラシを配布しました。

と き 11月1日(月)

ところ 大牟田駅東口

参加者 大牟田警察署、久留米少年サポートセンター、大牟田児童相談所、甘木山学園、大牟田市(子ども家庭課、少年センター)

##### エ 大牟田市青少年健全育成毛筆書写・標語作品展

小、中学生から募集した毛筆書写51点のほか、標語109点を展示しました。

と き 11月11日(木)～18日(木)

ところ えるる 1階 展示コーナー

##### ②若鳩会運営費補助

青少年の健全な保護育成を図ることを目的に、学校教師・警察署員・少年センター職員により組織されている若鳩会の活動に対して、運営補助金を交付しました。

【主な事業】

○社会教育委員の会議〔生涯学習課〕

社会教育委員の会議を設置し、社会教育に関し市民の意見を反映させるため、社会教育に関する諸計画の立案等について助言し、諮問に応じ意見を述べることを主な目的として会議を開催しています。

(1) 会議の開催

第1回 と き 7月14日(水) 15時～16時30分

ところ 大牟田市生涯学習センター 多目的室

委員の委嘱

議題 1 社会教育委員の会議について

令和2年度社会教育委員の会議等実績報告及び令和3年度事業計画(案)について(報告)

2 福岡県社会教育委員連絡協議会評議員について

3 大牟田市社会教育振興プラン2020～2023に掲げる基本施策と事業の達成状況(報告)

令和3年度社会教育・生涯学習事業計画について(協議)

4 地区公民館の在り方の検討について(協議)

その他 ○ 地区公民館の現状と今後の工事等について

○ 地区公民館等における新型コロナ感染対策について

○ 感染防止対策を目的とした社会教育施設の施設整備について

○ 社会教育主事研修の現地研修について

○ 勝立地区公民館を中心とした勝立地区のまちおこしプロジェクト(案)～ひろげよう!つなげよう!ESD/SDGsの輪～について

第2回 と き 11月24日(水) 15時～16時45分

ところ 大牟田市生涯学習支援センター多目的室

議題 1 市長、教育長への地区公民館のあり方の提言書の手交について(報告)

2 (仮称)総合体育館建設の進捗状況について(報告)

3 地区公民館等のWi-Fi設置の進捗について(報告)

ワークショップ

1 社会教育におけるESD/SDGsの推進のためには

その他 ○ 第74回成人式について

○ 第36回人権フェスティバルについて

○ 令和3年度筑後地区市町村社会教育委員研修会について

○ 令和3年度社会教育主事講習(九州大学)現地研修受け入れについて

○ 翼の会おおむた～大牟田ガールスカウト活動のご案内～について

○ 令和3年度地域ESD支援事業～地域の魅力を次世代につなぐ～勝立よかもん物語ふるさと歴史講座について

第3回 【書面開催】

R4年1月26日(水) 資料配付(郵送)

R4年2月4日(金) 意見・回答を集約

議題 1 令和3年度社会教育事業等の進捗状況について

2 社会教育委員の会議に係るご意見等について

3 インターネットによる施設の予約システム導入について

社会教育委員の会議分科会

第1回 と き 7月2日(金) 13時30分～15時

ところ 中央地区公民館2階研修室A

議 題 1 地区公民館の在り方の検討について提言書(案)

(2) 地区公民館のあり方の提言書の手交

と き 11月8日(月) 15時30分～

ところ 大牟田市役所3階市長応接室

内 容 「地区公民館の在り方について」の提言書の手交

(3) 委員研修

①令和3年度筑後地区市町村社会教育委員研修会

Zoomによるオンライン研修(北筑後教育事務所よりライブ配信)

テーマ 「ウィズコロナ・アフターコロナにおける社会教育・生涯学習のあり方  
～今、社会教育委員が果たすべき役割～」

人権・同和研修

演 題 「人権が尊重される地域の実現を目指す」

説 明 北筑後教育事務所社会教室 高木 真由美

基調講演 「ウィズコロナ・アフターコロナにおける社会教育・生涯学習のあり方  
～今、社会教育委員が果たすべき役割～」

講 師 古市 勝也

実践発表 演 題 「朝倉市宿泊体験事業 ～トライキャンプの取組とその考察～」

説 明 朝倉市社会教育委員 梶原 明彦

○成人式の開催〔生涯学習課〕

成人の自覚と社会参加の意識の醸成

第74回成人式の開催

と き R4年1月9日(日) 15時～16時

ところ 文化会館

内 容 ウェルカムムービー 上映

- ・大牟田市パラリンピック聖火 Waku Waku の火
- ・高校生によるシティプロモーション動画  
(H29年度高校生総合文化祭「大牟田100祭」より)
- ・おおむた「大蛇山」まつり

アトラクション(司会:公募による新成人女性2人)

- ・大牟田高等学校吹奏楽部による演奏・マーチング
- ・大牟田北高等学校書道部による書道パフォーマンス

式典(司会:公募による新成人男女各1人)

- ・国歌独唱(公募による新成人男性1人)
- ・市民憲章唱和(市民憲章推進委員)
- ・誓いの言葉(公募による新成人男女各1人)

- ・ボランティア協力団体等(市内高等学校及びガールスカウト福岡県第7団)

区 分	該当者数(人)			出席者(人)	出席率(%)
	男性	女性	合計		
R元年度	493	476	969	614	63.4
R2年度	465	488	953	553	58.0
R3年度	480	421	901	484	53.7

## 【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
将来、大牟田のために役に立ちたいと思う高校生等の割合	目標値 (%)	90.0	90.0	90.0	90.0	事業に参加した高校生等向けアンケートにおいて 90.0%以上を目指す。
	実績値 (%)	77.8	50.0			
	達成度 (%)	86.4	55.6			
地域にある課題解決に向けて、自らが出来ることに取り組みたいと思う市民の割合	目標値 (%)	50.0	50.0	50.0	50.0	現状値を踏まえ 50.0%以上を目指す。 [現状値:47.5%(H30 年度実績)]
	実績値 (%)	46.2	46.8			
	達成度 (%)	92.4	93.6			

## 【指標達成度に対する要因分析】

- ・高校生まちづくり体験事業や学校 ESD 支援事業などを実施したことにより、小学校・中学校との関係が構築されたとともに、高校や高校生との繋がりが図られ、大牟田への関心を高める機会となりました。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、青少年の体験活動等の各事業の実施数が計画していた数まで伸びなかったことや、組織・団体等での活動の縮小などにより、目標値より低くなっています。
- ・市民の幅広い学習機会の提供を行うとともに、地域 ESD 推進事業、人材育成・地域活動促進事業などを実施し、地域課題の把握や解決に向けた取り組みを行ったことで、学習活動の必要性や地域づくりに対する意識の醸成が図られました。

## 【今後の方向性】

- ・次世代の育成を推進するためには、これまでの地域や各団体における小学生を対象とした事業だけでは効果が限られることから、中学校や高校を巻き込んだ新たな事業展開を図り、地域や学校を含め、小・中・高校生、そして地域のボランティアを担う大人が一体となった事業に取り組みます。
- ・そのためには、家庭や学校、地域の理解と多くのボランティアの協力が必要となることから、より多くの市民が各事業の取り組みや主旨を理解した上で協力していただけるよう、事業の内容や必要性について引き続き周知・啓発を図ります。加えて、組織や団体が継続し活動ができるよう、新たな組織のあり方を検討し、子どもたちが心身ともに健康でたくましく思いやりの心やふるさとを愛する心を持った自立した大人へと成長していくことにつながるような支援を検討します。
- ・地域での学習活動の支援では、課題やニーズを的確に捉えた学習の機会を、地区公民館等の市民に身近な場所で提供するとともに、学校や地域、関係機関との連絡調整を密にしながら、事業の組立や運営を行います。また、出前講座の充実や生涯学習ボランティア派遣などを通して、市民への幅広い学習機会の提供を図ります。

<b>施策名</b>	<p>【まちづくり総合プラン第1編第5章】</p> <p><b>スポーツを通して生きがい満ち、活気にあふれるまち</b></p>
<p>誰もが、ライフステージに応じてスポーツに親しみ、楽しむことで、生涯にわたり心身ともに健康で、活気にあふれた生きがいある生活を営むことができるまちを目指します。</p> <p>そのため、いつでも、どこでも、誰でも気軽に生涯にわたりスポーツに親しみることができるための機会づくりや支援の仕組みづくり、また、スポーツがしやすい環境づくりを推進します。</p>	

**【視点1】気軽に楽しめるスポーツ活動の機会づくり**

市民の誰もが生涯にわたり、それぞれのライフスタイルや心身の状況に応じて運動やスポーツに親しみ、健康で明るい生活を送ることができるよう、多様なスポーツ活動の機会をつくり出します。

**【主な事業・取組】**

○市民スポーツ推進事業〔スポーツ推進室〕

(1) 市民スポーツ教室、市民スポーツ大会等の開催

①市民スポーツ教室（指定管理者）

スポーツ初心者を対象に、スポーツ活動への参加の機会をつくり、健康・体力の維持増進を図り、社会的交流を深めることを目的に、毎年、春・秋・新春の年3期に実施しています（春のスポーツ教室は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止）。

教室名	会場	指導者	参加者(人)
春のスポーツ教室（10回）			
ニコニコエアロ体操教室	市民体育館 アリーナ	坂井 加陽子	中止
ソフトバレーボール教室	〃 〃	バレーボール協会	中止
にこにこ体操教室	〃 剣道室	㈱M&M	中止
卓球教室	〃 アリーナ	卓球協会	中止
健美操教室	第二市民体育館アリーナ	古賀 巧	中止
秋のスポーツ教室（10回）			
健康体操教室	市民体育館 アリーナ	内田 京子	32
ソフトテニス教室	〃 〃	ソフトテニス連盟	4
親子リズム体操教室	〃 柔道室	ちゃいるどくらぶ	2(組)
バドミントン教室	〃 アリーナ	バドミントン協会	10
健美操教室	第二市民体育館アリーナ	古賀 巧	31
新春スポーツ教室（10回）			
3B体操教室	市民体育館 剣道室	3B体操協会	中止
テニス教室	〃 アリーナ	テニス協会	28
太極拳教室	〃 〃	太極拳協会	13
にこにこ体操教室	〃 剣道室	㈱M&M	28
健美操教室	第二市民体育館アリーナ	古賀 巧	27

②サマースポーツ教室（指定管理者）

小学3～6年生の少年・少女を対象に、スポーツ活動に親しむことを目的とし、毎年夏休み期間中にスポーツ教室を実施しています。（1人1種目）。

教室名	会場	指導者	参加者(人)
ミニバスケットボール	市民体育館アリーナ	バスケットボール協会	64
バドミントン	〃 〃	バドミントン協会	60
ソフトバレーボール	〃 〃	バレーボール協会	36
卓球	〃 〃	卓球協会	36
ソフトテニス	〃 〃	ソフトテニス連盟	27
ソフトボール	緑地運動公園ソフトボール場	ソフトボール協会	36
軟式野球	延命球場	軟式野球連盟大牟田支部	34

### ③市民スポーツ大会（指定管理者、スポーツ都市宣言推進協議会共催）

市民の誰もが気軽に参加でき、みんなで楽しめるスポーツの大会を実施しました。

大会名	期日	会場	参加者(人)
市民グラウンドゴルフ大会	4月18日(日)	諏訪公園イベント広場	78
市民ソフトバレーボール大会	6月13日(日)	市民体育館	中止
市民女子フットベースボール大会	9月12日(日)	緑地運動公園運動広場	中止
市民健康マラソン大会	R4年1月16日(日) → 3月20日(日)	御大典記念グラウンド	1,633
市民観梅ハイキング	R4年2月27日(日)	観光プラザ前～紹運寺	中止

### (2) スポーツ市民の祭典（委託先：スポーツ都市宣言推進協議会）

スポーツ都市宣言の啓発・普及を図るとともに、広く市民が集い、子供から高齢者まで誰もが参加でき、楽しめるスポーツ・レクリエーション行事を実施することにより、市民の健康増進及び相互の連帯と融和を図り、スポーツの普及・発展、さらには、健康的で明るい市民生活の確立に寄与することを目的として開催しています。R3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小して開催しました。

とき 10月9日(土)・10日(日)・17日(日)

ところ 第二市民体育館、御大典記念グラウンド、諏訪公園イベント広場

主管 スポーツ2021市民の祭典実行委員会

期日	内容	参加者(人)
10月9日(土)	ソフトバレーボール大会	64
10月10日(日)	ア 開会式	約2,000
	イ 少年団対抗リレー、小・中学生リレー	458
	ウ なわとび競争	487
	エ バザー・イベント	多数
10月17日(日)	グラウンドゴルフ大会	61

### (3) チャレンジデーの支援

チャレンジデーは、毎年5月の最終水曜日に全国一斉に行われる、人口規模がほぼ同じ自治体間で、15分以上継続して身体活動(運動)を行った住民の参加率を競うものです。本市では、住民の運動・スポーツに対する意識高揚や住民の連帯意識の醸成等を目的に、スポーツ都市宣言推進協議会、大牟田市体育協会を中心に、市民団体、行政等で実行委員会を組織して実施しています。R3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、10月に実施しました。

年 度	R 元年度	R2 年度（中止）	R3 年度
期 日	5 月 29 日（水）	5 月 27 日（水）	10 月 27 日（水）
参加者数	80,478 人	-	76,762 人
参 加 率	69.8%	-	68.6%
対戦相手自治体	神奈川県座間市 53.4%	（秋田県大仙市） -	長崎県大村市 56.1%

## ○地域スポーツ活動推進事業〔スポーツ推進室〕

### （１）地域元気アップスポーツ事業の実施（委託先：大牟田市スポーツ推進委員協議会）

市民がより身近にスポーツに親しめるきっかけづくりとして、体験教室などを開催していますが、R3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、スロージョギング教室のみ開催しました。

#### ①地域ふれあい元気ウォーキング・体力測定

期日	集合場所	コース	参加者(人)
R4年2月27日(日)	玉川小学校	（当初の予定）玉川小学校～焼石山～萩の尾古墳～岩本眼鏡橋～玉川小学校	中止

#### ②スロージョギング教室

期日	場所	内容	参加者(人)
11月7日(日)	駛馬小学校体育館及び運動場	①スロージョギングの講義及び実技	14
12月5日(日)	駛馬小学校運動場	②スロージョギングの実技	10

#### ③ニュースポーツ体験教室

期日	場所	内容	参加者(人)
R4年3月9日(水)	第二市民体育館	（当初の予定）スカットボール、カローリング、ボッチャ	中止

### （２）スポーツ推進委員等指導者の育成・支援

#### ①スポーツ推進委員の育成

スポーツ推進委員は、住民のスポーツ振興のため、住民の求めに応じ、実技指導やスポーツ活動促進の組織育成、教育機関及び行政機関のスポーツ行事・事業への協力、住民に対するスポーツの普及並びに指導助言等を行います。

本市では54人（R2～3年度定数：57人）のスポーツ推進委員を委嘱しており、資質向上を図るため、各種研修会を実施しています。

##### ア 大牟田市スポーツ推進委員研修会

大牟田市スポーツ推進委員協議会では、例年、スポーツ推進委員相互の資質向上を図ることを目的に研修会等を実施していますが、R3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

##### イ スポーツ推進委員の研修会等派遣事業

期日	研修名称	開催地
6月12日(土)	南筑後地区春季スポーツ推進委員研修会（中止）	（筑後市）
11月27日(土)	南筑後地区秋季スポーツ推進委員研修会（中止）	（みやま市）
R4年2月11日(金・祝)、 12日(土)	福岡県スポーツ推進委員研修大会（中止）	（北九州市）

(3) スポーツ推進委員による地域スポーツ活動支援

スポーツ活動を通じて仲間づくりや多世代間の交流の活性化を図り、コミュニティの形成を目的に、スポーツ推進委員による地域スポーツ活動への支援（企画、指導・助言、運営）を行いました。

地域行事数	参加者(人)	内容			
		企画	指導・助言	運営	その他
35	延べ3,988	50	31	42	3

※スポーツ行事・活動に限定したもののみ掲載しています。

○子どもの体力向上事業〔スポーツ推進室〕(再掲)

(第1編第4章・視点1の71ページを参照)

## （視点2）スポーツ活動を支える仕組みづくり

市民が主体的かつ計画的に多様なスポーツ活動に取り組むことによって、豊かなスポーツライフを形成し、定着していくことができるよう、活動支援のための仕組みをつくります。

また、スポーツ都市宣言推進協議会や体育協会をはじめとする各種団体と連携し、各種スポーツ大会の奨励、トップレベルの競技大会の誘致など、スポーツ事業の充実・発展に努めます。

### 【主な事業・取組】

#### ○地域スポーツクラブ育成・支援事業〔スポーツ推進室〕

総合型地域スポーツクラブとは、地域の特徴を生かし、地域のアイディアにより自主的に運営され、スポーツなどを通して地域の人と人との豊かなつながりを形成するものであり、その活動を支援しました。設置団体：1団体（H17年度～ 右京ふれあい健康クラブ）

（右京ふれあい健康クラブ活動実績）

期日	内容	場所	参加者(人)
毎週火曜日	右京ふれあいタイム（卓球、バドミントン）	宅峰中学校、天領小学校	延べ400
【クラブ活動】	バドミントン部（毎週火・土曜日、天領小学校） 大牟田 Jr バレー（毎週水曜日、天領小学校） ヨガ教室（毎週土曜日、天領小学校） 卓球部（毎週土曜日、三川地区公民館） ソフトテニス部（毎週土曜日、緑地運動公園）		

#### ○スポーツ団体等との連携によるスポーツ活動支援事業〔スポーツ推進室〕

（1）体育協会や競技団体等とのスポーツの普及及び競技力向上に関する連携・支援

##### ①スポーツ都市宣言推進協議会との連携

本市では、H2年7月、スポーツを通じた「人づくり」、「まちづくり」を目指す決意を込めて「スポーツ都市宣言」を行いました。その周知並びに実践活動を推進するため、スポーツ関係団体、学校、地域団体、企業、医療、福祉、行政など市内の各種団体により組織された「スポーツ都市宣言推進協議会」と連携し、スポーツを通じた住みよいまちづくりに努めています。

##### ②市民体育大会委託事業（委託先：大牟田市体育協会）

市民の競技スポーツにおける競技水準の向上と、競技団体相互の連帯と融和を図る目的で開催しています。R3年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により6大会が中止となり、14大会を開催しました。

大会名	期日	会場	参加者(人)
太極拳合同発表会	未定	まいピア高田	中止
市民軟式野球大会	5月9日（日）～10月10日（日）	延命球場	200
大牟田市ゴルフ協会会長杯市民ゴルフ大会	6月6日（日）	有明カントリークラブ	118
市長杯ソフトボール大会	7月4日（日）～10月10日（日）	緑地運動公園他	500
大牟田市長杯ソフトテニス大会	9月19日（日）	緑地運動公園他	中止
大牟田市グラウンドゴルフ選手権大会	10月12日（火）	緑地運動公園	49
おおむたクレール射撃大会	10月17日（日）	玉名クレール射撃場	18
大牟田市剣道選手権大会	10月18日（月）	市民体育館	中止
大牟田市OPENテニストーナメント大会	10月24日（日）～11月3日（水・祝）	緑地運動公園他	71
大牟田市サッカー選手権大会	10月24日（日）	宮原中学校	112

おおむた弓道選手権大会	10月24日(日)	宅峰中弓道場	110
大牟田市9人制バレーボール選手権大会	11月14日(日)	市民体育館	80
大牟田市長杯争奪ボウリング選手権大会	11月21日(日)	大牟田Jボウル	44
大牟田駅伝競走大会	R4年1月9日(日)	諏訪公園	500
大牟田市民バドミントン大会	R4年1月23日(日)	市民体育館	中止
四地区対抗柔道大会	R4年3月7日(月)	大牟田高等学校	中止
バスケットボール総合選手権大会	R4年3月20日(日)、21日(月・祝)	市民体育館	300
大牟田市ゲートボール選手権大会	R4年3月23日(水)	緑地運動公園	40
大牟田市民卓球大会	R4年3月27日(日)	市民体育館	110
おおむた市長杯アーチェリー大会	R4年3月29日(火)	サンアビリティーズ おおむた	中止

## (2) 中学校運動部活動支援

中学生の体育活動の発展と技術向上を図るため、大牟田市中学校体育連盟に対し、運営及び大会出場に係る費用の一部負担を行いました。

内容	対象者数	負担金額(円)
運営負担金	-	350,000
九州・全国大会出場負担金	12	261,620
地区・県大会出場負担金	702	769,630
地区・県新人大会出場負担金	259	236,820

## ○競技スポーツ振興・支援事業〔スポーツ推進室〕

### (1) 全国大会、プロスポーツ大会、広域スポーツ大会等各種大会の支援

#### ① トップレベルの大会の開催支援、選手との交流の促進

九州一円の各郡市の代表選手が一堂に会し、九州地区の競技力の向上並びに親睦と融和を図る目的で開催された第74回全九州都市対抗陸上競技大会を支援しました。

と き 4月11日(日)

と ころ 御大典記念グラウンド

主 催 九州陸上競技協会、NPO法人大牟田市体育協会

共 催 大牟田市

主 管 福岡陸上競技協会、大牟田市陸上競技協会

後 援 朝日新聞社

参 加 男子43郡市 女子25郡市 参加者886人

種 目 [男子の部]100m、200m、400m、800m、1,500m、5,000m、110mH、  
4×100mリレー、走高跳、走幅跳、砲丸投、円盤投、槍投、  
三段跳、棒高跳

[女子の部] 100m、200m、400m、800m、3,000m、100mH、  
4×100mリレー、走高跳、走幅跳、砲丸投、円盤投、槍投

[男女混合の部]4×400mリレー

[オープン] [中学生男子] 100m

[中学生女子] 100m

[中学生男女混合] 4×100mリレー

[男子] 3,000m(中学生以上)、3,000m障害(高校生以上)

[女子] 1,500m(中学生以上)、3,000m障害(高校生以上)

区 分	優 勝	2 位	3 位	4 位	5 位
総 合	大分市	福岡市	久留米市	大牟田市	佐賀市
男 子	大分市	福岡市	佐賀市	大牟田市	小郡市
女 子	大分市	福岡市	久留米市	合志市	玉名市

## ②広域スポーツ大会奨励補助

競技スポーツの振興に寄与し、本市の活性化に貢献するものとして開催される広域スポーツ大会を奨励するため、その大会の費用の一部を補助しました。

大 会 名	期 日	会 場	参加者(人)
大牟田市近県中学生バレーボール選手権大会	5月3日(月・祝)	市民体育館他	中止
有明杯アーチェリー大会	5月23日(日)	第二グラウンド	中止
有明海沿岸ジュニアサッカー大会	8月7日(土)、8日(日・祝) →R4年3月5日(土)、6日(日)	諏訪公園他	中止
大蛇山卓球大会	8月29日(日)→12月12日(日)	市民体育館	380
①全九州壮年九州ソフトボール大会福岡県体 会(※) ②福岡県高等学校新人ソフトボール大会福岡 県大会(※)	①8月29日(日)、9月5日(日) ②10月2日(土)、3日(日)、 9日(土)、10日(日)	緑地運動公園他	①中止 ②800
大牟田近県交流大会	9月25日(土)	緑地運動公園	中止
有明少年野球大会	10月10日(日)、16日(土)、17日(日)、 23日(土)、24日(日)	延命球場他	1,200
大牟田市会長杯近県ソフトテニス選手権大会	11月21日(日)	緑地運動公園他	136
大牟田秋季記録会(陸上)	11月3日(水・祝)	御大典記念グラウンド	1,886
大牟田オープン小学生バドミントン大会	12月18日(土)	市民体育館	72
優勝弓争奪近県弓道大会	R4年3月20日(日)	市民体育館	中止

(※)①の大会の中止に伴い、②の大会を代替にしたもの

## ③各種スポーツ事業への共催・後援による支援

スポーツの普及・向上に寄与する公共性の高いスポーツ事業等に対して、共催・後援等による支援を行いました。 共催 1件 後援 16件

### (2) 県民スポーツ大会への選手団派遣

福岡県民スポーツ大会は、例年、夏季大会、秋季大会、市町村対抗駅伝大会の3大会が開催され、本市代表として出場する選手団を派遣しています。

R3年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、全ての大会が中止となりました。

## ○東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業〔スポーツ推進室〕

### (1) 聖火リレー

東京2020オリンピック聖火リレーは、R3年5月11日に大牟田市役所から諏訪公園までのコースで行う予定でしたが、福岡県が緊急事態措置の区域に追加されたため、福岡県内の公道での聖火リレーはすべて中止となりました。公道での実施に代えて、福岡市と北九州市において、無観客にて点火セレモニーが行われました。

## (2) ホストタウン事業

### ①アフガニスタン・イスラム共和国

東京2020オリンピック競技大会に出場する陸上競技選手団4名（選手・コーチ各2名）の事前キャンプの受け入れを行いました。新型コロナの影響により、国の受け入れマニュアルに基づき感染対策を徹底した上で行いました。事前キャンプ中は、駐日アフガニスタン特命全権大使、行使、医療 NGO ペシヤワール会が本市を訪れ、選手団の激励と市長表敬を行いました。

東京2020パラリンピック競技大会に出場する陸上競技並びにテコンドーの選手団も事前合宿を受け入れる予定でしたが、アフガニスタン国内情勢の緊迫化に伴い、本市での受け入れは中止となりました。

交流事業に関しては、事後交流を軸に計画していましたが、上記の通り国内情勢の悪化に伴い、実現には至りませんでした。

期日	場所	内容	備考
7月7日（水） ～7月22日（木・祝）	御大典記念グラウンド、ホテルニューグアイアオームタガーデン	東京2020オリンピック競技大会における事前キャンプ受け入れ シャーマハムウド選手（陸上男子）、キミア選手（陸上女子）、シャパールコーチ、バシラコーチ 以上4名	陸上競技
7月7日（水） ～7月30日（金）	ホームページ、SNS	アフガニスタン代表選手の事前キャンプ情報、試合結果速報の掲載（市公式ホームページ、face book、Twitter）	陸上競技
7月8日（木）	ホテルニューグアイアオームタガーデン、大牟田市役所	本市訪問 シャイダ・モハマド・アブダリ駐日アフガニスタン特命全権大使、ナジブラー・サフィ行使、医療 NGO ペシヤワール会村上優会長他6名	アフガニスタン選手団の激励、市長表敬
【中止】 8月17日（火） ～8月21日（土）	大牟田市内	東京2020パラリンピック競技大会における事前キャンプ受け入れ	陸上競技、テコンドー

### ②ジョージア

柔道選手団の事前キャンプは中止となりましたが、交流事業に関しては、「オリパラ基本方針推進調査（新型コロナウイルス流行下におけるホストタウンの交流や情報発信の在り方等）」に参画し、他の競技でジョージアをホストタウンとしている2自治体（石川県志賀町（オリ：レスリング）、徳島県（パラ：フェンシング））と連携した各事業を展開しました。

11月1日（月）にティムラズ・レジャバ駐日ジョージア大使が本市を訪れ、市長表敬とともに、天領小学校を訪問し、交流を行いました。

また、12月3日～5日に国立代々木競技場にて「柔道グランドスラム東京2021」が開催予定でしたが、大会は中止となり、応援事業、選手との交流事業等も実施できませんでした。

期日	場所等	内容	備考
5月～	オンライン等	オリパラ基本方針推進調査に基づく食・文化・教育の交流に係る協議	石川県志賀町、徳島県との連携
6月2日（水）	天領小学校	ジョージア応援動画撮影	
6月21日（月）、 7月5日（月）	天領小学校	ジョージア国歌オンライン指導	

【中止】 7月6日(火) ～7月18日(日)	大牟田市内	事前キャンプ受入れ(東京2020オリンピック競技大会)	柔道
7月24日(土) ～7月30日(金)	ホームページ、SNS	ジョージア柔道代表選手の試合結果速報の掲載(市公式ホームページ、facebook、Twitter)	
7月27日(火)	大牟田高等学校	ジョージアと日本3都市を繋ぐ芸術ワークショップ	石川県志賀町、徳島県との連携。
8月6日(金)	三池炭鉱宮原坑	ジョージアと日本3都市を繋ぐオンライントリップ	石川県志賀町、徳島県との連携
10月13日(水) ～11月5日(金)	生涯学習支援センター	ジョージア横連携事業写真パネル展	石川県志賀町、徳島県との連携
11月1日(月)	大牟田市内	タイムラズ・レジヤバ駐日ジョージア大使及びご家族による本市ご来訪	大牟田市役所、旧三井港倶楽部、天領小学校、大牟田市動物園、ともだちや絵本美術館
【中止】 11月～12月	大牟田市内	事前合宿受入れ(柔道グランドスラム東京2021) キャンプ期間中又は大会後の交流事業(歓迎レセプションほか)	
【中止】 12月3日(金) ～5日(日)	東京都、大牟田市内	柔道グランドスラム東京2021大会応援(現地応援、パブリックビューイング等)	
【中止】 R4年3月25日(金)	大牟田市内	オンライン応援イベント 柔道グランドスラム大会(トビリシ) ジョージアの歴史、文化、食などの紹介	

## ○表彰・奨励事業〔スポーツ推進室〕

### (1) スポーツ功労者表彰

本市において、多年にわたり体育、スポーツの普及振興に寄与し、その功績が顕著である者、またはスポーツ競技会において抜群の成績をあげ、その競技の発展に尽くした功績が顕著である者に対し、それぞれ功労賞と記録賞(優秀賞、奨励賞)を授与しました。例年、スポーツ市民の祭典時に表彰を行っています。

#### ①功労賞

近藤 良介	弓道の普及、発展並びに競技力の向上に寄与
坂口 憲義	陸上競技の普及、発展並びに競技力の向上に寄与
甲斐 美代子	バレーボールの普及、発展並びに競技力の向上に寄与
吉田 浩史	バスケットの普及、発展並びに競技力の向上に寄与

#### ②記録賞

##### ア 優秀賞

古賀 文也	令和3年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会 秩父宮賜杯第74回全国高等学校陸上競技対校選手権大会	男子5000m競歩 1位
竹市 裕亮	全国高校総合体育大会 柔道競技大会 令和3年度国民体育大会 第41回九州ブロック大会	男子個人 73kg級 準優勝 柔道少年男子 優勝

山下 風雅	第 50 回ハイスクールジャパンカップソフトテニス 2021	男子ダブルス 3 位 (山下・五十嵐ペア)
五十嵐 涼介	第 50 回ハイスクールジャパンカップソフトテニス 2021	男子ダブルス 3 位 (山下・五十嵐ペア)
熊谷 諒也	令和 3 年度国民体育大会 第 41 回九州ブロック大会	柔道少年男子 優勝

イ 奨励賞

大牟田高等学校 陸上競技部・駅伝部	令和 2 年度全九州高等学校体育大会 第 38 回全九州高等学校新人陸上競技大会 令和 3 年度全九州高等学校体育大会 秩父宮賜杯第 74 回全国高等学校陸上競技対校選手権大会北九州地区予選会	男子総合 1 位 男子総合 1 位
大牟田高等学校 ソフトテニス部	第 46 回全日本高等学校選抜ソフトテニス競技大会九州地区予選会	男子団体 優勝
壹岐 ひなた	令和 3 年度九州中学校体育大会 第 49 回九州中学校水泳競技大会	自由形 100m 1 位
松尾 真昊	令和 3 年度九州中学校体育大会 第 43 回九州中学校陸上競技大会	1 年女子 800m 1 位

### (視点3) スポーツがしやすい環境づくり

市民が身近なところで、いつでも気軽に運動やスポーツ活動へ参加ができるよう、多様なスポーツの場の充実を図るとともに、必要に応じて指導を受けることができるよう、指導者の養成、確保、資質向上やきめ細やかなスポーツ情報の提供などに努め、スポーツがしやすい環境をつくります。

また、市民体育館など老朽化した施設への対応をはじめ、安全で快適なスポーツ環境の整備・充実に努めます。

#### 【主な事業・取組】

##### ○スポーツ施設整備事業〔スポーツ推進室〕

###### (1) 各種体育施設の整備・改修等

本市は、市民体育館、御大典記念グラウンド、延命球場等多くのスポーツ施設を有していますが、各施設は老朽化しており、日本スポーツ振興センター助成事業（toto くじ助成）等を活用しながら、補修、改修等工事を随時実施しています。

また、公共施設維持管理計画に基づき中・長期的な視点に立ち大規模改修等工事を行うなど、安心・安全に利用できるよう施設整備に努めています。

###### (2) 学校体育施設開放事業

地域住民の日常スポーツの場として、学校教育に支障をきたさない範囲で小・中学校の体育施設（体育館、運動場、中学校剣道室・柔道室、宅峰中弓道場、甘木中運動場夜間照明施設）を一般に開放しました。

区 分	R 元年度	R2 年度	R3 年度
利用団体	245	198	196
利用件数	11,407	9,421	7,269
利用人数(人)	178,218	135,955	101,741

##### ○（仮称）総合体育館整備事業〔スポーツ推進室〕

現在の市民体育館はS49年築で老朽化が進み、バリアフリー化や旧耐震基準である等の問題を抱えています。このため、R2年度に基本コンセプトを「スポーツや運動を通じて、ひとを健康に、まちを元気にする緑に囲まれた総合体育館」とする基本設計を取りまとめました。R3年度は実施設計・施工事業者を選定し、基本設計に基づいた実施設計を取りまとめています。

この実施設計に基づき着工し、従来のスポーツ拠点機能に加え、他の公共施設における市民活動の場を取り込むことで、市民がスポーツをはじめ様々な活動を通じて集い交流するスポーツ拠点施設を形成することとして、R5年度中の完成を目指します。

##### ○指導者育成事業〔スポーツ推進室〕

###### (1) 指導者の確保・育成のための研修会等の実施

###### ①スポーツ少年団指導者研修会

スポーツ少年団の指導者を対象に、安全なスポーツ指導及び資質の向上を図るため、研修会を開催しました。

期日	場所	研修内容	参加者(人)
R4年3月23日(水)	市民体育館研修室A、アリーナ	「ジュニア期に行っておきたい体の使い方」	21

③ スポーツ医科学研修会（指定管理者）

生涯スポーツを実施するに当たり、スポーツを通じた健康増進の知識を習得し、スポーツ活動において健康なからだづくりを目指すことを目的に研修会を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

期日	場所	研修内容	参加者(人)
R4年2月22日(火)	市民体育館研修室A	「コロナと運動効果」	中止

○スポーツ情報提供事業〔スポーツ推進室〕

(1) スポーツカレンダー等による大会・施設の情報発信

日本スポーツ振興センターの助成事業を活用し、種目毎のスポーツイベントの開催、スポーツ施設の紹介、スポーツ少年団一覧、ニュースポーツ用具の貸出紹介など、本市のスポーツ情報を掲載したスポーツカレンダーを制作し、市民に配布を行い、スポーツ実施の機会づくりの啓発・普及を行いました。

## 【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
1年間のうち、週1回以上の運動・スポーツの実施率	目標値 (%)	50.0	50.0	50.0	R5年度の目標値は、新スポーツ推進計画の中で設定	市スポーツ振興計画に掲げる目標値を基に設定。 [現状値：41.6% (H30年度実績)]
	実績値 (%)	38.5	40.2			
	達成度 (%)	77.0	80.4			

## 【指標達成度に対する要因分析】

- ・本市のスポーツ振興計画では、「誰もがどこでも気軽に親しめるスポーツ活動の機会づくり」、「活気あるスポーツ活動を支える仕組みづくり」、「スポーツがしやすい環境づくり」の3つの基本施策のもと、各種事業を実施しています。
- ・事業実施に当たっては、スポーツ都市宣言推進協議会、体育協会、スポーツ推進委員協議会等と連携し、コロナ禍の中でも、感染防止策を十分に講じた上で各種行事を開催するなど、可能な範囲で各種スポーツ活動の機会を提供しました。
- ・成果指標については、40.2%と、前年度と比較して1.7ポイント増となりましたが、本市のスポーツ振興計画に掲げる目標値を達成することはできませんでした。
- ・目標値を達成できなかった要因として、コロナ禍における外出等の自粛や、緊急事態宣言の発出等により施設利用や対外試合等が制限された時期があったことなどが影響し、運動・スポーツの機会が減少したことが考えられます。
- ・コロナ禍にあっても、市民が安全・安心にスポーツや運動に取り組むことができるよう、引き続き、感染防止対策を進めていく必要があります。
- ・あわせて、成果指標の達成に向けて、日頃からスポーツや運動を行っていない市民への情報提供や、実施に向けたアプローチが必要と考えます。

## 【今後の方向性】

- ・スポーツ・運動を普段していない人に向けて、スポーツ・運動の持つ効果を発信することにより、関心を持ってもらい、スポーツに気軽に参加できるような機会づくりを行います。
- ・市民の誰もがどこでも生涯にわたり、スポーツに親しみ健康で明るい生活を送るためには、さまざまな市民団体等との連携が必要であり、また、幅広い市民の方がスポーツに触れることができるよう、さまざまな機会を捉え、各種事業のタイムリーな情報提供を行い、参加者の増を図ります。
- ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウンとして、引き続き、ジョージアとアフガニスタンとの交流事業等を行うことで、市民にスポーツの魅力を発信し、スポーツ振興、地域活性化を図ります。
- ・延命公園周辺地区都市再生整備計画に基づき、「(仮称)総合体育館等実施設計及び新築工事」を推進します。

<b>施策名</b>	【まちづくり総合プラン第1編第6章】 <b>文化芸術に親しみ、心豊かに生活できるまち</b>
<p>郷土の歴史や遺産を大切に継承・活用し、郷土を愛する気持ちと誇りをはぐくむとともに、市民が文化芸術を通して心豊かで充実した生活を送ることができる文化の薫るまちを目指します。</p> <p>そのため、郷土の歴史と遺産を学び、理解する機会づくりや、市民が文化芸術に親しみ、参加できる機会づくりを推進します。</p>	

**（視点1）まちの歴史や文化を知る・学ぶ**

世界文化遺産に登録された三池炭鉱関連施設などをはじめ、地域に残されている近代化遺産や有形・無形の文化財の適切な保存や、それらの歴史を「見える化」するなどの活用に向けた取り組みを通して、郷土の歴史や文化に触れ、現在や未来とのつながりを理解する機会を充実します。

**【主な事業】**

○世界遺産保存・整備事業〔世界遺産・文化財室〕

（1）世界遺産の管理・修復・活用

①史跡「三井三池炭鉱跡」の保存・管理

ア 適切な施設の維持管理のため、外柵の補修や樹木の伐採、除草清掃を行いました。

イ 今後の史跡整備に向けて基本的な考え方をまとめた、「三池炭鉱跡の保存・公開・活用に関する計画（H29年度策定）」に基づき、宮原坑の園路・看板整備を行いました（文化庁補助事業）。

ウ R2年7月豪雨により被災した専用鉄道敷跡の災害復旧工事を完了し、防災対策工事を行いました（文化庁補助事業）。

②重要文化財「三池炭鉱宮原坑施設」の保存

宮原坑第二堅坑巻揚機室の耐震補強工事（R2～4年度）に着手し、R3年度は工事入札を行いました（文化庁補助事業）。

③大牟田市近代化遺産保存活用基金

大牟田市近代化遺産保存活用基金を、市内の近代化遺産の保存・整備に活用するためにH18年度に設置しました。

（単位：千円）

R2年度決算に伴う 基金高 ①	R3年度中の増減額		R3年度決算に伴う 基金高①+②-③
	積立額 ②	取崩額 ③	
35,897	1	0	35,898

○世界遺産理解促進事業〔世界遺産・文化財室〕

（1）近代化産業遺産を活用したまちづくりの推進

①啓発グッズの作成

近代化産業遺産の記憶を次世代に伝えていくため、近代化産業遺産を活用したまちづくり協議会と共に、オリジナルポロシャツ等の啓発グッズを作成、販売しました。

②小学生を対象にした近代化産業遺産見学会の実施

市内小学校の全6年生を対象に、三池炭鉱関連の近代化産業遺産を見学する、バス見学会を実施しました。

参加者数 899人

### ③環境美化活動の実施

- ア 宮原坑駐車場への団体による花の植栽  
馳馬校区まちづくり協議会
- イ 三川坑跡での市民、団体等による日本庭園の清掃等  
NPO法人三池港未来のまちづくり会、市民の方々

### ④小学校との協働

世界遺産学習に取り組む馳馬小学校の子どもたちから世界遺産登録6周年にあたり、お祝いのメッセージを書いたフラッグ「お祝い旗」の寄贈を受け、宮原坑第二壱坑櫓に掲揚しました。

7月8日寄贈、7月31日まで掲揚

## (2) 世界遺産関連施設の価値の啓発

### ①市内近代化遺産一斉公開の実施

全国近代化遺産活用連絡協議会事業「近代化遺産一斉公開」の一環として、「炭鉱（やま）のこまか祭典」を実施しました（新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小し実施、日本博補助事業）。

と き 11月3日（水・祝）10時～16時

ところ 三川坑跡、三池港展望所、旧長崎税関三池税関支署等

内 容 「明治日本の産業革命遺産」や市内の近代化遺産を巡る写真展、動画公開、わくわくフォトラリー、国登録文化財「古賀家住宅」特別公開、市指定文化財「三井港倶楽部」公開

### ②宮原坑、三池港展望所、旧長崎税関三池税関支署の定期公開

宮原坑、三池港展望所は毎週月曜日および年末年始を除き毎日公開し、旧長崎税関三池税関支署は土日曜・祝日のみ公開しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全施設を4月29日～6月20日、8月14日～9月26日、1月22日～3月6日はガイドなし施設公開のみとし、大雨により8月12～15日、17～19日（9～13時）、9月17日は台風接近のため全施設を閉鎖しました。

見学者数 11,630人（宮原坑）、9,979人（三池港展望所）

1,384人（旧長崎税関三池税関支署）

### ③世界遺産登録6周年事業の実施

#### ア 小学校・中学校、記念給食の企画

学務課の協力により、全市立学校の給食で、炭鉱にちなんだメニュー（小学校と特別支援学校：石炭ビーンズ、中学校：鶏肉のごま味噌絡め）を実施しました。R3年度は三池エリアの構成自治体である大牟田市、荒尾市、宇城市の3市合同で初開催しました。

7月8日前後に実施

#### イ 啓発動画の制作

三池炭鉱・三池港をPRするオンラインツアー映像を制作し、宮原坑に仮設プレハブを設置して公開しました（日本博補助事業）。

### ④世界遺産キッズアカデミーの実施

福岡県世界遺産連絡会議（福岡県・大牟田市・北九州市・中間市）の主催で世界遺産の構成資産がある地元の小学校の児童を対象として、世界遺産の価値や魅力を伝えるオンライン講座を初めて実施しました。講座で学んだことを各小学校が相互にオンラインで発表し、児童同士の交流を深めました（馳馬小学校6年生が参加）。

6月10日、24日、30日に講座、11月18日に発表会

#### ⑤パンフレットの作成

世界遺産三池炭鉱・三池港について解説した子ども用のパンフレットを改訂し、3千部増刷しました。

#### ⑥出前講座等の実施

世界遺産の価値を広く知ってもらうことを目的として、出前講座等を実施しました。

##### ア 講師派遣・視察対応

講師派遣 13件 視察対応 1件

##### イ 各種事業への共催等の実施

後援 2件

### ○文化財保護事業〔世界遺産・文化財室〕

#### (1) 指定文化財の保護

##### ①指定文化財の管理

ア 指定文化財地内除草清掃（潜塚古墳、萩ノ尾古墳、早鐘眼鏡橋、上内立花内膳家墓地）、指定文化財定期点検（毎月）、災害時点検を実施しました。

イ 国指定史跡「萩ノ尾古墳」の石室内部の保存環境について、定期的な記録管理を行いました。

ウ 市指定史跡「歴代三池藩主墓地」において防災対策及び見学者の安全性向上を図るため、敷地内の排水設備再整備、倒壊もしくは倒れかかっていた灯籠等の復旧（積み直しと礎石基礎の地盤強化）を行いました。

エ 県指定天然記念物「土穴のエノキ」の枯枝等の除去剪定及び腐朽防止、樹冠のバランスをとるための剪定を行いました（R2～3年度県補助事業）。

#### (2) 文化財の調査・公開・活用

##### ①埋蔵文化財発掘調査（国・県補助事業）

##### ア 試掘・確認調査

各種開発に伴う事前の文化財の有無に関する問合せが739件あり、そのうち試掘・確認調査を行ったのは9件でした。本調査に至ったものはありませんでした。

##### イ 国指定史跡「萩ノ尾古墳」測量調査

史跡指定地内外において古墳（石室内）及び周辺の測量調査を行いました。

##### ②文化財防火デー

ア 県指定文化財「石造六地藏」が所在する法雲寺において、文化財防ぎょ訓練を実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止しました。

イ 文化財防火デーを周知するため、ポスターを国指定・登録文化財（建造物）所有者に配布し、掲示を依頼しました。

ウ 県指定文化財「慈覚大師坐像」「薬師如来坐像」が安置されている普光寺本堂と、旧長崎税関三池税関支署の防火設備の点検を行いました。

##### ③文化財保護強調週間

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小して近代化遺産一斉公開を開催し、所有者の協力を得て国登録文化財「古賀家住宅主屋」を初公開しました。

##### ④ぜんでこ踊り保存会補助

市指定無形民俗文化財「岡天満宮祭礼行事」の保存団体であるぜんでこ踊り保存会へ補助金を交付しました。

##### ⑤常設・企画展示の充実（三池カルタ・歴史資料館）

三池カルタ・歴史資料館が行う常設・企画展に対し、協力・助言・指導を行いました。

（常設・企画展の内容については、「社会教育施設等の状況 三池カルタ・歴史資料館」

(162～165ページ)を参照)

(3) 文化財保護の啓発

①文化財説明板の更新

県指定天然記念物「米ノ山断層及び石炭層の露頭」の文化財説明板を更新しました。

②出前講座等の実施

大牟田の成り立ち・歴史について広く知ってもらうことを目的として、出前講座等を実施しました。

ア 講師派遣・視察対応

講師派遣 4件

イ 各種事業への共催等の実施

後援 3件

③史跡めぐりウォークの実施

三池カルタ・歴史資料館と共催で三川地区の史跡めぐりウォークを実施しました。

と き R4年3月13日(日)

参加者数 10人

## 【視点2】文化芸術事業の充実

質の高い文化芸術に触れる機会と、身近な場所で文化芸術に触れる機会の充実を図ります。あわせて、子どもが文化芸術に触れ、豊かな感性を育むとともに、若者が文化芸術に対する関心を高める機会の充実を図ります。また、誰もが気軽に文化芸術に親しめるよう、市民が参加しやすい事業の充実をめめます。

### 【主な事業】

#### ○多様な文化芸術提供事業〔生涯学習課〕

##### (1) 本市の特色を活かした文化芸術事業

##### ①大牟田押し花アートフェスタ

押し花を台紙に貼るだけでなく、日頃の感謝のメッセージを添えるなどの「まごころはがき」をつくるワークショップを開催しました。押し花まごころはがきコンテストには、押し花ワークショップ等で製作された作品が多数応募されました。

また、大牟田押し花アートフェスタ展覧会では、コンテスト応募作品や押し花作家の杉野宣雄さん並びに地元の押し花アーティストたちの作品が展示されました。

##### 押し花ワークショップ（押し花まごころはがきコンテスト応募）

と き	時 間	場 所	参加者数
7月22日（木・祝）	10時～15時 （12時～13時休憩）	ゆめタウン大牟田 2階わくわく広場	162人
7月26日（月）	①10時～ ②11時～ ①②とも1時間程度	三池地区公民館	19人
7月29日（木）		三川地区公民館	29人
7月30日（金）		勝立地区公民館	12人
8月3日（火）		中央地区公民館	11人
8月4日（水）		吉野地区公民館	9人
8月5日（木）		駛馬地区公民館	19人
8月10日（火）※		手鎌地区公民館	

※緊急事態宣言発令に伴い中止

計 261人

##### 大牟田押し花アートフェスタ展覧会（押し花作家作品展・押し花まごころはがきコンテスト応募作品展）

と き	場 所	入場者数
9月3日（金）～9月5日（日） 10時～17時 （最終日のみ15時まで）	ゆめタウン大牟田 2階わくわく広場 ※コンテスト表彰式は中止	432人
9月2日（木）～9月5日（日） 12時～17時	ROOTH2-3-3	
9月2日（木）～9月5日（日）	ホテルニューガイアオームタガーデン 1階ロビー	

※後日、押し花アートフェスタ展覧会それぞれの会場の様子を動画配信しました。

##### ②カルタ文化の普及

国内唯一の公立カルタ館を有していることから、カルタ文化の普及啓発事業を実施しました。

（内容等については、「社会教育施設等の状況 三池カルタ・歴史資料館」（162～

165ページ)を参照)。

(2) 大牟田市民文化のつどい事業

市民の文化活動の発表の場を充実させ、芸術鑑賞の機会を設けることにより、市民の文化芸術に対する理解を深め、もって地域文化の創造と発展に資するために開催しました。

実施事業数 15件 (計画事業数は19件)

入場者数 7,310人

事業名	主管団体名	とき	ところ
東バレエスタジオ 30周年記念 第13回発表会	大牟田バレエ協会	4月4日(日)	文化会館大ホール
第29回ありあけ山野草と小品盆栽展	ありあけ山野草会	4月15日(木) ～4月17日(土)	文化会館展示室
第68回青々水彩画協会公募展	青々水彩画協会	4月19日(月) ～4月25日(日)	文化会館展示室他
第15回sproutダンス発表会	大牟田ストリートダンス協会	8月29日(日)	文化会館大ホール
ふるさと大牟田の歴史と文化講座	三池史談会	10月9日(土) 10月16日(土)	文化会館研修室
クラシックギターのつどい	大牟田クラシックギター愛好会	10月16日(土)	文化会館大ホール
日本舞踊幸若流 第11回チャリティ発表会	大牟田民舞協会	10月24日(日)	文化会館大ホール
70周年記念大牟田美術展	大牟田美術協会	前期:10月26日(火) ～10月31日(日) 後期:11月4日(木) ～11月10日(水)	文化会館展示室他
創作太鼓と郷土芸能の祭典	おおむた和太鼓愛好会	10月31日(日)	文化会館大ホール
各流派合同日本舞踊勉強会	大牟田日本舞踊協会	11月3日(水・祝)	文化会館小ホール
大牟田みやび舞踊の会 設立15周年記念公演	大牟田みやび舞踊の会	11月7日(日)	文化会館大ホール
大牟田能楽会 素謡・囃子の会	大牟田能楽会	11月14日(日)	文化会館小ホール
第64回吟剣詩舞道大会	大牟田吟詠連盟	11月23日(火・祝)	文化会館小ホール
歌謡フェスティバル	有明歌謡連盟	12月9日(木)	文化会館大ホール
俳句大会	大牟田俳句連合会	12月10日(金)	文化会館研修室
童謡を一緒に	大牟田童謡会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
大牟田押花フェスタ 2021	大牟田押花の会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
大牟田市民音楽フェスティバル 2021 大牟田合唱祭	大牟田音楽連合会 (大牟田合唱連盟)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
三曲(箏・三絃・尺八)演奏会	大牟田三曲協会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	

○文化芸術体験を通じた子ども・若者育成事業〔生涯学習課〕

(1) まちの芸術家派遣事業

子どもが質の高い文化芸術に触れ、豊かな感性を育む機会をつくるため、文化芸術活動者を学校へ派遣し、学校教育における文化芸術の鑑賞、体験等の機会の充実を図りました。

実施事業数 10件

学校名	ジャンル	派遣団体	と き
馳馬小学校	茶道	茶道裏千家淡交会大牟田学校 茶道連絡協議会	6月7日(月)
中友小学校	文学(おはなし会)	おはなしの森	6月15日(火) 6月17日(木) 6月18日(金)
馳馬小学校	茶道	茶道裏千家淡交会大牟田学校 茶道連絡協議会	6月21日(月)
馳馬小学校	押し花	花みずき会	9月27日(月)
銀水小学校	音楽(フルス)	大牟田フルス協会	10月20日(水)
馳馬小学校	押し花	花みずき会	11月5日(金)
明治小学校	文学(おはなし会)	おはなしの森	11月11日(木) 11月12日(金)
中友小学校	文学(おはなし会)	おはなしの森	11月18日(木) 11月19日(金) 11月25日(木)
上内小学校	音楽(フルス)	大牟田フルス協会	11月22日(月)
馳馬小学校	音楽(古典)	大牟田三曲協会	12月3日(金)

## (2) 子どもの文化芸術体験支援事業

### ①大牟田市子どもアートスクールツアー

子どもたちが劇場や美術館等に行って、文化芸術に直接ふれる体験ツアーを実施しました。R3年度は、ミュージカル(劇団四季の「CATS」)を観劇しました。

と き R4年3月25日(金)

と ころ キャナルシティ劇場

参加者 市内在住の小学4～6年生40人

## (3) 若者の関心に合わせた文化芸術事業

### ①ダンスによる若者育成事業 ダンスチャレンジおおむた

高校生が小中学生にダンスを教えるダンスワークショップや市内高校ダンス部のステージ発表のほか、小学生から高校生を対象に市内外から参加者を募ったダンス大会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のためR4年度に再延期しました。

### 【視点3】文化芸術の環境づくり

文化芸術活動を行う市民団体への支援等により、市民が身近に文化芸術に親しめる環境づくりを進めます。また、文化芸術により生み出される様々な価値を人づくり、まちづくりの面で活かし、まちの魅力を高める取組みを進めます。あわせて、文化施設の適切な維持・補修を行うとともに、これからの文化施設が地域で果たす役割について改めて検討し、機能の充実を図ります。

#### 【主な事業】

##### ○市民（民間）団体等による文化芸術活動支援事業〔生涯学習課〕

###### （1）各種共催事業等の実施

各種文化芸術事業への共催等による支援を行いました。

共催・後援件数 41件

###### （2）大牟田市民文化のつどい事業における公募

大牟田市民文化のつどい事業において、広く公募を行い、文化のつどいの1事業として実施しました。

公募事業 大牟田みやび舞踊の会設立15周年記念公演

と き 11月7日（日）

と ころ 文化会館大ホール

##### ○文化芸術が生み出すまちの魅力アップ事業〔生涯学習課〕

###### （1）羽山台小学校演劇ワークショップ・講演会

講師に平田オリザ氏を招き演劇の手法を活用して他者と協力したり、自分を表現できるコミュニケーション能力を育むほか、多様な価値観をもつ人との対話に必要なことについて理解を深める講演会やワークショップを行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

##### ○文化芸術による交流創出事業〔生涯学習課〕

###### （1）有明圏域定住自立圏文化振興会議

圏域4市2町による文化振興会議を開催し、効果的な文化芸術情報の発信や令和4年度実施予定の共同文化事業について協議しました。

と き R4年1月12日（水）

と ころ 文化会館 憩いのmori

###### （2）広域連携の取組み

有明圏域定住自立圏共生ビジョンに基づき、従前より実施している「有明美術展」を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。また、圏域内の自治体4市2町で圏域内の文化事業に関する情報の効果的な発信として各自治体に定住コーナーを設けています。

##### ○文化施設整備事業〔生涯学習課〕

大牟田文化会館はS61年（1986年）、カルタックスおおむたはH3年（1991年）にそれぞれ開館しました。これらの施設は老朽化が進む中、計画的な予防保全が必要となっていることから、公共施設維持管理計画に基づき、維持補修に取り組みました。

・文化会館 小ホール音響設備更新工事、小ホール搬入口シャッター更新、大ホール幕地機器更新など

・カルタックス 駐車場改修工事、図書館児童書エリア外フロアカーペット張替など

## 【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
1年間に、ホールや施設などで文化芸術を直接鑑賞したことがある人の割合	目標値 (%)	80.0	80.0	80.0	80.0	文化庁「文化芸術推進基本計画」に掲げる目標値を基に設定(R2年80.0%) [現状値：57.9% (H30年度実績)]
	実績値 (%)	44.5	38.2			
	達成度 (%)	55.6	47.8			

## 【指標達成度に対する要因分析】

- ・文化事業の開催等を幅広く周知するため、広報おおむたやホームページ、愛情ねっと等を活用するとともに、チラシやポスターを公共施設に配布しました。また、本市の特色を活かした文化芸術事業として、押し花を活用したワークショップや展覧会を実施し、本市の魅力を市内外へ発信しました。
- ・大牟田市民文化のつどい事業は年間で19事業を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により4事業が中止となりました。また、文化芸術が生み出すまちの魅力アップ事業(著名な劇作家による市民を対象としたワークショップ等)についても中止となりました。このように、新型コロナウイルス感染拡大の影響により各種イベント等が中止・延期となり、文化芸術活動への参加の機会が減少したことが、指標の実績値に影響した可能性があります。
- ・新しい生活様式を踏まえたイベントの実施が増加し、R2年度に比べ文化芸術に触れる機会は、戻りつつありますが、複数回にわたる新型コロナウイルス感染拡大なども指標の実績値に影響した可能性があります。
- ・郷土の歴史への興味関心を高め、郷土を愛する気持ちと誇りを育む事業として、毎年行っているバス見学会や文化財に関する講座について、感染拡大防止にも配慮しながら継続して実施したほか、近代化遺産一斉公開のコンパクトな形での実施や、宮原坑敷地内への展示施設の設置を行いました。

## 【今後の方向性】

- ・R元年度に策定した大牟田市文化芸術振興プランに基づき、文化芸術を通して人々が相互に尊重しながら多様性を認め合う心豊かなまちを実現するため、さまざまな施策に取り組みます。特に本計画期間にあっては次世代を担う人づくりに力を入れており、文化芸術を通して子どもや若者の豊かな感性を育み、心豊かでたくましい青少年の育成を図る施策を推進します。
- ・文化芸術団体や大牟田市文化振興財団等と連携し、十分な感染防止策を講じた上で、多くの市民に安心して文化芸術に触れてもらえるよう取り組みます。
- ・世界遺産をはじめとする近代化遺産や文化財の保存・活用により、まちの歴史や文化について、多くの市民が理解を深め、まちへの愛着と誇りにつなげていくことと併せ、世界遺産の価値を広く内外に周知し、その魅力に触れてもらえるよう取り組みます。

# 学 識 経 験 者 意 見

大牟田市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の  
点検及び評価についての意見書

福岡教育大学  
教授 石丸 哲史

このたび、大牟田市教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に定めるところにより、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行った。上記第26条第2項においては、「点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする」とあり、このことにもとづき、本稿では、点検・評価の手法に焦点を置きながらも、この趣旨から逸脱することない範囲において施策そのものについても言及する。

本市総合計画に基づいて策定された教育振興基本計画である「大牟田市学校教育振興プラン2020～2023」は、2年目を迎え、これにもとづいた令和3年度の事業計画に掲げられた各主要施策について教育委員会関係分と、「大牟田市まちづくり総合プラン」の施策体系にもとづく市長部局関係分が、点検・評価の対象となっている。教育にかかるすべての施策を遺漏なく点検・評価の対象としているところは、「ひとづくり」にかかる総括であり、本市の教育行政が、市民の理解のもとで推進しようとする姿勢の表明といえる。

○教育委員会の活動状況について

市民の理解や共感を前提とする教育施策の実施に向けて、教育委員に課せられた使命は大きい。教育委員がこのことをしっかりと受け止め、責務を果たされていることは、述べ19回にも及ぶ勉強会の開催から理解できる。令和3年度は、学力向上、小中一貫教育制度、夜間中学など、様々なテーマが設定されている。生きる力の根本といえる学力向上を等閑視することなく、また「誰ひとり取り残さない」というSDGsの趣旨が夜間中学の検討に反映しており、SDGs未来都市大牟田としての個性の発揮である。さらに、総合教育会議において小中一貫教育制度の導入に関して協議、意見交換がなされており、勉強会の成果が有効に活かされている。レイマンコントロールすなわち、専門家の判断のみによらない、広く市民の意向を反映した教育行政であるだけに、本市における教育委員の勉強会の意義は実に大きく、全国の教育委員会への範を示している。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染状況の変動が実に大きかったために、学校訪問や行事への参加の可否におそらく悩まされたことだろう。そういった大変な状況にありながらも、感染防止対策を入念に講じながら、小学校9校、中学校3校

の学校訪問、中学校卒業式、成人式、学校給食、スポーツ関連行事等の6行事への出席には敬意を表したい。

今後、市民の意向を十分に反映した教育行政を展開するため、教育現場の実態把握や関係機関から積極的に情報収集を行うとともに、研修会への出席等を通じた資質の向上に努めていくとされており、さらなる活動を大いに期待したい。

また、会議資料は市情報公開センターでも閲覧できるようにするとともに、ウェブサイト上で会議録を公開している。さらに、年3回発行「教育委員会だより」によって情報発信を充実させている。今後も、引き続き広報および広聴活動の充実を図っていただきたい。

#### ○教育委員会および市長部局関係分における重点事業について

教育委員会関係分については、まず、基本方針に係る成果指標の令和3年度達成状況について検討し、当該年度における施策の総括を行っている。本市の学校教育の基本理念には、持続可能な社会の創り手となる子どもたちの育成を目指すとしている。「将来に向けて意欲を持って取り組もうとする中学3年生の割合」を指標とし、着実にその割合を高めている。系統的なキャリア教育と関連付けているところは有意義である。VUCAと呼ばれる予測困難な場面が目立つ時代にあって、さまざまな課題を克服し、持続可能な社会を構築できる資質・能力を備えた人づくりこそが、大牟田市の教育の根幹である。

一方、市長部局関係分については、まちづくりに資するひとづくりをめざし、社会教育、スポーツ及び文化の振興に傾注している。とりわけ、地域課題解決と地域の未来像を描くための取組は特色あるものといえる。以下、個々の重点事業に対する管見を申し述べる。

#### ◆教育委員会関係分

##### I-1 未来を創るESD推進事業について

本市の中核事業といえるESDにかかるさまざまな学習が展開されており、取組実績があげられている。もっとも、「SDGs／ESDのまち・おおむた」を全国や世界に発信するという目的が掲げられているが、このことは市長部局の事業としての性格も備えており、教育委員会だけでその使命を担うとなると、首をかしげてしまう。教育委員会としてこの事業を遂行するのであれば、学校教育では児童生徒の生きる力の強化を延長線上に据え、社会教育では持続可能な社会構築に向けた市民力の向上に努めるべきである。そして、この目標に向かった、妥当なアウトカムであるか検討する必要がある。取組内容は詳細に記載されているが、一部には「行った」という記述すなわちアウトプットにとどまり、行った結果どういった所産が見いだせたのか、アウトカムの説明まで至っていないところがある。

以上のことは、昨年度言及した「子どもは行事でも育つ」ことを覆しているわけではない。その際に述べた「行事によって非認知能力を中心とした生きる力が育まれるであろうが、その実効性を精確に評価し、持続可能な社会を創る上での資質・能力の向上に本施策が貢献しているか今後厳密に検討する必要がある。」というところに意識があるかどうかである。意を注ぐべきは、この行事で児童生徒がどう育つかという教育の成果すなわちアウトカムを明らかにするところである。言いかえれば、大牟田市民にとって行事自体に価値や意義があるか再検討し、相当のアウトカムが期待されるものに限定すべきである。行事開催にあたっては、多くの労力を必要とし、これに教員が携わるならば教師の多忙化に拍車をかけることになり、今や社会問題化しているだけに厳に控えるべきである。総花的にあらゆる行事を終えた後の空虚感を抱かないためにも、充実感、達成感をめざせる行事に限定していただきたい。

今後の方向性として、各学校が目指すSDGsを重点化し取組を共有し学習の充実を図るとあるが、活動を重視するESDであるだけに、その活動にどのような学びがあるのか、その結果、知識の量だけでなく、思考力・判断力・表現力や学ぶ意欲など、幅広い学力がどのくらい高まったかというところまで踏み込む必要がある。むしろ選択と集中こそ今一番求められているところであり、各取組の必要性・重要性をしっかりと精査し、優先劣後を明らかにすることも必要である。

### I-3 英語教育のまち・OMUTA推進事業について

小学校における「外国語科」および「外国語活動」の必修化への対応は、早期より英語教育の充実をはかってきた大牟田市にとっては、これまでの実績が奏功し、英語を使う実践力の向上が明らかになっている。この実践力こそがコミュニケーション能力向上に貢献することから、引き続き取組を深めていく必要がある。今後の方向性として、小学校段階での英語を「読む」「書く」の学習が充実するよう、学習展開の充実を図るとあるが、学習展開の充実の延長線上には英語の学力向上を位置づけていただきたい。

### I-4 学校ICT活用推進事業

GIGAスクール構想に基づき整備されたICT環境のもとで重要なことは、これまでの教育実践の蓄積をもとにして、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を実行することである。本構想の趣旨である「多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、子供たち一人一人に公正に個別最適化され、資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境の実現」をめざし、操作方法の習得のみならず「どの授業のどの場面でタブレットを使用するとどのような効果が期待できるか」という問題意識を持ち、授業改善に取り組んでいただきたい。今後の方向性として、ICTの活用促進を通して教員の負担軽減を図るための啓発も進めるとあるように、ICT活用の効果が教師に実感できるような取組を進めていく必要がある。

## Ⅱ-2・Ⅳ-1 「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業について

いじめや不登校の問題の解消にむけて、道徳教育として児童生徒に「思いやり・親切」のある楽しい学校生活、豊かな人間関係づくりを推進する試みは斬新である。中学校区ごとの取組により、地域性や児童生徒の実態をふまえたことにより成果も上がっていることから、引き続き取組を深めていく必要がある。Ⅱ-2 とともに、Ⅳ-1 事業が一体的に取り組まれることは意義があり、たとえば不登校の原因そのものに迫り個に応じた対処を見出して実行することも教育委員会として重要な役割といえる。不登校解消に向けてより一層取組を強化していただきたい。

## Ⅱ-3 子ども大牟田体力検定推進事業について

知育・徳育・体育のバランスを重視し、「体力向上チャレンジカード」と「検定カード」を活用しながら体力向上に向けた実効性のある取組を展開している。小学校では運動の習慣化に取組を重点化し、運動の喜びや楽しさを味わわせ、中学校では各学校の体力に係る実態に応じて学校独自の取組を重点化するなど校種に適した取組を行っている。今後とも着実に進めていく必要がある。

## V-1 人権・同和問題啓発事業について

人権・同和問題に対する理解と認識は未だ十分とはいえず、深化と拡充に向けた取組は、多くのSDGに適っている。講演会への参加者が固定化している状況が見られるということは以前から指摘されており、今後においても引き続き取組を改善していく必要がある。

### ◆市長部局関係分

#### 4-1 高校生まちづくり体験事業（次世代を担う人づくり事業）について

「まちづくりはひとづくりから」といわれて久しいが、この事業は市長部局が取り組むにふさわしい有意義な事業といえる。高校生まちづくり体験事業推進協議会を設立し、ふるさと魅力発見ウォークを実現できたことは喜ばしい。高校生の主体性や活躍などを小中学生に看取らせ、彼らに続かせるストーリーは、持続可能な社会づくりにおけるユース参画の重要性が叫ばれているだけに、実に魅力的である。大きな成果が期待できる総合発表会の実現を念じている。そういった趣旨からすると、成果指標としては、参画した高校の数よりも高校生の数のほうがいいのではないだろうか。

#### 4-2 学校ESD支援事業について

学校が展開するESDの支援に市民が参画することは、地域学校協働活動として位置づけられるだけでなく、社会教育の充実にもつながる。ただし、市民が児童生徒のESD活動に関与することによって市民の持続可能性の追求を促すためには、精緻なシナリオが必要とされる。また、取組実績としては、さまざまなイベントが羅列されているだけであり、成果が明確でない。地区公民館の機能や役割について、

学校への周知が十分ではないため、提供できる支援について周知を図る必要があるという課題を掲げているが、E S Dを実践していく上で公民館をとおした市民と学校との関係構築が明確になるように努める必要がある。

冒頭申し述べたように、本稿では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の趣旨に則り、事業・取組にかかる点検・評価の手法のみならず、事業・取組そのものについても言及するとした。大牟田市がE S Dに取り組んだ背景は、O E C Dが提唱したキーコンピテンシーを育むためであること、昨年度の意見書においても明記した。そして今、O E C DはEducation2030として新たなコンピテンシー論を展開しているが、これは大牟田市のE S Dの方針と軌を一にしている。

令和4年度の全国学力・学習状況調査の中学校数学では、S D G 13（気候変動に具体的な対策を）の目標に対してできることがないかを話し合い、二酸化炭素の削減に取り組むことにしたとする問題が出されている。すなわち、S D G sに向かうためには数学の学力が必要とされるということである。E S Dの実践によって学力向上が達成できることを示唆しており、大牟田市はこのような学習の先鞭をつけたと言ってもよからう。学習であるだけに、子どもの「問い」と「思考のながれ」を明確にすることが必要であり、これはイベント等で一時的に見せる子どもの姿だけではない。

残念ながら、令和3年度の事業計画では、学力向上にかかる事業は重点事業から外れ、主要施策「確かな学力の育成」にかかる成果指標は授業の理解度をもってしている。「わかっているけど、できない」子どもが増えているなか、できているかどうか、すなわち学力調査の標準化得点などを指標とせず、児童生徒がわかっているからよしとするのは、教育の怠慢との誹りを受けかねない。「学びに向かう力」育成推進事業にあっても、他の学力2要素と一体的に取り組むべきであり、かかる事業としてさまざまなイベントを開催しても「活動あって学びなし」となりかねず、これまでの教訓が生かされない。なによりも効果の検証を本点検・評価によって客観的に行い、イベント等の精選を行うべきである。

令和4年度の事業計画をみると、全国学力・学習状況調査の標準化得点を成果指標とするよう変更された。振興プランの途中であっても改善を怠らない姿勢がここに看取できる。点検・評価によって明らかになった成果と課題を、令和6年度以降の次期プランに反映させていただきたい。幸い大牟田市には、市民、企業など多くの主体が参画し、持続可能性を追求していく土壌があるように思う。グローバルな視野を持ちながらも、地に足のついた視座も維持し、大牟田市の教育の次のステージに向け、今やそのデッサンを描くときである。

以上

# 資 料 編

# 〔 歴代教育委員等 〕

## 1 歴代教育委員

氏 名	期 間
黒 田 潔	S27.10. 5～ 31. 9.30 31.10. 1～ 35. 9.30
藤 津 潔	27.10. 5～ 31. 9.30
米 倉 勇 喜	27.10. 5～ 31. 9.30 31.10. 1～ 34. 4.18
三 島 利 信	27.10. 5～ 31. 9.30
古 賀 初 男	27.10. 5～ 29. 9.30
堀 弘	29.10. 1～ 31. 9.30
湯 村 誠 男	31.10. 1～ 33. 9.30 33.10. 1～ 37. 9.30
水 町 キ ヲ	31.10. 1～ 32. 9.30 32.10. 1～ 36. 9.30 36.10.13～ 40.10.12
川 畑 昭 二 路	34. 5.19～ 35. 9.30
稲 員 鎌 造	36. 3.16～ 40. 3.15
平 木 次 郎	36. 3.16～ 40. 3.15 40. 4.21～ 41.10. 7
近 藤 広 蔵	37.10. 3～ 41.10. 2
古 崎 真 直	40. 4.21～ 41. 8.24
松 本 勇	40.11.13～ 41. 8.24
猿 渡 五三郎	41. 8.25～ 44. 4.20 44. 5. 1～ 48. 4.30
藤 田 光 雄	41. 8.25～ 42.10.15 42.12.21～ 46.12.20
小 田 原 武 則	41.10.14～ 45.10.13 45.10.14～ 49.10.13
坂 口 長 一 郎	40.10.14～ 44. 4.20 44. 5. 1～ 48. 4.30 48. 5.15～ 52. 5.14 52. 5.20～ 56. 5.19
清 水 龍 哉	46.12.24～ 50.12.23 50.12.24～ 54.12.23
相 島 壽	48. 5.15～ 52. 5.14 52. 5.20～ 56. 5.19 56. 5.20～ 60. 5.19
永 田 恒 久	49.10.14～ 53.10.13 53.10.14～ 57.10.13
蒲 池 當	56. 5.20～ 60. 5.19
大 隅 一 雄	54.12.24～ 58.12.23 58.12.24～ 62. 4.15
大 久 保 修 吉	57.11.20～ 61.11.19
辻 政 義	62. 7.24～ 62.12.23 62.12.24～ H3.12.23
河 口 政 俊	60. 5.27～ 元. 5.26 元. 5.27～ 5. 5.26
長 島 政 勝	60. 5.27～ 元. 5.26 元. 5.27～ 5. 5.26
圓 佛 洋 右	62. 3.12～H 3. 3.11 3. 3.13～ 7. 3.12 7. 3.13～ 11. 3.12 11. 3.13～ 15. 3.12
蓮 澤 浩 明	3.12.24～ 7.12.23 7.12.24～ 11.12.23 11.12.24～ 15.12.23
山 本 進 一	5. 5.27～ 9. 5.26 9. 5.27～ 13. 5.26 13. 5.27～ 15. 9.30

氏 名	期 間
木 村 和 子	5. 5.27～ 9. 5.26 9. 5.27～ 13. 5.26 13. 5.27～ 17. 5.26
山 本 和 夫	15. 3.13～ 19. 3.12 19. 3.13～ 23. 3.12 23. 3.13～ 27. 3.12 27. 3.13～ 31. 3.12 31. 3.13～
後 藤 和 子	15.10. 1～ 17. 5.26 17. 6. 1～ 21. 5.31
大 平 修	16. 3. 1～ 20. 2.29 20. 3. 3～ 24. 3. 2 24. 3. 3～ 28. 3. 2
古 後 八 重 子	17. 6. 1～ 21. 5.31
池 田 美 子	21. 6. 1～ 25. 5.31
嶋 田 桂 子	21. 6. 1～ 25. 5.31 25. 6. 1～ 29. 5.31 29. 6. 1～R 3. 5.31 3. 6. 1～
本 山 清 美	25. 6. 1～ 29. 5.31 29. 6. 1～ 30. 5.31
東 秀 樹	28. 3.22～R 2. 3.21 2. 3.22～
笹 井 葉 子	30. 6. 1～

## 2 歴代教育長

氏 名	期 間
堀 次 助	S27.11. 1～ 31. 9.30
稲 員 鎌 造	31.10. 1～ 34. 9.30
樋 口 種 樹	34.10. 5～ 38.10. 4
安 元 薫	38.11. 8～ 41. 8.24
池 上 尚 司	41. 9. 5～ 44.11.12 44.11.13～ 46. 6. 7
栃 原 秋 雄	46. 7.23～ 48.11.12
池 田 喜 市	49. 3. 9～ 53. 2.26
黒 田 弘	53. 2.27～ 57. 2.26 57. 2.27～ 61. 2.26 61. 2.27～H 2. 2.26
西 田 茂	2. 3.10～ 6. 2.26
荒 木 和 久	6. 3. 4～ 10. 3. 1 10. 3. 2～ 14. 3. 1 14. 3. 2～ 18. 3. 1
宮 田 忠 雄	18. 3. 2～ 22. 3. 1 22. 3. 2～ 26. 3. 1
安 田 昌 則	26. 3. 3～ 27. 3.31 27. 4. 1～ 30. 3.31 30. 4. 1～R 3. 3.31
谷 本 理 佐	3. 4. 1～

## 3 歴代教育長職務代理者

氏 名	期 間
山 本 和 夫	H27. 4. 1～ 30.3.31 30. 4. 1～R 3.3.31 3. 4. 1～

#### 4 歴代教育委員長

氏名	期間
藤田光雄	S44. 5. 1～45. 4. 30
	45. 5. 1～46. 4. 30
坂口長一郎	46. 5. 1～47. 4. 30
	47. 5. 1～48. 4. 30
	48. 5. 21～49. 5. 20
小田原武則	49. 5. 21～49. 10. 13
清水龍哉	49. 10. 16～50. 10. 15
	50. 10. 16～50. 12. 23
	50. 12. 24～51. 12. 23
相島壽	51. 12. 24～52. 5. 14
永田恒久	52. 5. 20～53. 5. 19
	53. 5. 20～53. 10. 13
相島壽	53. 10. 14～54. 10. 13
	54. 10. 14～55. 10. 13
	55. 10. 14～56. 5. 20
永田恒久	56. 5. 21～57. 5. 20
	57. 5. 21～57. 10. 13
相島壽	57. 11. 22～58. 11. 21
	58. 11. 22～59. 11. 21
	59. 11. 22～60. 5. 19
大久保修吉	60. 5. 28～61. 5. 27
	61. 5. 28～61. 11. 19
河口政俊	62. 3. 12～63. 3. 11
長島政勝	63. 3. 12～H元. 3. 11
圓佛洋右	元. 3. 12～2. 3. 11
辻政義	2. 3. 12～3. 3. 11
河口政俊	3. 3. 12～4. 3. 11
長島政勝	4. 3. 12～4. 9. 11
圓佛洋右	4. 9. 12～5. 9. 11
蓮澤浩明	H 5. 9. 12～6. 9. 11
山本進一	6. 9. 12～7. 9. 11
木村和子	7. 9. 12～8. 9. 11
圓佛洋右	8. 9. 12～9. 9. 11
蓮澤浩明	9. 9. 12～10. 9. 11
山本進一	10. 9. 12～11. 9. 11
木村和子	11. 9. 12～12. 9. 11
圓佛洋右	12. 9. 12～13. 9. 11
蓮澤浩明	13. 9. 12～14. 9. 11
山本進一	14. 9. 12～15. 9. 11
木村和子	15. 9. 12～16. 9. 11
山本和夫	16. 9. 12～17. 9. 11
後藤和子	17. 9. 12～18. 9. 11
大平修	18. 9. 12～19. 9. 11
古後八重子	19. 9. 12～20. 9. 11
山本和夫	20. 9. 12～21. 9. 11
	21. 9. 12～22. 9. 11
	22. 9. 12～23. 3. 12
	23. 3. 13～24. 3. 12
	24. 3. 13～25. 3. 12
	25. 3. 13～26. 3. 12
	26. 3. 13～27. 3. 12
	27. 3. 13～27. 3. 31

#### 5 歴代教育委員長職務代行者

氏名	期間
坂口長一郎	S44. 5. 1～45. 4. 30
	45. 5. 1～46. 4. 30
小田原武則	46. 5. 1～47. 4. 30
	47. 5. 1～48. 4. 30
	48. 5. 21～49. 5. 20
清水龍哉	49. 5. 21～49. 10. 15
相島壽	49. 10. 16～50. 10. 15
	50. 10. 16～50. 12. 23
	50. 12. 24～51. 12. 23
永田恒久	51. 12. 24～52. 5. 19
相島壽	52. 5. 20～53. 5. 19
	53. 5. 20～53. 10. 13
永田恒久	53. 10. 14～54. 10. 13
	54. 10. 14～55. 10. 13
	55. 10. 14～56. 5. 20
相島壽	56. 5. 21～57. 5. 20
	57. 5. 21～57. 10. 21
蒲池當	57. 11. 22～58. 11. 21
	58. 11. 22～59. 11. 21
	59. 11. 22～60. 5. 19
大隅一雄	60. 5. 28～61. 5. 27
	61. 5. 28～62. 3. 11
長島政勝	62. 3. 12～63. 3. 11
圓佛洋右	63. 3. 12～H元. 3. 11
辻政義	元. 3. 12～2. 3. 11
河口政俊	2. 3. 12～3. 3. 11
長島政勝	3. 3. 12～4. 3. 11
圓佛洋右	4. 3. 12～4. 9. 11
蓮澤浩明	4. 9. 12～5. 9. 11
山本進一	H 5. 9. 12～6. 9. 11
木村和子	6. 9. 12～7. 9. 11
圓佛洋右	7. 9. 12～8. 9. 11
蓮澤浩明	8. 9. 12～9. 9. 11
山本進一	9. 9. 12～10. 9. 11
木村和子	10. 9. 12～11. 9. 11
圓佛洋右	11. 9. 12～12. 9. 11
蓮澤浩明	12. 9. 12～13. 9. 11
山本進一	13. 9. 12～14. 9. 11
木村和子	14. 9. 12～15. 9. 11
山本和夫	15. 9. 12～16. 9. 11
後藤和子	16. 9. 12～17. 9. 11
大平修	17. 9. 12～18. 9. 11
古後八重子	18. 9. 12～19. 9. 11
山本和夫	19. 9. 12～20. 9. 11
後藤和子	20. 9. 12～21. 5. 31
大平修	21. 6. 1～21. 9. 11
	21. 9. 12～22. 9. 11
	22. 9. 12～23. 3. 12
	23. 3. 13～24. 3. 12
	24. 3. 13～25. 3. 12
	25. 3. 13～26. 3. 12
	26. 3. 13～27. 3. 12
	27. 3. 13～27. 3. 31

〔 機構と職員数 〕

1 機構及び事務分掌

(令和4年3月31日現在)

教育委員会

事務局	総務課	教育委員会会議、規則・規程の制定及び改廃、公印管理、文書の收受及び発送、職員(教職員を除く)の人事・給与及び旅費、職員の研修・福利厚生及び表彰、職員団体その他労務管理、労働安全衛生、教育行政の各種統計調査、事務局及び教育機関の事務の管理調整、公示、教育行政に関する相談に関すること
	学校再編推進室	市立学校の再編の推進、市立学校適正規模・適正配置検討委員会に関すること
	教育みらい創造室	事務局及び教育機関の事務の企画に関すること
	学校教育課	市立学校の設置及び廃止、児童生徒等の入退学及び転校、児童生徒等の就学の免除及び猶予、長期欠席中児童・生徒の調査及び出席の督促、通学区域、学級編制、教職員の人事・給与・免許・職員団体・福利厚生・表彰・調査・統計、学校施設の開放(学校体育施設の開放事業に係るものを除く)、学校運営の管理、市立学校通学区域審議会、情報管理に関すること
	指導室	学校教育の指導、学校の教科内容、教職員の研修、教科用図書の採択、学校の教材及び教具の指導、児童・生徒の文化体育行事、児童・生徒の学力等の調査、教育研究所の運営についての指導助言、就学支援委員会、いじめ防止対策委員会に関すること
	教育研究所	地域、児童生徒の教育内容及び学習指導並びに教育評価等に関する調査研究、各種調査研究事項の刊行、教育相談事業と研究、資料収集と供覧、研修講座
	ユネスコスクール 支援センター	市立学校におけるユネスコスクールの取組への支援、ユネスコスクール及びESDに関する資料及び情報の収集及び提供、知識の普及及び啓発、ユネスコスクール間の交流に関すること
	学務課	学校基本調査、就学奨励補助金交付の認定、学校給食及び学校保健、児童・生徒及び教職員の健康診断・就学時健康診断、学校環境の衛生管理、児童・生徒の安全及び学校災害共済給付金・給食費及び医療費に係る補助金の交付、学校給食会、学校保健会、学校医・学校歯科医及び学校薬剤師、市立学校結核対策委員会、市立小学校給食調理業務委託者選定委員会、施設の建設計画及び教育財産の管理に関すること
	中学校給食センター	市立中学校において実施する給食の調理及び配送に関すること、中学校給食の調理機器、食器、食缶等の洗浄、消毒及び保管に関すること
人権・同和教育課	社会教育における人権・同和教育の推進に関すること	

市立学校 ——— 小学校19校、中学校8校、特別支援学校1校

市長部局

企画総務部	世界遺産・文化財室	世界遺産、近代化遺産保存活用基金事業補助金審査会に関すること [教育委員会補助執行事務] 文化財の保護及び活用、大牟田市文化財保護審議会に関すること
市民協働部	生涯学習課 中央地区公民館 三川地区公民館 勝立地区公民館 吉野地区公民館 三池地区公民館 手鎌地区公民館 駿馬地区公民館 文化会館 多目的活動施設 リフレスおおむた 図書館 三池カルタ・歴史 資料館	生涯学習推進の啓発及び総合調整、延命庁舎の管理、芸術文化の振興、文化団体活動の奨励及び援助、文化芸術振興審議会、大牟田文化会館、わくわくシティ基金事業審査会に関すること。 [教育委員会補助執行事務] 社会教育の振興、社会教育委員の会議、社会教育計画及び社会教育についての調査等、社会教育施設の管理運営に対する指導助言及び連絡調整、社会教育関係団体の指導育成、地区公民館、大牟田市立多目的活動施設リフレスおおむた、大牟田市立三池カルタ・歴史資料館等複合施設に関すること。
	スポーツ推進室 スポーツ施設 延命プール	社会体育団体の指導育成、市民スポーツの推進及び体力づくり、体育施設及び運動場、スポーツ推進審議会、スポーツ推進委員、スポーツ功労表彰、スポーツ功労表彰審査会、児童及び生徒の体育行事の助成、(仮称)総合体育館等整備に係る設計・施工事業者審査委員会に関すること。 [教育委員会補助執行事務] 学校体育施設の開放事業に関すること

[ 職員数 ]

令和4年3月31日現在

区分	教育長	事務局長	教育監	課長（室長）	副課長	主査（館長）	指導主事	社会教育主事	事務職員	技術職員	計	再任用職員	会計年度任用職員	合計
教育長	1										1			1
事務局	事務局長		1								1			1
	教育監			1							1			1
	総務課			(1) 2		(1) 5	1	(1)	3		(3) 11		5	(3) 16
	学校再編推進室			1		(1) 1					(1) 2			(1) 2
	教育みらい創造室			(1)		2	1	(1)			(2) 3			(2) 3
	学校教育課			2		3	3		1		9			9
	指導室			1			3				4			4
	学務課			2	1	(1) 1			3	6	(1) 13	2	6	(1) 21
	人権・同和教育課			1	1	(1) 2			1		(1) 5			(1) 5
	教育機関	公民館					7					7		19
教育研究所				(1)							(1)		6	(1) 6
中学校給食センター				(1)		(1)				(4) 2	(6) 2			(6) 2
小学校										9	9	3	18	30
中学校													7	7
特別支援学校										2	2	1		3
合計	1	1	1	(3) 7	2	(4) 18	4	(1)	8	(4) 19	(12) 61	6	61	(12) 128

※1 学校再編推進室及び教育みらい創造室は総務課の内数

※2 指導室は学校教育課の内数

※3 教育みらい創造室長、学校再編推進室主査、学務課主査、人権・同和教育課主査の( )は事務取扱

※4 総務課、学務課、人権・同和教育課の( )は事務取扱

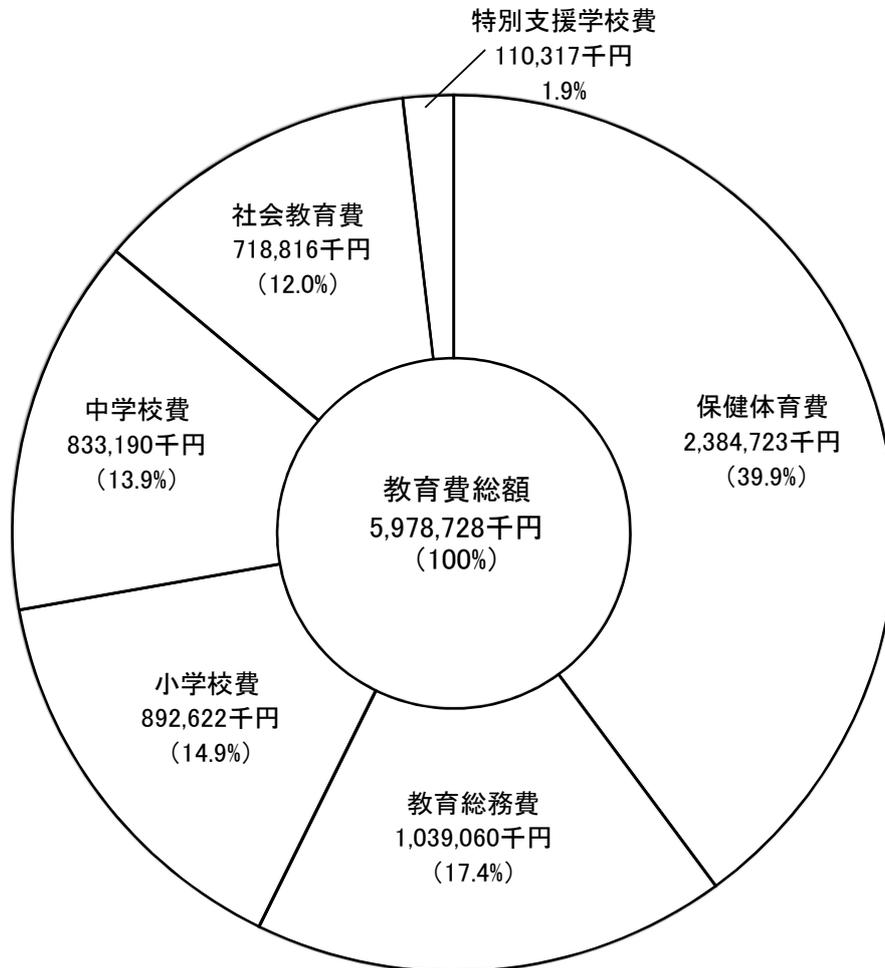
※5 教育研究所及び中学校給食センターの( )は兼務

※6 給食センター給食調理員は学務課技術職員に含む



# 教育財政

[令和4年度当初予算]

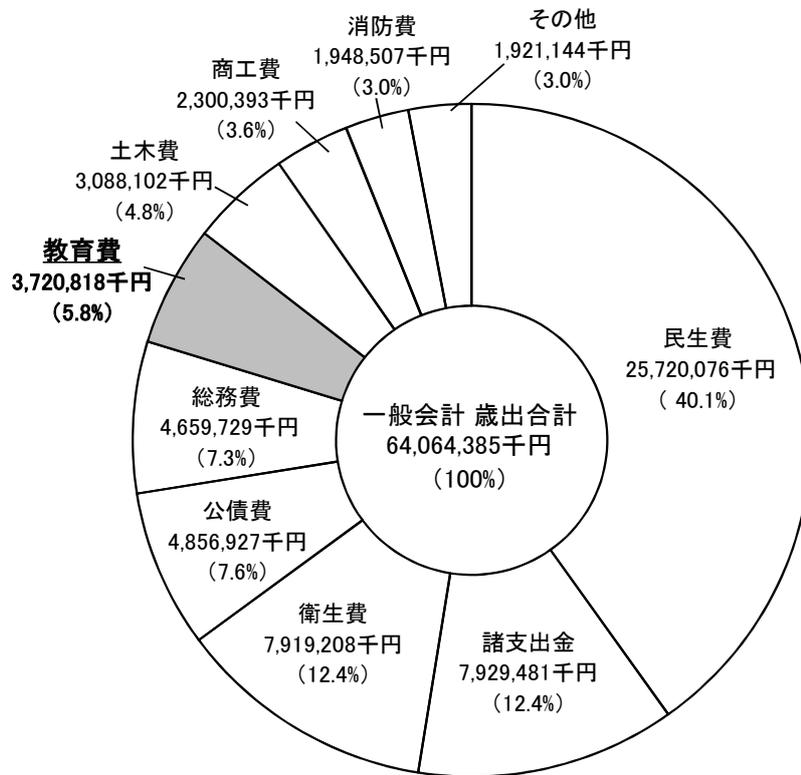


## 令和4年度大牟田市学校教育振興事業計画重点事業

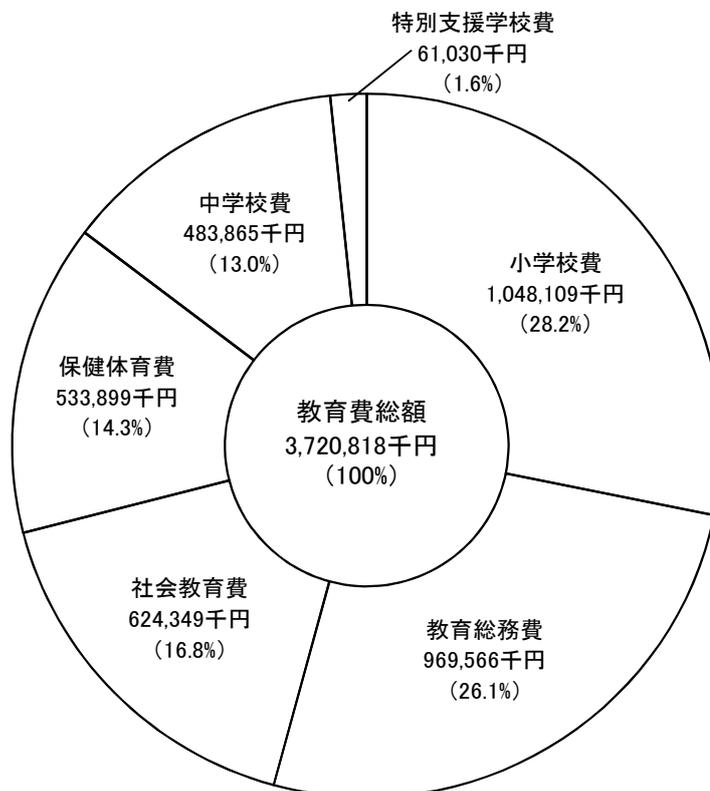
○未来を創るE S D推進事業	2,541 千円
○小中一貫教育推進事業	7,662 千円
○「学びに向かう力」育成推進事業	2,248 千円
○スクールソーシャルワーカー活用事業	10,972 千円
○人権・同和問題啓発事業	390 千円

## [令和3年度決算]

### 1 一般会計歳出決算（款別）



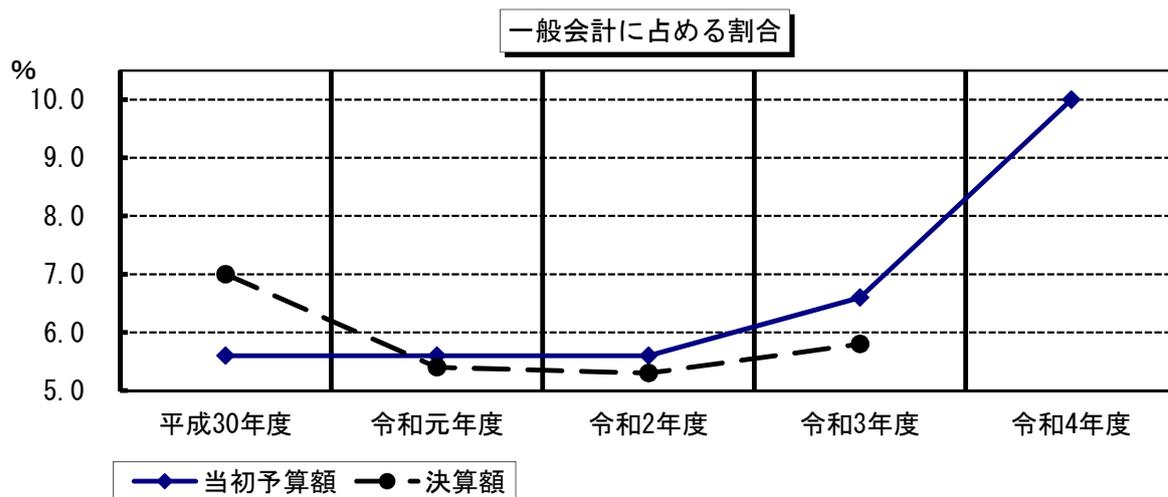
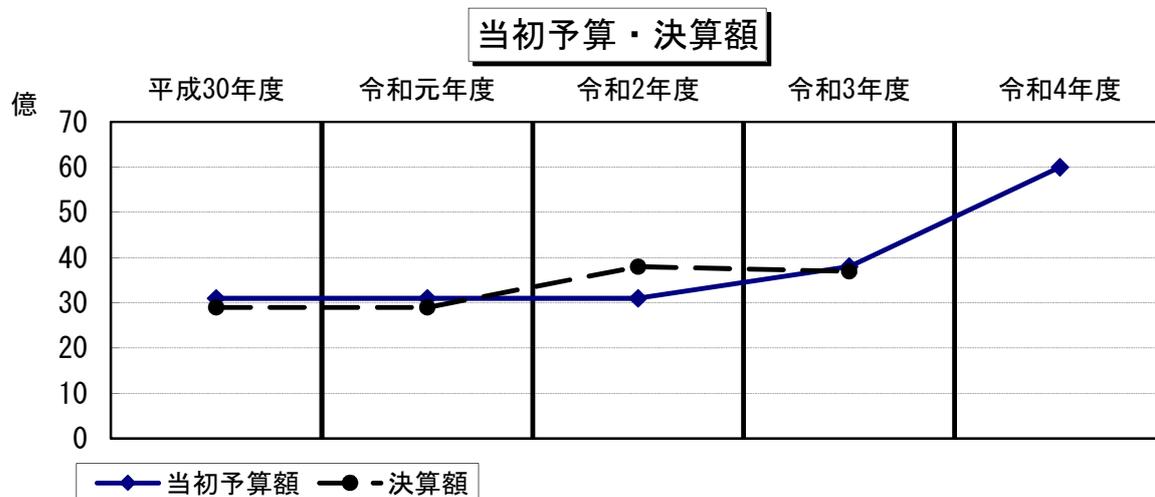
### 2 教育費歳出決算





## [教育費の当初予算・決算推移]

※決算額には、前年度繰越予算による事業実施分を含む。



項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
教育費 決算額	2,864,298	2,854,988	3,806,786	3,720,818	
当初予算 (千円)	3,050,486	3,086,963	3,086,190	3,761,682	5,978,728
一般会計 決算額	52,574,570	53,738,012	68,799,853	64,064,385	
当初予算 (千円)	54,480,000	54,970,000	55,450,000	57,300,000	59,900,000
一般会計に 占める割合 決算額	5.4	5.3	5.5	5.8	
当初予算 (%)	5.6	5.6	5.6	6.6	10.0

〔 各種委員会等 〕

令和4年3月31日現在

大牟田市議会市民教育厚生委員会

委員長 塩塚敏郎  
副委員長 島野知洋  
委員 桑原誠  
〃 光田茂  
〃 山田修司  
〃 平嶋慶二  
〃 平山光子  
〃 崎山恵子

高本泰子 教職員  
金澤礼 〃  
森昭子 〃  
西水秀佳 〃  
宮本美樹 〃  
田中洋子 〃  
江崎真由見 〃

大牟田市社会教育委員

堤 さゆり 小学校長会  
金子尚文 中・特別支援学  
石川雅之 校長会  
堀 婦小与 小・中・特別支援  
野田美智子 学校PTA連合会  
松尾龍美 子育てネットワーク  
江崎美津子 市民公募  
後藤和子 体育団体  
黒田善廣 校区コミュニティ  
須寄孝之 連絡協議会  
柿川和機 女性団体  
堀 裕 文化団体  
公民館利用者  
市民公募  
学識経験者

大牟田市いじめ防止対策委員会

堀 裕 帝京大学  
中尾哲郎 弁護士  
辻克郎 専門医  
境元弘 人権擁護委員  
吉光哲也 教育相談員  
北村誠一郎 スクールカウンセラー  
井ノ本美紀 児童相談所  
高口恵美 スクールソーシャルワーカー  
牛島正鏡 大牟田警察署

大牟田市立学校結核対策委員会

川崎雅之 専門医  
菅原謙三 医師会  
松尾知幸 〃  
中村泰久 保健所長  
馬籠秀典 小学校長  
吉田博史 中学校長  
三吉里依 養護教諭  
波多野美代子 〃

大牟田市就学支援委員会

堀 裕 学識経験者  
辻克郎 専門医  
田島重吉 〃  
富松健太郎 〃  
小野貴也 〃  
上村正行 〃  
石橋庸司 〃  
坂口明夫 心理判定員  
篠崎友加里 〃  
飯田和恵 〃  
島津義浩 小学校長  
古賀秀徳 中学校長  
吉田雅史 特別支援学校長  
中村多美 教職員  
井上由希子 〃  
富安美香 〃

大牟田市スポーツ推進委員

山田征士 みなと校区  
三宅俊之 〃  
福山良夫 〃  
古賀達也 天領校区  
荒木泰 〃  
池田康則 〃  
内田勉 駛馬校区  
余宮信吾 〃  
大石利男 〃  
堀美穂 〃  
塚本多一 天の原校区  
上津原昭一 〃  
坂本道治 〃  
古田將詞 玉川校区  
山田貴正 〃

岩村義男	大牟田中央校区
前山剛	〃
古賀祥道	〃
高津康人	大正校区
古賀正規	〃
杉野知広	〃
高口武士	明治校区
大曲房代	〃
石原良一	〃
古賀義勝	中友校区
田崎靖雄	〃
池田正生	白川校区
久富優	〃
大崎とめ子	〃
中山智志	平原校区
官地日出丸	〃
堀際鈴子	〃
本田豊秋	高取校区
坂寺昭	〃
深浦千代子	三池校区
笹尾泰教	〃
河野博信	〃
中川清博	羽山台校区
佐藤誠	〃
松尾礼子	銀水校区
藤枝正治	〃
藤間千代志	〃
野田卓朗	上内校区
松尾英樹	〃
豊島邦雄	吉野校区
塚本幸子	〃
野田広行	〃
西山治幸	倉永校区
野田哲寛	〃
辻井秀治	〃
平川令子	手鎌校区
島野知洋	〃
末藤芳昭	〃

永松均	商工会議所
森田紘知	校区コミュニティ協議会
福山穂積	障害者協議会
谷口靖宏	右京ふれあい健康クラブ
萩島弥穂	小学校長会
遠藤雅章	中学校・糊枝援学校長会
天河晃洋	高等学校校長会
野中恵子	福岡県職員
平野瑞恵	市民公募
白木千吉	〃

**大牟田市文化芸術振興審議会**

日下部信	九州大谷短期大学
野中邦敏	大牟田文化連合会
深浦洋子	〃
木村法子	大牟田音楽家協会
堤隆明	大牟田文化会館
梶原伸介	三池カルタ・歴史資料館
天河晃洋	高等学校校長会
古賀秀徳	中学校・糊枝援学校長会
右田忠義	大牟田クラシックギター
	愛好会
香山眞理子	市民公募

**大牟田市文化財保護審議会**

梶原伸介	古文書
片野博	建造物
井形進	仏教美術
江島香	近代史
木戸道男	地質

**大牟田市スポーツ推進審議会**

道下竜馬	学識経験者
白石政嗣	体育協会
江頭信次	〃
杉野健次郎	〃
松尾礼子	スポーツ推進委員協議会
黒田洋	スポーツ少年団
金崎克也	医師会

# 〔 市立学校一覧 〕

## 1 市立小学校

令和4年3月31日

No.	学校名	電話	FAX	所在地	校長名
1	みなと小学校	53-6004	56-0914	上屋敷町2丁目3番地1	馬籠秀典
2	天領小学校	53-6006	56-0912	天領町1丁目145番地1	荒木秀敏
3	駛馬小学校	53-6008	56-0901	馬場町17番地	萩島弥穂
4	天の原小学校	53-6009	56-0895	笹原町3丁目116番地	高口直喜
5	玉川小学校	53-6011	56-0885	大字椋野2710番地1	堤 さゆり
6	大牟田中央小学校	53-6014	59-0864	笹林町1丁目1番地3	田上 修
7	大正小学校	53-6015	59-0863	大正町5丁目5番地9	松尾博之
8	中友小学校	53-6016	56-0497	中友町1番地20	島津義浩
9	明治小学校	53-6017	59-0859	明治町2丁目21番地1	徳永秀志
10	白川小学校	53-6018	59-0856	中白川町1丁目183番地	鶴田裕二
11	平原小学校	53-6019	56-9044	平原町333番地	松尾直子
12	高取小学校	53-6020	59-0854	大字歴木1807番地58	徳丸英紀
13	三池小学校	53-6021	59-0853	大字新町289番地1	原野公輔
14	羽山台小学校	53-6013	59-0857	大字草木587番地3	江崎文博彦
15	銀水小学校	53-6022	59-0849	大字田隈239番地	城崎清彦
16	上内小学校	58-0103	50-0497	大字上内1575番地1	上田幸子
17	吉野小学校	58-1037	58-7990	大字白銀967番地17	田中啓吾
18	倉永小学校	58-1038	58-7987	大字倉永1307番地	池田茂春
19	手鎌小学校	53-6025	59-0848	大字唐船395番地	石橋 実

## 2 市立中学校

No.	学校名	電話	FAX	所在地	校長名
1	宅峰中学校	53-6034	57-7098	右京町1番地	辛川和秀
2	宮原中学校	53-6032	57-7094	米生町2丁目26番地	福永嘉治
3	松原中学校	53-6035	57-7143	大正町5丁目4番地16	長 裕二
4	白光中学校	53-6036	57-7147	椿黒町32番地	吉田博史
5	歴木中学校	53-6037	57-7164	大字歴木1150番地	平井隆弘
6	田隈中学校	53-6040	57-7169	大字田隈338番地	古賀秀徳
7	橘中学校	58-0022	50-1359	大字橘664番地1	遠藤雅章
8	甘木中学校	58-0033	50-1373	大字甘木613番地1	金子尚文

## 3 市立特別支援学校

No.	学校名	電話	FAX	所在地	校長名
1	大牟田特別支援学校	56-9671	52-0111	天道町24番地	吉田雅史

# 〔市立学校の通学区域〕

令和3年4月1日現在

## 1 小学校通学区域

学校名	通学区域
みなと小学校	三里町1丁目、三里町2丁目、三里町3丁目、四山町、浪花町、早米来町1丁目、早米来町2丁目、新港町（1、4）、南船津町1丁目、南船津町2丁目、南船津町3丁目、南船津町4丁目、天領町3丁目、樋口町、姫島町、加納町1丁目、加納町2丁目、西港町2丁目（9、23、42～55）、高砂町、三川町2丁目、三川町3丁目、三川町4丁目、三川町5丁目、船津町、船津町1丁目、船津町2丁目、上屋敷町1丁目、上屋敷町2丁目、汐屋町、入船町、藤田町（55の2、56の1、56の3、57、58の1、58の4、59の2）
天領小学校	白金町、長田町、若宮町（駛馬北小学校通学区域以外の区域）、八江町、右京町、田端町、山下町、延命寺町、片平町、三川町1丁目、諏訪町1丁目、諏訪町2丁目、諏訪町3丁目、天領町1丁目、天領町2丁目、西港町1丁目、西港町2丁目（みなと小学校通学区域以外の区域）、新港町（みなと小学校通学区域以外の区域）、千代町、小川町、岬町
駛馬小学校	若宮町（35の1、35の2、36の1～36の3、37の1、37の2、38、39、40の1～40の3、41の1～41の5、42の1～42の4、43、44の1～44の5、45の1～45の3、48、49）、青葉町（天の原小学校通学区域以外の区域）、一部町、黄金町1丁目（上官小学校通学区域以外の区域）、黄金町2丁目、末広町、駛馬町、馬場町、馬込町1丁目、馬込町2丁目、宮原町1丁目、宮原町2丁目、合成町、飯田町、臼井町、臼井新町1丁目、臼井新町2丁目（天の原小学校通学区域以外の区域）、沖田町、神田町、桜町、野添町、藤田町（みなと小学校通学区域以外の区域）、米生町1丁目
天の原小学校	新勝立町1丁目、新勝立町2丁目、新勝立町3丁目、新勝立町4丁目（玉川小学校通学区域以外の区域）、新勝立町5丁目、新勝立町6丁目、笹原町1丁目、笹原町2丁目、笹原町3丁目、下池町、萩尾町1丁目、萩尾町2丁目、東萩尾町、大字勝立（71の6、71の8～71の12、71の15、71の18、71の20、102の2、109の1～109の4、109の9、109の11、109の13～109の25、122の20～122の24、227の2、227の4、227の5）、米生町2丁目、馬渡町、早鐘町、天道町、臼井新町2丁目（81、82、99の1～99の8、102、103の1、103の2、104の1、104の2、105の1～105の4、106の1、107、108の1～108の3、109の1、110、111、112の1～112の3、122～127、128の1～128の7）、青葉町（125の2～125の12、127の4）
玉川小学校	大字勝立（天の原小学校通学区域以外の区域）、大字教楽来、大字櫛野、新勝立町4丁目（3の8～3の25、3の69～3の104、17の1、17の2、20）
大牟田中央小学校	西宮浦町、東宮浦町、上官町1丁目、上官町2丁目、上官町3丁目、上官町4丁目、宮坂町、七浦町、三坑町、花園町、宮山町、真道寺町、黄金町1丁目（219の1、219の4～219の6、236の1～236の6、237の1～237の19、237の26、238の1、238の3、238の4、238の7～238の24）、不知火町1丁目、不知火町2丁目、不知火町3丁目、浄真町、宝坂町1丁目、宝坂町2丁目、一浦町、正山町、昭和町、原山町、築町、上町1丁目、上町2丁目、有明町1丁目、有明町2丁目、常盤町、松浦町、笹林町1丁目、笹林町2丁目、左古町、山上町、一本町、東泉町、曙町、出雲町、谷町、泉町、旭町1丁目、旭町2丁目、旭町3丁目、栄町1丁目、栄町2丁目
大正小学校	小浜町、小浜町1丁目、小浜町2丁目、小浜町3丁目、久保田町1丁目（3、4）、久保田町2丁目、本町3丁目（3、4、5）、本町4丁目、本町5丁目、本町6丁目、大正町4丁目、大正町5丁目、大正町6丁目、松原町（中友小学校通学区域以外の区域）、松原町2丁目（36の16、36の17）
中友小学校	本町1丁目、本町2丁目、本町3丁目（大正小学校通学区域以外の区域）、西浜田町、浜田町、中友町、住吉町、中島町、港町、古町、樋口町、松原町（1、2）、西新町、大正町1丁目、大正町2丁目、大正町3丁目、新地町、久保田町1丁目（大正小学校通学区域以外の区域）

学校名	通学区域
明治小学校	新栄町、明治町1丁目、明治町2丁目、明治町3丁目、北磯町、中町1丁目、中町2丁目、健老町、天神町、浜町、新開町、恵比須町、城町1丁目、城町2丁目、大黒町1丁目、大黒町2丁目、大黒町3丁目、大黒町4丁目、椿黒町（白川小学校通学区域以外の区域）
白川小学校	柿園町1丁目、柿園町2丁目、柿園町3丁目、東新町1丁目、東新町2丁目、通町1丁目（1、2、3）、長溝町、八尻町1丁目、八尻町2丁目、八尻町3丁目、日出町1丁目、日出町2丁目、日出町3丁目、椿黒町（1～7）、浅牟田町、鳥塚町、上白川町1丁目、上白川町2丁目、中白川町1丁目、中白川町2丁目、中白川町3丁目、下白川町1丁目、下白川町2丁目
平原小学校	通町1丁目（白川小学校通学区域以外の区域）、通町2丁目、亀甲町、八本町、大浦町、焼石町、瓦町、龍湖瀬町、亀谷町、稻荷町、平原町、大字歴木（972の1～1024、1807の45、1807の47～1807の49、1807の73～1807の83、1807の86、1807の88、1807の89、1807の112～1807の116、1807の118～1807の120、1807の213～1807の219、1807の296、1807の297、1807の309～1807の311、1807の359、1807の699、1807の863、1807の875～1807の880、1807の921～1807の923、1809、1810の1～1810の6）
高取小学校	大字今山（三池小学校通学区域以外の区域）、大字歴木（平原小学校通学区域、三池小学校通学区域及び羽山台小学校通学区域以外の区域）
三池小学校	大字三池（羽山台小学校通学区域及び銀水小学校通学区域以外の区域）、大字新町、大字今山（1～2278、2359～2851、3271～3387、3424～3484）、大字歴木（44、71～83、126、127、130～139、141の1、142の1、143～143の3、144の1、151～460の21、461～474、484～534、768～770、773～780、782～915、1025の1～1308、1310～1805、1817の1～1817の6、1820、1821）
羽山台小学校	大字三池（1～113、114の2、115～139の3、139の5～140の1、140の3、140の4、141の1、141の3～143、178～202、212、215～555、557の3、562～585、589～603）、大字歴木（460の22～460の24、475～483、916～971）、大字白川、大字草木（銀水小学校通学区域以外の区域）、大字田隈（400～445、746～757、774の2、774の3）
銀水小学校	大字宮部、大字久福木、大字田隈（羽山台小学校通学区域以外の区域）、大字橘（吉野小学校通学区域及び手鎌小学校通学区域以外の区域）、大字草木（110の3、110の6、110の10、110の11、111～114、117、120、128の2、128の8～128の10、129の2、129の6、131の6、131の9、131の13、132の1、132の3、132の8、132の9、132の12、132の13、133～135、137の3～137の5、139の3、139の5、140～303、359の2、360の1、360の4～360の7、361の1～361の3、361の6、361の7、361の9、362の2、362の7、362の8、363の4、363の6～363の8、364の3、364の5、364の8～364の14、1058～1302）、大字吉野（1615～1619、1622～1629、1632、1633、1643～1647、1650、1651、1653）、大字甘木（1～7、12の2、15、17の2、504の2、504の6、533、534、540～543、546、547の2、548、554、558）、大字三池（114の1、114の3～114の9、139の4、140の2、140の5～140の8、141の2、144～148の2、148の4、149～155の2、155の5、155の9～155の16、155の18、155の20、159の2）
上内小学校	大字上内（吉野小学校通学区域以外の区域）、大字四ヶ、四箇新町1丁目、四箇新町2丁目、四箇新町3丁目、大字岩本（吉野小学校通学区域以外の区域）、岩本新町1丁目（吉野小学校通学区域以外の区域）、岩本新町2丁目（吉野小学校通学区域以外の区域）
吉野小学校 （次ページにつづく）	大字白銀、大字上内（3430～3668）、大字岩本（2417～2496、2499、2523～2525、2549、2551～2937）、岩本新町1丁目（1、2、7の1～7の7）、岩本新町2丁目（1～3）、大字宮崎（1736～3151）、大字吉野（94～182、548～1093、1094の2、1094の3、1136、1137の1～1137の5、1137の7、1140、1141の1、1145の5、1220の1～1256の1）、大字橘（599の2、600の2～600の6、770～783、

学校名	通学区域
吉野小学校 (つづき)	785の1、785の5、785の8～787、788の1、788の4、788の5、789の3、790の3～790の6、798～834、838～840、845の2～917、918の3～918の6、922の1、923の2、924の1～927、932の1、932の3～934、935の2、935の3、935の6、935の7、936の1、936の3～1574)
倉永小学校	大字倉永、大字宮崎(吉野小学校通学区域以外の区域)、大字吉野(銀水小学校通学区域及び吉野小学校通学区域以外の区域)、大字甘木(614の1～620、622～648、1203の1～1203の45、1203の188、1203の190～1203の200)
手鎌小学校	大字手鎌、大字岬、大字甘木(銀水小学校通学区域及び倉永小学校通学区域以外の区域)、大字唐船、昭和開、大字橘(108、109の1、109の5、109の6)

## 2 中学校通学区域

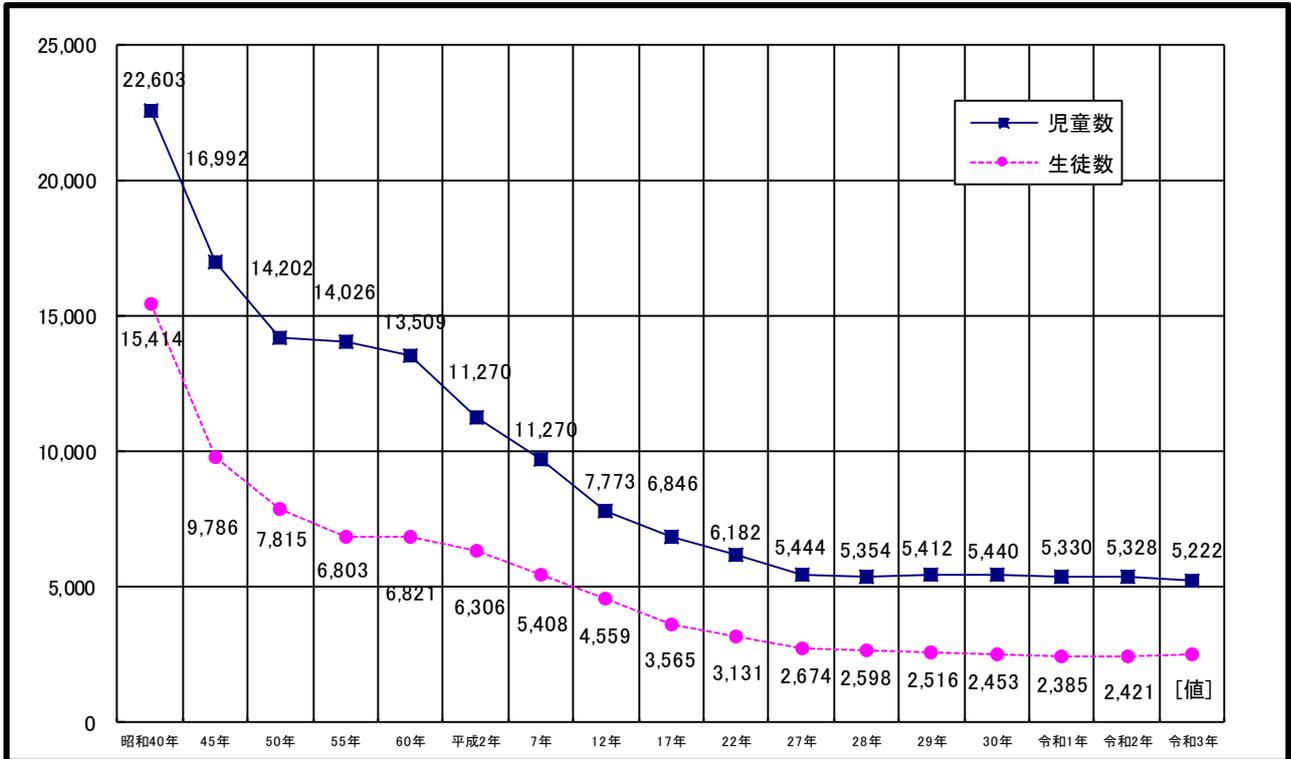
学校名	通学区域
宅峰中学校	みなと小学校通学区域、天領小学校通学区域、大牟田中央小学校通学区域
宮原中学校	駛馬南小学校通学区域、駛馬北小学校通学区域、天の原小学校通学区域、玉川小学校通学区域
松原中学校	大正小学校通学区域、中友小学校通学区域
白光中学校	明治小学校通学区域、白川小学校通学区域
歴木中学校	平原小学校通学区域、高取小学校通学区域、三池小学校通学区域のうち大字今山(297～351、583～789、915～1228、1255～2137、2359～2851、3271～3387、3424～3484)及び大字歴木(484～499、523～525、768～770、773～780、782～915、1025の1～1308、1310～1805、1817の1～1817の6、1820、1821)
田隈中学校	三池小学校通学区域のうち歴木中学校通学区域以外の区域、羽山台小学校通学区域、銀水小学校通学区域のうち橘中学校通学区域以外の区域
橘中学校	銀水小学校通学区域のうち大字宮部、大字橘、大字甘木及び大字吉野、上内小学校通学区域、吉野小学校通学区域
甘木中学校	倉永小学校通学区域、手鎌小学校通学区域

## 3 特別支援学校通学区域

学校名	通学区域
大牟田特別支援学校	市内全域

## 〔 児童生徒数の推移 〕

大牟田市立小・中・特別支援学校の児童生徒数の推移（特別支援学校高等部の生徒は除く）



各年5月1日現在（学校基本調査より）

## 〔 卒業後の状況 〕

### 1 大牟田市立中学校の卒業後の状況

年度	卒業生総数 (A)	高等学校等進学者(B)	専修学校等入学者(C)	就職者 (D)	B・C・D以外の者(E)	就職進学者・就職入学者(F)	高等学校等進学率(B/A)	就職率 ((D+F)/A)
R元	802	779	1	2	20	—	97.1	0.2
R2	749	737	2	4	6	—	98.4	0.5
R3	850	834	5	1	10	—	98.1	0.1

※A=B+C+D+E-F

※就職率には就職進学者・就職入学者を含む。

### 2 県下中学校の卒業後の状況（国立・公立・私立）

年度	卒業生総数 (A)	高等学校等進学者(B)	専修学校等入学者(C)	就職者 (D)	B・C・D以外の者(E)	就職進学者・就職入学者(F)	高等学校等進学率(B/A)	就職率 ((D+F)/A)
R元	45,416	44,625	278	142	375	4	98.3	0.3
R2	45,106	44,267	264	145	437	7	98.1	0.3
R3	44,061	43,357	244	111	357	8	98.4	0.3

※A=B+C+D+E-F

※就職率には就職進学者・就職入学者を含む。

〔 学校別児童生徒・教職員数 〕

※ 特別支援学級の児童生徒数は再掲

学 校 名	合 計		1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		特別支援学級		
	学級数	児生徒数	学級数	児生徒数	学級数	児生徒数	学級数	児生徒数	学級数	児生徒数	学級数	児生徒数	学級数	児生徒数	学級数	児生徒数	
小 学 校	みなと	13	256	1	34	2	45	2	49	2	47	2	36	2	45	2	4
	天 領	20	474	3	79	3	74	3	71	3	81	3	85	3	84	2	11
	駛 馬	14	275	2	39	2	57	2	41	2	47	2	47	2	44	2	6
	天の原	13	244	2	39	1	34	2	44	2	46	2	40	2	41	2	4
	玉 川	7	60	1	8	1	7	1	10	1	10	1	15	1	10	1	2
	大牟田中央	17	404	2	71	2	54	2	72	3	72	3	73	2	62	3	7
	大 正	14	325	2	51	2	46	2	50	2	58	2	62	2	58	2	3
	中 友	7	148	1	33	1	20	1	29	1	15	1	31	1	20	1	1
	明 治	9	221	2	41	1	34	1	35	1	24	2	50	2	37		
	白 川	14	339	2	60	2	57	2	53	2	56	2	54	2	59	2	11
	平 原	9	154	1	17	1	24	2	38	1	18	1	29	1	28	2	5
	高 取	8	186	1	28	1	25	1	30	1	33	2	41	1	29	1	5
	三 池	14	334	2	53	2	49	2	55	2	51	2	66	2	60	2	5
	羽山台	13	294	2	39	2	54	2	44	2	51	2	48	2	58	1	3
	銀 水	19	443	2	62	3	78	3	75	3	77	3	76	3	75	2	4
	上 内	6	54	1	6	1	7	1	4	1	14	1	10	1	13		
	吉 野	14	348	2	48	2	61	2	52	2	55	2	66	2	66	2	7
	倉 永	10	204	1	32	1	25	2	41	1	28	2	46	1	32	2	2
手 鎌	19	424	2	66	3	76	2	69	2	63	2	72	3	78	5	14	
小学校計	240	5,187	32	806	33	827	35	862	34	846	37	947	35	899	34	94	
中 学 校	宅 峰	18	509	5	168	5	157	5	184	-	-	-	-	-	-	3	14
	官 原	11	292	3	100	3	89	3	103	-	-	-	-	-	-	2	7
	松 原	7	203	2	61	2	75	2	67	-	-	-	-	-	-	1	3
	白 光	11	256	3	86	3	84	3	86	-	-	-	-	-	-	2	4
	歴 木	9	249	3	88	2	81	2	80	-	-	-	-	-	-	2	8
	田 隈	16	436	4	138	4	152	4	146	-	-	-	-	-	-	4	16
	橘	10	249	3	90	2	68	3	91	-	-	-	-	-	-	2	4
	甘 木	9	258	2	75	3	92	3	91	-	-	-	-	-	-	1	2
中学校計	91	2,452	25	806	24	798	25	848							17	58	
特別支援 大牟田	小学部	11	35	3	8	1	3	1	7	2	4	2	8	2	5	-	-
	中学部	9	30	3	12	3	9	3	9	-	-	-	-	-	-	-	-
	高等部	11	50	4	17	3	18	4	15	-	-	-	-	-	-	-	-

県費負担職員													市費負担職員					学 校 名	
計	校 長	教 頭	主 教 幹 論	指 導 論	教 諭	助 教 諭	養 護 諭	養 護 諭	栄 教 諭	栄 教 諭	代 理 職 員	講 師	事 務 員	計	図 書 員	給 調 理 食 員	学 管 理 校 員		学 校 管 理 員
19	1	1	1		12		1					2	1	2				2	みなど
28	1	1	1		20		1		1			2	1	2				2	天領
23	1	1	1		16			1				2	1	2				2	駿馬
21	1	1	1		13		1					3	1	2				2	天の原
13	1	1	1	1	5		1					2	1	1				1	玉川
24	1	1	1		15		1					4	1	7		5		2	大牟田中央
22	1	1	1		15		1					2	1	6		4		2	大正
13	1	1	1		8		1						1	1				1	中友
15	1	1	1	1	8		1					1	1	2				2	明治
20	1	1	1		14		1					1	1	2				2	白川
14	1	1	1		8		1					1	1	1				1	平原
14	1	1	1		8		1					1	1	2				2	高取
21	1	1	1		14		1		1			1	1	2				2	三池
20	1	1	1		14		1		1				1	2				2	羽山台
27	1	1	1		20			1		1		1	1	2	1		1		銀水
10	1	1			5		1					1	1	1				1	上内
21	1	1	1		13		1					3	1	2				2	吉野
15	1	1	1		9			1				1	1	5		3		2	倉永
30	1	1	1	1	18			1	1			5	1	2				2	手鎌
370	19	19	18	3	235	0	15	4	4	1		33	19	46	1	12	1	32	小学校計
35	1	1	2		27		1					2	1	2				2	宅峰
26	1	1			21		1					1	1	2				2	宮原
21	1	1	1		15		1		1				1	2				2	松原
25	1	1	1		19		1		1				1	2				2	白光
21	1	1	1		14			1				2	1	2				2	歴木
29	1	1			25			1					1	2				2	田隈
22	1	1	1		15		1					2	1	2				2	橘
22	1	1	1		14		1					3	1	2	1		1		甘木
201	8	8	7	0	150	0	6	2	2	0		10	8	16	1	0	1	14	中学校計
71	1	1	1		40		2		1			21	4	3		3			小学部 中学部 高等部

特別支援  
大牟田

〔学校施設一覧〕

校地・建物面積等の状況

令和3年5月1日現在（単位：㎡）

区 分	校地面積		建 物 面 積（文部科学省基準）										プール (M×コース)
	建物敷地	運動場	校 舎			ランチルーム ※1	校舎内の学童 保育所 ※1	食堂	給食室	屋 内 運動場	地域連 携施設	武道場	
			鉄筋	鉄骨	木造								
小 学 校	みなと	6,587	10,600	3,922	680		130			155	919	77	25×7
	天領	5,024	8,639	3,927	53					134	919	180	25×7
	駛馬	8,460	9,440	3,850	59					151	919	180	25×7
	天の原	11,319	13,068	2,788	63	128			270	134	894	180	25×7
	玉川	5,724	6,051	2,849	24	41				142	※3 420		25×6
	大牟田中央	5,859	7,874	4,282	63				510	168	919	135	25×7
	大正	9,853	9,697	4,121	23			86		※3 140	919	270	25×7
	中友	9,030	11,680	4,130				127		150	725		25×7
	明治	7,777	7,085	4,023	53			65		150	919	250	25×7
	白川	11,705	14,692	4,532	53		130	130		170	919	270	25×7
	平原	7,713	8,922	3,522	65	20	130			153	894	250	25×7
	高取	7,011	10,853	4,595	51	62		72		170	※3 626		25×7
	三池	9,334	9,944	4,736	51					168	974		25×7
	羽山台	9,512	10,335	4,111						168	※3 725		25×7
	銀水	10,379	9,514	5,222	51					231	※3 1,055		25×7
	上内	5,486	5,290	1,892					270	112	※3 797		25×7
	吉野	10,206	8,311	3,659	110					168	919	200	25×7
	倉永	7,867	8,176	3,209	17				390	198	919	250	25×6
	手鎌	5,295	9,634	5,059	83					168	1,215	200	25×7
小学校計(19)	154,141	179,805	74,429	1,499	251	390	480	1,440	3,030	16,596	2,442		
中 学 校	宅峰	11,656	21,592	4,724	153					1,142		※4 607	25×7
	宮原	12,598	14,886	4,337	103					981	200	350	25×8
	松原	9,993	9,228	4,821	92					※3 650			25×6
	白光	11,636	15,646	4,609	176	7				981	200	450	25×8
	歴木	13,822	16,370	6,123						※3 1,222	200	350	25×8
	田隈	14,061	12,584	5,695	52					1,519	250	450	25×6
	橘	9,107	10,355	4,372	92	5				※3 650			25×6
甘木	22,401	※5 13,266	4,797	91					1,222	200	350	25×6	
中学校計(8校)	105,274	113,927	39,478	759	12					8,367	1,050	2,557	
特別支援学校	17,351	8,400	5,962	358				150	125	※3 747	※2(61)		25×7
合計(28校)	276,766	302,132	119,869	2,616	263	390	480	1,590	3,155	25,710	3,492	2,557	

※1:ランチルームと学童保育所は校舎内にあるが、面積は外数

※4:宅峰中は弓道場を含む。(延命庁舎に隣接)

※2:屋内運動場面積の内数に含む。

※5:甘木中は校庭夜間照明施設(学校開放)あり。

※3:鉄骨造(地域連携施設及び武道場は屋内運動場と同一構造)

(食堂・給食室・屋内運動場で※3以外は主面積が鉄筋コンクリート造)

〔 教育施設一覧 〕

令和4年3月31日現在

施設名 (開館年月)	所在地 電話番号 (FAX)	建物面積 [敷地面積]	施設の主な内容	開館時間	休館日
カルタックスおおむた (平成3年4月)	宝坂町2丁目2番地3	3,764㎡ [4,400㎡]	展示室 開架室、書庫 視覚障害者サービス室	10:00～ 17:00 9:30～20:00 土日祝 18:00	月曜、毎月最終の木曜(祝日の場合は翌日)、年末年始
三池カルタ・歴史資料館	53-8780 (53-8781)	共有部分 742㎡ 資料館			
図書館	55-4504 (43-1167)	819㎡ 図書館 2,203㎡			
中央地区公民館 (平成4年4月)	原山町13番地3 53-1502 (59-0614)	1,567㎡ [1,702㎡]	創作室、視聴覚室、研修室、幼児室 他	9:00～21:30 日曜 17:00	第1月曜、年末年始
三川地区公民館 (平成14年4月)	上屋敷町1丁目12番地3 52-5957 (52-5998)	1,343㎡ [1,386㎡]	研修室、和室、図書コーナー、多目的ホール 他		
勝立地区公民館 (昭和55年6月)	新勝立町4丁目1番地1 51-0393 (43-4053)	972㎡ [2,826㎡]	研修室、和室、料理室、図書コーナー、会議室 他		
吉野地区公民館 (昭和63年7月)	大字白銀781番地3 58-3479 (50-0494)	1,122㎡ [2,452㎡]	研修室、和室、図書コーナー、視聴覚室、会議室 他		
三池地区公民館 (平成4年10月)	大字三池629番地2 53-8343 (43-6814)	1,256㎡ [1,373㎡]	展示ギャラリー、料理室、幼児室、図書コーナー 他		
手鎌地区公民館 (平成5年12月)	大字手鎌1300番地42 56-6008 (56-6824)	1,471㎡ [2,480㎡]	創作室、視聴覚室、図書コーナー、陶芸小屋 他		
駛馬地区公民館 (平成6年12月)	馬込町1丁目20番地1 57-5443 (57-5444)	1,527㎡ [1,910㎡]	創作室、音響室、プレイホール、図書コーナー 他		
多目的活動施設 リフレッシュおおむた (平成11年7月)	大字四ヶ1221番地 58-7777 (41-7300)	2,375㎡ [1.9ha]	キャンプ場、体育館、和室、創作室、研修室、料理室、音楽室、陶芸用窯		
市民体育館 (昭和49年9月)	宝坂町2丁目86番地 53-6003 (59-0186)	6,337㎡ [3,217㎡]	アリーナ、柔道室、剣道室、卓球室(2)、研修室(2)	9:00～21:00	第1・第3火曜、第3水曜、年末年始
御大典記念グラウンド (昭和4年4月)	黄金町1丁目123番地 (問合せ 市民体育館)	[25,971㎡]	400mセパレート(8)、フィールド、スタンド 他	8:30～19:00	年末年始
延命プール (平成19年8月)	黄金町1丁目68番地 53-7337	[16,208㎡]	25m、幼児用(2)、ウォータースライダー 他	10:00～ 18:30	[R3年度開場期間]7月17日～8月9日
延命球場 (昭和32年12月)	原山町200番地 (問合せ 市民体育館)	[19,450㎡]	グラウンド、スタンド、本部諸室	8:30～17:00	年末年始
武道場 (昭和26年5月)	浄真町19番地 (問合せ 市民体育館)	198㎡	柔剣道場	8:30～21:00	年末年始
笹林庭球コート (昭和27年1月)	笹林町1丁目1番地2 (問合せ 市民体育館)	[1,400㎡]	クレーコート(2面)	(4月～8月) 9:00～19:00 (9月～3月) 9:00～17:00	年末年始
諏訪公園 テニスコート (平成11年4月)	岬町5番地3 (問合せ 緑地運動公園 51-5744)	[8,400㎡]	砂入り人工芝コート (6面)	8:30～21:00	年末年始
手鎌北町公園 テニスコート (平成13年4月)	大字手鎌1520 (問合せ 緑地運動公園 51-5744)	[2,800㎡]	全天候型コート(4面)	(4月～8月) 8:30～18:30 (9月～3月) 8:30～17:00	年末年始
第二市民体育館 (平成19年2月)	黄金町1丁目111番地 (問合せ 市民体育館)	2,194㎡	アリーナ、柔道室、剣道室	9:00～21:00	第1・第3火曜、第3水曜、年末年始
第二グラウンド (平成19年2月)	黄金町1丁目111番地 (問合せ 市民体育館)	[5,100㎡]	グラウンド	9:00～19:00	年末年始
教育研究所 (昭和30年10月)	黄金町1丁目34番地 52-5845	269㎡	研究室、図書室、資料室、会議室	8:30～17:00	

## 〔社会教育施設等の状況〕

### 《地区公民館》〔生涯学習課〕

公民館は、未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまちを目指し、次の3つの視点による事業を実施しています。

視点① 次世代を担う子どもをはぐくむ

取組み① 子どもの体験活動の強化・充実

取組み② 高校生等のまちづくりへの参画の推進

取組み③ 各世代に応じた学習活動の提供・支援

視点② ESDを通じた、人づくり、つながりづくり、地域づくり

取組み① SDGsを念頭に置いた持続可能な社会を形成するESD事業の展開

取組み② ボランティア活動・地域活動の担い手となる人材の発掘及び育成

取組み③ 学んだ成果を活かす活動の場や機会の創出

視点③ 学習環境の整備・充実

取組み① 生涯学習、ボランティア活動、地域活動に関する情報提供の強化

取組み② 身近な地域における学習の場の提供

取組み③ 社会教育施設の機能向上

#### 1 全館合同事業

事業名	事業の概要	回数	参加者 (人)
視点① 「高齢者生きがいくり社会参加促進事業」 アクティブシニアデビュー塾	高齢者の学習機会及び学習成果を生かした活動の機会や、心と身体の健康づくりの機会を提供することで、生きがいくりと社会参加の促進を図るとともに、介護予防の取組みを実施しました。 講座終了後は、新規に自主学習グループ13団体が結成され71人が入会し、講座の指導をした既存サークル等7団体へ15人が入会しました。また、地区公民館で活動するボランティアグループ2団体に22人が参加し、活動しています。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のためボランティアデビュー編1講座中止】	ボランティアデビュー編 6講座	64
		地域デビュー編 7講座	88
		健康実践デビュー編 7講座	84
		展示発表 1回 (各地区公民館)	-

#### 2 中央地区公民館

(中央地区)区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点① 子ども交流体験事業(次世代を担う人づくり事業)	大正校区の地域の輪！子ども食堂で広げよう！	中学生が準備から調理、配膳等全ての工程に参画することで「役に立っている」との達成感や喜びを得ることに繋がります。郷土愛の醸成やまちづくり参画のきっかけづくりとして、地域の人材育成の課題解決に繋がる一歩とします。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—

(中央地区)区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者(人)
	こどもクッキング塾～できることからやってみよう！～	小学校高学年が興味を持ち始める「料理」を通して、協力や思いやり、自分の役割を意識し実践することなど社会性を身につけることを目指します。併せて食育講座にて食の大切さを学びます。 【全3回中2回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	1回	子ども(4～6年生) 12人
	子どもの居場所づくり支援事業 なかよし広場文化サークル	公民館施設を子どもの居場所として「なかよし広場」文化サークル実行委員会への支援を行いました。	3回	子ども 32 ボランティア 10
視点① 高校生まちづくり体験事業(次世代を担う人づくり事業)	高校生による「私たちの郷土料理」づくり講座	大牟田から集まった高校生が、みんなで大牟田の郷土料理創作メニューを考え、作りあげることで、郷土愛を育み、大牟田について興味を持つきっかけとします。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
視点① 各世代に応じた学習活動支援事業	アクティブシニアデビュー塾	地域デビュー編 わたしの暮らしを豊かにするスマホ講座	6回	46
		健康実践デビュー編 健やか太極拳講座～ココロとカラダのバランスを整えよう！～	5回	66
		ボランティアデビュー編 ちくちく裁縫ボランティア養成講座	5回	32
	就学前子育て講座	各小学校が行う「入学前説明会」の際に、就学前の子を持つ保護者を対象とし、子育てやしつけなど家庭教育のあり方を見つめ直し、家庭での教育力の向上を図るための講義や意見交換会を行うものです。(担当小学校：大牟田中央小、大正小、平原小、白川小、中友小) 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—

(中央地区)区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者(人)	
視点② 地域 ESD 支援事業	(大牟田中央校区) スマホで繋がる！ 地域でLINEを活用しよう	大牟田中央校区運営委員(約40人)をLINEで繋ぎ、周知事項をスムーズに全体に伝える運営を定着させる講座を実施します。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—	
	(大正校区) 葬儀にまつわるあれこれ講座～自分のもしものに備えましょう～	大正校区のサロン「大正カフェ」の一部の時間を使い、高齢者誰もが一度は考えたことがある自分の「終活」今回は、葬儀にまつわる終活にスポットを当て、大正校区まちづくり協議会運営委員の葬儀にまつわる疑問についてとったアンケートをもとに、質疑応答形式の講話を実施します。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—	
	大正校区の地域の輪！ 子ども食堂で広げよう！【再掲】	中学生が準備から調理、配膳等全ての工程に参画することで「役に立っている」との達成感や喜びを得ることに繋がります。郷土愛の醸成やまちづくり参画のきっかけづくりとして、地域の人材育成の課題解決に繋がる一歩とします。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—	
視点② 人材育成・地域活動促進事業	視聴覚ボランティア支援事業	土曜ふれあい映画会(中央)	視聴覚ボランティアが、主に小学生を対象とした子どもの居場所において、16ミリフィルムやVHSなどを使い、道徳や交通安全などに関する映画の上映会を開催しました。	5回	子ども 17 大人 7 ボランティア 17
		日曜ふれあい映画会(他館)	視聴覚ボランティアが、主に小学生を対象に各地区公民館を巡回し16ミリフィルムやVHSなどを使い、道徳や交通安全などに関する映画の上映会を開催しました。	6回	子ども 26 大人 15 ボランティア 13
		健康映画会(デイサービス)	視聴覚ボランティアが、高齢者施設や地域のサロンなどで健康に関する映画の映写会を開催します。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
		地域ふれあい映画会(学童等)	学童保育所・学童クラブ・子ども会等の要望に応じて映写会を開催しました。	1回	子ども 84 大人 6 ボランティア 7
	サークル社会参加促進事業	研修会等の実施によりサークルの自主的活動を支援し、サークル活動の発展と社会参加の促進を図りました。 ○第1回 (感染予防のための免疫アップ術) ○第2回 (携帯インターネットトラブル対処法)	2回	36	

(中央地区)区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者(人)
視点② 学習成果活動促進事業	大正校区の地域の輪！ 子ども食堂で広げよう！【再掲】	子ども食堂において、中学生が準備、調理、配膳等全ての工程に参画することで達成感や喜びを得ることに繋がります。郷土愛の醸成やまちづくり参画のきっかけづくりとして、地域の人材育成の課題解決に繋がる一歩とします。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
視点③ 学習情報提供事業	子どもの居場所づくり支援事業 なかよし広場文化サークル【再掲】	公民館施設を子どもの居場所として「なかよし広場」文化サークル実行委員会への支援を行いました。	3回	子ども 32 ボランティア 10

### 3 三川地区公民館

(三川地区)区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者(人)
視点① 子ども交流体験事業 (次世代を担う人づくり事業)	子どもの居場所づくり支援事業 友・遊広場	公民館施設を子どもの居場所として毎週土曜日に開放し、友・遊広場見守り隊への支援を行います。(R3年度は年間6教室10回開催) 5月～6月、9月はコロナの影響で活動自粛。 木工教室、お琴教室、ゼリー教室&七夕おはなし会、イラスト教室等開催	10回	子ども 51 ボランティア 21
	子ども体験活動事業	2021子どもバージョンアップ体験講座 健全な青少年の育成を図る目的から、夏休みと冬休みを利用し、異学年の子ども達やの大人たちとふれあいながら、多様な価値観に触れ、感じ、考え、行動する様々な体験学習として、自分の作品の展示など学んだことを発表する機会を設け、自分に自信を持ち挑戦する力を養います。 【①は新型コロナウイルス感染拡大防止により一部中止】 ①7月～8月 19回実施(28回計画) ②12月 4回実施(4回計画)	23回	① 子ども 197 ボランティア 83 ② 子ども 33 ボランティア 13
視点① 各世代に応じた学習活動支援事業	アクティブシニアデビュー塾 地域デビュー編 気軽に楽しく♪はじめての色鉛筆画講座	色鉛筆は誰にでもなじみの深い画材で初心者でも始めやすく、上達すれば精緻な画も描くことができ、趣味として長く続けることもできます。文化祭や公民館のロビー展などで積極的に作品発表の場を設け、地区公民館をアート発信の場、つどいの場となるよう働きかけます。	5回	46
	健康実践デビュー編 「食×運動」食べて動いて健康UP!講座	新型コロナウイルスの感染蔓延により、外出自粛による運動不足により知らず知らずのうちに免疫力が低下しているといわれています。「食」の回では免疫力をあげるために必要な栄養素を積極的に取り入れたレシピの調理、「運動」の回では東洋医学に基づいた呼吸法をとり入れた「健美操」という誰でも気軽にできる健康体操を実施しました。	5回	41

(三川地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	ボランティア デビュー編 「ゆったり楽 ちん♪ワイド パンツを作っ てみよう!～ ミシンボラン ティア養成講 座～」	講座で洋裁の技術を学び、子どもたちに安全な ミシンの扱い方を教えるボランティアを養成す るということを目的とします。 内容としてはワイドパンツの作製と実際に子 どものミシン教室で教えるボランティア実践を 行います。	5回	32
	命を守るために 今できること～ 気象予報士と振 り返る令和2年7 月豪雨～	令和2年7月豪雨災害によりみなと校区で もお2人の尊い命が犠牲になりました。三川地 区公民館も避難所開設しましたが、149人の 方が避難したことで廊下や階段に人があふれ、 地区公民館の周りが浸水したことで翌朝まで 孤立することとなりました。 再び豪雨災害に見舞われたとき、命を守るた めにどのような行動をとったらいいのか、気象 予報士を講師に招き、気象学的視点から豪雨発 生のメカニズムも解説をまじえつつ、避難行動 の適切なタイミングを指導していただきました。	1回	35
	親子リズム遊び	親子の直接的なスキンシップやコミュニケー ションを取ることで、子育てへの効果が期待で ることから、天領保育所と共催で、親子で楽しめ るリズム遊びを行い、親子の絆を深めることを目 的としました。 【7月は多目的ホール使用不可のため中止】	1回	38 内訳 (乳幼児) 21 (保護者) 17
	就学前子育て講 座	子育てに関心の薄い親も含め、より多くの保 護者に家庭教育のあり方を見つめなおす機会 とするため、「就学前子育て講座」を実施しま す。実施に当たっては、小学校入学前の子ども を持つすべての保護者の参加が見込める入学 説明会を活用します。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
視点② 人材育成・ 地域活動促 進事業	サークル社会参加 促進事業	サークルの自主運営の向上、社会参加、社会貢 献等の促進を目指すために研修等を行い、活動の 場を広げ、より質の高いサークルとなるよう支援 します。 ○研修会等 ①「エンディングノートから始める楽しむ終活」 ②「春待ちコンサート」 【②は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中 止】	1回	①66

(三川地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点② 地域ESD推 進事業	おとなバージョン アップ体験講 座	サークル会員の高齢化と会員減少という問題を抱えており、新規開拓が望まれています。その現状を踏まえて各サークルが日頃の活動を広く一般の人に体験してもらう事により新しい会員の獲得を目指しサークルの活性化を図りました。	14回	64
	令和2年7月豪 雨災害パネル展	住民の防災意思を高め安心安全でみんなが幸せに暮らせる住みよいまちづくりを目指し、令和2年7月豪雨の記憶を風化させないために、豪雨の時の写真や動画を地域の方に協力を求め展示しました。	1回	108
	再発見！天領校区 まち歩き ～天領の由来や歴 史を学び歩き～	天領校区コミュニティセンターから石炭産業科学館周辺を巡り隠れた名所や歴史について石炭産業科学館長のガイドで学びます。 自分の住む地域に関して学ぶ事で理解を深め、地域への親しみをさらにもってもらう事を目的とします。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—

#### 4 勝立地区公民館

(勝立地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点① 子ども交流 体験事業 (次世代を 担う人づく り事業)	子どもの居場所 づくり支援 事業 勝立地区ア ンビシヤス 広場	地域の大人が見守り子どもが安心して遊べる環境をつくるため、公民館施設を子どもの居場所として原則第3土曜日に開放し、アンビシヤス広場委員会への支援を行いました。 【5、6、8、9、2、3月は新型コロナウイルス感染症の影響により中止】	7回	子ども 96 ボランティア 47
	勝立キッズ・ラン ド	子どもたちの健やかな成長には体験することが重要であり、子どもの頃の体験は豊かな人生の基盤になると考え、ものづくりを通して、異年齢の仲間づくりや交流を行い、子どもたちの「観察力」「考える力」「協調性」を育み、ESDの実践につなげることを目的に開催しました。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため第3・4回目は中止】	2回	24
視点① 家庭教育支 援事業	はあとふる子育て 講座～自分らし い子育ての見つ け方～	乳幼児を持つ保護者が交流し、情報交換を行う機会の創出を目的に、子育て講座を開催しました。ファシリテーター（進行役）サポートのもと、保護者同士が悩みや関心事を共有し、自分らしい子育てを見つけていく『子育てほっとプログラム』と熊丸みつ子先生の講演を行い、子育て仲間としてつながりを深める支援を行いました。	5回	51

(勝立地区)区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者(人)
	就学前子育て講座	小学校で行われる入学説明会に合わせて、家庭における規則正しい生活習慣づくりの取組や学習機会及び情報提供等を行うことにより、より多くの保護者に家庭教育の在り方、気づきを促す機会としました。 【新型コロナウイルス感染症の影響により中止】	—	—
視点② 学習成果活用促進事業	サークル社会参加促進事業	サークルの自主的活動を支援し、サークル活動の発展と社会参加の促進を図りました。 ○研修会 「学習成果を活かして社会参加」 「毎日10分続けよう！太極拳ストレッチで健康づくり」 「フレイル予防について」 【新型コロナウイルス感染症の影響により、太極拳ストレッチのみ中止】	1回	26
視点① 各世代に応じた学習活動支援事業	健康実践デビュー編 コツコツ貯筋体操で健康元気！	加齢に伴って低下する足腰の筋力と柔軟性を向上させ、転倒しにくい体をつくる体操やストレッチを行い、日常生活をより快適に過ごせるような健康づくり、介護予防を目的に開催しました。講座終了後、「貯筋体操サークル」が立ち上がりました。	5回	88
	地域デビュー編 書いて楽しむ～やさしいペン習字講座～	興味・関心のある学習活動を通して地域活動に一步を踏み出すきっかけづくりを目的とした「ペン習字」の講座を開催しました。講座後は、新規会員の加入により指導サークル「青葉会」の活動促進につながりました。	5回	71
	ボランティアデビュー塾	ウクレレの演奏技術とボランティアの心得を学び、体験することで、心身の健康保持やボランティア活動のきっかけとなることを目的に講座を実施しました。講座終了後はサークルが発足しました。	5回	51
視点② 地域ESD推進事業	玉川校区 ～防災から考える地域ネットワーク作り～「スマートフォンで防災に備えよう！」	災害時の情報収集・発信の手段としてSNSが活用される理由やスマートフォンを活用した正確で迅速な情報収集を行うための基礎知識を学ぶことを目的とする研修会を開催しました。	1回	13
	天の原校区 ～防災から考える地域ネットワーク作り～「地域防災力アップ講座」	天の原校区の防災対策の他、災害時の情報収集・発信の手段としてSNSが活用される理由やスマートフォンを活用した正確で迅速な情報収集を行うための基礎知識を学ぶことを目的とする研修会を開催しました。	1回	51
	～地域の魅力を次世代につなぐ～ ～「勝立よかもん物語」ふるさと歴史講座	「地域を知ろう」をテーマに、郷土への愛着と誇りを持つ心の醸成と次世代へ地域の宝物を継承する人材の発掘を目的とした勝立地区の歴史と自然、文化について学ぶ講座を開催しました。	3回	64

(勝立地区)区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者(人)
	公民館スマホ塾 ～スマートフォン体験講座～	地区公民館が助けを必要とする人に十分な支援が出来る学習の場となることを目的に、ソフトバンクと提携し、スマートフォン未使用者のための講座を開催しました。	1回	7
視点② 学校 ESD 支援事業	天の原・玉川校区 ～心を届ける～ 絵手紙ボランティア	絵手紙ボランティア体験が、子どもたちにとって「誰かを思い、行動する意識」につながることを目的に、天の原小学校、玉川小学校、宮原中学校の児童・生徒に、地域の大人が、「心の贈り物」と言われる絵手紙の素晴らしさを伝えるボランティア活動を支援しました。	天の原小 1回 玉川小 1回	天の原小 48 玉川小 18
視点② 人材育成・ 地域活動促進事業	(地域行事支援) 勝立大蛇山まつり	天の原・玉川校区住民のふれあい、連帯意識の醸成、青少年健全育成及び地域の活性化を図る為、実行委員会の取組みを支援します。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—

## 5 吉野地区公民館

(吉野地区)区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者(人)
視点① 子ども交流 体験事業 (次世代を担う人づくり事業)	子どもの居場所 づくり支援事業 吉野ふれあい広場	公民館施設を子どもの居場所として、毎月1回、土曜日に開放するとともに、吉野校区子どもの居場所委員会の事業の支援を行いました。 【4、5、8、9、2、3月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	6回	子ども 79 ボランティア 49
	おもしろチャレンジ友・遊・塾～宿題・体験・ものづくり！夏休みは公民館へGO！～	夏休み期間中の小学生を対象とし、高校生による宿題対策、サークル会員によるサークル体験を行いました。コロナ禍により制限されている、人とふれあう喜びを感じる機会や、実体験を通して成長し、達成感を得る機会にすることを目的として実施しました。	15回	小学生 113 高校生 43
視点① 高校生まちづくり体験事業(次世代を担う人づくり事業)	未来の匠の技講座 ～はじめてでもできる 切り絵～	高校生が部活動等で学んだ知識を地域住民に教えながら一緒に作業をすることで、教える喜びや達成感を感じ、ボランティア活動や地域活動へのさらなる参画の意欲を高める事を目的として実施しました。	1回	地域住民 25 高校生 11
視点① 家庭教育支援事業	就学前子育て講座	小学校入学前の子どもを持つ保護者を対象に、入学説明会の機会に家庭教育のあり方やしつけについて子育て講座を実施しました。 【吉野小、上内小は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	1講座 (倉永)	倉永 23
視点① 各世代に応じた学習活動支援事業	アクティブシニア デビュー塾 ボランティアデビュー編 高校生に学ぶ！ 癒やしの園芸ボランティア講座	小・中学校や介護施設等での園芸体験の大切さが広く認識される一方で、園芸支援活動の担い手が不足しています。当講座では、社会貢献活動に関心の高いシニア層が、園芸支援活動でボランティアとして活躍するための知識・技術を学ぶ機会を提供し、講座修了後は園芸ボランティアサークルの設立を目指します。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—

(吉野地区)区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者(人)
	健康実践デビュー編 健康は一杯のお茶から！潤いを「いっぷく」日本茶講座	日本茶が持つたくさんの身体に良い成分を、意識的に且つ効果的に取り入れることを健康づくりの一助とするため実施しました。講座終了後は、健康づくり分野の定期利用登録サークルが立ち上がりました。	5回	37
	地域デビュー編 “人を結ぶ・心をつなぐ”水引講座	古くから祝儀袋等に愛用されている飾り紐である水引の技術を学び、作品づくりを通して喜びを感じ達成感を得ることで、日々の暮らしに潤いを与えることを目標に実施しました。講座修了後は既存サークルに加入し、定期利用登録サークルとなりました。	5回	74
視点① 各世代に応じた学習活動支援事業	心も体も楽しく弾む！ケアトラランポリン講座	足腰の筋肉やバランス力の向上、腰痛・膝痛の軽減、自律神経系の向上を目的に、講座を実施しました。(R2年度から継続) 大牟田市保健福祉部、吉野地区公民館共催【福岡県地域における運動習慣定着促進事業】	15回	230
	キレイと健康を手に入れよう！腸活講座	回復力を強くし、病気にかかりにくい身体づくりのため「腸活」をテーマに講座を実施しました。腸内環境を整えることにより代謝や免疫力を高め、健康への第一歩へとつなぎました。	3回	48
視点② 地域 ESD 推進事業	令和3年度上内校区防災研修	令和2年7月豪雨では、市内全域で浸水被害や土砂災害など甚大な被害が発生しました。防災意識が高まっている今、一人ひとりの事前の備えや近隣同士の助け合いの重要性に目を向ける必要があります。そこでR3年度は、地区ごとに課題を抽出し、校区でその課題を共有することで、災害を他人事ではなく自分事として捉えるきっかけにし、災害に強い地域づくりにつなげます。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
	令和3年度健康教室～吉野校区を元気にするバイ！～	コロナ禍における住民同士のつながりの希薄化、外出機会の減少による運動不足等の地域課題に対応するため、心身の健康維持に必要な基本知識や適切な運動方法を学ぶ「健康教室」を実施しました。	2クール 各6回 合計12回	94
視点② 学校 ESD 推進事業	上内小学校、吉野小学校、倉永小学校、橘中学校	各学校が取り組んでいるESD事業を支援しています。R3年度は学習成果の発表として館内での作品展示を随時行い、来館者が学校の取り組みを知る機会を提供しました。	5回	—
視点② 人財育成・地域活動促進事業	サークル社会参加促進事業	サークル会員を対象として、研修会等を実施し、生涯学習の推進とサークル活動の活性化を図りました。 ①研修会「歩行環境シミュレーター・わたりジョーズ君体験」 ②救急法講習・消防避難訓練	2回	①26 ②28

(吉野地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	サークル体験事業	サークルの社会参加の促進を目的として、一般成人を対象としたサークル体験事業を実施しました。 ・春のサークル体験 ・秋のサークル体験		春 14 秋 15
	第 33 回花と緑の文化祭 (3 月)	吉野地区公民館利用サークル会員の日頃の学習活動の成果発表を行うとともに、利用団体および地域住民の交流を図り、地域における学習活動の活性化と生活文化の向上に寄与することを目的とし開催します。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
	「吉野さくら絆プロジェクト」支援	吉野小学校の 5 年生が取り組む「吉野小桜プロジェクト」を応援するために、H29 年度、吉野校区に設立された「吉野さくら絆プロジェクト」の活動を支援しています。R3 年度は白山神社で桜の苗木の植樹を行いました。	1 回	—

## 6 三池地区公民館

(三池地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)	
視点① 子ども交流 体験事業 (次世代を担う人づくり事業)	子どもの居場所 づくり支援事業	三池みんなの広場	公民館施設を子どもの居場所として毎月第 2 土曜日に開放し、実行委員会への支援を行いました。	5 回	子ども 52 ボランティア 34
		高取みんなの広場	子どもたちにとって最も身近な場所である通いなれた小学校で、月 1 回開設されている子どもの居場所を支援しました。	6 回	子ども 57 ボランティア 69
	夏休み!子どもサークル体験事業	様々な体験活動を通して、学ぶ意欲やより豊かな知識を深めるきっかけとするとともに、異世代の人との交流により子ども達の豊かな人間形成を図る目的により実施しました。 【8 月 3 日から 27 日を予定していたが、「福岡コロナ特別警報」発動により、10 日以降中止】	10 のサークルの体験機会を設定	13	
視点① 各世代に応じた学習活動支援事業	アクティブシニアデビュー塾	健康実践デビュー編 素敵なお菓子づくり講座	ヘルシー志向の自分好みのお菓子づくりを行うことにより、健康に関し多面的、総合的に考える力を身につけ、行動に移すことで、生活や社会における実践につながることを目指し実施しました。 講座終了後は、サークル「ニコニコスイーツクラブ」が設立されました。	5 回	43
		地域デビュー編 気軽に始めるかんたん筆あそび講座	書道より気軽に筆を使って文字や簡単なデザイン画などを学ぶことを通じて、社会や地域に参加するきっかけを、また生きがいを見つけるきっかけとすることを目的に実施しました。	5 回	53

(三池地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	ボランティアデビュー編 心なごむハーモニー♪オカリナボランティア養成講座	オカリナを吹くコツを学び、グループで演奏することで、つながりづくりを行うとともに、地域のサロン等で活動するボランティアサークルの設立を目指し実施しました。 講座終了後、ボランティアサークル「オカリナみいけ」が設立しました。	6回	83
	(一般成人事業) ～受け継がれる伝統 つむぐ想い～ 「三池の大蛇山」	三池の大蛇山をあらためて学ぶことにより、三池の歴史に興味を持ってもらうきっかけとし、郷土愛の醸成をはぐくむことを目的に実施しました。	3回	39
	(一般成人事業) 正しく知りたか 「LGBT」	性別による役割分担意識の払拭や多様性を尊重するためのきっかけづくりとするために、「LGBT」の理解を深める講演会を開催しました。 (対面とオンラインにて実施)	1回	29
視点① 家庭教育支援事業	子育てふれあい広場 「じゃじゃり子み～け」	親子が自由に集い、交流できる場を提供するため、毎月第2～4月曜日(月3回)に地区公民館の一室を開放し、ボランティアスタッフとともに、ふれあい広場「じゃじゃり子み～け」を開催しました。 【年30回開催予定のうち新型コロナウイルス感染拡大防止等のため18回中止】	12回	保護者 4 子ども 65 ボランティア 64
	子育てちょこっと応援する隊	三池地区公民館と手鎌地区公民館で実施している「子育てふれあい広場」のボランティアスタッフの養成講座を手鎌地区公民館と一部合同で行いました。終了後、3人のボランティアがスタッフとして加わることとなりました。 【全5回中5回目は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	4回	15
	就学前子育て講座	小学校で行われる入学説明会の機会を捉えて、子育てやしつけなど家庭教育のあり方を見つめ直し、家庭での教育力の向上力を図るための講義や意見交換を行います。 (高取小、三池小、羽山台小、銀水小) 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
視点② 地域 ESD 推進事業	おおむたを語る ～やっぱ大牟田好いとるばい～	三池、羽山台、銀水、高取校区の人を対象に、地元出身である作家西村健氏を招き、大牟田や三池のことを語りあうミニトークショーを開催しました。	1回	37
視点② 学校 ESD 支援事業	「銀水校区花いっぱい“絆”プロジェクト」	R2年度に引き続き、ESD、地域の絆づくりの視点を踏まえた事業を実施しました。コロナ禍であり、地域の人や地区公民館はビデオによるコメントや子どもたちからの書面インタビューを受けることなどにより、子どもたちの学びを支援しました。	2回	160

(三池地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	羽山台小学校研修会「公民館ってどんなところ～学校を支援する公民館～」	羽山台小学校の先生を対象に、先生が公民館や地域のことを知りE S Dや総合学習のヒントとなることを目指した研修会を実施しました。	1回	15
	「発見！羽山台の宝」	学校E S D支援事業モデル校区として、羽山台小学校にて、子どもたちが地域の史跡や文化財等を知り、成果物として発表することで地域への愛着を深めるとともに、ゲストティーチャーの子どもをはぐくむ気持ちを高める事業を実施しました。	2回	110
視点② 地域団体連携・支援事業	地域団体連携事業	地域住民とのふれあいと連携を深め、生涯学習の推進と町内公民館活動の活性化を図ります。 ○羽山台春まつり 4月(中止) ○三池光竹 11月(中止) ○三池初市 3月(中止) 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
視点② 人財育成・地域活動促進事業	第28回ふれあい文化祭(10月)	公民館利用サークル会員の学習成果の発表と地域住民の参加・協力等により、地域とのふれあいおよび連携を深めます。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
	サークル社会参加促進事業	サークルの自主的な活動を支援し、サークル活動の発展と社会参加の促進を図るため研修会等を実施します。 ○研修○ 「救命救急講習・A E Dの使い方」 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
	春のサークル体験	高齢化や趣味の多様化で会員の減っている定期利用サークルの活性化のため、地域住民が「何か」を始めたいと感ずるであろう春にサークル体験を行います。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—

## 7 手鎌地区公民館

区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点① 次世代育成事業(子どもの体験活動の強化・充実)	子どもの居場所づくり支援事業 わくわく広場	手鎌校区、明治校区の子どもたちを対象に月1・2回実行委員会が実施する子どもの居場所づくり事業への支援を行いました。 (手鎌地区公民館、手鎌小学校)	9回	子ども 89 ボランティア 38
	きらめき広場	明治校区の子どもたちを対象に、年2回、季節のイベントを企画し子どもの居場所づくり事業への支援を行います。(明治会館) 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—

区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	子どもの体験活動事業 いきいきチャレンジ塾「enjoyてがま学び隊！」	小学校 3～6 年生の児童を対象に、手鎌地域の特色を生かしたものづくりやフィールドワークを通して、子どもたちに創作体験や地域について学ぶ機会を設けることで、地域への興味と知識を深め、郷土愛の醸成を図ることを目的に実施しました。	4 回	45
視点① 次世代育成事業（各世代に応じた学習活動の提供・支援）	（家庭教育支援事業） 思春期の子育て入門編	保護者等が思春期の子どもと子どもたちを取り巻く環境について知り、コミュニケーションの取り方を学ぶことで、自分自身を見つめ直し不安を和らげ、これからの子育てにいかしてもらおうことを目的に実施しました。	4 回	41
	就学前子育て講座	小学校で行われる入学説明会の機会を捉えて、子育てやしつけなど家庭教育のあり方を見つめ直し、家庭での教育力の向上力を図るための講義や意見交換を行います。（手鎌小、明治小） 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
	子育てふれあい広場 「れもんぐらす」	子育て中の保護者とその子どもが自由に集い、交流できる場を提供するため、毎月第 1～3 金曜日（月 3 回）に、ボランティアスタッフを中心として、子育てふれあい広場「れもんぐらす」を開催しました。 【年 3 4 回開催予定のうち新型コロナウイルス感染拡大防止等のため 1 8 回中止】	16 回	子ども 130 保護者 111 ボランティア 91
	一般成人事業 「ゼロから学ぶやさしい韓国語」	市内に初心者を対象とした語学の講座やサークルが少ないことから、現在関心の高い韓国語講座を実施しました。韓国ドラマや K-P O P に関心のある幅広い世代の市民が受講し、講座終了後は 2 2 人でサークル「ケンチャナ」が発足しました。	4 回	64
視点② 人財育成・地域活動促進事業	春のサークル体験会	新年度の始まりにサークル活動を体験し、新たに自分の趣味や好きなことを見出し、生きがいづくり、社会参加を目的に実施しました。また、新たな会員増加をめざしてサークル会員の学習意欲向上、サークル活動の活性化を図りました。	1 回	44
	サークル社会参加促進事業	サークルの自主的活動を支援し、サークル活動の発展と社会参加の促進を図りました。 ○研修会 感染症予防のための免疫アップ術	1 回	24

区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点① 次世代育成 事業（各世 代に応じた 学習活動の 提供・支援）	地域デビュー編 心のままに 楽しもう！ はがき絵手 紙講座	コロナ禍で人と会うことが制限される中、交流を図る手段として、また新たな趣味としてはがき絵手紙の講座を開催しました。講座終了後は地域の施設や学校等と交流するボランティアサークルとして活動できるよう支援していきます。	5回	42
	ボランティアデビュー編 地元でたまご （他孫）育て ～子育てふれ あい広場ボラ ンティアスタ ッフ養成講座～	「子育てふれあい広場」は母親たちの息抜き場、気軽に悩みを相談できる場、子育ての情報交換の場としてニーズが高い事業です。広場のボランティアスタッフが不足していることから、養成講座を実施しました。受講生のうち5人がスタッフとして活動を続けています。	5回	30
	健康実践デビュー編 コロナ太りを 吹き飛ばそう！ いきいき健康 エクササイズ	コロナ禍で外出機会が減った高齢者が、日ごろの運動不足やストレスを解消し健康維持や体力アップを図る目的で、ストレッチと筋トレの複合要素を取入れたエクササイズの講座を開催しました。講座終了後は、サークル「いきいきエクササイズ」が発足しました。	5回	67
視点② 地域 ESD 事 業	〔手鎌校区〕 てがま歴史講座 ～黒崎物語～	かつて風光明媚な岬として知られ、日本書紀にも記されていた黒崎の魅力を知り、郷土愛を育むことを目的に開催しました。手鎌校区住民をはじめ市内外の受講生が黒崎の歴史、名所、旧跡について座学、見学を通じて学び、「手鎌地区公民館だより 特別号」を通じて、その魅力を広くアピールしました。	4回	70
	〔明治校区〕 「今、わたしたちに できること～いつ ももしもに役立つ 安心術～」	明治校区まちづくり協議会と共催で、災害時や避難時に必要な備えを学び、自分にどのような支援ができるかを理解し活かせるようになることを期待して、防災講演会を実施します。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—

## 8 駿馬地区公民館

(駿馬地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点① 子ども交流 体験事業 （次世代を 担う人づく	PTA 夏休みお楽しみ会	駿馬小学校の児童と保護者の絆及びPTA 会員相互の親睦を深め、PTA 活動の活性化を図ることを目的に開催しました（駿馬小学校 PTA、駿馬地区アンビシャス広場と共催で実施）	1回	子ども 60 保護者 30 PTA 役員 15 アンビシャス 委員 4

(駿馬地区)区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者(人)	
り事業)	Let's Go! ふれあいカヌーデー2021	諏訪川でのカヌー乗船体験をすることで自然を愛する心を育むとともに、家族、友人等とのふれあいを深めることを目的に実施しました。(アンビシャス広場との共催)	1回	参加者 114 カヌーサポーター 15 アンビシャス関係者 14	
	駿馬地区アンビシャス広場	子どもたちが自主的・主体的な活動の中で生きる力を育むための自由な遊び場や居場所を提供し、円滑な運営の支援をしました。(駿馬小学校または駿馬地区公民館で実施)	28回	子ども 485 アンビシャス関係者 259	
	駿馬地区アンビシャス運動20周年記念事業	駿馬地区アンビシャス運動20周年を記念する事業を支援しました。	(第1弾) 10月 (第2弾) 3月	(第1弾) 子ども111 アンビシャス委員・PTA 35 (第2弾) 子ども43 アンビシャス委員・PTA 43	
視点① 各世代に応じた学習活動支援事業	アクティブシニアデビュー塾	地域デビュー編 あっと！簡単！シニアのための男飯講座	料理経験がない男性も気軽に取り組めるように料理の基礎から学び、シニア男性の「食の自立」を図ることを目的に開催しました。	4回	44
		健康実践デビュー編 ココロとからだの健康力アップ講座	いつまでも健康で自立した生活の継続や高齢者の仲間づくりにつながることを目的に講座を開催しました。免疫力アップやフレイル予防などの基礎知識を学び、運動や調理などとおして心と体の健康づくりの機会を提供しました。	5回	35
		ボランティアデビュー編 駿馬地区アンビシャス広場ボランティアスタッフ養成講座	子どもたちが休日に自由に参加できる「駿馬地区アンビシャス広場」のボランティアを募集し、今後も継続的に安定した広場の運営につながることを目的に講座を開催しました。	5回	48
視点① 各世代に応じた学習活動支援事業	(一般成人事業) はじめてさんのパン作り講座	コロナ禍にあって、自宅での生活を豊かにすることを目的に、初心者向けのパン作り講座を開催します。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—	
	(家庭教育支援事業)就学前子育て講座	駿馬小学校の入学説明会の機会を活用し家庭教育のあり方やしつけなどについての子育て講座を実施します。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—	

(駿馬地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点② 地域 ESD 推 進事業	駿馬校区災害対 応力アップ支援 事業	情報を正しく理解し、地域が自ら防災・減災に 向けて行動できる力を向上することで、安心、安 全に暮らすことができる地域づくりを目的に実 施しました。また、校区の防災士の活躍の場を提 供しました。	1	114
	諏訪川清掃活動支 援	地域団体主催の諏訪川清掃活動をカヌーサポ ーターとともに支援します。 ・駿馬社協主催「諏訪川浄化活動」 ・駿馬まち協主催「精霊流し片付け」 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
視点② 学校 ESD 推 進事業	駿馬のまち発見隊	定期利用サークル「はやめ郷土の会」が、駿馬 小3年生の総合的な学習「駿馬校区について知 る」を支援します。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
	カヌー体験活動支 援	児童の健やかな成長に寄与するため、近隣小学 校が実施する体験学習（海洋教育としてのカヌー 乗船体験）を支援しました。	4回	児童+PTA 266 カヌーサポーター 48
視点② 人材育成・ 地域活動促 進事業	第23回はやめカ ップ祭り	世代間交流の促進、地域の連帯意識の醸成を 図ることを目的に開催されるイベントを支援し ます。<はやめカップ祭り実行委員会主催> 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
	第22回諏訪川な の花まつり	諏訪川河川敷において環境美化及び青少年の 健全育成を目的に開催されるイベントを支援し ます。 <諏訪川なの花まつり実行委員会主催> 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
	炭鉱の祭典（宮原 坑フェスタ）	世界遺産構成資産である宮原坑で開催される 「宮原坑フェスタ」イベントを支援します。 <炭鉱（やま）の祭典実行委員会主催> 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
	カヌーボランティ ア活動支援	新たなボランティアを育成することで、カヌー 事業の継続発展を図ることを目的に、カヌーサポ ーターボランティア養成講座を開催します。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
	サークル社会参加 促進事業	サークルの自主活動を支援し、サークル活動の 発展と社会参加の促進を図ります。 ・研修会、交流会の開催 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
視点② 学習成果活 動促進事業	展示コーナー・ロ ビーの活用促進 （はやめほっとギ ャラリー）	館内の展示コーナーを活用し、サークルや小・ 中学校の作品展などを開催することで、学習活動 の成果発表の機会を提供しました。	11回	—

(駿馬地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	サークル連絡会展示・発表会	文化祭に代わるものとして、1階ロビーを活用した作品展示やプレイホールでの演芸発表会を行い、サークル活動の学習成果の発表の機会を提供しました。(サークル連絡会との共催)	1回	参加サークル数 11
視点② 学習情報提供事業	公民館だよりの発行	各種講座や施設利用の案内等、学習情報を提供するために広報紙を発行しました。	3回	—
視点③ 社会教育機能向上事業	炭鉱の祭典(宮原坑フェスタ) 【再掲】	世界遺産構成資産である宮原坑で開催される「宮原坑フェスタ」イベントを支援します。 ＜炭鉱(やま)の祭典実行委員会主催＞ 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—

## 9 登録サークル活動

区 分		中央	三川	勝立	吉野	三池	手鎌	駿馬	合計
R元	サークル数	30	37	17	27	42	30	35	218
	会員数(人)	336	541	244	354	566	396	365	2,802
R2	サークル数	26	30	20	28	41	29	29	203
	会員数(人)	279	440	279	357	551	361	298	2,565
R3	サークル数	22	29	20	27	36	29	27	190
	会員数(人)	238	441	261	315	418	327	274	2,274

## 10 図書関連事業

### (1) 各地区公民館別図書貸出冊数

(単位：冊)

区 分		三川	勝立	吉野	三池	手鎌	駿馬	合計
R元	一般	3,772	2,042	3,908	7,845	3,708	2,008	23,283
	児童	1,655	474	2,995	4,844	3,033	747	13,748
	計	5,427	2,516	6,903	12,689	6,741	2,755	37,031
R2	一般	1,740	1,695	3,280	7,615	3,686	818	18,834
	児童	528	322	1,467	2,830	1,570	190	6,907
	計	2,268	2,017	4,747	10,445	5,256	1,008	25,741
R3	一般	3,778	1,495	3,145	7,643	3,409	1,254	20,724
	児童	1,974	279	1,344	2,991	1,481	755	8,824
	計	5,752	1,774	4,489	10,634	4,890	2,009	29,548

### (2) 図書関連事業

新刊コーナー、レイアウト変更、図書の広報の工夫等を行いました。また、地区公民館において絵本の読み聞かせなど行いました。

## 1.1 施設利用状況

R3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による施設利用中止や開館時間の短縮を行いました。

(単位：人)

区 分		中央	三川	勝立	吉野	三池	手鎌	駛馬	合計
R元	件数	3,921	3,600	1,908	2,600	3,138	3,535	2,947	21,649
	延人員	40,542	41,487	21,564	27,419	35,067	38,683	43,128	247,890
R2	件数	2,608	1,461	1,515	1,774	2,038	2,389	1,006	12,791
	延人員	22,314	12,076	12,301	17,069	19,319	21,963	8,319	113,361
R3	件数	2,254	2,147	1,356	1,661	2,032	1,871	1,300	12,621
	延人員	19,654	18,661	11,681	15,929	16,749	16,888	11,960	111,522

### ○新型コロナウイルス感染症の影響

施設利用中止	5月6日(木)～6月20日(日)
	7月1日(木)～7月11日(日)
	8月10日(火)～9月30日(木)
開館時間短縮	4月26日(月)～5月5日(水・祝)(午後8時まで)
	6月21日(月)～6月30日(水)(午後9時まで)
	8月1日(日)～8月9日(月・振休)(午後9時まで)
	R4年1月24日(月)～3月6日(日)(午後9時まで)

## 1.2 施設改修・施設整備

### (1) 社会教育施設・設備充実事業

地区公民館の利用者が、安心、安全に施設を利用できるように、必要に応じて施設修繕を実施しました。

R3年度は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、地区公民館のトイレの洋式化及び自動水栓化の工事を実施しました。

また、令和2年7月豪雨により被災した三川、駛馬の両地区公民館の復旧に引き続き取り組みました。

	三川地区公民館	駛馬地区公民館
被災状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>床上浸水(約15センチ)</li> <li>床全面、壁面の一部、トイレ汚損</li> <li>エレベーター、音響設備の損壊</li> <li>書架、展示パネル、キャビネット、カウンター、卓球台等備品の汚損</li> <li>図書(約2,800冊)の汚損</li> <li>その他消耗品の汚損</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>床上浸水(本館：約5センチ、プレイホール：約40センチ)</li> <li>床全面、壁面の一部汚損</li> <li>エレベーター、プレイホール音響設備・空調設備の損壊</li> <li>書架、卓球台等備品の汚損</li> <li>その他消耗品の汚損</li> </ul>
R2年度の復旧状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書コーナー、事務室、コミュニティセンター他床下清掃及び床張替</li> <li>エレベーター修繕</li> <li>備品、消耗品の購入</li> <li>図書の購入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書コーナー、事務室、コミュニティセンター他床下清掃及び床張替</li> <li>備品、消耗品の購入</li> <li>図書の購入</li> </ul>
R3年度実施工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>多目的ホール床全面、壁面の一部張替、音響設備等更新(9月末完成)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プレイホール床全面、壁面の一部張替、音響設備・空調設備更新(9月末完成)</li> <li>エレベーター更新(12月末完成)</li> </ul>

### 13 研修・研究

毎月第1月曜日（休館日）に開催する地区公民館職員研修会において、各種研修及び各種計画の紹介等を行ったほか、社会教育センター等で開催される研修に参加しました。

## 《多目的活動施設リフレスおおむた》〔生涯学習課〕

リフレスおおむたは、市民の文化、スポーツ及び教養の向上並びに青少年の健全育成のための野外活動の充実を図るとともに、広域的な住民の交流の場を確保し、もって生涯学習の振興に資するため、H11年に設置しました。青少年の多様な体験活動の場、生涯学習・生涯スポーツの場、広域的な住民交流の場の提供に努めています。

また、野外・自然体験活動等の事業をはじめ、施設設備の有効的な利活用を図るための指導者養成事業、施設ボランティア養成事業等の実施により、青少年の健やかな成長と豊かな心を育むことを目指しています。

H19年度から指定管理者制度を導入し、H29年度からR3年度までの5年間は公益財団法人熊本YMCAを指定管理者に指定していました。次の指定管理期間（R4年度からR8年度までの5年間）についても、公益財団法人熊本YMCAを指定管理者に指定しております。

### 1 事業の実施状況

施設の設置目的を効果的に達成するための事業を、「大牟田市立多目的活動施設リフレスおおむた管理業務仕様書」に基づき、指定管理者が実施しました。なお、一部の事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を中止・縮小しました。

(1) 必須事業（指定管理者が必ず実施しなければならない事業）

事業名	事業の概要	時期	回数	延べ参加者数(人)
農業生活体験がまだす隊	小学校1年生から2年生を対象に、子どもたちの生きる力を育てることを目的として、収穫体験や自然の大切さを学ぶ事業です。	6月～12月	5	76
リフレスなんでもやる隊	小学校3年生から6年生までを対象に、「自然体験」を中心として、命の尊さ、食の大切さを自然から学ぶ実践体験事業です。	7月～1月	6	86
春の野草を食べよう	施設周辺で春の野草などの自然観察を行いながら、草木にふれあう機会と、専門ボランティアの解説、試食等を通して、参加者同士の交流を深める事業です。	4月(中止)	—	—
リフレスキャンプ2021 (長期宿泊体験事業)	キャンプ体験初心者の家族を対象としたファミリーキャンプを実施し野外活動の楽しさや大切さを感じてもらえる機会を提供しました。また、小学校の異学校、異学年での日常生活活動や特別活動(キャンプファイヤー、野外炊飯)を通して、自主性・社会性を養うと共にコミュニケーション能力を高める集団宿泊体験事業です。(年3回:ファミリーキャンプ・サマーキャンプ・ウィンターキャンプ) ※R3年度は、宿泊体験事業の代わりに、日帰りスキー&雪遊びデイキャンプを自主事業として実施。	春、夏、冬(中止)	—	—
キャンパーズコネクション (野外活動指導者養成事業)	高校生・大学生を対象に、野外活動の楽しさを知り、体験したことを指導者として発揮できるための講座です。	7月、10月～12月	4	24
レクリエーション指導(青少年団体支援事業)	学校や子ども会などを対象に、要請に応じて指導者を派遣して、レクリエーションや野外活動の指導を行う事業です。出前講座にも登録しています。	10月～12月	4	225

事業名	事業の概要	時期	回数	延べ参加者数（人）
楽しいキャンプファイヤー指導（青少年団体支援事業）	要請に応じて学校や子ども会、地域行事などに職員を派遣し、キャンプファイヤーやレクリエーション指導を行う事業です。 ※R3年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため宿泊プログラムを行っておらず、事業未実施。	—	—	—
青少年ボランティア活動支援	野外活動や自然活動を支援するリーダー育成を目指す事業です。	7月、10月～12月	4	4
星空観察会	夏・冬の星座観察を通して、星座の成り立ちや神話、星に関わる疑問等を学び、自然の大切さを理解し環境保護について考える機会とすることを目的に、大牟田市環境保全課と星空観察ボランティアとの共催で実施する事業です。	8月 2月(中止)	1	7
ほたる観察会	ほたるについての学習会などを行い、観察だけでなく、自然環境のほたるへの影響などを学び、自然保護の意識を醸成させることを目的に、市環境保全課と四ヶ友和会との共催で実施する事業です。	5月 (中止)	—	—
学習の相談及び支援（アドバイス）	学校やスポーツ団体等、リフレスを利用される野外活動などの相談支援を行う事業です。	通年		9校 (小学校)

(2) 提案事業（施設の設置目的を達成するために指定管理者が提案した特性を生かした事業）

事業名	時期	延べ参加者数（人）
陶芸教室（大人対象）	1月～2月（中止）	—
陶芸教室（親子対象）	1月（中止）	—
クライミング講習会	1月～3月（中止）	—
高齢者向け健康体操（フレイル対策プログラム）	11月	10
リフレスクッキング教室	11月	16
物づくり教室	10月～11月（中止）	—
ヨガ&健康体操教室	毎週火、水曜日 ※4月～5月、9月、 2月は中止	274
ペン字講座	6月（中止）	—
競技かるた教室	1月（中止）	—

## 2 利用状況

(1) 開所日数 312日

(2) 利用者数等

年度	件数	利用者数(人)	施設利用内訳			利用者内訳		
			屋内宿泊	キャンプ宿泊	日帰り利用	大人	高大生	中学以下
R元	2,868	26,705	1,638	202	24,865	17,002	1,039	8,664
R2	1,854	13,120	189	16	12,915	7,129	722	5,269
R3	1,704	12,408	238	8	12,162	6,590	281	5,537

(R3年度内訳)

区分別	件数	利用者数(人)	施設利用内訳			利用者内訳		
			屋内宿泊	キャンプ宿泊	日帰り利用	大人	高大生	中学以下
個人	976	3,641	0	0	3,641	2,015	102	1,524
少年	213	3,510	115	5	3,390	734	54	2,722
学校	20	842	0	0	842	115	28	699
他団体	412	3,663	123	3	3,537	3,147	80	436
主催事業	83	752	0	0	752	579	17	156
計	1,704	12,408	238	8	12,162	6,590	281	5,537

※「利用者数」には利用した実人数を計上しています。

※「個人」とは、団体名を持たない利用者（複数人を含む）をいいます。

※「少年」とは、青少年を主とした団体で、「学校」及び「他団体」以外の団体をいいます。

※「学校」とは、小学校以上の学校の団体をいいます。

※「他団体」とは、一般団体やサークル、幼児の団体をいいます。

※「主催事業」とは、リフレッシュおおむたが主催する事業に参加した利用者をいいます。

(3) 新型コロナウイルス感染症への対応

- ① 施設利用（貸出し）の中止  
5月12日～6月20日  
8月10日～9月30日
- ② 新規予約受付の停止（20時以降）  
4月26日～5月12日  
（21時以降）  
4月22日～4月25日（※）  
6月21日～7月11日（※）  
8月1日～8月9日（※）  
R4年1月24日～3月6日（※）

※市外利用者の新たな施設利用の受付中止（屋内施設限定）

## 3 施設整備等

R3年度は、大雨によりエントランスホール天井の崩落が発生し、緊急工事（市工事）を行いました。その他にも、7月の豪雨により、クライミングウォール横の壁から雨漏りが発生しましたが、修繕工事を指定管理者が行っております。また、公共施設維持管理工事として、体育館内部の鉄部等塗装工事を行うなどし、施設の長寿命化を図っております。

## 《大牟田文化会館》〔生涯学習課〕

大牟田文化会館は、事業の企画・実施や、市民の文化活動に係る施設や付属設備等の提供、文化活動に関する相談・支援・情報収集、プラネタリウム投影などを通して、大牟田市、柳川市及びみやま市の圏域における文化の向上と住民の福祉の増進に資するためにS 6 1年に設置しました。文化事業については音楽や古典芸能、講演など幅広いジャンルの催しを開催することを目的としています。

H 1 8年度から指定管理者制度を導入し、H 2 9年度からR 3年度までの5年間は公益財団法人大牟田市文化振興財団を指定管理者に指定しています。

### 1 事業の実施状況（プラネタリウム関連事業を除く）

文化の向上と住民の福祉の増進に資する文化芸術事業を、「大牟田文化会館管理業務仕様書」に基づき、指定管理者が実施しました。

#### (1) 必須事業（指定管理者が必ず実施しなければならない事業）

##### ①第19回ありあけジュニアピアノコンクール

日頃からピアノの練習に励んでいる児童・生徒に広く発表の機会を提供し、豊かな音楽の感性を持った子どもたちと音楽活動者の育成を図るとともに、文化の振興・発展に寄与することを目的として開催しました。

と き Aコース 予選8月8日（日・祝）、本選11月3日（水・祝）  
チャレンジBコース 8月7日（土）

と ころ 大ホール

参加資格 小学生から高校生まで

参加者 Aコース予選 37人、本選 23人  
チャレンジBコース 73人

(Aコース) グランプリ1人、準グランプリ1人、西日本新聞社賞1人、部門賞（小学3・4年生の部、小学5・6年生の部、中学生の部、高校生の部）12人以内

※Aコース：予選・本選があるレベルの高いコース（課題曲1曲、自由曲1曲）

Bコース：予選がなく、自由曲1曲のみで気軽に参加できるコース

##### ②プレミアムアンサンブルコンサート

第19回ありあけジュニアピアノコンクールグランプリ上位受賞者の特典コンサートとして3月に開催しました。

と き R 4年3月20日（日）

と ころ 小ホール

##### ③第45回九州青年美術公募展

若い力の創造的美術活動とその作品の鑑賞を通じて、地方美術の振興・普及を図り、加えて新人・青年作家の優れた才能を発見し、育てる場として開催しました。

と き 11月21日（日）～11月27日（土）（表彰式 11月21日（日））

と ころ 大牟田文化会館 展示室等 入 場 者 383人

公募作品 平面絵画

応募数 146点（139人） 入 選 67点

賞 文部科学大臣賞1点、河北記念賞1点、藤田記念賞1点、審査員特励賞3点、朝日新聞社賞1点、福岡県教育委員会賞1点、大牟田市長賞1点、大牟田市教育委員会賞1点、NHK福岡放送局賞1点、九州朝日放送賞1点、内藤額縁店賞1点、大牟田文化会館賞1点、奨励賞5点

##### ④第76回福岡県美術展覧会（県展）筑後ブロック展

県展の日本画、洋画、書及び写真の4部門の入賞作品並びに筑後地域から出品された福岡県美術協会会員作品と入選作品を展示する巡回展を開催しました。

と き 10月12日(火)～10月17日(日)

と ころ 展示室等

入 場 者 746人 出品数 213点

⑤第39回有明美術展

日本画、洋画、彫刻、書、写真、染織、陶芸の各部門で活躍する、有明広域市町村圏域の美術家の優れた作品を展示する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

⑥学校鑑賞事業 オペラ「ヘンゼルとグレーテル」ハイライト公演

名作オペラのハイライト公演とワークショップを実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、R4年度に延期しました。

(2) 提案事業(施設の設置目的を達成するために指定管理者が提案した、施設の特性を生かした事業)

多様な文化にふれ親しむ鑑賞型、市民が主体的に参加する参加型、将来の文化を担う人材を育成する育成型の文化芸術事業を地域の音楽・文化関係団体等と連携して実施しました。

①鑑賞型事業

事業名	と き	と ころ	入場者等
開館35周年記念事業NHK公開番組収録「新・BS日本のうた」	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	文化会館	—
映画「大コメ騒動」上映会	11月26日(金)	文化会館	119人
開館35周年記念事業「砂音の奏でる世界～サンドアートと生演奏～」	新型コロナウイルス感染拡大防止のためR4年度へ延期	文化会館	—

②参加型事業

事業名	と き	と ころ	入場者等
大ホールピアノ体験「スタインウェイを弾いてみよう」	5月2日(日) 5月3日(月・祝) 7月3日(土) 7月10日(土) 7月17日(土)	文化会館	54人
第14回びあの1日マラソン	6月27日(日)	文化会館	375人
令和2年7月豪雨ががんばろう・ありがとうチャリティコンサート	11月28日(日)	文化会館	850人
クリスマスファミリーコンサート	12月17日(金)	文化会館	265人
大牟田市わくわくシティ基金事業ダンスチャレンジおおむた	新型コロナウイルス感染拡大防止のためR4年度へ延期	文化会館	—

文化芸術 が生み出 すまちの 魅力アッ プ事業	羽山台小学校演劇ワークショップ	新型コロナウイルス感 染拡大防止のため中止	羽山台小学校	—
	高校生対象の演劇ワークショップ		文化会館	
	小学生のためのコミュニケーションワークショップ		イオンモール 大牟田	
	講演会			
星にお願い	6月23日(水) ～8月6日(金)	文化会館	635人	
ツリーにお願い	11月24日(水) ～12月25日(土)	文化会館	170人	
おむタンおみくじ	R4年1月10日(月・祝) ～2月13日(日)	文化会館	570人	
プラネタリウム 「星空のおはなしコンサート」	R4年3月12日(土)	文化会館	25人	
文化体験講座 「バイオリンを弾いてみよう！」	R4年3月26日(土) ※2回目はR4年度に延 期	文化会館	28人	
憩いの mori 午後のミニコンサート ～音楽のさんぽみち～	7月11日(日) 10月10日(日) 11月14日(日) 12月12日(日) R4年1月23日(日) R4年3月13日(日) ※6、7月は合同 ※8、9、2月は中止	文化会館	282人	
ふるさと支援事業 「大牟田文化会館市民企画応援プロジェクト」 ①渡辺美佐子講演会(座・未来塾) ②大牟田にオーケストラがやって来た！コン サート(実行委員会)	①R4年2月23日(水・ 祝) ②R4年3月12日(土)	文化会館	732人	

### ③育成型事業

事業名	とき	ところ	入場者等
マロプロジェクト in 大牟田 ～子どもたちの未来へ 音のメッセージ～	8月16日(月)～ 18日(水)	文化会館	260人
サロン de アート 「デュオコンサート」	R4年2月6日(日)	文化会館	38人
大牟田文化会館・有明高専合同 星空観望会 ほしぞら☆探検隊	11月5日(金)	有明工業高 等専門学校	29人
大牟田文化会館・有明高専合同 「アクリル星座板工作教室」	12月12日(日)	文化会館	26人
大牟田文化会館・有明高専合同 「はじめてのプログラミング教室」	12月12日(日)	文化会館	38人

## 2 プラネタリウム関連事業の実施状況（指定管理者提案事業）

プラネタリウムでは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、5月から6月及び9月は全ての投影を中止しました。また、小中学校の夏季休業期間中に予定していた毎日投影も実施を見送りました。それ以外の期間は、120人の定員を40人程度に縮小し、土・日・祝日に1日2回、午前と午後で番組を入れ替え、四季に応じた星座の解説を入れた一般投影を行いました。また、地域の祭りや産業遺産等を紹介する会館オリジナル番組の無料特別投影を行いました。平日は予約による団体投影を行い、幼稚園・保育園、学校、病院施設など圏域内外より幅広い団体の来場がありました。

そのほか、大人向けの特別投影も実施しました。

事業名	とき	ところ	入場者等
音とアロマのプラネタリウム 「星空ヒーリング」	①7月17日（土） ②12月18日（土） ③R4年3月26日（土）	文化会館	131人
大牟田文化会館・有明高専合同 「ドーム投影研究」	新型コロナウイルス感 染拡大防止のため中止	有明工業高等 専門学校、文化 会館	—

プラネタリウム来場者数の推移

年度	R元	R2	R3
来場者数	4,432人	1,202人	2,809人

## 3 利用状況及び収入状況

### (1) 利用状況

	稼働率（％）			利用人数（人）		
	R元	R2	R3	R元	R2	R3
大ホール	34.2	24.6	32.8	54,576	13,872	26,443
小ホール	54.8	43.5	34.6	42,017	11,201	14,199
その他				86,127	37,519	52,736
計				182,720	62,592	93,378

### (2) 収入状況

（単位：千円）

会場使用料・観覧料	付属設備使用料・冷暖房料	その他	合計
21,106	12,385	832	34,323

### (3) 新型コロナウイルス感染症への対応

#### 【施設利用（貸出し）中止】

5月6日（木）～6月20日（日）

8月10日（火）～9月30日（木）

#### 【開館時間の短縮】

4月26日（月）～5月5日（水・祝）（午後8時まで）

6月21日（月）～6月30日（水）（午後9時まで）

8月1日（日）～8月9日（月・振休）（午後9時まで）

令和4年1月24日（月）～3月6日（日）（午後9時まで）

## 《三池カルタ・歴史資料館》〔生涯学習課〕

三池カルタ記念館は、H3年に開設しました。その後、H18年に歴史資料館と統合し、三池カルタ・歴史資料館として現在に至っています。カルタや歴史に関する展示を中心とした企画展の開催をはじめ、資料の収集・保存、調査研究、文化・歴史講座等の実施により、市民の文化的教養の向上に努め、市民の豊かな心と郷土を愛する心を育み、地域社会の文化の向上に資することを目的としています。

H19年度から指定管理者制度を導入し、H29年度からR3年度までの5年間はTRC・アクティオグループを指定管理者に指定しています。

### 1 事業の実施状況

施設の設置目的を効果的に達成するための事業を、「大牟田市三池カルタ・歴史資料館等複合施設管理業務仕様書」に基づき、指定管理者が実施しました。

#### (1) 必須事業（指定管理者が必ず実施しなければならない事業）

##### ①企画展

事業名	期間	内容	入館者
春の企画展 新収蔵カルタ展 2021	4月6日(火)～ 6月27日(日)	R2年度に収集したカルタやトランプの中から、厳選した約30点を紹介する展示を行いました。	大人 477人 子ども 131人 計 608人
平和展 2021 愛国いろはカルタに みる太平洋戦争	7月6日(火)～ 9月26日(日)	愛国いろはカルタをはじめ、日米開戦の1941年から終戦の1945年までのカルタを中心に、子どもたちの遊びの世界にまで戦争が介入してきた実態を紹介する展示を行いました。また、特別展示として、1945年の大牟田空襲を描いた絵本『わすれないあの日』(三代沢史子)の原画も公開しました。	大人 626人 子ども 220人 計 846人
秋の企画展 一立藩 400年— 三池藩の成立と展開	10月5日(火)～ 12月5日(日)	三池藩誕生400年を記念し、館所蔵の古文書や諸資料を通じて、三池藩(下手渡藩)の歴史を振り返る展示を行いました。	大人 1,492人 子ども 568人 計 2,060人
冬の企画展 開館30周年記念展 ～小倉百人一首から ニコラ・コンヴェルま で～	12月14日(火)～ R4年3月27日 (日)	カルタックスおおむた開館30周年を記念し、普段は収蔵庫の中で保管している貴重な百人一首やいろはカルタ、絵合わせ、トランプ、タロットカードを一堂に集めて展示しました。	大人 1,078人 子ども 201人 計 1,279人

##### ②市民カルタフェア2021「大牟田かるたフェスティバル」

とき 8月14日(土)～9月20日(月・祝)

ところ イオンモール大牟田

特別記念企画展のほか競技かるたの模擬試合や競技かるた有段者のトークショーなどかるた普及に係る事業を計画していましたが、緊急事態宣言の発令に伴い、ワークショップやトークショーなどのイベントは中止し、特別記念企画展「ちはやふる複製原画展」のみ実施しました。

③第29回三池カルタ・歴史資料館杯《小倉百人一首》九州新人かるた競技大会

と き 10月24日(日)

ところ 大牟田市立大牟田中央小学校 体育館

参加者 78人〔個人戦(大人13人・子ども25人)、観覧者等 40人〕

新型コロナウイルス感染症対策として、個人戦のみでの開催としました。

④普及・啓発事業

ア カルタの貸出(小倉百人一首かるた等)

26件

延べ 112組

イ 講座等の開催

内 容	と き	受講者数
歴史講座① 炭鉱電車～110余年の歩みと今後～	7月18日(日)	16人
歴史講座② 三池街道と宿場町	10月10日(日)	25人
文化講座① 大蛇山の特色－福岡県の山笠行事の中で－	R4年1月16日(日)	13人
文化講座② 福岡のやきもの	R4年2月20日(日)	20人

(2) 提案事業(施設の設置目的を達成するために指定管理者が提案した、施設の特徴を生かした事業)

①企画展関連イベント等

事業名	期 間	内 容	参加者等
令和3年度 夏期平和事業	8月1日(日)	大牟田の空襲を記録する会と共催で、空襲体験講話と講演「米進駐軍の見た大牟田・熊本のカラー映像」を中央地区公民館で行い、戦争と平和について考える機会を広く提供しました。	43人
平和展2021関連事業 ミュージアムガイド 「大正時代と竹久夢二」	8月8日(日) ①午前11時～ ②午後2時～	展示中の竹久夢二の直筆画「雛妓読書」について、絵の見どころや、竹久夢二の人物像、大牟田と夢二のつながりなどを研究家が来館者に分かりやすく説明しました。	① 7人 ② 9人 計 16人
秋の企画展関連事業 ミュージアムガイド	12月4日(土)	展示している資料の見どころやポイント、三池藩の歴史などについて館長が来館者に対し説明を行い、疑問や質問に答える対話型の展示案内を行いました。	11人
公開展示 「昔の道具とくらし展」	10月5日(火)～ 12月5日(日)	小学3年生が「くらしのうつりかわりと昔の人々の生活」を学ぶ時期に合わせて、昭和初期から中頃に日常で使われていた生活道具や遊具等を展示しました。	小学校からの 団体観覧あり

②普及・啓発事業

ア 博物館学芸員実習・インターンシップ（就業体験）受け入れ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になりました。

イ 出張カルタ

期 間 7月21日（水）、28日（水）、R4年1月5日（水）

参加者 69人（てとての学童クラブ）

ウ 講座等の開催

講 座 名	と き	受講者数
かな文字入門講座（第9期）	全18回 4月9日（金）～R4年3月18日（金）	延べ96人
古文書入門講座（第7期）	全18回 4月9日（金）～R4年3月18日（金）	延べ276人
『源氏物語』の光と影を読む（第8期）	全18回 4月11日（日）～R4年3月20日（日）	延べ281人

エ イベント等の開催

事 業 名	期 間	内 容	参加者等
カルタックスおおむた 30周年記念 スタンプラリー	4月23日（金）～ 5月5日（水・祝）	1991（平成3）年4月23日に開館し、令和3年4月に開館30周年を迎えるカルタックスおおむたと80周年を迎える大牟田市動物園の3施設によるスタンプラリーを行うことで、施設周辺のにぎわいを創出し、10月に開館する絵本美術館の機運を一体的に盛り上げました。	しおり引換 92人 Wチャンス応募 88人
楽しい！お正月遊びと 招福！縁起物展	R4年1月8日（土） ～10日（月・祝）	本市が「日本のカルタ発祥の地」であることにちなみ、アクロス福岡のイベント内でカルタ文化の普及・啓発の一環として、かるた体験を行いました。	38人
大牟田史跡めぐり ウォーク～三川編～	R4年3月13日 （日）	本市の文化財担当者や当館学芸員、郷土史の専門家などを講師とし、現地を歩きながら地元の歴史や文化財に興味を持つ市民にわかりやすく説明を行いました。	12人

2 報道関係等への資料提供とPRの状況

新聞 39件                      テレビ・ラジオ 28件                      機関紙・雑誌等 16件

3 観覧者数等の状況

年 度	開館日数	入 館 者 数 （人）			図 録 関 係 頒布収入（千円）
		一 般	児 童 生 徒	合 計	
R元	258	8,367	2,842	11,209	136
R2	240	3,952	711	4,663	167
R3	211	3,673	1,120	4,793	83

※ 観覧料については、H19年度に指定管理者制度導入後、無料となっています。

※ H18年度の入館者数は、5,479人です。

○新型コロナウイルス感染症の影響

【臨時休館】

R3年5月12日（水）～6月20日（日）※緊急事態宣言の発出による

R3年8月10日（火）～8月19日（木）※福岡県コロナ特別警報の発動による

R3年8月20日（金）～9月12日（日）※緊急事態宣言の発出による

## 《図書館》〔生涯学習課〕

市民の図書資料に対する要求に応え、自由で公平な図書館資料の提供を中心とする諸活動によって、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とした事業を実施します。また、施設設備を有効に活用し、読書ボランティア養成講座事業、おはなし会等を実施します。

三池カルタ・歴史資料館との複合施設であり、H19年度から指定管理者制度を導入し、H29年度からR3年度までの5年間はTRC・アクティオグループを指定管理者に指定しています。

### 1 利用状況

#### (1) 図書貸出の登録者及び利用者

(単位：人、団体)

区 分			計	本 館	地 区 公 民 館						
					三 川	勝 立	吉 野	三 池	手 鎌	駛 馬	
登録者数	個人	新規登録者	小学生以下	243	225	5	0	3	4	5	1
			中学生	39	37	1	0	0	1	0	0
			高校生	44	44	0	0	0	0	0	0
			成人	812	737	15	5	9	27	12	7
			計	1,138	1,043	21	5	12	32	17	8
	登録者数		24,996	22,935	336	157	405	568	404	191	
	団体	新規登録団体数	363	363	/	/	/	/	/	/	
登録団体数		614	614	/	/	/	/	/	/		
利用者数	個人	実利用者数	6,665	6,183	83	41	82	141	107	28	
		のべ利用者数	87,810	78,216	1,722	730	1,473	3,497	1,493	679	
	団体	実利用団体数	67	67	/	/	/	/	/	/	
		のべ利用団体数	337	334	0	0	0	0	3	0	

#### (2) 図書貸出冊数及びその他資料貸出数

(単位：冊、点、日)

区 分			計	本 館	地 区 公 民 館					
					三 川	勝 立	吉 野	三 池	手 鎌	駛 馬
図書資料	一般書	213,536	192,812	3,778	1,495	3,145	7,643	3,409	1,254	
	児童書	117,289	108,465	1,974	279	1,344	2,991	1,481	755	
	小 計	330,825	301,277	5,752	1,774	4,489	10,634	4,890	2,009	
	開館日	/	212	273	273	273	273	273	273	
	1日平均	/	1,421.1	21.1	6.5	16.4	39.0	17.9	7.4	
その他資料	A V 資料 (CD・DVD等)	13,417	13,322	7	4	9	13	41	21	
	雑 誌	14,226	13,823	20	13	20	146	200	4	
	小 計	27,643	27,145	27	17	29	159	241	25	
総 計		358,468	328,422	5,779	1,791	4,518	10,793	5,131	2,034	

※本館館内閲覧受付 665冊

○新型コロナウイルス感染症の影響

【臨時休館】

R 3 年 5 月 1 2 日（水）～6 月 2 0 日（日）※緊急事態宣言の発出による

R 3 年 8 月 1 0 日（火）～8 月 1 9 日（木）※福岡県コロナ特別警報の発動による

R 3 年 8 月 2 0 日（金）～9 月 1 2 日（日）※緊急事態宣言の発出による

※臨時休館中も市立図書館（9：30～18：00）において、インターネットと電話での予約受付と予約本の受取りのみ貸出しを行いました。

○本館の蔵書点検と工事に係る臨時休館

R 4 年 3 月 1 日（火）～3 月 2 5 日（金）

(3) 図書貸出冊数（一般書・児童書）と予約・リクエストの推移

区分 年度	貸 出（冊）		予約・リクエスト	
	個 人	団 体	件 数	そのうち 購入した冊数
R 元	412,838	7,923	23,235	1,058
R2	332,370	6,516	20,536	905
R3	324,727	6,098	35,914	767

(4) 障害者サービス

	登録者	貸出数	市内送付サービス	市外送付サービス
点字サービス	28 人	66 タイトル 233 点	66 タイトル 233 点	0 タイトル 0 点
録音サービス (デージー※含む)	107 人	276 タイトル 381 点	266 タイトル 371 点	10 タイトル 10 点
計		342 タイトル 614 点		

※ デイジー (DAISY) は、視覚障害者向けデジタル録音図書。Digital Accessible Information SYstem の略。ただし、本表では広報・新聞コラム等を除いています。

※ R 元年度より、フリーペーパー「どがしこでん」の DAISY の貸出しを開始しました。

(5) 予約処理状況

一般書・児童書 33,052 冊

雑誌 2,589 冊

AV 資料 (CD・DVD 等) 273 点 合 計 35,914 件

※R 3 年 4 月より、在架予約を開始しました。

(市立図書館や地区公民館図書コーナーの棚にある資料を予約することができます。)

(6) 文献複写サービス (有料)

複写枚数 5,769 枚

(7) 人口類似都市図書館との比較

区 分	大 牟 田 市		人口類似都市平均 (R2 年度実績)
	R2 年度	R3 年度	
市民 1 人当たりの図書等貸出冊数	3.34 冊	3.28 冊	3.41 冊

区 分	大 牟 田 市		人口類似都市平均 (R2 年度実績)
	R2 年度	R3 年度	
全市民中に占める貸出登録者の割合	23.60%	22.85%	41.02%
蔵 書 回 転 率	1.22 回	1.19 回	1.04 回
市民 1 人当たりの蔵書冊数	2.75 冊	2.75 冊	3.28 冊
市民 1 人当たりの図書等購入費	230.07 円	220.89 円	161.81 円
職員 1 人当たりの図書等貸出数	23,228 冊	22,404 冊	14,491 冊

※「人口類似都市平均」は、『日本の図書館（2021）』日本図書館協会2022年刊から、人口11万人以上12.2万人未満の10市の平均

※大牟田市以外の数値は、2021年の公共図書館調査票の数値をもとに平均値を算出

## 2 図書館資料

拠点別蔵書冊数

(R4年3月31日現在)

区 分	一 般 書		児 童 書		計	
	冊数(冊)	比率(%)	冊数(冊)	比率(%)	冊数(冊)	比率(%)
本 館	195,833	80.8%	46,647	19.2%	242,480	100.0%
三川地区公民館	6,704	58.7%	4,711	41.3%	11,415	100.0%
勝立地区公民館	6,491	66.4%	3,280	33.6%	9,771	100.0%
吉野地区公民館	6,162	60.6%	4,002	39.4%	10,164	100.0%
三池地区公民館	5,890	54.2%	4,975	45.8%	10,865	100.0%
手鎌地区公民館	4,886	53.7%	4,214	46.3%	9,100	100.0%
駛馬地区公民館	4,152	55.8%	3,284	44.2%	7,436	100.0%
計	230,118	76.4%	71,113	23.6%	301,231	100.0%

## 3 事業の実施状況

施設の設置目的を効果的に達成するための事業を、「大牟田市三池カルタ・歴史資料館等複合施設管理業務仕様書」に基づき、指定管理者が実施しました。

(1) 必須事業（指定管理者が必ず実施しなければならない事業）

①定例事業

ア おはなし会（おおむた読書推進ボランティアネットワークの協力を得て開催）

おはなし会名	開 催 日	開催回数	参加者 (のべ人数)	協力ボランティア (のべ人数)
幼児及び小学生低学年を対象としたおはなし会	毎週土曜日	33 回	279 人	100 人
乳幼児のためのおはなし会	毎週木曜日 (最終木曜日は除く)	22 回	91 人	49 人
赤ちゃんのためのおはなし会	毎週火曜日	27 回	247 人	72 人

## イ ブックデビュー事業

保護者と赤ちゃんが「初めての絵本」の楽しさを実感できる方法を提案するとともに、図書館の利用案内を行いました。

上記の「赤ちゃんのためのおはなし会」内で月1回、ブックデビュー事業を行いました。また、図書館の事業外では、先述のブックスタート事業「絵本による赤ちゃんとのコミュニケーション講座」、子ども家庭課の「赤ちゃん広場」内で実施をしました。

実施回数 14回 参加者（のべ人数）150人

## ウ ブックリサイクルの実施

図書館で不用になった図書・雑誌を市民、学校及び施設に無料提供しました。

(ア) 子どもの本限定！ブックリサイクル と き 10月10日（日）

(イ) ブックリサイクル（一般書・雑誌） と き R4年1月9日（日）

R4年1月10日（月・祝）

(ウ) 学校向けブックリサイクル と き 9月7日（火）～9日（木）

ブックリサイクル提供図書総数 5,206冊

## ②行 事

### ア イベント的事業

事業名	内 容	と き	参加者
「子ども読書の日 記念イベント 2021」	特設「スタンダードブック～20年以上読み 継がれてきた絵本～日本編①」	3月13日（土）～ 6月23日（水）	—
	子ども読書の日記念おはなし会 「どうぶつえんスペシャル！」	4月24日（土）	8人
	ぬいぐるみおとまり会	7月22日（木・祝） 7月23日（金・祝）	児童のべ 9人
	子どもの本限定！ブックリサイクル〔再掲〕	10月10日（日）	29人
特別おはなし会	子ども読書の日記念おはなし会〔再掲〕	4月24日（土）	8人
	七夕おはなし会	7月3日（土）	14人
	平和おはなし会	8月7日（土）	13人
	クリスマスおはなし会	12月18日（土） 同じ内容を2回実 施	①15人 ②13人
カルタックス おおむた平和事業	① 平和パネル展	7月30日（金）～ 8月25日（水）	—
	② 平和のほん（児童BOX特設）	7月30日（金）～ 8月25日（水）	—
	③ 平和おはなし会〔再掲〕	8月7日（土）	13人
	④ 平和の映画上映会	12月12日（日）	2人

イ 講座及び研修会

読書ボランティア養成講座「読み聞かせのスキルアップ講座」

内 容	講 師	と き	受講者
「赤ちゃんの食と絵本」 ～食べたいな、おいしいな、 を絵本から～	講師：古閑美紀 (絵本コンシェルジュ・ぶつくま ま、はらっぱの会)	R4年1月12日(水)	13人
「お話へと誘う小道具を紹介」 ～たのしいおはなし、届 けましょう～ 「発声・表現が上手くなるワ ンポイントレッスン」	講師：坂川聖 (絵本コンシェルジュ・おはなし 朗読「ことだま」)	R4年1月19日(水)	16人
「子どもと絵本を楽しむため に」	講師：精華女子短期大学 教授 大谷朝	R4年1月26日(水)	14人

③有明圏域定住自立圏に係る取組み

有明圏域定住自立圏共生ビジョンに基づき、H24年度から柳川市及びみやま市、  
H26年度から荒尾市、南関町及び長洲町との図書サービスの相互利用を実施しています。

【大牟田市立図書館における相互利用状況】

年度	区分	登録者数	登録者数のうち 新規登録者数	のべ利用者数	図書等貸出数
R元		2,303人	212人	9,978人	44,275冊
R2		2,375人	101人	7,855人	35,362冊
R3		2,339人	134人	7,084人	32,756冊

(2) 提案事業(施設の設置目的を達成するために指定管理者が提案した、施設の特性を生かした事業)

①展示会(主に図書の展示と貸出し)ほか

ア 特設(一般)

展示テーマ	内 容	と き
【カルタックスおおむた30周年記念事業】 大牟田市立図書館の30年のあゆみとベストセラー本を振り返る	カルタックスおおむたと図書館の歴史と、30年間のベストセラー本1位～5位の本を集めて、図書館と歩んだ30年を振り返る展示を行いました。	3月26日(金)～ 5月26日(水)
〇〇に取り憑かれました	他の人には理解できないかもしれないけれど、好きすぎて追いつけてしまう…そんな人たちの本96冊の展示・貸出しを行いました。	5月28日(金)～ 6月23日(水)
なにが怖い?…なにが恐 い?…なにがこわい?…	人によって怖いものは異なり、また人には怖いもの見たさがあることから、一般書・児童書問わず様々なジャンルで「こわい」本129冊を集めて展示・貸出しを行いました。	6月25日(金)～ 7月28日(水)

展示テーマ	内 容	と き
生きることがつらいあなたへ～自殺予防週間～	9月10日～16日の自殺予防週間に合わせ関連本74冊の展示・貸出しを行いました。 合わせて、市・県・国の相談窓口・関連機関も掲載しました。	8月27日(金)～ 9月29日(水)
平成生まれの絵本集めました！	国際子ども図書館の「平成を彩った作家たち」を参考にして、子どもから大人まで楽しめる平成時代に生まれた絵本120冊の展示・貸出しを行いました。	10月1日(金)～ 10月27日(水)
本を読んで旅行気分を味わおう！	コロナ禍で自由に旅行が出来ない今、おうち時間でできる読書の楽しみ方の一つの提案として、世界の旅行記や旅行をテーマにした小説など117冊の展示・貸出しを行いました。	10月29日(金)～ 11月24日(水)
日記を味わう！	新型コロナウイルスが発生し、自粛期間が長くなる中、日々を記録することに興味を持つ人が増えていると聞き、古今東西の日記に関する本76冊の展示・貸出しを行いました。	11月26日(金)～ 12月22日(水)
お酒を一杯	お正月や成人式、新年会などお酒と関わる機会が増えるこの時期にテーマに関する本42冊の展示・貸出しを行いました。	12月24日(金)～ R4年1月26日(水)
大牟田 再発見	郷土資料に興味を深めてもらうことを目的に、大牟田に関する人物や出来事の本177冊の展示・貸出しを行いました。 また、デジタルアーカイブの紹介としてパンフレットを配布しました。	R4年1月28日(金) ～3月30日(水)

#### イ 特設（児童）

展 示 名	展示冊数	と き
児童BOX特設「動物のえほん」	35冊	3月26日(金)～4月24日(土)
児童プチ特設「こいのぼりのほん」	23冊	5月1日(土)～5月26日(水)
児童BOX特設「家族のえほん」 (母の日・父の日)	34冊	4月30日(金)～6月23日(水)
児童BOX特設「星のえほん」	27冊	6月25日(金)～7月11日(日)
児童プチ特設「読書感想文の本」	131冊	6月25日(金)～8月25日(水)
児童プチ特設「自由研究の本」	117冊	6月25日(金)～8月25日(水)
スタンダードブック～20年以上読み継がれてきた絵本～海外編①	54冊	6月25日(金)～9月29日(水)
児童BOX特設「ぬいぐるみのほん」	27冊	7月11日(日)～7月28日(水)
児童BOX特設「命のえほん」	44冊	8月27日(金)～9月29日(水)
児童プチ特設「お月見のほん」	18冊	9月14日(火)～9月29日(水)

展 示 名	展示冊数	と き
スタンダードブック～20 年以上読み 継がれてきた絵本～日本編②	65 冊	10 月 1 日(金)～12 月 22 日(水)
児童 BOX 特設「おぼけのえほん」 (ハロウィン)	21 冊	10 月 1 日(金)～10 月 27 日(水)
児童 BOX 特設「人権の考えるほん」 (12 月 4 日～10 日 人権週間)	22 冊	10 月 29 日(金)～11 月 24 日(水)
児童 BOX 特設「クリスマスのえほん」	26 冊	11 月 26 日(金)～12 月 22 日(水)
児童プチ特設「お正月のほん」	41 冊	12 月 24 日(金)～R4 年 1 月 26 日(水)
スタンダードブック～20 年以上読み 継がれてきた絵本～海外編②	58 冊	12 月 24 日(金)～R4 年 3 月 30 日(水)
児童プチ特設「節分のほん」	16 冊	R4 年 1 月 28 日(金)～2 月 23 日(水・祝)
児童 BOX 特設「ひなまつりのほん」	23 冊	R4 年 2 月 25 日(金)～3 月 30 日(水)

ウ 特設 (YA: ヤングアダルト)

展 示 名	内 容	と き
アートな絵本	絵や装丁に工夫を凝らした絵本及び高学年～ 大人向けの絵本約 80 冊の展示と貸出しを行いました。	3 月 26 日(金)～ 5 月 26 日(水)
【カルタックスおおむ た 30 周年記念事業】 アニメやゲームに出て くる神話や時代・人物	アニメやゲームに出てくる神話や英雄、モン スターなどについて描いてある本 50 冊の展 示・貸出しを行いました。	5 月 28 日(金)～ 7 月 28 日(水)
読書感想文におすすめ の本	中学生・高校生におすすめの読書感想文課題 図書と読書感想文の書き方の本 55 冊の展示・貸 出しを行いました。	6 月 25 日(金)～ 8 月 25 日(水)
「恐怖」と「謎」	ホラー、ミステリと一括りにされがちなジャ ンルの資料 31 冊を改めてカテゴリ化したう えで展示・貸出しを行いました。	8 月 27 日(金)～ 9 月 29 日(水)
【カルタックスおおむ た 30 周年記念事業】大 牟田市動物園開園 80 周 年！	大牟田市動物園開園 80 周年・カルタックスお おむた 30 周年記念イベントの一環として、大牟 田市動物園にいる動物を調べ、その動物に関す る本を 66 冊の展示・貸出しを行いました。	10 月 1 日(金)～ 11 月 24 日(水)
空を見上げる	星や雲、飛行機、天気など、空に関する資料 とそれらをテーマにした小説 65 冊の展示・貸出 しを行いました。	11 月 26 日(金)～ R4 年 1 月 26 日(水)
読んでみませんか？ SF 小説	気軽に読める短編集を中心に SF 小説を集め て展示・貸出しを行いました。	R4 年 1 月 28 日(金)～ 3 月 30 日(水)

エ 常設展示

展 示 名	内 容
SDGsってなんだろう	市内小中学校、特別支援学校が取り組む「ESD」や「SDGs」に関する資料を集めて展示・貸出しを行っています。
認知症コーナー 「認知症って？」	認知症にやさしい図書館&博物館プロジェクトとして、認知症に関する医療、介護、体験記などの関連本、地域の認知症に関する情報や資料を集めて展示しています。
科学道 100 冊ジュニア	理化学研究所と、本の可能性を追求する編集工学研究所の共同プロジェクト「科学道 100 冊ジュニア」の展示・貸出しを行っています。
内田麟太郎さんコーナー	大牟田市出身の児童文学作家・内田麟太郎の作品や絵本の原画を展示しています。

②行 事

ア イベント的事業

事 業 名	内 容	と き	参加者
【カルタックスお おむた 30 周年記念 事業】 カルタックスお おむた 30 周年記念ス タンプラリー 〔再掲〕	平成 3 年 4 月 23 日に開館し、R3 年 4 月に開館 30 周年を迎えるカルタックスおおむたと 80 周年を迎える大牟田市動物園の 3 施設によるスタンプラリーを行うことで、施設周辺のにぎわいを創出し、10 月に開館する絵本美術館の機運を一体的に盛り上げました。	4 月 23 日(金)～ 5 月 5 日(水・祝)	しおり引換 92 人 Wチャンス応募 88 人
第 5 回大牟田市立図 書館を使った調べ る学習コンクール	「子どもたちだけでなく多くの市民が図書館を活用することによって生きる力を身につけていただきたい」ということから、自分の身近な疑問や課題を図書館、学校図書館を活用して調べまとめた作品を発表するコンクールを行いました。	募集期間 6 月 15 日(火)～ 10 月 3 日(日) 審査会 10 月 15 日(金) 表彰式 11 月 3 日(水・祝)	応募数 37 点
理科読 テーマ「光」	科学の本への興味関心のきっかけづくりとして、有明工業専門学校の協力のもと理科実験と科学絵本の読み聞かせを組み合わせせた「理科読」を開催しました。	10 月 17 日(日)	児童のみ 7 人
ともだちやブロン ズ像前おはなし会 ～カルタックスお おむた創立 30 周年 記念～	絵本・児童文学で大牟田を元気にする会との共催で、ともだちやブロンズ像前での写真撮影後、集会室にておはなし会を実施しました。	10 月 24 日(日)	7 人
科学広場 in おおむ たしりつとしょか ん 2021	子どもたちに科学の楽しさを体験する機会を提供するイベントを実行委員会（事務局）として開催しました。会場はコロナ禍による小規模開催のため、カルタックスおおむた内で実施しました。	11 月 2 日(火)～ 11 月 30 日(火)	出展 4 組 来場者 124 人

事業名	内 容	と き	参加者
カカ・ムラド ～中村哲の信念～ 上映会	アフガニスタンで人道支援に取り組んだ医師・中村哲さんの命日 12 月 4 日に合わせ、福岡県立図書館より寄贈されたDVDを上映し、中村さんの著書やアフガニスタンの本などを紹介しました。	①12月5日(日) ②12月19日(日)	①2人 ②0人
雑誌のふろくが当たる！2022年運試し抽選会	雑誌のふろくの活用、利用者への還元と読書推進のために、本を借りた利用者を対象に希望するふろくに応募ができる、抽選券を配布し、当選発表とふろくの受け渡しをしました。	抽選券配布期間 R4年1月4日(火)～ 10日(月・祝) 発表・ふろく受け渡し R4年1月18日(火)～ 30日(日)	配布枚数 1,564枚 応募者数 1,153人 当選者数 45人
動物愛護パネル展	「どうぶつ愛護おはなし会」に合わせ、大牟田市保健衛生課より動物愛護のパネルを借用したパネル展と動物愛護に関する資料の展示・貸出しを行いました。	12月24日(金)～ R4年1月26日(水)	—
どうぶつ愛護 おはなし会	大牟田市保健衛生課共催で、動物愛護に関する絵本の読み聞かせと、大牟田市保健衛生課の職員による動物愛護のおはなし会を開催しました。	R4年1月10日(月・祝)	9人
junaida パネル展 『junaidaさんの絵 本の世界とパネル 展』	福音館書展の協力により「MOE 絵本屋さん大賞」で選ばれた『怪物園』等の著者 junaidaさんのパネル展と関連本の展示・貸出しを行いました。	R4年1月28日(金)～ 2月23日(水・祝)	—
バリアフリー映画 上映会	視覚や聴覚に障害があっても同じように映画を楽しめるよう、字幕と音声ガイドを使用した映像作品の上映を行いました。	R4年2月27日(日)	5人

## イ 講座及び研修会

### (ア) 第5回大牟田市立図書館を使った調べる学習コンクール応援教室

内 容	講 師	と き	受講者
図書館を使った調べ方を学ぼう ①低学年向け ②高学年向け	講師：図書館スタッフ	①7月25日(日) ②8月8日(日)	①8人 ②2人

### (イ) 大牟田市三池炭鉱歴史資料デジタルアーカイブ公開記念講座

内 容	講 師	と き	受講者
大牟田市立図書館の地域資料集積とアーカイブ化の意義	世界遺産・文化財室 室長 山田元樹	10月31日(日)	12人
『三池炭鉱歴史資料デジタルアーカイブ』の公開とその活用の可能性	大阪大学言語文化研究科 助教 宮本隆史		

## 《スポーツ施設》〔スポーツ推進室〕

人々の健康に対する関心の高まりとともにスポーツ参加への関心も高く、身近に利用できる安全で快適性が高いスポーツ施設が望まれています。市民や利用者の健康保持と体力増進のためにスポーツ施設の充実を行い、活用していきます。

### 1 体育施設の管理運営

体育施設7施設（市民体育館、延命球場、御大典記念グラウンド、武道場、笹林庭球コート、第二市民体育館、第二グラウンド）については、H19年度から指定管理者制度を導入し、R2年度からR5年度までの4年間は特定非営利活動法人大牟田市体育協会を指定管理者に指定しています。

同法人は、競技の専門知識・大会運営のノウハウ・各団体との連絡や協力体制を活かした各種スポーツ事業の実施により社会体育の普及促進に寄与しており、本市では、事業の計画的な実施状況や必要な保守点検業務の実施状況などについて、指定管理者からの聞き取りや月例報告書などによるモニタリングを行い、随時協議・連携を行っています。

延命プールについては、H20年度から指定管理者制度を導入しており、H29年度からR3年度までの5年間は特定非営利活動法人大牟田市体育協会を指定管理者に指定し、プール開場中は各種イベントの実施や施設の衛生面や利用者の安全管理に努めています。

### 2 利用状況

(単位：人)

区 分	R元年度	R2年度	R3年度	
延命球場	26,991	10,825	11,213	
市民体育館	101,977	57,895	50,051	
御大典記念グラウンド	54,875	31,164	29,025	
延命プール	13,263	4,882	7,576	
武道場	5,103	2,620	2,351	
宅峰中学校弓道場(※1)	5,873	4,228	3,920	
第二市民体育館	39,292	23,190	24,501	
笹林庭球コート	3,696	3,182	2,629	
第二グラウンド	9,363	7,853	6,114	
諏訪公園テニスコート	13,654	10,217	9,767	
大牟田港 緑地運動 公園 (※2)	ソフトボール場	4,270	3,546	6,601
	野球場	6,987	4,575	4,723
	運動広場	18,909	18,532	18,377
	庭球場	15,484	13,407	10,149
甘木中学校夜間照明	1,113	577	538	
手鎌北町公園テニスコート	332	201	187	
合 計	321,182	196,894	187,722	

※1 宅峰中学校弓道場については、一般利用分のみの数値を計上しています。

※2 大牟田港緑地運動公園は県営施設ですが、市が管理委託を行っており参考に記載しています。

### 3 施設の維持補修等

スポーツ施設を適切に管理運営するため、老朽化した箇所や設備について補修工事等を行い、利用者の利便性及び安全性の向上を図る工事を実施しました。

### 4 評価・課題

体育施設は、健康で豊かなスポーツライフを送るため、気軽に利用できる施設として親しめるよう、利用者の拡大や事業の充実に努めています。

しかしながら、R2年度に引き続き、R3年度も新型コロナの影響を受け、施設利用者数はさらに減少することとなりました。

コロナ禍にあっても、利用者が安全・安心に体育施設を利用することができるよう、引き続き、感染防止対策を進めていきます。

市民体育館をはじめ、本市の体育施設は老朽化が著しいため、施設の機能維持や、利用者に対して安全性・快適性をどのように確保していくかが課題となっており、今後は、主に機能性・安全性の向上に係る工事や設備の更新を計画的に行っていきます。

〔指定・登録文化財一覧〕

(令和4年3月31日現在)

区分	種類	指定・登録年月日	文化財の名称	所在地	
国指定	1 建造物 (重要文化財)	S45.6.17	早鐘眼鏡橋 (附 旧水路10m)	早鐘町128番地	
	2 "	H10.5.1	三井石炭鉱業株式会社 三池炭鉱宮原坑施設	宮原町1丁目86番地3	
	3 史跡	S36.4.5	萩ノ尾古墳	東萩尾町289番地 ほか	
	4 "	S52.2.17	潜塚古墳	黄金町1丁目469番地 ほか	
	5 "	H12.1.19 (追加指定 H25.3.27) (追加指定 H26.10.6) (追加指定 H28.10.3)	三井三池炭鉱跡 宮原坑跡 万田坑跡 専用鉄道敷跡 旧長崎税関三池税関支署	宮原町1丁目86番地3 ほか 桜町201番地2 ほか 新港町1番地25	
国登録	6 建造物	H10.1.16	旧三池炭鉱宮浦坑煙突	西宮浦町132番地8	
	7 "	H12.12.4	旧三池炭鉱三川電鉄変電所 (信号電材株式会社本社)	新港町1番地30	
	8 "	H17.12.26	大牟田市役所本庁舎旧館	有明町2丁目3番地	
	9 "	R3.2.4	古賀家住宅主屋	谷町1番地12 ほか	
県指定	10 史跡	H15.2.5	黒崎観世普塚古墳・経塚	岬2608番地2 ほか	
	11 建造物	H8.5.31	旧三池集治監外塀及び石垣	上官町4丁目77番地 三池工業高等学校	
	12 "	H26.3.14	旧長崎税関三池税関支署	新港町1番地25	
	13 彫刻	S33.4.3	木造薬師如来坐像	大字今山2538番地 普光寺境内	
	14 "	S38.1.16	木造慈覚大師坐像	"	
	15 考古資料	S32.8.13	黒崎山舟形石棺	宝坂町2丁目2番地3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館	
	16 "	S33.4.3	宮原石層塔残欠	宮原町1丁目191番地 駿馬天満宮境内	
	17 "	S33.11.13	不動明王板碑 (附 梵字阿弥陀三尊板碑)	大字今山2538番地 普光寺境内	
	18 "	S33.11.13	石造六地藏	大字倉永872番地 法雲寺境内	
	19 "	S33.11.13	南無阿弥陀仏名号板碑 (附 四面仏石塔残欠)	藤田町743番地 藤田天満宮境内	
	20 "	S34.3.31	石甲	宝坂町2丁目2番地3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館 (九州国立博物館へ貸出・展示)	
	21 "	S36.4.18	今山普光寺ならびに定林寺石塔群	大字今山字本村、字大塔	
	22 "	S37.4.19	宮原天満宮石幢残欠	宮原町1丁目191番地 駿馬天満宮境内	
	23 "	S38.1.16	蜜柑山舟形石棺	宝坂町2丁目2番地3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館	
	24 "	S45.5.2	乙宮神社の石殿	宮坂町20番地 乙宮神社境内	
	25 "	S57.4.1	倉永古墳壁画残欠	宝坂町2丁目2番地3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館	
	26 "	S57.4.1	高塚舟形石棺	宝坂町2丁目2番地3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館	
	27 "	S57.4.1	古城山家形石棺	宝坂町2丁目2番地3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館	
	28 有形民俗文化財	S38.1.16	湯谷柳川領境界石	大字四ヶ字湯谷	
	29 天然記念物	S33.4.3	臥龍梅	大字今山2538番地 普光寺境内	
	30 "	S54.3.6	土穴のエノキ	大字櫛野字土穴928番地	
	31 "	H18.3.3	米ノ山断層及び石炭層の露頭	大字櫛野字石坂2964 焼石山公園内	
	市指定	32 建造物	H17.12.9	三井港倶楽部	西港町2丁目6番
		33 彫刻	H5.3.10	普光寺仁王像	大字今山2538番地 普光寺堂内
		34 "	H12.4.14	教楽来天満神社石造狛犬	大字教楽来字権現堂1114番地 教楽来天満神社
		35 考古資料	S34.12.12	四方佛塔 (附 五輪塔地輪)	宝坂町2丁目2番地3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
		36 "	S42.10.11	大間劫月院跡の石造遺物	大字三池226番地
		37 "	S42.10.11	明正寺六地藏幢	大字三池779番地 明正寺境内
		38 "	S50.3.18	定林寺中興開山塔	大字今山字大塔 定林寺境内
39 "		S50.3.18	本村の四仏塔婆	大字勝立字本村	
40 "		S50.3.18	三池氏供養塔	大字今山字大塔 定林寺境内	
41 有形民俗文化財		S37.7.16	焚石山鎮守社稻荷石祠	岬町6番地23 大牟田市石炭産業科学館	
42 無形民俗文化財		S50.3.18	岡天満宮祭礼行事	大字上内 岡・坂井地区	
43 無形民俗文化財		H22.4.14	三池地区祇園社祭礼行事 “三池の大蛇山”	大字三池・大字新町	
44 史跡		S37.7.16	歴代三池藩主墓地	大字今山2585番地 紹運寺境内ほか	
45 "		S38.7.11	上内立花内膳家墓地	大字上内字栴2248番地	
46 天然記念物		S41.9.30	上内八幡宮のイチイガシ	大字上内1528番地 上内八幡宮境内	
47 "		S44.6.11	玉垂神社の大樟	大字岬2363番地 玉垂神社境内	
48 "		S61.4.16	下正原のシラカシ	大字勝立字下正原1685番地	
49 "		S61.4.16	一ノ尾のアラカシ	大字教楽来字一ノ尾841番地	

令和4年度版（令和3年度実績）

## 大牟田の教育

令和4年10月

発行 大牟田市教育委員会  
大牟田市  
編集 大牟田市教育委員会事務局  
総務課 教育みらい創造室  
〒836 - 8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地  
電話 0944 - 41 - 2867 ファクシミリ 0944 - 41 - 2862  
電子メール e-kyoikusoumu01@city.omuta.fukuoka.jp  
大牟田市教育委員会ホームページ  
<http://www.city.omuta.lg.jp/kyouiku/>